

2020年～2023年

那覇市新型コロナウイルス感染症
対応経過報告書

資料編①那覇市保健所庁内健康危機管理メール



2024年（令和6年）3月

那覇市保健所庁内健康危機管理メール

第 124 報：第 2 波初期

送信日時： 2020年7月8日水曜日 9:40

件名： ★★★健康危機レベル3★★★ 新型コロナウイルス感染症(庁内第124報=所内第133報)

関係各課・庁内健康危機管理対策委員の皆様
那覇市保健所所内健康危機管理対策委員の皆様
(情報提供が不要な方はご連絡下さい)

ハイサイ

本情報は関係者限りでお願いします

7月8日9時現在 ★★★県内発生初期・国内小康期★★★ です。

*県内で感染者が確認されましたので「県内発生初期」とし、健康危機レベルを3に引き上げます。

1. 中部保健所管内で1名感染者が確認されました。
濃厚接触者のようですので感染源は分かっているようです。
詳細について情報収集中です。
2. 昨日報道のありました米軍の感染者との関連は、現時点では不明です。

第 133 報：第 2 波市内発生

送信日時： 2020年7月21日火曜日 14:24

件名： ★★★第 1 段階：県内発生早期（散発発生期）★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第133報=所内第142報）

(冒頭定型文のため省略)

7月21日14時現在 ★★★第 1 段階：県内発生早期（散発発生期）★★★

1. 昨日夕方、市内の医療機関より新規に下記1例確定例の届出がありました（県内156例目）。感染源調査を継続中ですが、現時点では渡航歴や確定例との濃厚接触歴はなく、市中感染の可能性が否定できません。7月に入って移入例が複数確認されていること、市中感染が否定できない事例が発生したことを受け、本日那覇市として健康危機レベルを4へ引き上げることを決定しました（県のレベルは第1段階）。

20代女性

那覇市在住

飲食業従事

7/17 発症

7/20 市内の医療機関にて抗原検査を実施し診断→指定された医療機関へ入院済。感染源は調査中

2. 昨日中部保健所管内の医療機関からも別途新規確定例が1例届出がありました（県内155例目）

20代男性

宜野湾市在住

会社員（報道では〇〇〇職員とあり）

7/18 発熱

7/20 医療機関にて抗原検査を実施し診断→指定された医療機関へ入院済

3. 本日結果が判明した那覇市保健所分のPCR検査10件はいずれも陰性でした。また、本日結果が判明した他保健所分112例（南部3例、中部3例、北部1例、金武町PCRセンター105例）はいずれも陰性でした。

県内で市中での感染伝播が否定できない事例が確認されたことから、これまで以上に患者発生動向を注意深くモニタリングする必要があります。

第 134 報：BCP 発動

送信日時： 2020年7月22日水曜日 9:29

件名： ★★★★★第1段階：県内発生早期（散発発生期）★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第134報=所内第143報）

（冒頭定型文のため省略）

7月22日9時現在 ★★★★★第1段階：県内発生早期（散発発生期）★★★★★

1. 現在、那覇市における健康危機レベル4です。健康危機レベルの引き上げに伴い、健康部では7/21より部分的にBCPを発動し、現時点で可能な限り業務を縮小ないし休止しております。なお、HIV・性感染症検査については先週から予約受付を既に休止しています。また、7/21より現地（那覇市保健所）対策本部の体制を見直すとともに、7/23より部内各課から対策本部に応援職員が派遣され、本部体制の強化を進めます。

2. 本日結果が判明した那覇市分計16件のPCR検査検査はすべて陰性でした。

3. 本日検査結果が判明した南部・中部保健所計36件（南部3件、中部33件）のうち、中部保健所の1件が陽性でした（県内157例目）。OIST分（北部、宮古、八重山）は、まだ結果が未着です。

那覇市内で市中での感染伝播が否定できない事例が確認されたことから、これまで以上に患者発生動向を注意深くモニタリングする必要があります。

第 135 報：第 2 波警戒期

送信日時： 2020年7月27日月曜日 10:42

件名： ★★★★★第2段階：県内流行警戒期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第135報=所内第144報）

（冒頭定型文のため省略）

7月27日10時現在 ★★★★★第2段階：県内流行警戒期★★★★★

1. 県内の感染拡大を受け、昨日県の警戒レベルが「第2段階：県内流行警戒期」に引き上げられました。

2. 本日結果が判明した那覇市分計84件のPCR検査のうち、計7例が陽性でした。

3. 本日検査結果が判明した衛研実施分 56例（南部19例、中部34例、北部1例、宮古2例）のうち、計7例（南部2例、中部5例）が陽性でした。

4. その他保険診療で実施された検査のうち（実施総数は不明）、4例が陽性でした。

那覇市内で複数の市中での感染伝播が否定できない事例が確認されたことから、これまで以上に患者発生動向を注意深くモニタリングする必要があります。

第 139 報：第 2 波流行期

送信日時: 2020年8月3日月曜日 12:17

件名: ★★★★★第3段階：感染流行期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第139報=所内第148報）

添付ファイル: 0803沖縄covid-19_update-5.pdf

（冒頭定型文のため省略）

8月3日12時現在 ★★★★★第3段階：県内感染流行期★★★★★

1. 7月31日付で、県の流行レベルが第3段階：県内感染流行期へ引き上げられました。
2. 7/31日中に市内の協力医療機関で抗原検査で診断ついた那覇市在住の方は計11名でした。また、AVSSに委託し、8月1日、2日、3日に結果が判明したそれぞれ計136件、155件、250件のPCR検査のうち、計14例（うち2例が陰性確認、8/1分）、計14例（うち1例が陰性確認、8/2分）、計15例（うち1例が陰性確認およびうち別途4件がこれまで別途実施していた抗原検査で結果が陽性判明していたため報告済、8/3分）が陽性でした。
2. 本日検査結果が判明した衛研実施分 159例（南部117例、中部42例）のうち、計13例（中部1例、南部12例）が陽性でした。
3. 沖縄県衛生環境研究所の感染症情報センターが発行を開始した県全体のまとめ(covid-19 update)を共有します。非公表情報も含まれているため、取り扱い注意をお願いします。

市中での感染伝播が否定できない事例が多数確認されていること、発症2週間以内に那覇市の歓楽街を利用していない患者が複数発生していること、地理的に県全体広い範囲で新規患者が確認されていること、若年層から中高年齢層にまで陽性患者の発生が広がっていること、などから、県全体へ感染拡大していることが懸念され、引き続き患者発生動向を注意深くモニタリングする必要があります。

第 141 報：集団検査結果

送信日時: 2020年8月5日水曜日 13:26

件名: ★★★★★第3段階：感染流行期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第141報=所内第150報）

添付ファイル: 0805沖縄covid-19_update-7.pdf

（冒頭定型文のため省略）

8月5日13時現在 ★★★★★第3段階：県内感染流行期★★★★★

1. 本日AVSSに委託し結果が判明した那覇市保健所分266件のうち、計25例が陽性でした。このうち2例は陰性確認、沖縄赤十字病院の3例はすでに抗原検査陽性でハースにも入力済のため、那覇市在住の新規感染者は計20例となります
2. 本日検査結果が判明した衛研実施分 206例（南部129例、中部77）のうち、計19例（南部11例、中部8例）が陽性でした。OIST実施分は未判明。
3. 沖縄県衛生環境研究所の感染症情報センターが発行を開始した県全体のまとめ(covid-19 update)を共有します。非公表情報も含まれているため、取り扱い注意をお願いします。

市中での感染伝播が否定できない事例が多数確認されていること、発症2週間以内に那覇市の歓楽街を利用していない患者が複数発生していること、地理的に県全体広い範囲で新規患者が確認されていること、若年層から中高年齢層にまで陽性患者の発生が広がっていること、などから、県全体へ感染拡大していることが懸念され、引き続き患者発生動向を注意深くモニタリングする

必要があります。

第 143 報：現地対策本部移設

送信日時： 2020年8月10日月曜日 14:36

件名： ★★★★★第3段階：感染流行期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第143報=所内第152報）

添付ファイル： 0810沖縄covid-19_update-10.pdf; PCR検査対象者20200807.pptx

（冒頭定型文のため省略）

8月10日12時現在 ★★★★★第3段階：県内感染流行期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 本日の行政検査結果です。

■検査結果 8/10(月) 行政検査 新規陽性者22例

【衛研実施分】

検査数：241例

陽性：11例（中部4例、南部7例）

陰性：230例

【那覇市】127例（陰性確認なし）

陽性：10例（新規10例）

陰性：117例

【OIST】32例

陽性：1例（八重山1例）

陰性：31例

2. 本日、県内664例目（那覇市在住）が亡くなりました。
公表まで取扱注意をお願いします。

3. 医療資源を検査から重症治療へ投入するため、
また保健所の資源をPCR検査調整から積極的疫学調査に回すため、
添付のように当面の緊急的措置としてPCR検査対象が制限されています。
園児や学童についても、症状のない濃厚接触者は検査対象にはなりません。
しばらくの間、ご理解とご協力をお願いいたします。

4. 【200810】沖縄covid19 update-10 を添付します。

5. 現地（那覇市保健所）対策本部は、8月7日夕より、
那覇市保健所3階大会議室にて稼働しております。
多くの応援職員を派遣いただきありがとうございます。
おじー・おばーを守るために、
翁長前市長の「まきていーないびらんどおー」を合言葉にしています。

6. 消防隊の感染、小学生の感染、こども園でのクラスター、高齢者施設での
クラスターでは、
それぞれの部に積極的に対応いただきありがとうございます。
市職員の感染も散発的にでていますが、
全庁的な取り組みを実感しております。
引き続き、宜しくお願い致します。

那覇市内で、複数の接客業に関連するクラスター、飲食店に関連するクラスター、医療機関・高齢者入所施設に関連するクラスター、保育園クラスターなどが発生しています。市中での感染伝播が否定できない事例が多数確認されていること、発症2週間以内に那覇市の歓楽街を利用していない患者が複数発生していること、地理的に県全体広い範囲で新規患者が確認されていること、若年層から中高年齢層にまで陽性患者の発生が広がっていること、などから、県全体へ感染拡大

していることが懸念され、引き続き患者発生動向を注意深くモニタリングする必要があります。

第 147 報：第 2 波まん延期

送信日時: 2020年8月14日金曜日 12:34

件名: ★★★★★第4段階：感染蔓延期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第147報=所内第156報）

添付ファイル: 0813zissinaiyou.pdf; 0813kinkyujitaisengen.pdf; sankousientou.pdf

（冒頭定型文のため省略）

8月14日12時現在 ★★★★★第4段階：県内感染蔓延期★★★★★ 健康危機レベル4
*沖縄県は8月13日に県内警戒レベルを第4段階（感染蔓延期）に引き上げました。

1. 本日の行政検査結果です。

■検査結果 8/14(金) 行政検査 新規陽性者26例（OIST分含まず）

【衛研実施分】

検査数：120例

陽性：17例（中部13例、南部4例）

陰性：103例

【那覇市】248例

陽性：11例（新規9例、陰性確認2例）

陰性：237例

【OIST】まだ報告ありません

2. 昨日、県内519例目（那覇市在住）が亡くなりました。
公表まで取扱注意をお願いします。

3. 本日、濃厚接触者が自宅で亡くなっているのを、
訪問した保健師と管理人が発見する事例がありました。
公表まで取扱注意をお願いします。

4. 緊急事態宣言の延長に関する県の資料を添付します。

那覇市内で、複数の接客業に関連するクラスター、飲食店に関連するクラスター、医療機関・高齢者入所施設に関連するクラスター、保育園クラスターなどが発生しています。市中での感染伝播が否定できない事例が多数確認されていること、発症2週間以内に那覇市の歓楽街を利用していない患者が複数発生していること、地理的に県全体広い範囲で新規患者が確認されていること、若年層から中高年齢層にまで陽性患者の発生が広がっていること、などから、県全体へ感染拡大していることが懸念され、引き続き患者発生動向を注意深くモニタリングする必要があります。

第 152 報：WEB 会議整備

送信日時: 2020年8月22日土曜日 13:45

件名: ★★★★★第4段階：感染蔓延期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第152報=所内第161報）

（冒頭定型文のため省略）

8月22日12時現在 ★★★★★第4段階：県内感染蔓延期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 本日の行政検査結果です。

■検査結果 8/22(土) 行政検査 新規陽性者18例

【衛研実施分】202例

陽性：6例（中部2例、南部4例）

陰性：196例

【那覇市】57例（うち陰性確認0例）

陽性：12例（うち抗原検査で陽性確認済み1例 新規11例）

陰性：40例

【OIST】6例

陽性：1例（北部1例）

陰性：5例

2. 26日か27日に県専門家会議開催予定。
検査対象や、今後の医療体制、緊急事態宣言解除後の対策について検討される予定です。
3. 現地（那覇市保健所）対策本部のZoom会議環境が整いました。
県コロナ本部とは適時Zoom会議実施しています。
市対策本部とのZoom会議も可能です。

那覇市内で、複数の接客業に関連するクラスター、飲食店に関連するクラスター、医療機関・高齢者入所施設に関連するクラスター、保育園クラスターなどが発生しています。市中での感染伝播が否定できない事例が多数確認されていること、発症2週間以内に那覇市の歓楽街を利用していない患者が複数発生していること、地理的に県全体広い範囲で新規患者が確認されていること、若年層から中高年齢層にまで陽性患者の発生が広がっていること、などから、県全体へ感染拡大していることが懸念され、引き続き患者発生動向を注意深くモニタリングする必要があります。

第 159 報：警戒レベル引き下げ

送信日時： 2020年8月29日土曜日 17:31

件名： ★★★★★第3段階：感染流行期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第159報=所内第168報）

添付ファイル： 0828沖縄県緊急事態宣言について.pdf; 警戒レベル：第3段階の実施内容について(令和2年8月28日決定)-1.pdf; 20200828NewsLetterNo12.pdf; 0829沖縄covid-19_update-20.pdf

（冒頭定型文のため省略）

8月29日17時現在 ★★★★★第3段階：県内感染流行期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 昨日県の本部会議にて、8月13日に第4段階に引き上げられた警戒レベルが第3段階：県内感染流行期に引き下げられました。一方で、県の緊急事態宣言は9月5日まで延長されました。県から派出された「緊急事態宣言について」、「警戒レベル第3段階の実施内容について」を添付しますのでご確認ください。

2. 本日の行政検査結果です。

■検査結果 8/29(土) 行政検査 新規陽性者12例

【衛研実施分】87例

陽性：10例（中部9例、南部1例）

陰性：77例

【那覇市】77例

陽性：5例（うち陰性確認3例、新規2例）

陰性：72例

【OIST】3例

陽性：0例
陰性：3例

3. それとは別に、昨日管内の医療機関で実施された抗原・PCR検査にて計5例の陽性例が確認されました。

4. 県コロナ本部が発行しているnews letter No.12 を添付します。

5. 沖縄県衛生環境研究所の感染症情報センターが発行を開始した県全体のまとめ(covid-19 update)を共有します。非公表情報も含まれているため、取り扱い注意をお願いします。

新規陽性者自体は県内全域で減少傾向ですが、営業を再開した那覇市内歓楽街の事業所で複数新規陽性者が確認されたり、医療機関や高齢者施設のスタッフおよび入所者、入院患者で陽性者が確認されています。また、医療機関の病床は依然ひっ迫しており、予断を許しません。引き続き患者発生動向を注意深くモニタリングする必要があります。

第160報：台風

送信日時： 2020年8月31日月曜日 14:02

件名： ★★★★★第3段階：感染流行期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第160報=所内第169報）

添付ファイル： 20200828NewsLetterNo13.pdf

（冒頭定型文のため省略）

8月31日14時現在 ★★★★★第3段階：県内感染流行期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 本日の行政検査結果です。

■ 検査結果 8/31(月) 行政検査 新規陽性者9例

【衛研実施分】84例

陽性：6例
中部2例
南部4例
陰性：78例

【那覇市】81例

陽性：4例（うち抗原検査確認済み1例、新規3例）
陰性：77例

【OIST】11例

陽性：0例
陰性：11例

2. 台風襲来に伴い、衛研の検査は本日、明日休止となる事が決定しました。

3. 昨日1名、本日1名、それぞれ新型コロナウイルス感染症と診断された方がお亡くなりになりました。県からの公表は9/2になる予定のためそれまでは取り扱い注意をお願いします。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

4. 県コロナ本部が発行しているnews letter No.13 を添付します。

新規陽性者自体は県内全域で減少傾向ですが、営業を再開した那覇市内歓楽街の事業所で複数新規陽性者が確認されたり、医療機関や高齢者施設のスタッフおよび入所者、入院患者で陽性者が確認されています。また、医療機関の病床は依然ひっ迫しており、予断を許しません。引き続き患者発生動向を注意深くモニタリングする必要があります。

第 164 報：県の緊急事態宣言解除

送信日時： 2020年9月5日土曜日 11:16

件名： ★★★★★第3段階：感染流行期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第164報=所内第173報）

添付ファイル： 20200904NewsLetterNo17.pdf; 0904【県通知_添付4】 県民向け_新型コロナウイルス感染症相談・検査フロー（修正20200904時点）.pdf; 0904【県通知_添付1】 関係機関向け_新型コロナウイルス感染症相談・検査フロー（修正20200904時点）.pdf; 0904【県通知】 新型コロナウイルス感染症の検査・相談体制について（保健所・衛研あて）.pdf

（冒頭定型文のため省略）

9月5日11時現在 ★★★★★第3段階：県内感染流行期★★★★★ 健康危機レベル4

* 本日いっぱいでの緊急事態宣言は解除となりますが、警戒レベルは変更ありません。

1. 本日の行政検査結果です。

■ 検査結果 9/5(土) 行政検査 新規陽性者11例

【衛研実施分】 134例

陽性：5例（うち新規4例）

中部3例

南部2例（うち陰性確認1例、新規1例）

陰性：129例

【那覇市】 146例

陽性：12例（うち陰性確認6例、新規6例）

陰性：134例

【OIST】 5例

陽性：1例（八重山1例）

陰性：4例

2. 県コロナ本部が発行しているnews letter No.17 を添付します。

3. 9月7日以降、無症状の濃厚接触者は行政検査の対象となります。

9月4日付、県の通知の一部を添付します。

保健所が把握している濃厚接触者以外の方は、

基本的には県のコールセンターが一元的に相談を受け付けるフローとなります。

保健所の相談センターは濃厚接触者対応のみとなる予定です。

（移行期ですので、しばらくは混在する見込みです）

4. 台風の影響で、衛研の本日受付分の検査結果は月曜日に出る見込みです。

AVSS（那覇市分）も月曜日になる可能性があります。

明日受付分は衛研・OIST・AVSS、すべて検査停止の予定です。

新規陽性者自体は県内全域で減少傾向ですが、営業を再開した那覇市内歓楽街の事業所で複数新規陽性者が確認されたり、医療機関や高齢者施設のスタッフおよび入所者、入院患者で陽性者が確認されています。また、医療機関の病床は依然ひっ迫しており、予断を許しません。引き続き患者発生動向を注意深くモニタリングする必要があります。

第 175 報：県注意報発令

送信日時： 2020年9月16日水曜日 13:53

件名： 【追加・情報提供】 Re: ★★★★★第3段階：感染流行期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第175報=所内第184報）

添付ファイル： 0916沖縄covid-19_update-25.pdf; 【配布用】 コロナ注意報（大型連

休).pdf: 【公表用】0915死亡退院の状況.pdf

関係機関の皆さま bccでお送りしています。

本情報は関係者限りでお願いします

各位、

午後、衛研感染症情報センターより添付の資料が届きましたので、追加で供覧します。

3. 沖縄県衛生環境研究所の感染症情報センターが発行を開始した県全体のまとめ(covid-19 update)を共有します。非公表情報も含まれているため、取り扱い注意をお願いします。

4. 県が、今週末から始まる4連休に際して発出したコロナ注意報(第1報)です。

5. 合わせて県が公表した死亡退院者の感染症状等です。第一波(4月)に比べ死亡退院の割合は減少していますが、総数は増加(感染者の絶対数も増加)、今回の流行では感染経路として4月に確認されなかった医療機関や社会福祉施設関連が半分以上を占めています。死亡者の大多数が70代以上であり、医療機関、社会福祉施設での集団発生が、県の医療を含め大きなインパクトをもたらしています。

第185報：下げ止まり期

送信日時: 2020年9月28日月曜日 10:07

件名: ★★★★★第3段階：感染流行期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症(庁内第185報=所内第194報)

添付ファイル: COVID-19エピカーブ2020w39.pdf; wg_h_2.pdf

(冒頭定型文のため省略)

9月28日10時現在 ★★★★★第3段階：県内感染流行期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 本日の行政検査結果です。

■検査結果 9/28(月) 行政検査 新規陽性者7例

【衛研実施分】126例

陽性：3例(中部2例、南部1例)

陰性：123例

【那覇市】35例

陽性：5例(うち陰性確認1例、新規4例)

陰性：30例

【OIST】実施なし

2. 沖縄県の週毎の流行状況グラフを添付します。
第39週は前2週よりも多くなっています。

3. 新型コロナウイルス感染症対策分科会：偏見・差別とプライバシーに関するワーキンググループ(第2回：9/24開催)の資料を添付します。
誹謗中傷ホットラインがあるようです。ご参照ください。

新規陽性者数の減少傾向は鈍化しており底をうった可能性があります。
今後、増加傾向に転ずるのか、注意深くモニタリングする必要があります。

第191報：ワースト

送信日時: 2020年10月4日日曜日 10:05

件名: ★★★★★第3段階: 感染流行期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症(庁内第191報=所内第201報)

添付ファイル: 沖縄県Rt20201002時点.png; 人口あたり感染者数20201001時点.png

(冒頭定型文のため省略)

10月4日10時現在 ★★★★★第3段階: 県内感染流行期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 本日の行政検査結果です。

■検査結果 10/4(日) 行政検査 新規陽性者6例

【衛研実施分】93例

陽性: 3例(南部2例、中部1例)

陰性: 90例

【那覇市】40例

陽性: 3例

陰性: 37例

【OIST】実施なし

【那覇市南部医師会合同PCR検体採取センター】16例(那覇市分)

陽性: 0例

陰性: 16例

2. 無症状～軽症の濃厚接触者については、市内検査協力医療機関に紹介～保険診療による検査となっています。9月下旬以降、保険診療による検査が増えており、保険診療による陽性者も増えています。保健所による直接の行政検査による陽性者数は相対的に減少しています。市内検査協力医療機関のご協力により、市内の4協力医療機関(病院)の負担がかなり軽減されています。
3. 東洋経済の特設サイトでの沖縄県の実効再生産数が1を超えてじわり上昇しています。10/2時点で1.8となっています。
4. 報道にもあるように直近1週間の人口あたりの新規感染者数は、沖縄県がワースト1となりました。

本島中南部を中心に新規陽性者が急増しています。那覇市内でも飲食店に関連したクラスターの発生が確認され、また疫学的リンクのない事例の発生も確認されています。陽性者の増加に伴い、有感染期間中に高齢者施設や医療機関、不特定多数が利用する飲食店を利用した事例が複数確認され、今後クラスターが多発しないか懸念されます。引き続き患者発生動向を注意深くモニタリングする必要があります。

第202報: 入院勧告対象等の変更

送信日時: 2020年10月16日金曜日 11:08

件名: ★★★★★第3段階: 感染流行期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症(庁内第202報=所内第212報)

(冒頭定型文のため省略)

10月16日11時現在 ★★★★★第3段階: 県内感染流行期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 下記、県内の各保健所を經由して実施された行政検査結果のまとめです。

■検査結果 10/16(金) 行政検査 新規陽性8例

【北部】

検査数：4例
陽性：0例
陰性：4例

【中部】

検査数：81例
陽性：0例
陰性：81例

【南部】

検査数：20例
陽性：2例
陰性：18例

【宮古】

検査数：36例
陽性：5例
陰性：31例

【八重山】

検査数：2例
陽性：0例
陰性：2例

【那覇市】

検査数：30例
陽性：2例（うち陰性確認1例、新規1例）
陰性：28例

2. 上記とは別に、昨日管内の医療機関で実施された抗原・PCR検査にて計12例の陽性が確認されました。

3. 新型コロナウイルス感染症を指定感染症に定める政令の改正があり、入院勧告の対象が下記の通り変更となっております。

10月14日 新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める等の政令の一部を改正する政令等について（厚生労働省）

感染症法第19条及び第20条の入院の勧告・措置の対象を、以下（1）及び（2）の対象者に限定することとする。

1）65歳以上の者、呼吸器疾患を有する者その他の厚生労働省令で定める者、臓器等の機能が低下しているおそれがあると認められる者、免疫の機能が低下しているおそれがあると認められる者、妊婦、症状が重度又は中等度であるもの、総合的に勘案して医師が入院させる必要があると認める者、都道府県知事が新型コロナウイルス感染症のまん延を防止するため入院させる必要があると認める者

2）当該感染症のまん延を防止するため必要な事項として厚生労働省令で定める事項を守ること
に同意しない者

指定された期間、指定された内容、方法及び頻度で健康状態を報告すること、指定された期間、指定された場所から外出しないこと、新型コロナウイルス感染症のまん延を防止するため必要な事項

<https://www.mhlw.go.jp/content/000683018.pdf>

4. 新型コロナウイルス感染症にかかる医師による届け出に関しても、下記の通り変更があり、入院を要さない疑似症（症状から新型コロナウイルス感染症が疑わしく、医師が新型コロナウイ

ルス感染症にかかる検査をオーダー症例) に関しては届け出が不要となりました。

10月14日 新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める等の政令第三条の規定により感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則の規定を準用する場合の読替えに関する省令の一部を改正する省令について

医師が新型コロナウイルス感染症の疑似症の患者を診断し、当該患者について入院を要しないと認められる場合について、感染症法第12条第1項に基づく届出を不要とすること。

<https://www.mhlw.go.jp/content/000683020.pdf>

===

引き続き当県における人口比の一週間累積新規陽性患者数は全国で最悪となっています。

市内の飲食店における会食時に感染したと疑われる事例に加えて、接待を伴う飲食店の利用客や従業員の感染が相次いで確認され、また疫学的リンクのない事例の発生も複数確認されています。

飲食店ではマスクを外すことになり、どうしても感染のリスクが高くなります。飲食店を利用する際には、換気がしっかり保たれているか(2方向の窓や扉が開放されていることが望ましい)、手指消毒ができる環境は整備されているか、座席と座席の間隔は2m(最低1m)確保されているか、スタッフはマスク着用しているか、など感染対策がしっかりとられている店舗を利用することを強くお勧めします。

陽性者の増加に伴い、有感染期間中に高齢者施設や医療機関、不特定多数が利用する飲食店を利用した事例や高齢者施設入所中に陽性が確認された事例が確認され、今後クラスターが多発しないか懸念されます。引き続き患者発生動向を注意深くモニタリングする必要があります。

第207報：累積感染者数トップ

送信日時： 2020年10月26日月曜日 10:59

件名： ★★★★★第3段階：感染流行期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症(市内第207報=所内第217報)

添付ファイル： 都道府県別感染者数20201023.png; 人口あたり感染者数20201024.png; COVID-19エピカーブ2020w43.pdf

(冒頭定型文のため省略)

10月26日10時現在 ★★★★★第3段階：県内感染流行期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 下記、県内の各保健所を経由して実施された行政検査結果のまとめです。

■検査結果 10/26(月) 行政検査 新規陽性19例

【北部】

検査数：17例

陽性：0例

陰性：17例

【中部】

検査数：19例

陽性：3例(うち陽性確認1例、新規2例)

陰性：16例

【南部】

検査数：75例

陽性：10例

陰性：65例

【宮古】

検査数：5例
陽性：1例
陰性：4例

【八重山】

検査数：87例
陽性：4例
陰性：83例

【那覇市】

検査数：36例
陽性：3例（うち陽性確認1例、新規2例）
陰性：33例

2. 上記とは別に、昨日管内の医療機関で実施された抗原・PCR検査にて5例（うち1例は那覇市外居住者）の陽性が確認されました。

3. 疫学第43週の流行曲線を見ると、那覇市における新規陽性者が増加に転じています。保健所による聞き取り調査でも、報道で出ている県議クラスター以外にも、市内の飲食店を中心に感染がさらに広がっている印象です。

4. 23日で沖縄県の累積感染者数が人口544万人の兵庫県抜いて全国8位となりました。

5. 24日で沖縄県の人口当たり累積感染者数が人口約1,400万人の東京都を抜いてトップになりました。

（定型注意喚起のため省略）

第215報：RSウイルス

送信日時： 2020年11月6日金曜日 15:27

件名： ★★★★★第3段階：感染流行期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第215報=所内第225報）

添付ファイル： 1106沖縄covid-19_update-52.pdf; 44wインフルエンザ流行状況.pdf; 44wRSウイルス.pdf

（冒頭定型文のため省略）

11月6日15時現在 ★★★★★第3段階：県内感染流行期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 下記、県内の各保健所を經由して実施された行政検査結果のまとめです。

■検査結果 11/6(金) 行政検査 新規陽性2例

【北部】

検査数：0例

【中部】

検査数：23例
陽性：1例
陰性：22例

【南部】

検査数：4例
陽性：0例
陰性：4例

【宮古】

検査数：5例
陽性：0例
陰性：5例

【八重山】
検査数：2例
陽性：0例
陰性：2例

【那覇市】
検査数：39例
陽性：2例（うち陰性確認1例、新規1例）
陰性：37例

2. 昨日、那覇市保健所が実施した行政検査の結果を、9件実施したうち1件陽性で、陰性確認のみ（新規陽性はゼロ件）、とご報告していましたが、正しくは9件実施したうち陽性であった1件は新規陽性例でした。お詫びして修正します。

3. 上記とは別に、昨日管内の医療機関で実施された抗原・PCR検査にて8例の陽性が確認されました。

4. 県の衛研より、最新の県全体のまとめ（covid-19 update）が届いたのでお送りします。

5. 県の衛研より、インフルエンザ流行状況のまとめが届いたのでお送りします。現在、沖縄県は非流行期です。

6. 県の衛研より、RSウイルスの流行状況のまとめが届いたのでお送りします。現在本島全域で特に3歳以上のRSウイルス感染症の報告が増加しています。RSウイルスはインフルエンザやコロナウイルスと同じく、呼吸器感染症を起こすウイルスです。非常に感染力が強く、しばしば保育園やこども園で流行を起こします。多くの場合軽症で自然軽快しますが、乳児（1歳未満の赤ちゃん）がかかると、重症化することがあります。

当県における人口当たりの新型コロナウイルス感染症の一週間累積新規陽性患者数は10/3以降全国でワースト1位を維持してきましたが、添付の県全体のまとめ（covid-19 update）にあるとおり、北海道のデータが急増し、2位に陥落（？）しました。しかし、県全体の陽性者数はようやく減少しつつあるものの、当市では横ばいの状況で増加に転じることが懸念されます。市内の歓楽街における会食を契機に感染したと思われる事例を中心に、陽性者が継続して報告されており、引き続き発生動向を注意深くモニタリングする必要があります。

第229報：県コロナ警報

送信日時： 2020年11月26日木曜日 13:59

件名： ★★★★★第3段階：感染流行期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（市内第229報=所内第239報）

添付ファイル： 1126 沖 縄 covid-19_update-61.pdf; 04 【配布用】警報_202010226.pdf; 02日本語 年末年始呼びかけポスター（会食編）(1).pdf; 03日本語 年末年始呼びかけポスター（家庭編）(1).pdf

（冒頭定型文のため省略）

11月26日（木）13時現在 ★★★★★第3段階：県内感染流行期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 下記、県内の各保健所を経由して実施された行政検査結果のまとめです。

■検査結果 11/26(木) 行政検査 新規陽性11例

【北部】

検査数：2例
陽性：0例
陰性：2例

【中部】

検査数：29例
陽性：3例
陰性：26例

【南部】

検査数：9例
陽性：2例
陰性：7例

【宮古】

検査数：0例
陽性：-例
陰性：-例

【八重山】

検査数：8例
陽性：0例
陰性：8例

【那覇市】

検査数：27例
陽性：6例
陰性：21例

2. 上記とは別に、昨日管内の医療機関で実施された抗原・PCR検査にて20例（うち3例是那覇市外居住者）の陽性が確認、届け出されました。

3. 県の衛研より、最新の県全体のまとめ（covid-19 update）が届いたのでお送りします。

4. 10月26日に県からコロナ警報が発出され、また11月20日から12月11日にかけて「3連休からの年末の忘年会・会食及び家庭内対策」の方針が県から示されているところですが、関係する資料が届いたので合わせてお送りします。

当県における人口当たりの新型コロナウイルス感染症一週間累積新規陽性患者数は全国でワースト4位です。

札幌市（北海道は都道府県別で全国ワースト1位）や東京都23区（同全国ワースト3位）、大阪市（同全国ワースト2位）、名古屋市（同全国ワースト6位）で飲食店の時短要請が開始もしくは予定されています。当県における今後の対策などについては、明日予定されている専門家会議の意見も聞いて県コロナ本部で検討が予定されています。

保健所では感染拡大防止策の軸となる積極的疫学調査を実施していますが、市内の高齢者施設や公的機関、接待を伴う飲食店など陽性者が発生した多数の事業所対応に追われて体制がこれまで以上にひっ迫しつつあります。

飲食店ではマスクを外すことになり、どうしても感染のリスクが高くなります。飲食店を利用する際には、換気がしっかり保たれているか（2方向の窓や扉が開放されていることが望ましい）、手指消毒ができる環境は整備されているか、スタッフは常時マスク着用しているか（フェイスシールドやマウスシールドだけではマスクの代用になりません）、など感染対策がしっかりとられている店舗を利用することを強くお勧めします。

第238報：那覇市の累積感染者数0.5%超え

送信日時： 2020年12月9日水曜日 9:38

件名: ★★★★★第3段階: 感染流行期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症 (庁内第238報=所内第248報)
添付ファイル: flow_20201207 抜粋.pdf; 緊急事態宣言前後の人口変動分沖縄県.pdf; 20201206_docomo_zenkoku.pdf; 20201206_kddi.pdf

(冒頭定型文のため省略)

12月9日11時現在 ★★★★★第3段階: 県内感染流行期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 県全体の行政検査の速報はなくなりました。
那覇市のみお知らせいたします。

【那覇市】行政検査 12/9(水)
検査数: 68例
陽性: 3例 (新規: 2例、陰性確認: 1例)
陰性: 65例

上記のうち、那覇市南部医師会合同PCR検体採取センター(SRL) 実施分
検査数: 34例
陽性: 1例 (新規: 1例)
陰性: 33例
*センター実施分の報告は、水・金・日を予定してます。

2. 那覇市在住者の本日発表の陽性者は10人前後の見込みです。
3. 12/5時点の発表数で那覇市は累積1604名となりました。
10月末時点の人口で計算すると、0.5%を超えたこととなります。
恐らく中核市では最多だと思えます。
4. 内閣官房の新型コロナウイルス感染症対策の特設サイトでは、
ヒトの移動に関する情報が日々更新されているようです。
那覇空港、県庁前、国際通りなどのデータがあります。
いくつか添付します。ご興味ある方はご参照ください。
ファイル容量を落とすため画質が悪いものがあります。ご了承ください。

<https://corona.go.jp/dashboard/>
https://corona.go.jp/dashboard/pdf/flow_20201207.pdf

第241報: 年末年始の緊急特別対策

送信日時: 2020年12月14日月曜日 16:05
件名: ★★★★★第3段階: 感染流行期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症 (庁内第241報=所内第251報)
添付ファイル: セット 年末年始呼びかけポスター.pdf; 1212 沖縄 covid-19_update-71.pdf; 1211 沖縄 covid-19_update-70 (1).pdf; 【最終】年末年始の緊急特別対策の実施(1214-1312).docx; 1213 警戒レベルの判断指標の状況.pdf

(冒頭定型文のため省略)

12月14日(月)16時現在 ★★★★★第3段階: 県内感染流行期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 本日、新規陽性者は19名となっております(行政検査12名、保険診療検査7名)。うち那覇市保健所対応事例は9例となります。
2. 疫学第50週における沖縄県と那覇市の流行グラフを添付します。県全体では疫学第49週の282名から疫学第50週は232名と50名の減少、那覇市は83名から57名へと26名の減少となっています。本データおよび日々の積極的疫学調査の結果から、市民、事業所、関係者の取り組みによって、なんとか市内における流行拡大は抑えられている状況です。

3. 県からの提供して頂いた資料(12/13 12時時点)によると本日時点の病床占有率は82.8%↑、重症用の病床占有率 35.0%と依然厳しいレベルで推移しています。

4. 報道でも取り上げられていますが、本日県の対策本部会議が開催され、添付の通り12/17-12/28の期間、飲食や会食での感染者が多く確認されている3市内(那覇市・浦添市・沖縄市)の飲食店及び接待を伴う遊興施設等に対して時短営業要請の実施が決定されました。その他、成人式の開催やイベント、忘年会や新年会、帰省などに関する協力要請がなされています。啓発用のポスターも合わせて届いているのでお送りします。

5. 県の衛研より、最新の県全体のまとめ(covid-19 update、12/11,12発出分)が届いたので合わせてお送りします。

当県における人口当たりの新型コロナウイルス感染症一週間累積新規陽性患者数は全国でワースト6→8位です。

那覇市内で依然飲食を供する事業所を介して感染が疑われる事例が複数確認されています。飲食店ではマスクを外すことになり、どうしても感染のリスクが高くなります。飲食店を利用する際には、換気がしっかり保たれているか(2方向の窓や扉が開放されていることが望ましい)、手指消毒ができる環境は整備されているか、スタッフは常時マスク着用しているか(フェイスシールドやマウスシールドだけではマスクの代用になりません)、など感染対策がしっかりとられている店舗を利用することを強くお勧めします。

第 248 報：時短営業要請の延長

送信日時: 2020年12月23日水曜日 18:21

件名: ★★★★★第3段階：感染流行期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症(庁内第248報=所内第258報)

添付ファイル: 00_沖縄県_COVID19流行状況_1216まで.pdf; 03_那覇市_COVID19流行状況_1216まで.pdf; 公表版：年末年始の緊急特別対策の実施(1223更新版).docx; 1223(訂正)警戒レベルの判断指標の状況.pdf

(冒頭定型文のため省略)

12月23日(水)18時現在 ★★★★★第3段階：県内感染流行期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 本日、新規陽性者は37名となっております(行政検査10名、保険診療検査27名)。うち那覇市保健所対応事例は7例となります。

2. 県からの提供して頂いた資料(12/23 12時時点・取り扱い注意)によると病床占有率は53.0%↓、重症用の病床占有率は29.4%↓と徐々に改善しつつあります。

3. 県の衛研より、12月16日までの流行状況のまとめが届いたので、県全体と那覇市の資料お送りします(非公表資料であり、取り扱い注意でお願いします)。7月の4連休に県内に流入した県外からの持ち込みや接待を伴う飲食店を中心に流行が急速に拡大したものの、県の緊急事態宣言に伴っていったん流行は収束、しかし緊急事態宣言が解除され、9月のシルバーウィーク(4連休)、10月1日に東京都がGo to travelに追加されて以降、接待を伴う飲食や会食を介して県内の流行が再燃、12月に入ってようやく流行が鎮まりつつあるようです。

4. 報道にも出ていますが、本日県新型コロナウイルス感染症対策本部会議が開催され、年末年始の医療崩壊を避けるため那覇市、浦添市、沖縄市の飲食店等に対して出していた営業時間短縮要請が当初予定されていた今年28日から来年1月11日まで延長されることになりました。さらに、上記の3市に加え今年25日から1月11日まで名護市と宜野湾市の2市の飲食店、接待を伴う遊興施設等に対しても同様の営業時間短縮要請が出されることになったようです。県コロナ本部から実施にかかる資料が届いたのでお送りします。

当県における人口当たりの新型コロナウイルス感染症一週間累積新規陽性患者数は全国でワースト18→17位です。

忘年会のシーズンになりましたが、飲食中はマスクを外すことになり感染のリスクが高くなりま

す。飲食店を利用する際には、換気がしっかり保たれているか（2方向の窓や扉が開放されていることが望ましい）、手指消毒ができる環境は整備されているか、スタッフは常時マスク着用しているか（フェイスシールドやマウスシールドだけではマスクの代用になりません）、など感染対策がしっかりとられている店舗を利用することを強くお勧めします。

第254報：第3波・国の緊急事態宣言前日

送信日時： 2021年1月6日水曜日 19:58

件名： ★★★★★第3段階：感染流行期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第254報=所内第264報）

添付ファイル： 0106警戒レベルの判断指標の状況.pdf; 0106沖縄covid-19_update-84.pdf; 第52週インフルエンザ流行状況.pdf; 県知事コメント（0106）.pdf

（冒頭定型文のため省略）

1月6日（水）19時現在 ★★★★★第3段階：県内感染流行期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 本日、新規陽性者は72名となっております（行政検査14名、保険診療検査58名）。うち那覇市保健所対応事例は11例となります。

2. 県からの提供して頂いた資料（警戒レベルの判断指標の状況）によると病床占有率は54.1%↑、重症用の病床占有率は40.0%↑といずれも悪化しています。

3. 県の衛研より、最新の県全体のまとめ（covid-19 update）が届いたのでお送りします（特定の事業者名が入っており、取り扱い注意でお願いします）。引き続き検査陽性率（行政検査分）が8.3%と高止まりしており、県内の流行がさらに広がっている懸念があります。

4. 県から疫学第52週インフルエンザの流行状況に関する資料が届いたので共有します。県内は依然非流行期です。

5. 本日県庁にて第70回県新型コロナウイルス対策本部会議が開催され、発出された知事コメントが下記概要と共に県コロナ本部から届いたのでお送りします。

- ・年末年始医療機関の救急医療体制が維持出来たことを感謝。
- ・一旦減少したが年始あけに再び陽性者数が増加している。
- ・時短要請に従わない店舗での飲食でクラスターを起こした方が、さらに職場家庭内でクラスターを発生させている。
- ・移入例が年末年始増加しています（直近2週間全体の11%）
- ・明日の国の緊急事態宣言を受けて県としての対応（12日以降の対処方針）を8日決定する。
- ・新成人及び周りの大人の方も成人式前後の宴会の自粛をお願いします。

当県における人口当たりの新型コロナウイルス感染症一週間累積新規陽性患者数は全国でワースト13→11位です。

市内で年末の会食を介して発生したクラスター事例が複数確認されています。市内での感染の広がりに応じて、複数の高齢者施設や多数の出演者・客が参加した芸能イベントで陽性者の発生が確認されており、今後の更なるクラスターの発生が懸念されます。

新年会のシーズンになりますが、飲食中はマスクを外すことになり感染のリスクが高くなります。飲食店を利用する際には、換気がしっかり保たれているか（2方向の窓や扉が開放されていることが望ましい）、手指消毒ができる環境は整備されているか、スタッフは常時マスク着用しているか（フェイスシールドやマウスシールドだけではマスクの代用になりません）、など感染対策がしっかりとられている店舗を利用することを強くお勧めします。

第256報：第3波流行期・県の緊急特別対策延長

送信日時: 2021年1月8日金曜日 20:09

件名: ★★★★★第3段階: 感染流行期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症 (庁内第256報=所内第266報)

添付ファイル: 0108警戒レベルの判断指標の状況.pdf; 0108沖縄covid-19_update-86.pdf; 【公表用】感染拡大を食い止めるための緊急特別対策の実施について.pdf

(冒頭定型文のため省略)

1月8日(金) 20時現在 ★★★★★第3段階: 県内感染流行期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 本日、新規陽性者は82名となっております(行政検査18名、保険診療検査64名)。うち那覇市保健所対応事例は21例となります。

2. 県からの提供して頂いた資料(警戒レベルの判断指標の状況)によると病床占有率は61.1%↑と悪化、重症用の病床占有率は40.0%→と横ばいで推移しています。

3. 県の衛研より、最新の県全体のまとめ(covid-19 update)が届いたのでお送りします(特定の事業者名が入っており、取り扱い注意をお願いします)。

4. 12月14日から「年末年始の医療崩壊を回避するための緊急特別対策」が県本部により実施されてきましたが、大変残念なことに患者数が減少せず、増加に転じ、医療体制のひっ迫状況が続いています。そのため、本日付で県の対策本部から新たに「感染拡大を食い止めるための緊急特別対策」が打ち出され、公表用資料が本部から届いたのでお送りします。緊急事態宣言の対象となった首都圏への往来自粛に加えて、飲食店や接待を伴う遊興施設などに対する時短要請の対象地域として従来の本島5市に宮古、石垣の2市が加えられました(本島内における飲食店向けの対策には追加がないようです)。

当県における人口当たりの新型コロナウイルス感染症一週間累積新規陽性患者数は全国でワースト11位です。

市内で年末の会食を介して発生したクラスター事例が複数確認されています。特に、県外からの渡航者(旅行者だけでなく、帰省した家族などを含む)との会食を起点にしたクラスターが複数確認されています。

多数の出演者・客が参加した芸能イベントに関連して出演者、客から複数の陽性者発生が確認され、また、市内の飲食店で不特定多数が参加するカウントダウンイベントで陽性者の発生が確認されています。今後の更なるクラスターの発生が懸念されます。

現在全庁各部から応援人員を投入して頂いているところですが、那覇市でも患者数が増加し、現行の体制では地域の感染拡大予防策の軸となる積極的疫学調査が十分行えなくつつあります(やむなく調査を一部簡略化するなどして対応しています)。今後、市内の陽性者がさらに増加した際には、改めて各部へ応援をお願いすることもあるかと思いますが、引き続きご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

第263報: 第3波まん延期・県の緊急事態宣言

送信日時: 2021年1月20日水曜日 16:17

件名: ★★★★★第4段階: 感染蔓延期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症 (庁内第263報=所内第273報)

各位、

県の緊急事態宣言に合わせて、県における警戒レベルが第3段階から第4段階(感染蔓延期)に引き上げられました。

お詫びして修正させていただきます。

-----Original Message-----

件名: ★★★★★第3段階: 感染流行期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症 (庁内第263報=所内第273報)

日時：2021年01月20日(水) 15:51(+0900)

(冒頭定型文のため省略)

>

>1月20日(水) 15時現在 **★★★★第3段階：県内感染流行期★★★★ 健康危機レベル4**

>

>1. 本日、新規陽性者は111名となっております(行政検査 23名、保険診療検査 88名)。うち那覇市保健所対応事例は16例となります。

>

>2. 県からの提供して頂いた資料(警戒レベルの判断指標の状況)によると病床占有率は84.0%と高止まりのレベルで推移、重症用の病床占有率は52.9%と第4段階レベル近くまで悪化しています。

>

>3. 県内での流行拡大を受けて、本日付けで県対策本部より沖縄県緊急事態宣言が発出されました(2/7まで)。県内離島や県外との往来、不要不急の外出自粛、飲食店や遊興施設などを対象とした営業時間短縮の要請、出勤者数の7割削減やイベント開催制限、プロ野球やJリーグなどの合宿の練習試合や練習を無観客することなどが求められているようです。詳細は添付資料をご参照ください。

>

>4. 県の衛研より、最新の県全体のまとめ(covid-19 update)と関連する添付資料が届いたのでお送りします(特定の事業者名が入っており、取り扱い注意をお願いします)。

>

>県内全域で感染が急速に拡大し、市内でも複数の小学校区にかかる成人式後の会食、高齢者施設や保育園などの社会福祉事業所、学校などで陽性者の発生が確認され、今後さらなる感染拡大が懸念されます。

>

>本件に関する問合せは豊川までお願いいたします。

>

><< 0120警戒レベルの判断指標の状況 .pdf >>

><< 0119沖縄covid-19_update-91.pdf >>

><< 【資料2】緊急事態措置を実施すべき区域への追加について.pdf >>

><< 【資料3-4】.pdf >>

><< 【資料1】沖縄県緊急事態宣言.pdf >>

第265報：第3波・ピーク過ぎ

送信日時：2021年1月25日月曜日 15:28

件名：**★★★★第4段階：感染蔓延期★★★★ 新型コロナウイルス感染症(庁内第265報=所内第275報)**

添付ファイル：COVID-19エピカーブ2021w03.pdf; 00_沖縄県_COVID-19発生状況_1月19日時点.pdf; 03_那覇市保健所_COVID-19発生状況_1月19日時点.pdf; 98_居住地(保健所管内)別人口10万人あたり陽性者数の推移_0123.pdf; 99_保健所管内別直近5週の推移(52-2週_確定週).pdf; 新規および重症度別入院患者数推移20210124まで.pptx; 0125警戒レベルの判断指標の状況.pdf

(冒頭定型文のため省略)

1月25日(月) 15時現在 **★★★★第4段階：県内感染蔓延期★★★★ 健康危機レベル4**

1. 本日、新規陽性者は41名となっております(行政検査8名、保険診療検査33名)。うち那覇市在住者は14例、那覇市保健所対応事例は15例となります。

2. 県から提供して頂いた資料(警戒レベルの判断指標の状況)によると3指標(療養者数、確保済病床占有率、新規感染者数)が引き続き第4段階レベルとなっています。

3. 沖縄県と那覇市の週単位での流行グラフを添付します。那覇市と沖縄県は、昨年第52週から5週連続で増加しており、本年第3週の沖縄県は過去最多の週となっています。

今回は月報も添えます。

本年1月の沖縄県は、過去最多だった昨年8月を超える見込みです。
那覇市は超えるかどうか微妙なところです。

4. 衛研から発症日ベースでのとりまとめが届きました。
那覇市保健所の11枚目の資料で、最近の推定感染源は、会食、家庭、県外であることが分かります。
5. 新規感染者数と重症度別入院患者数の推移のグラフを添付します。（取扱注意！）
入院者総数、中等度以上の入院者数共に過去最高となっています。
これまでは70歳以上の高齢者は入院となっていました、
今後は、無症状あるいは軽症の高齢者には、年齢問わず、
自宅・ホテル療養をお願いすることも検討しなければいけない状況です。

* 年末年始と成人式含む3連休で感染したと思われる方のピークは過ぎた感がありますが、そこから会食、家庭を介して高齢者に感染が広がるフェーズだと思えます。

第271報：第3波・県の緊急事態延長

送信日時： 2021年1月30日土曜日 9:19

件名： ★★★★★第4段階：感染蔓延期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第271報=所内第281報）

添付ファイル： 0129沖縄covid-19_update-99.pdf

（冒頭定型文のため省略）

1月30日（金）9時現在 ★★★★★第4段階：県内感染蔓延期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 本日は、那覇市の行政検査の速報のみを報告させていただきます。

【那覇市】行政検査 1/30(土)

検査数：20例

陽性：0例

陰性：20例

2. 那覇市在住者の本日発表の陽性者は11人前後の見込みです。
3. 県の衛研より、最新の県全体のまとめ（covid-19 update）が届いたのでお送りします。
特定の事業者名が入っており、取り扱い注意をお願いします。
（機微情報）は公表されていませんので、この情報も取扱注意をお願いします。
4. 昨夜、専門家会議が開催されました。
WEB会議で宮古島派遣中の感染研の専門家から、宮古島の状況報告がありました。
収束の見込みが出てきているようです。
報道にもありますが、県全体では、新規感染者数の急増は抑えられているが、医療の逼迫状況は改善されておらず、
緊急事態は内容を緩めることなく延長するべきとの見解で一致しています。
国の緊急事態がどうなるのか不明な点も多いので、
延長期間については判断を見合わせましたが、延長後の解除時期については、専門家会議で検討する方向となっています。

第287報：第3波・県の緊急事態継続

送信日時： 2021年2月13日土曜日 9:06

件名： ★★★★★第4段階：感染蔓延期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第287報=所内第297報）

添付ファイル： 陽性者状況一覧表（公表用）0212_1200.pdf; 0212警戒レベルの判断指標

の状況.pdf; 05w_流行状況(保健所管内別直近5週).pdf; 05w_流行状況(週報).pdf; 0212沖縄
covid-19_update-108.pdf; 100personalqr.png

(冒頭定型文のため省略)

2月13日(土) 9時現在 ★★★★★第4段階: 県内感染蔓延期★★★★ 健康危機レベル4

1. 本日は、那覇市の行政検査の速報のみを報告させていただきます。

【那覇市】行政検査 2/13(土)

検査数: 32例

陽性: 2例(新規1例、陰性確認1例)

陰性: 30例

2. 那覇市在住者の本日発表の陽性者は5人前後の見込みです。

3. 県の警戒レベルの判断指標の状況によると
2指標(療養者数、確保済病床占有率)は引き続き第4段階レベルとなっています。

4. 県は緊急事態を解除する目標を、
(1)療養者数329人
(2)新規感染者数の1週間の合計280人
(3)重症・中等症数100人
(4)入院患者数200人
までそれぞれ下がることに設定しているようです。
2/12付け陽性者状況一覧表の情報によると
現時点で(2)はクリアしていますが、他は未達です。

5. 沖縄県の感染者情報はLINE「沖縄県-新型コロナ対策パーソナルサポート」で、
当日の午後3時過ぎに速報されます。
メディアの情報よりも早いです。
時には、保健所などの県内関係者へのメール速報よりも早いときがあります。
ご希望の方は県のサイトからどうぞ。QRコードも添付します。

https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/chijiko/kohokoryu/line_official.html

アカウント名: 沖縄県-新型コロナ対策パーソナルサポート

アカウントID: @covid19-okinawa

<https://line.me/R/ti/p/%40524ufyeo>

6. 県の衛研より、最新の県全体のまとめ(covid-19 update)が届いたのでお送りします。
特定の事業者名が入っており、取り扱い注意をお願いします。
100歳以上の死亡は公表されていませんので、この情報も取扱注意をお願いします。

7. 同じく衛研から週報が届いています。

第300報: 第3波・再発警戒段階

送信日時: 2021年3月1日月曜日 16:02

件名: ★★★★★第3段階: 感染流行期★★★★ 新型コロナウイルス感染症(庁内第300報=所内第310報)

添付ファイル: COVID-19エピカーブ2021w08.pdf; 0301 警戒レベルの判断指標の状況.pdf; 【資料1】宣言から再発警戒段階への移行について.pdf

(冒頭定型文のため省略)

3月1日(月) 16時現在 ★★★★★第3段階: 感染流行期★★★★ 健康危機レベル4

1. 2月27日の県新型コロナウイルス感染症対策本部にて県全体の警戒レベルを第4段階(流行蔓延期)から第3段階(感染流行期)に引き下げられました。あわせて、県コロナ本部から3月1

日以降の県の対処方針が発出されました。詳細は添付資料をご確認ください。

2. 本日、新規陽性者は7名となっております（行政検査 1名、保険診療検査 5名、検査事業 1名）。うち那覇市保健所対応事例は5例となります。

3. 県からの提供して頂いた資料（警戒レベルの判断指標の状況）によると病床占有率は57.3%、重症者用病床占有率は6.3%でした。その他の指標は添付資料をご確認ください。

4. 沖縄県と那覇市の流行曲線（週単位）を添付します。沖縄県と那覇市とも5週ぶりに増加に転じています。

全県的に流行は沈静化しつつありますが、那覇市内で発生した接待を伴う飲食店、医療機関のクラスターから引き続き続発例の発生が確認されており、今後の動向に注意が必要です。

飲食店ではマスクを外すことになり、どうしても感染のリスクが高くなります。飲食店を利用する際には、換気がしっかり保たれているか（2方向の窓や扉が開放されていることが望ましい）、手指消毒ができる環境は整備されているか、スタッフは常時マスク着用しているか（フェイスシールドやマウスシールドだけではマスクの代用になりません）、など感染対策がしっかりとられている店舗を利用することを強くお勧めします。

第 254 報：α株初検出

送信日時： 2021年3月11日木曜日 19:32

件名： ★★★第3段階：感染流行期★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第306報=所内第316報）

添付ファイル： 0311 警戒レベルの判断指標の状況.pdf; 0311 沖縄 covid-19_update-121.pdf; 09w_流行状況(保健所管内別直近5週).pdf; 第9週インフルエンザ流行状況.pdf; 09w_流行状況(週報).pdf

（冒頭定型文のため省略）

3月11日（木）19時現在 ★★★第3段階：感染流行期★★★ 健康危機レベル4

1. 本日、新規陽性者は29名となっております（行政検査 1名、保険診療検査 26名、検査事業 2名）。うち那覇市保健所対応事例は6例となります。

2. 県からの提供して頂いた資料（警戒レベルの判断指標の状況）によると病床占有率は51.7%、重症者用病床占有率は16.7%でした。その他の指標は添付資料をご確認ください。

3. 県の衛研より、最新の県全体のまとめ（covid-19 update）および関連資料が届いたのでお送りします（特定の事業者名が入っており、取り扱い注意をお願いします）。合わせて県から疫学第52週インフルエンザの流行状況に関する資料が届いたので共有します。県内は依然非流行期です。

4. ” covid-19 update ” の関連資料にメディアにも出ている県内で初めて確認された変異株にかかる記者会見の資料が含まれています（容量が大きいので後程別メールにて送付します、PWは同一です）。今回確認された変異株は感染力や免疫、ワクチンの効果を低下させる可能性が指摘されている変異です。昨日県から変異株のスクリーニングにかかる方針が示されたので、それを元に那覇市保健所としても変異株スクリーニングの体制を県、衛研、感染研と連携しながら進めていくこととなります。

1週間の累積新規感染者、行政検査の陽性率等から中南部を中心に感染が拡大している懸念があり、今後の動向に注意が必要です。県内で初めて変異株が確認されましたが、基本的な感染対策は変わりません。体調が悪い時には出勤や登校を控え自宅で療養する、三密を避け、他人と接触する際には2m距離をとり、会話をする際にはマスクを着用、飲食店を利用する際には換気がしっかりと取られた店舗を選んで利用する、帰宅時や食事の前には石鹸で手を洗う、を徹底しましょう。

第308報：ワクチン相談センター

送信日時：2021年3月15日月曜日 15:11

件名：★★★第3段階：感染流行期★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第308報=所内第318報）

添付ファイル：COVID-19エピカーブ2021w10.pdf; 0315警戒レベルの判断指標の状況.pdf

（冒頭定型文のため省略）

3月15日（月）15時現在 ★★★第3段階：県内感染流行期★★★ 健康危機レベル4

1. 本日、新規陽性者は16名となっております（行政検査8名、保険診療検査8名、検査事業0名）。うち那覇市保健所対応事例は8例となります。那覇市在住者は7例です。
2. 県からの提供して頂いた資料（警戒レベルの判断指標の状況）によると病床占有率は52.9%、重症者用病床占有率は10.0%でした。病床占有率は13日から50%を超えています。その他の指標は添付資料をご確認ください。
3. 本日午前9時に新型コロナウイルスワクチン相談コールセンターが開設されました。
電話番号：098-917-0462
受付時間：午前9時～午後5時まで（祝日除く、月曜～日曜）
4. 沖縄県と那覇市の週単位での流行グラフを添付します。
沖縄県は、3週連続で増加しています！
那覇市は、ここ3週は46、47、47名と横ばいです。

第312報：第4波の兆し

送信日時：2021年3月19日金曜日 20:05

件名：★★★第3段階：感染流行期★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第312報=所内第322報）

添付ファイル：0319警戒レベルの判断指標の状況.pdf; 0319沖縄covid-19_update-124.pdf; 【配布用】感染防止対策について.pdf; 【事務連絡】新型コロナウイルスの配分について（医療従事者等向け第3弾及び高齢者向け第2・第3クール）.pdf

（冒頭定型文のため省略）

3月19日（金）20時現在 ★★★第3段階：感染流行期★★★ 健康危機レベル4

1. 本日、新規陽性者は44名となっております（行政検査8名、保険診療検査35名、検査事業1名）。うち那覇市保健所対応事例は14例となります。
2. 県からの提供して頂いた資料（警戒レベルの判断指標の状況）によると病床占有率は53.3%、重症者用病床占有率は27.3%でした。その他の指標は添付資料をご確認ください。
3. 県の衛研より、最新の県全体のまとめ（covid-19 update）および関連資料が届いたのでお送りします（特定の事業者名が入っており、取り扱い注意でお願いします）。
4. 現在、下記URLから第52回沖縄県公衆衛生学会シンポジウムの無料聴講が可能となっておりますのでご案内させていただきます。

<https://koeikyo.com/52nd-okinawa-prefectural-public-health-society-symposium/>

新型コロナウイルス感染症関連のシンポジウムで県コロナ本部の糸数統括官（新型コロナから見えるウチナンチュの姿）、県立看護大の宮里先生（ホテル療養のケアを通しての課題）、繁多川の南館長（暮らしを捉えなおす すぐりむん）、県環境科学センターの徳松先生（保育現場の巡

回指導から見える感染症対策)、そして仲宗根所長(那覇市保健所の対応)の動画です。ご興味ある方はぜひご覧ください。

本島中南部を中心に感染が拡大しています。特に、那覇市内で歓楽街で感染が疑われる事例が急増しており、今後の動向に注意が必要です。

現在全庁各部から応援人員を投入して頂いているところですが、現行の体制では地域の感染拡大予防策の軸となる積極的疫学調査が十分行えなくつつあります。調査対応の遅れや調査の簡略化を余儀なくされないよう、今後、各部へ応援をお願いすることもあるかと思いますが、引き続きご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

歓送迎会のシーズンとなりますが、飲食店ではマスクを外すことになり、どうしても感染のリスクが高くなります。飲食店を利用する際には、換気がしっかり保たれているか(2方向の窓や扉が開放されている、十分な機械換気が行われている等)、手指消毒ができる環境は整備されているか、スタッフは常時マスク着用しているか(フェイスシールドやマウスシールドだけではマスクの代用になりません)、など感染対策がしっかりとられている店舗を利用することを強くお勧めします。

第312報：第4波入り

送信日時: 2021年3月24日水曜日 16:03

件名: ★★★第3段階：感染流行期★★★ 新型コロナウイルス感染症(庁内第314報=所内第324報)

添付ファイル: 沖縄県現状と解説20210323.pptx; 0323_流行状況.pdf; COVID-19エピカーブ2021w11.pdf; 市町村モニタリング0322非公表.pdf; 都道府県モニタリング0323(非公表用).pdf; 0324警戒レベルの判断指標の状況.pdf

(冒頭定型文のため省略)

3月24日(水)16時現在 ★★★第3段階：感染流行期★★★ 健康危機レベル4

1. 本日、新規陽性者は68名となっております(行政検査 9名、保険診療検査 58名、検査事業1名)。うち那覇市保健所対応事例は18例となります。

2. 県からの提供して頂いた資料(警戒レベルの判断指標の状況)によると病床占有率は58.2%、重症者用病床占有率は13.3%でした。その他の指標は添付資料をご確認ください。

3. 沖縄県と那覇市の疫学週単位の流行曲線(COVID-19エピカーブ?2021w11)を添付します。県全体では5週連続で増加しており、特に那覇市においては1週間の新規患者報告数が前週比でほぼ倍増、感染が急拡大しつつある状況です。

4. 都道府県別および県内の市町村別の直近1週間の患者発生状況のデータをお送りします(非公表データのため取り扱い注意をお願いします)。那覇市の発生状況をみると直近1週間10万人あたりの新規感染者数が30にせまり(29.5)、これは全国で最も新規感染者数が多い都道府県である宮城県と同レベル(30.8)の値です。参考までに、新型コロナウイルス感染症に対応する法的根拠であり2月13日に施行された改正新型インフルエンザ等感染症対策特別措置法では、「まん延防止等重点措置(通称"まんぼう"、政府諮問委員会の尾身会長も会見で引用していましたね)」という措置が新設されています。これは、特定地域からの蔓延を抑えるための対応として原則区画や市町村単位で発出されることができるようになった規定で、今後、当市を含めた県内市町村に対して発出される可能性があります。

5. 県の衛研より、最新の県全体のまとめ(統計データのみ、"0323_流行状況")が届いたのでお送りします。本ウイルス感染症はウイルスの曝露から発症まで4-7日で発症することを念頭に、届出日ではなく、発症日ベースで患者の発生状況をみてみると(発症する方が必ずしもすぐに医療機関を受診、診断されるわけではないため)、3月中旬以降県内で急速に感染が広がっていることが示唆されます。また、直近一週間の行政検査、保険診療分の検査陽性率も上昇していることも、県内の感染拡大を裏付けています。

6. 沖縄県疫学・統計解析委員会から資料と【現状】と【推定】と【解説】をいただきました(一

部、欠番が反映されていないようですが、大筋では合っています。)。取扱注意でお願いいたします。

===(引用開始)===
(略)
===(引用終了)===

本島中南部を中心に感染が拡大しています。特に、若中壮年層を中心に那覇市内の飲食店を介して感染したと疑われる事例が急増しており、今後の動向に注意が必要です。

県内の警戒レベル判断の指標をみると、2月にはいったんすべての指標が第2段階以下のレベルまで改善していましたが、現在では直近1週間の新規感染者数、療養者数は第4段階のレベルまで悪化、病床占有率と重症病床占有率もじわりじわりと悪化しています。県内ではこれまで、主に会食を介して若中壮年層に感染が広がった後、家族内や職場感染を介して重症化リスクの高い高齢者層へ広がる、というパターンを繰り返しており、今後、医療体制への影響が出てくる事態が生じないか懸念されます。

現在全庁各部から応援人員を投入して頂いているところですが、現行の体制では地域の感染拡大予防策の軸となる積極的疫学調査体制の維持が難しくなっています。感染が拡大しつつある現局面で調査対応の伸び等が生じると、地域での感染が広がる懸念があります。今後、各部へ改めて応援をお願いすることもあるかもしれませんが、引き続きご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

歓送迎会のシーズンとなりますが、飲食店ではマスクを外すことになり、どうしても感染のリスクが高くなります。飲食店を利用する際には、換気がしっかり保たれているか(2方向の窓や扉が開放されている、十分な機械換気が行われている等)、手指消毒ができる環境は整備されているか、スタッフは常時マスク着用しているか(フェイスシールドやマウスシールドだけではマスクの代用になりません)、など感染対策がしっかりとられている店舗を利用することを強くお勧めします。

第319報：第4波と人事異動

送信日時: 2021年3月31日水曜日 16:14

件名: ★★★第3段階：感染流行期★★★ 新型コロナウイルス感染症(庁内第319報=所内第329報)

添付ファイル: 00_沖縄県におけるCOVID-19発生状況_1201-0326確定.pdf; 03_那覇市保健所管内におけるCOVID-19発生状況_1201-0326確定.pdf; 99_沖縄県におけるCOVID-19発生状況_【7月-3月26日確定】.pdf; 99_保健所管内別流行曲線_【7月-3月26日確定】.pdf; 0331警戒レベルの判断指標の状況.pdf

(冒頭定型文のため省略)

3月31日(水) 16時現在 ★★★第3段階：県内感染流行期★★★ 健康危機レベル4

1. 本日、新規陽性者は111名となっております(行政検査9名、保険診療検査101名、検査事業1名)。うち、那覇市在住者は29例です。
2. 県からの提供して頂いた資料(警戒レベルの判断指標の状況)によると療養者数、新規感染者数と病床占有率に加えて新たに新規PCR検査の陽性率7.7%が第4段階となりました。
3. 衛研から保健所別流行状況(昨年12月1日~本年3月28日)までが届きました。最近の那覇市の流行は20代中心に20~40代で75%以上となっております。また接待を伴う会食含めた会食が主要な推定感染源となっております。引き続き、歓送迎会の自粛をお願い致します。
4. 人事異動等で、積極的疫学調査員が不足しています。調査の積み残し(一部調査の翌日回し)が発生する見込みです。支援部会等を通じてお願いしていますが、応援を重ねて宜しくお願い致します。

第 325 報：第 4 波拡大

送信日時: 2021年4月6日火曜日 16:01

件名: ★★★第3段階：感染流行期★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第325報=所内第335報）

添付ファイル: ワクチンと感染者と死亡者：イギリスとイスラエル20210404まで.pptx; 0406警戒レベルの判断指標の状況.pdf

* 人事異動で情報提供が不要な方はご連絡下さい。
その際に後任の方のメールアドレスを教えてください。

(冒頭定型文のため省略)

4月6日（火）16時現在 ★★★第3段階：県内感染流行期★★★ 健康危機レベル4

1. 本日、新規陽性者は98名となっております（行政検査10名、保険診療検査88名、検査事業0名）。
うち、那覇市在住者は27例です。
（昨日発表されるところとされた10人を含みます）
2. 県からの資料（警戒レベルの判断指標の状況）によると療養者数、新規感染者数と病床占有率が引き続き第4段階となっております。
変動しやすい新規PCR検査陽性率は、今回は7.3%で第4段階です。
病床占有率が95.2%とひっ迫してきました。
3. イギリスとイスラエルはワクチン接種が先行しています。
1回以上接種者は、それぞれ全人口の47.3%と58.2%です。
感染者と死亡者は順調に減少しています。
特にイスラエルの死亡者は1日あたり一桁まで減少しています。

第 312 報：第 4 波まん延期・まん延防止重点措置指定

送信日時: 2021年4月12日月曜日 21:00

件名: ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第329報=所内第339報）

添付ファイル: COVID-19エピカーブ2021w14.pdf; 0412警戒レベルの判断指標の状況.pdf; 0412沖縄covid-19_update-128.pdf; 0412_流行状況(日報).pdf; ★患者療養状況まとめ.pdf; 14w_流行状況(週報).pdf; 14w_流行状況(保健所管内別直近5週).pdf

(冒頭定型文のため省略)

4月12日（月）20時現在 ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 4月10日に開催された県コロナウイルス対策本部会議にて、沖縄県の警戒レベルが第4段階「感染まん延期」へ引き上げられました。
2. 防災危機管理課を通してアナウンスがあった通り、まん延防止等重点措置を実施すべき区域に沖縄県が追加され、本日から来月5日まで適応される予定です。市民への生活に大きな影響を与えかねない措置であり、具体的な内容に関しては防災危機管理課からの連絡を適宜ご確認下さい。
3. 本日、新規陽性者は37名となっております（行政検査 15名、保険診療検査 22名、検査事業 0名）。うち那覇市保健所対応事例は12例となります。
4. 県からの提供して頂いた資料（警戒レベルの判断指標の状況）によると病床占有率は99.4%、重症者用病床占有率は42.9%でした。直近一週間のPCR検査陽性率も8.8%と引き続き極めて高いレベルで推移しています。詳細は添付資料をご確認ください。

5. 沖縄県と那覇市の流行曲線（疫学週単位、「COVID-19エピカーブ」）を添付します。疫学第14週における沖縄県全体の届け出数は過去最多を記録、那覇市も昨年第32週に次いで2番目に多い値です。

6. 県の衛研より、最新の県全体のまとめ（covid-19 update）および関連資料（「患者療養状況まとめ」、「14w_流行状況」、「流行状況（日報）」）が届いたのでお送りします（特定の事業者名が入っており、取り扱い注意でお願いします）。発症日ベースの流行曲線を見ると、依然ピークアウトは確認できません。

引き続き本島全域を中心に感染が蔓延しています。管内で複数の医療機関や高齢者施設でクラスターの発生が確認されており、今後の動向に注意が必要です。

現在全庁各部から応援人員を投入して頂いているところですが、現行の体制では地域の感染拡大予防策の軸となる積極的疫学調査体制の維持が難しくなり、当分の間積極的疫学調査を縮小しています。具体的には、変異ウイルスが確認されていない医療機関、高齢者施設又はクラスターが発生した事業所以外の職場調査を一時中止しています。ご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

第 335 報：第 4 波ピーク

送信日時： 2021年4月21日水曜日 19:58

件名： ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第335報=所内第346報）

添付ファイル： 00_沖縄県におけるCOVID-19発生状況_1201-0411確定.pdf; 99_沖縄県におけるCOVID-19発生状況_【7月-4月11日確定】.pdf; 99_保健所管内別流行曲線_【7月-4月11日確定】.pdf; 03_那覇市保健所管内におけるCOVID-19発生状況_1201-0411確定.pdf; 0420_医療機関フェーズ変更.pdf; 0420_流行状況(日報).pdf

（冒頭定型文のため省略）

4月21日（水）19時現在 ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 本日、新規陽性者は95名となっております（行政検査 18名、保険診療検査 77名）。うち那覇市保健所対応事例は20例となります。

2. 県からの提供して頂いた資料（警戒レベルの判断指標の状況）によると病床占有率は97.0%、重症者用病床占有率は37.0%でした。詳細は添付資料をご確認ください。

3. 県の衛研より、県全体の発生状況（流行状況（日報））と関連資料（「沖縄県におけるCOVID-19発生状況0411」（保健所管轄別））が届いたのでお送りします（取り扱い注意をお願いします）。那覇市の流行状況を見ると、感染拡大期に若〜中壮年層を中心に会食を介して感染が広がる、その後高齢者層に感染が広がる、というパターンを繰り返しています。詳細は資料をご確認ください。

4. 沖縄県全域の医療フェーズが、患者増加に伴う医療体制ひっ迫を受けて4月20日にフェーズ5と最高段階まで引き上げられました。

流行のピークを迎えた可能性があるものの、引き続き本島全域+宮古を中心に感染が蔓延しています。県内の医療体制がひっ迫しており、通常重症者のピークは流行のピークのあと数週間経て出てくることから、今後医療崩壊に繋がらないか強く危惧されます。当市内だけでも、複数の医療機関、高齢者施設で同時多発的にクラスターが発生しています。

現在全庁各部から応援人員を投入して頂いているところですが、現行の体制では地域の感染拡大予防策の軸となる積極的疫学調査体制の維持が難しくなり、当分の間積極的疫学調査を縮小しています。具体的には、変異ウイルスが確認されていない医療機関、高齢者施設又はクラスターが発生した事業所以外の職場調査を一時中止しています（庁内を含む）。なお、職場調査が実施できない事業所向けにリーフレットを作成しております。ホームページからもダウンロードできます。ご参照いただき、各委員が所属する部署で感染者が発生したり、外部から問い合わせがあっ

た際には担当者へご紹介頂けましたら幸いです。

<https://www.city.naha.okinawa.jp/nahahokenjyo/kansensyoushou/jigyousyohenoirai.html>

ご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

第 335 報：第 4 波ピーク過ぎの兆し

送信日時: 2021年4月23日金曜日 17:21

件名: ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第336報-所内第347報）

添付ファイル: COVID-19エピカーブ2021Apr22.pdf; 0422_流行状況(日報).pdf; 警戒レベルの判断指標の状況.pdf; 【資料10】1200「まん延防止等重点措置」指定に伴う沖縄県対処方針について.pdf

(冒頭定型文のため省略)

4月23日(金) 17時現在 ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 本日、新規陽性者は85名となっております(行政検査 19名、保険診療検査 66名)。うち那覇市保健所対応事例は22例となります。

2. 県からの提供して頂いた資料(警戒レベルの判断指標の状況)によると病床占有率は98.3%、重症者用病床占有率は38.5%でした。詳細は添付資料をご確認ください。

3. 新型コロナ新規感染者数の4月22日時点の月報をお送りします(COVID-19エピカーブ2021Apr22)。4月22日までの時点の数字ですが(=4月分総数は4/23-30の8日分がさらに追加される)、沖縄県と那覇市とも既に過去最多となっており、最終的に4月だけで沖縄県全体の新規感染者数は3,000人を超える見込みです。日報と週報では分かりづらいですが、第4波は、緊急事態宣言を出した第3波よりもかなり大きく、医療体制への負荷もそれだけ大きいことがお分かりいただけると思います。

4. 県の衛研より、県全体の発生状況(流行状況(日報))が届いたのでお送りします(取り扱い注意をお願いします)。直近1週間の検査陽性率が引き続き6%台と高止まりして推移しています。発症日別の流行曲線を見ると、流行のピークを迎えた可能性があります。

5. 防災危機管理課から情報共有があったとおり、昨日臨時に開催された県新型コロナウイルス感染症対策本部会議において、宮古島市における流行状況等を踏まえ、まん延防止等重点措置区域に宮古島市が追加されました。当市も引き続きまん延防止等重点措置区域に指定されており、感染対策に取り組むことが要請されている。詳細は資料をご確認下さい(報道機関公表は19:30予定されており、それまでは取り扱い注意をお願いします)。

流行のピークを迎えた可能性があるものの、引き続き本島全域+宮古を中心に感染が蔓延しています。県内の医療体制がひっ迫しており、通常重症者のピークは流行のピークのあと数週間経て出てくることから、今後医療崩壊に繋がらないか危惧されます。また、当市内だけでも、連日複数の医療機関、高齢者施設の利用者やスタッフから感染者が確認され、今後クラスター発生に繋がる可能性があります。今後の流行状況に注意が必要です。

地域の流行抑制には、感染拡大予防策の軸となる積極的疫学調査をしっかりと実施できるかどうか一つの鍵となります。現在、当市では感染者の急増に伴う現地対策本部のひっ迫状況を受けて積極的疫学調査を縮小しているところですが、4/26の新規陽性者分から職場調査を再開する方針となりました。関係者の皆様には、ご理解ならびに多大なるお力添え頂き誠にありがとうございました。

第 342 報：第 4 波ピーク過ぎ

送信日時: 2021年5月6日木曜日 15:27

件名: ★★★★★第4段階: 感染まん延期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症 (庁内第342報=所内第353報)
添付ファイル: 0505_ 流行状況 (日報) .pdf; 週報第17週.zip; COVID-19エピカーブ2021w17.pdf

(冒頭定型文のため省略)

5月6日 (木) 15時現在 ★★★★★第4段階: 県内感染まん延期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 本日、新規陽性者は39名となっております (行政検査 8名、保険診療検査 31名、検査事業 0名)。うち那覇市保健所対応事例は14例となります。
2. 沖縄covid19 update-mini を添付します。
パスワードはありません。
3. 県の新型コロナ週報が届きました。
那覇市保健所管内の感染者の減少スピードが鈍っているようです。
連休明けのリバウンドが心配されます。
4. 沖縄県と那覇市の日報、週報、月報を添付します。
4月の感染者は3000人を超えると見込んでいましたが、ぎりぎり超えませんでした。
しかし、過去最多の月となっています。

第 335 報 : 第 4 波小康

送信日時: 2021年5月10日月曜日 20:04

件名: ★★★★★第4段階: 感染まん延期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症 (庁内第344報=所内第355報)

添付ファイル: 0510警戒レベルの判断指標の状況.pdf; 18w_流行状況(保健所管内別直近5週).pdf; 0510(18週)_N501Y検査実施状況【衛研】.pdf; ★患者療養情報まとめ.pdf; 18w_流行状況(週報).pdf; 0510_流行状況(日報).pdf; 0510 沖縄covid-19_update-132.pdf; COVID-19エピカーブ2021w18.pdf; 01 各市町村向け通知.pdf; 0510【最終】0509「まん延防止等重点措置」指定に伴う沖縄県対応方針について.pdf

(冒頭定型文のため省略)

5月10日 (月) 19時現在 ★★★★★第4段階: 感染まん延期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 本日、新規陽性者は36名となっております (行政検査 13名、保険診療検査 23名)。うち那覇市保健所対応事例は9例となります (いずれも県コロナ本部からのデータを元に集計した暫定値であることにご留意下さい)。
2. 県からの提供して頂いた資料 (警戒レベルの判断指標の状況) によると病床占有率は89.5%、重症者用病床占有率は41.7%といずれの数値も悪化しています。詳細は添付資料をご確認ください。
3. 県の衛研より、県全体の疫学情報のまとめ状況 (Update、流行状況 (日報・週報)) と関連資料が届いたのでお送りします (取り扱い注意でお願いします)。詳細は添付資料をご確認ください。
4. 沖縄県と那覇市の週報グラフを添付します (COVID-19エピカーブ)。第18週の新規感染者は県では微減、那覇市は増加となっています。那覇市の増加は大型連休に関連する増加と思われます。
5. 那覇市危機管理対策本部 事務局 (防災危機管理課) からアナウンスがあった通り、那覇市を含む県内15市町が適応地域とされている「まん延防止等重点措置」の実施地域に石垣市が追加 (15→16市町) され、実施期間が今月いっぱいまで延長されました。県対応方針も一部変更さ

れております。詳細は添付資料をご確認ください。

流行のピークを迎えた可能性があるものの、本島中南部+宮古・石垣地域を中心に感染が蔓延しています。さらに、県内の流行が沈静化する前に、GW中に緊急事態宣言の対象となっている都府県を含め流行地から人が流入したこと、また県内でも人の活動性が高まったことが想定されること、県内における変異ウイルスの検出割合が増加していること等から、5月中旬以降の県内における流行への影響が懸念されます。実際、那覇市を含む県内全域で20 - 30歳代の感染者の割合が増加、当所が実施する積極的疫学調査からは歓楽街で感染したことが疑われる感染者の割合が増加しています。また、医療機関や高齢者施設の利用・入所者、スタッフから複数の感染者が確認されており、今後同時多発的にクラスターが発生する懸念があります。

医療機関の負荷は一時期よりは改善しているものの、確保済の病床に対する占有率は依然80%を超えており、負荷が下がりきる前に流行の再燃があると医療体制が一気にひっ迫する懸念があります。

地域の流行抑制には、感染拡大予防策の軸となる積極的疫学調査をしっかりと実施できるかどうかの一つの鍵となります。これまで全庁体制として各部から応援人員を投入して頂いているところですが、流行が再燃した際には、改めて各部へ応援をお願いすることもあるかと思っております、引き続きご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

第 350 報：第 4 波再拡大

送信日時: 2021年5月18日火曜日 15:50

件名: ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第350報=所内第361報）

添付ファイル: 0517 沖縄 covid-19_update-133.pdf; 0517_流行状況(日報).pdf; 0516(19週)_N501Y検査実施状況【衛研】.pdf; 19w_流行状況(保健所管内別直近5週).pdf; 19w_流行状況(週報).pdf; ★患者療養情報まとめ.pdf; 0518警戒レベルの判断指標の状況.pdf; 沖縄県現状と解説20210518.pdf

(冒頭定型文のため省略)

5月18日(火) 15時現在 ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 本日、新規陽性者は168名となっております(行政検査 20名、保険診療検査 148名)。うち那覇市保健所対応事例は64例となります(いずれも県コロナ本部からのデータを元に集計した暫定値であることにご留意下さい)。

2. 県からの提供して頂いた資料(警戒レベルの判断指標の状況)によると病床占有率は93.9%、重症者用病床占有率は35.7%でした。詳細は添付資料をご確認ください。

3. 県の衛研より、県全体の疫学情報のまとめ状況(update、流行状況(日報・週報)、患者療養情報まとめ、N501Y検査実施状況)が届いたのでお送りします(取り扱い注意でお願いします)。感染の拡大を受け、特に中等症患者の絶対数が増加しています。感染拡大自体の影響に加えて、県衛研で実施したスクリーニングのデータから、重症化率が従来ウイルスに比して高いと言われている変異ウイルスが県内各地で置き換わりが進んでいることが伺え、こちらが影響している懸念があります。未だ活動が一般的に活動的と考えられる若 - 中壮年層の感染者割合が高いこと、直近1週間における検査陽性率が高止まりしていることなどから、引き続き感染拡大の局面にいると懸念されます。詳細は添付資料をご確認ください。

4. 沖縄県疫学・統計解析委員会から資料と【現状】と【推定】と【解説】をいただきました。取扱注意でお願いいたします。

===(引用開始)===

(略)

===(引用終了)===

GWを契機に流行が再燃、感染が拡大局面に入っている懸念があります。引き続き宮古・石垣地域を含む全県で感染が蔓延しています。当市において、複数の入所型高齢者施設でクラスターが発

生しています。重症化リスクの高い高齢者層へ感染がさらに拡大すると、県内の医療体制が一気にひっ迫する懸念があります。

地域の流行抑制には、感染拡大予防策の軸となる積極的疫学調査をしっかりと実施できるかどうかの一つの鍵となりますが、流行の再燃に伴い積極的疫学調査の体制がひっ迫し調査を十全に実施することが困難になってきていることから、断腸の思いですが一部調査を縮小して対応しています。これまで全庁体制として各部から応援人員を投入して頂いているところですが、改めて各部へ応援をお願いすることもあるかと思いますが、引き続きご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

第350報：県の医療非常事態宣言

送信日時： 2021年5月21日金曜日 16:37

件名： ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第352報=所内第363報）

添付ファイル： 0521警戒レベルの判断指標の状況.pdf; 0520_流行状況(日報).pdf; モニタリング0520(非公表用).pdf; 市町村モニタリング0519非公表.pdf

（冒頭定型文のため省略）

5月21日（金）16時現在 ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 本日、新規陽性者は207名となっております（行政検査 28名、保険診療検査 179名）。うち那覇市保健所対応事例は63例となります（いずれも県コロナ本部からのデータを元に集計した暫定値であることにご留意下さい）。

2. 県からの提供して頂いた資料（警戒レベルの判断指標の状況）によると病床占有率は96.6%、重症者用病床占有率は42.9%でした。詳細は添付資料をご確認ください。

3. 県の衛研より、県全体の疫学情報のまとめ状況（流行状況（日報））が届いたのでお送りします（取り扱い注意をお願いします）。未だ一般的に活動的と考えられる若 - 中壮年層の感染者割合が高いこと、直近一週間における検査実施件数は増加している一方で、平均の新規PCR検査の陽性率が7.9%とさらに悪化、とうとう第4段階（感染まん延期）の基準を超え、感染が引き続き拡大局面にあることが懸念されます。詳細は添付資料をご確認ください。

4. 県コロナ本部の集計によると当県における直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数は68.6人と北海道（73.2）について全国2番目に悪いデータとなります。さらに市町村別で同じデータを見ると、当市のデータは106人と北海道のデータを大きく超える流行状況となっております。参考までに医療崩壊が叫ばれていたGW中の大阪府におけるデータは89（4/28県集計データ）でした。詳細は添付資料をご確認ください（取り扱い注意をお願いします）。

5. 県内の流行拡大を受けて、19日に県知事から沖縄県医療非常事態宣言が出されるとともに、報道によると本日開催された政府の基本的対処方針分科会において緊急事態宣言の対象となる都道府県として、今月23日から来月20日までの期間当県を追加することが了承されたようです。

GWを契機に県内の流行が再燃、拡大局面が続いている懸念があります。引き続き宮古・石垣地域を含む全県で感染が蔓延していますが、特に人口の多い県都である当市が県内のEpicenter（流行の中心）となっていると考えられます。

市内の入所型高齢者施設を含む複数の事業所でクラスターが発生しています。連日確保済病床の占有率が95%を超える状況が持続し、医療体制のひっ迫が継続しています。管内の入所型高齢者施設内で、感染が確認された入所者の受け入れ病床の調整がつかず、県や市の支援のもとで施設内で療養する事例が確認されています。今後、流行が抑制できない状態が続くと、本土の一部で確認されているような医療崩壊と呼ばれる事態が県内で発生する懸念があります。

地域の流行抑制には、感染拡大予防策の軸となる積極的疫学調査をしっかりと実施できるかどうかの一つの鍵となりますが、流行の再燃に伴い積極的疫学調査の体制がひっ迫し調査を十全に実施することが困難になってきていることから、断腸の思いですが積極的疫学調査をさらに縮小することとなりました。具体的には、他保健所からの依頼を含め医療機関、高齢者施設又はクラス

ター発生事業所以外の職場調査を一時休止することとなります（庁内を含む）。なお、職場調査が実施できない事業所向けにリーフレットを作成し、市のHPからダウンロード可能となっております。

<https://www.city.naha.okinawa.jp/nahahokenjyo/kansensyou/jigyousyohenoirai.html>

ご参照いただき、各委員が所属する部署で感染者が発生したり、外部から問い合わせがあった際には担当者様へご紹介頂けましたら幸いです。

第353報：第4波2回目のピークへ

送信日時： 2021年5月24日月曜日 19:59

件名： ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第353報=所内第364報）

添付ファイル： 0524警戒レベルの判断指標の状況.pdf; COVID-19エピカーブ2021w20.pdf; モニタリング0523(非公表用).pdf; 市町村モニタリング0520非公表.pdf; 別添1 沖縄県緊急事態措置に伴う対処方針.pdf; O1 市町村本部通知 (1).pdf; 20210521_那覇市保健所_事業所等で新型コロナウイルス感染症の確定例が出た場合の対応について .pdf

5月24日（月）19時現在 ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 本日、新規陽性者は104名となっております（行政検査 12名、保険診療検査 92名）。うち那覇市保健所対応事例は42例となります（いずれも県コロナ本部からのデータを元に集計した暫定値であることにご留意下さい）。

2. 県からの提供して頂いた資料（“警戒レベルの判断指標の状況”）によると病床占有率は83.4%、重症者用病床占有率は50%でした。直近1週間平均の新規PCR検査陽性率は8.4%と引き続き極めて高い水準で高止まりしています。詳細は添付資料をご確認ください。

3. 沖縄県と那覇市の週報グラフを添付します（COVID-19エピカーブ）。疫学第20週における新規感染者は県全体、那覇市いずれも急増、過去最多の数字となっております。

4. 県コロナ本部の集計によると当県における直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数は83.8人と北海道（79.1）を超えて全国で最悪の流行状況となります（モニタリング0523(非公表用)）。さらに市町村別で同じデータをみると、当市のデータは110.4人と離島を除くと県内で自治体で最も流行しているデータとなっております（“市町村モニタリング0520非公表”）。参考までに医療崩壊が叫ばれていたGW中の大阪府におけるデータは89（4/28県集計データ）でした。詳細は添付資料をご確認ください（取り扱い注意をお願いします）。

5. 防災危機管理課からのアナウンスにあった通り、本日から国による緊急事態措置対象区域に当県が追加されたことを踏まえ沖縄県対処方針が示されました（O1 市町村本部通知、別添1 沖縄県緊急事態措置に伴う対処方針）。当市においても、明日那覇市危機管理対策本部会議の開催が予定されています。

GWを契機に県内の流行が再燃、引き続き宮古・石垣地域を含む全県で感染が蔓延しています。特に人口の多い県都である当市が県内のEpicenter（流行の中心）となっていると考えられます。

市内の入所型高齢者施設を含む複数の事業所でクラスターが発生しています。医療体制のひっ迫が続き、管内の入所型高齢者施設内で、感染が確認された入所者の受け入れ病床の調整がつかず、県や市の支援のもとで施設内で療養する事例が確認されています。今後、流行が抑制できない状態が続くと、本土の一部で確認されているような医療崩壊と呼ばれる事態が県内で発生する懸念があります。自らの健康は命はもちろん、身の回りの方々、そして公共財である医療を守るため、一人一人の行動が重要です。不要不急の外出や移動は控えて頂き、人と接する際にはマスクを着用してヒトとヒトとの間隔を確保（できれば2m、最低1m）、密閉空間を避ける、といった基本的な対策の徹底をお願いします。

地域の流行抑制には、感染拡大予防策の軸となる積極的疫学調査をしっかりと実施できるかどうかの一つの鍵となりますが、流行の再燃に伴い積極的疫学調査の体制がひっ迫し調査を十全に実

施することが困難になってきていることから、積極的疫学調査を一部休止しています。具体的には、他保健所からの依頼を含め医療機関、高齢者施設又はクラスター発生事業所以外の職場調査を一時休止することとなります（庁内を含む）。なお、職場調査が実施できない事業所向けにリーフレットを作成し、市のHPからもダウンロード可能となっております（「事業所等で新型コロナウイルス感染症の確定例が出た場合の対応について」）。

<https://www.city.naha.okinawa.jp/nahahokenjyo/kansensyou/jigyousyohenoirai.html>

ご参照いただき、各委員が所属する部署で感染者が発生したり、外部から問い合わせがあった際には担当者様へご紹介頂ければ幸いです。

第357報：第4波2回目のピーク

送信日時： 2021年5月31日月曜日 18:43

件名： ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第357報-所内第368報）

添付ファイル： 0531警戒レベルの判断指標の状況.pdf: COVID-19エピカーブ2021w21.pdf

5月31日（火）18時現在 ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 本日、新規陽性者は142名となっております（行政検査 24名、保険診療検査 92名、検査事業 26名）。うち那覇市保健所対応事例は55例となります（いずれも県コロナ本部からのデータを元に集計した暫定値であることにご留意下さい）。

2. 県からの提供して頂いた資料（「警戒レベルの判断指標の状況」）によると病床占有率は95.6%、重症者用病床占有率は43.3%でした。詳細は添付資料をご確認ください。

3. 沖縄県と那覇市の週報と月報（5/30まで）を添付します。今回から今週前週比のグラフも添付します。実効再生産数の代替指標とお考え下さい。今週前週比が1より小さくなれば収束に向かうとお考え下さい。第21週は過去最多で、記録的な数字です。5月も30日までで記録的な数字となっております。減少傾向にありますが、まだ1以上です。

GWを契機に県内の流行が再燃、引き続き宮古・石垣地域を含む全県で感染が蔓延しています。特に人口の多い県都である当市が県内のEpicenter（流行の中心）となっていると考えられます。

市内の複数の保育園、学校、高齢者施設など様々な事業所で大きなクラスターが複数発生しています。医療体制のひっ迫が続き、管内の入所型高齢者施設内で、感染が確認された入所者の受け入れ病床の調整がつかず、県や市の支援のもとで施設内で療養する事例が確認されています。自らの健康は命はもちろん、身の回りの方々、そして公共財である医療を守るため、一人一人の行動が重要となります。不要不急の外出や移動は控えて頂き、人と接する際にはマスクを着用してヒトとヒトとの間隔を確保（できれば2m、最低1m）、密閉空間を避ける、といった基本的な対策の徹底をお願いします。

地域の流行抑制には、感染拡大予防策の軸となる積極的疫学調査をしっかりと実施できるかが一つの鍵となりますが、流行の再燃に伴い積極的疫学調査の体制がひっ迫し、医療機関からの届け出であっても感染者やその濃厚接触者に対応するのに数日要し、家族内感染を含め積極的疫学調査による感染のリンクを効果的に絶ち切れることが難しくなっています。

引き続き保健所業務のひっ迫を受け積極的疫学調査を一部休止しています。具体的には、他保健所からの依頼を含め医療機関、高齢者施設又はクラスター発生事業所以外の職場調査を一時休止しています（庁内を含む）。なお、職場調査が実施できない事業所向けにリーフレットを作成し、市のHPからもダウンロード可能となっております（「事業所等で新型コロナウイルス感染症の確定例が出た場合の対応について」）。

<https://www.city.naha.okinawa.jp/nahahokenjyo/kansensyou/jigyousyohenoirai.html>

ご参照いただき、各委員が所属する部署で感染者が発生したり、外部から問い合わせがあった際

には担当者様へご紹介頂けましたら幸いです。

第 364 報：第 4 波 2 回目のピーク過ぎへ

送信日時: 2021年6月11日金曜日 16:38

件名: ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第364報-所内第375報）

添付ファイル: 0611警戒レベルの判断指標の状況.pdf; 0610_流行状況(日報).pdf

6月11日（金）16時現在 ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 本日、新規陽性者は145名となっております（行政検査 18名、保険診療検査 108名、検査事業 19名）。うち那覇市保健所対応事例は34例となります（いずれも県コロナ本部からのデータを元に集計した暫定値であることにご留意下さい）。

2. 県からの提供して頂いた資料（“警戒レベルの判断指標の状況”）によると病床占有率は89.9%、重症者用病床占有率は47.1%でした。詳細は添付資料をご確認ください。

3. 県の衛研より、県全体の疫学情報のまとめ状況（流行状況（日報））が届いたのでお送りします（取り扱い注意をお願いします）。依然全県で第4段階のレベルではありますが、直近1週間人口10万人あたりの報告数をみると、県全体で減少傾向がはっきりと出てきました。依然第4段階レベル（7%以上）ではあるものの、直近一週間の検査陽性率も低下傾向を示しています。詳細は添付資料をご確認ください。

那覇市を含め県内の医療機関からの届出数が減少傾向にありますが、依然県内全域で感染が蔓延しています。当市では、人流の抑制により一般的に活動的とされている若・中壮年層の届け出数、割合が共に低下している一方で、60歳以上の年齢層の届け出数が横ばいまたは増加、今後重症化リスクの高い方が集団で生活されている高齢者施設などでさらに感染が広がることが懸念されます。

引き続き県全体の医療体制がひっ迫しています。管内の入所型高齢者施設内で、感染が確認された入所者の受け入れ病床の調整がつかず、県や市の支援のもとで施設内で療養する事例が複数確認されています。自らの健康は命はもちろん、身の回りの方々、そして公共財である医療を守るため、一人一人の行動が重要となります。不要不急の外出や移動は控えて頂き、人と接する際にはマスクを着用してヒトとヒトとの間隔を確保（できれば2m、最低1m）、密閉空間を避ける、といった基本的な対策の徹底をお願いします。

引き続き保健所業務のひっ迫を受け積極的疫学調査を一部休止しています。具体的には、他保健所からの依頼を含め医療機関、高齢者施設又はクラスター発生事業所以外の職場調査を一時休止しています（庁内を含む）。なお、職場調査が実施できない事業所向けにリーフレットを作成し、市のHPからもダウンロード可能となっております（“事業所等で新型コロナウイルス感染症の確定例が出た場合の対応について”）。

<https://www.city.naha.okinawa.jp/nahahokenjyo/kansensyou/jigyousyohenoirai.html>

ご参照いただき、各委員が所属する部署で感染者が発生したり、外部から問い合わせがあった際には担当者様へご紹介頂けましたら幸いです。

第 366 報：δ 株への準備

送信日時: 2021年6月15日火曜日 16:05

件名: ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第366報-所内第377報）

添付ファイル: 0615警戒レベルの判断指標の状況.pdf; 0614沖縄 covid-19_update-137.pdf; 0614_流行状況(日報).pdf; 23w_流行状況(週報).pdf; 23w_流行状況(保健所管内別直近5週).pdf; 0614(23週)_N501Y_L452R検査実施状況【衛研】.pdf;

★患者療養情報まとめ.pdf

(冒頭定型文のため省略)

6月15日(火) 16時現在 ★★★第4段階：感染まん延期★★★★ 健康危機レベル4

1. 本日、新規陽性者は107名となっております(行政検査 6名、保険診療検査 83名、検査事業 18名)。うち那覇市保健所対応事例は25例となります(いずれも県コロナ本部からのデータを元に集計した暫定値であることにご留意下さい)。

2. 県からの提供して頂いた資料(“警戒レベルの判断指標の状況”)によると病床占有率は89.0%、重症者用病床占有率は57.6%でした。詳細は添付資料をご確認ください。

3. 県の衛研より、県全体の疫学情報のまとめ状況(update、流行状況(日報・週報)、患者療養情報まとめ、N501Y検査実施状況)が届いたのでお送りします(取り扱い注意をお願いします)。右肩上がり増加していた中等症以上の患者数がようやくピークを迎えたようです。ただし、明確に減少傾向を転じておらず今後の推移に注意が必要です。県内で検出されるウイルスがほぼアルファ株(通称イギリス型)に置き換わっていることを受けて、県内でも6月からアルファに代わり流入が懸念されるデルタ株(通称インド型)のスクリーニング検査が開始となりました。6月14日現在県内でデルタは検出されていません。詳細は添付資料をご確認ください。

4. 沖縄県疫学・統計解析委員会から資料と【現状】と【推定】と【解説】をいただきました。取扱注意をお願いいたします。

===(引用開始)===

(略)

===(引用終了)===

県内医療機関からの届出数が北部保健所管内を除いて全県的に減少傾向にあるものの、依然県内全域で感染が蔓延しています。

引き続き県全体の医療体制がひっ迫しています。

新たに管内の入所型高齢者施設内で、クラスターが発生し、感染が確認された入所者の受け入れ病床の調整がつかず、県や市の支援のもとで施設内で療養する事例が確認されています。自らの健康は命はもちろん、身の回りの方々、そして公共財である医療を守るため、一人一人の行動が重要となります。不要不急の外出や移動は控えて頂き、人と接する際にはマスクを着用してヒトとヒトとの間隔を確保(できれば2m、最低1m)、密閉空間を避ける、といった基本的な対策の徹底をお願いします。

当所の積極的疫学調査では、歓楽街等での会食を介して感染したと考えられる事例が増加している印象です。減少傾向にあるとはいえ、依然全国ワースト1位の感染症状であり、県の要請にあるとおり、模合、ビーチパーティ等飲食に繋がるイベント等は自粛頂き、同居家族以外との会食等は慎重をお願いします。

引き続き保健所業務のひっ迫を受け積極的疫学調査を一部休止しています。具体的には、他保健所からの依頼を含め医療機関、高齢者施設又はクラスター発生事業所以外の職場調査を一時休止しています(庁内を含む)。なお、職場調査が実施できない事業所向けにリーフレットを作成し、市のHPからもダウンロード可能となっております(“事業所等で新型コロナウイルス感染症の確定例が出た場合の対応について”)。

<https://www.city.naha.okinawa.jp/nahahokenjyo/kansensyou/jigyousyohenoirai.html>

ご参照いただき、各委員が所属する部署で感染者が発生したり、外部から問い合わせがあった際には担当者様へご紹介頂けましたら幸いです。

第371報：δ株初検出

送信日時：2021年6月22日火曜日 16:09

件名: ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第371報-
所内第381報）
添付ファイル: 0622 警戒レベルの判断指標の状況.pdf; 沖縄県現状と解説
20210622.pptx

（冒頭定型文のため省略）

6月22日（火）16時現在 ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 本日、新規陽性者は98名となっております（行政検査 13名、保険診療検査 79名、検査事業 6名）。うち那覇市保健所対応事例は16例となります（いずれも県コロナ本部からのデータを元に集計した暫定値であることにご留意下さい）。

2. 県からの提供して頂いた資料（“警戒レベルの判断指標の状況”）によると病床占有率は77.5%、重症者用病床占有率は37.5%でした。詳細は添付資料をご確認ください。

3. 沖縄県疫学・統計解析委員会から資料と【現状】と【推定】と【解説】をいただきました。データは確定日ベースですので、定期的にお送りしていますエピカーブ（公表日ベース）の数値とは異なること、ご注意ください。取扱注意をお願いいたします。

===(引用開始)===

（略）

===(引用開始)===

4. 未公表データのため取り扱い注意の情報となりますが、県衛研のスクリーニング検査にて従来の新型コロナウイルスに比べ感染力およびワクチンの効果が低下する可能性が指摘されているデルタ株（通称インド株）が検出されました（2事例、1例は那覇市内の医療機関に入院中）。事例間のつながりを含め、患者所在地の保健所により詳しい疫学調査が行われることとなります。

県内医療機関からの届出数が全県的に減少傾向にあるものの、依然県内全域で感染が蔓延しています。感染が沈静化しないレベルで警戒を解除し、リスクのある活動が増加すると流行が再燃する懸念があり、引き続き注意が必要です。県の要請にあるとおり、模合、ビーチパーティ等飲食に繋がるイベント等は自粛頂き、同居家族以外との会食等は慎重にお願いします。また、不要不急の外出や移動は控えて頂き、人と接する際にはマスクを着用してヒトとヒトとの間隔を確保（できれば2m、最低1m）、密閉空間を避ける、といった基本的な対策の徹底をお願いします。

第 375 報：第 4 波収束期

送信日時: 2021年7月2日金曜日 15:04

件名: ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第375報-
所内第386報）

添付ファイル: 0630_流行状況(日報).pdf; 0701_流行状況(日報).pdf; 0702警戒レベルの
判断指標の状況.pdf

（冒頭定型文のため省略）

7月2日（金）15時現在 ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 本日、新規陽性者は61名となっております（行政検査 11名、保険診療検査 44名、検査事業 6名）。うち那覇市保健所対応事例は16例となります（いずれも県コロナ本部からのデータを元に集計した暫定値であることにご留意下さい）。

2. 県からの提供して頂いた資料（“警戒レベルの判断指標の状況”）によると病床占有率は61.3%と第2段階（流行警戒期）のレベルまで改善しました。重症者用病床占有率は40.0%（第3段階）でした。詳細は添付資料をご確認ください。

3. 県の衛研より、県全体の疫学情報のまとめ状況（流行状況（日報））が届いたのでお送りします（取り扱い注意をお願いします）。直近5週の年齢層別報告数の推移をみると、一般的に活動性が高く、地域流行早期探知の指標の1つと考えられる20代から40代の報告数が6月中旬以降下げ

止まっていることが伺えます。

4. 一昨日(6/30)開催された厚生労働省アドバイザリーボードの資料によると、主要繁華街(那覇市の国際通りと石垣市の三崎町のデータを集計)における時間帯別繁華街滞留人口の推移をみると、6月中旬以降夜間の滞留人口が継続して増加し、すでに緊急事態宣言発令前の水準に戻りつつあり、リバウンドの懸念が指摘されています。

県内医療機関からの届出数が高い水準で下げ止まり、依然本島中南部で感染が蔓延しています。

継続的に従来株に比して感染性および重症化率が高い可能性が指摘されるデルタ株スクリーニング検査陽性の事例が県内で確認されており、一部県内での感染と考えられる事例も確認されています。今後県内で置き換わりが進むことが懸念されます。

患者の発生動向および夜間の対流人口の推移から、リバウンドが懸念されます。特に、医療体制に余裕がない中で流行が再燃すると、社会的にインパクトの大きい緊急事態宣言解除のタイミング等に影響を及ぼす恐れがあり、引き続き注意が必要です。県の実情にあわせて、模合、ビーチパーティ等飲食に繋がるイベント等は自粛頂き、同居家族以外との会食等は慎重にお願いします。また、不要不急の外出や移動は控えて頂き、人と接する際にはお互いにマスクを着用し、ヒトとヒトとの間隔を確保(できれば2m、最低1m)、密閉空間を避ける(複数の窓や扉を常時10-20cm程度開放するなどして)、といった基本的な対策の徹底をお願いします。

第371報：8株増加

送信日時: 2021年7月14日水曜日 17:40

件名: ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症(庁内第382報=所内第393報)

添付ファイル: 0713_流行状況(日報).pdf; 0714警戒レベルの判断指標の状況.pdf; 0714_流行状況(日報).pdf

(冒頭定型文のため省略)

7月14日(水)時現在 ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 本日、新規陽性者は83名となっております(行政検査 8名、保険診療検査 62名、検査事業 13名)。うち那覇市保健所対応事例は25例となります(いずれも県コロナ本部からのデータを元に集計した暫定値であることにご留意下さい)。

2. 県からの提供して頂いた資料(“警戒レベルの判断指標の状況”)によると病床占有率は46.7%(第2段階)、重症者用病床占有率は37.0%(第3段階)でした。直近一週間合計の新規感染者数は360人と依然第4段階の高い水準で推移しています。詳細は添付資料をご確認ください。

3. 県の衛研より、県全体の疫学情報のまとめ状況(流行状況(日報))が届いたのでお送りします(取り扱い注意をお願いします)。発症日別の流行曲線を見ると、5月下旬から減少傾向を続けていましたが、下げ止まった可能性があります。年齢別報告数をみると、一般的に活動性が高いと考えられる20代から40代の感染者数が減少から増加もしくは横ばいに転じており、特に本島中南部および宮古圏域でこの年齢層の感染者数が目立ちます。詳細は添付資料をご確認ください。

4. 昨日県の衛研で実施されたL452R変異株スクリーニング検査にて新たに16例陽性が確認されました(陽性率: 16/64=25%、確定するためのシーケンス検査は今後実施、那覇市保健所分は含まれず、未公開情報のため取り扱い注意をお願いします)。宮古・北部保健所以外の圏域から検出されており、県内で急速にインド株が広がっている懸念があります。

5. 当所の積極的疫学調査にて、接待を伴う飲食店の利用や仕事、多人数での会食に関連して感染したと考えられる事例が急増しています。

1週間平均でみると県全体では県内医療機関からの届出数が減少しているものの、一昨日、昨日、今日と3日続けて患者数が横ばいから増加に転じています。県内の一部(北部・宮古)で感染者数が増加に転じています。今後、4連休や夏休みシーズンにかかる県外からの人の流入およびそれに

伴う県内での接触機会の増加することが見込まれることから、県内で流行のリバウンドが懸念されます。特に、県内で急速にインド株が広がっている懸念があり、今後の流行状況に注意が必要です。

県の要請にあるとおり、全都道府県（特に流行が急速に拡大している1都3県）との往来および模合、ビーチパーティ等飲食に繋がるイベント等は自粛をお願いします。また、同居家族以外との会食等は慎重をお願いします。不要不急の外出や移動は控えて頂き、人と接する際にはお互いにマスクを着用し、ヒトとヒトとの間隔を確保（できれば2m、最低1m）、密閉空間を避ける（複数の窓や扉を常時10-20cm程度開放するなどして）、といった基本的な対策の徹底をお願いします。

第385報：第5波の兆し

送信日時： 2021年7月20日火曜日 8:18

件名： ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第385報=所内第396報）

（冒頭定型文のため省略）

7月20日（火）8時現在 ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 7月19日（月）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は48件でした。
このうち那覇市外在住者等が16名いらっしゃいます。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は104名となっています。
昨日の県の公式発表35名は主に18日分の新規陽性者で、
上記の104名は県コロナ本部が昨日19日17時ころまでに集計した数字です。

なお、昨夕開催された病院長会議で、19時までに137名、
その後、さらに147名との報告がありました。
本日の公式発表は先週火曜日の65名を大きく上回る見込みです。
第5波の入り口から、感染急拡大の局面に入った懸念があります。

第388報：第5波入り

送信日時： 2021年7月23日金曜日 11:35

件名： ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第388報=所内第399報）

添付ファイル： 210722警戒レベルの判断指標の状況.pdf

（冒頭定型文のため省略）

7月23日（金）11時現在 ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 昨日（7/22）県が公表した新規陽性者は153名となっております（行政検査 12名、保険診療検査 120名、検査事業 21名）。うち那覇市保健所対応事例は35例となります（いずれも県コロナ本部からのデータを元に集計した暫定値であることに留意下さい）。

2. 県からの提供して頂いた資料（”警戒レベルの判断指標の状況”）によると、病床占有率は58.6%（第3段階）、重症者用病床占有率は16.7%（第2段階）でした。県内の感染状況の指標である直近一週間合計の新規感染者数は738人（参考までに一週間前の7/16は406人でした）、直近1週間のPCR検査陽性率も5.5%（第3段階、同7/16 3.5%）と引き続き高いレベルで推移しています。詳細は添付資料をご確認ください。

3. 当所の積極的疫学調査にて、接待を伴う飲食店の利用や仕事、多人数での会食に関連して感染したと考えられる事例が引き続き多数確認されております。

八重山を除く県内全域で流行が蔓延し、感染が拡大局面に入っていると考えられます。現在の感染状況は1-2週間前に感染が成立した方々を反映しているため、“最低” 今月いっぱいには感染の拡大局面が継続されると考えられます。

7/22に県コロナ対策本部にて特措法に基づく緊急事態措置に係る県の対処方針が変更され、7月末まで集中行動抑制期間が設定されましたが、緊急事態措置はあくまで流行抑制の手段であり、結果につなげるためには県民一人一人、各事業所の協力が欠かせないことは言うまでもありません。

夏休みを控え、何らかの理由で来沖する県外からの家族や知人を迎える機会があるかもしれません。予定が分かっている場合には、ぜひ渡航3日前を目安に出発前にPCR又は抗原検査を受けるよう呼び掛けをお願いします。ただし、PCR検査は能力の限界から検査を受けて頂けたとしてもすべての感染者を採知できる訳ではありません。同様にワクチン接種も、感染を100%感染を予防するものではありません。国内での集団免疫が成立し、地域全体の流行が沈静化するまでは、たとえワクチンを接種していても、エアコン下でも換気しっかりと行う、人と人の間隔を確保する、会話の際にはマスクを着用する、といった基本的な対策が重要となります。

県からの要請にあるとおり、全都道府県（特に流行が急速に拡大している1都3県）との往来および模合、ビーチパーティ等飲食に繋がるイベント等は自粛をお願いします。また、同居家族以外との会食等は自粛をお願いします。

不要不急の外出や移動は控えて頂き、人と接する際にはお互いにマスクを着用し、ヒトとヒトとの間隔を確保（できれば2m、最低1m）、密閉空間を避ける（複数の窓や扉を常時10-20cm程度開放するなどして）、といった基本的な対策の徹底をお願いします。

第 395 報：第 5 波急拡大

送信日時： 2021年8月4日水曜日 17:25

件名： ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第395報-所内第407報）

添付ファイル： 0804 警戒レベルの判断指標の状況.pdf; 沖縄県現状と解説20210803 (1).pptx; 20210728_厚生労働省アドバイザリーボード_西浦博資料.pdf

（冒頭定型文のため省略）

8月4日（水）17時現在 ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 本日県が公表した新規陽性者は602名となっております(行政検査 48名、保険診療検査 485名、検査事業 69名)。県の発表によると、うち居住地が那覇市保健所管内の事例は142例でした。

2. 県からの提供して頂いた資料（“警戒レベルの判断指標の状況”）によると、医療体制の指標である療養者数は3,497人（参考までに一週間前である7/28 1,726人）、病床占有率は74.6%（同7/28 68.5%）、重症者用病床占有率は33.3%（同7/28 15.0%）と医療体制のひっ迫が引き続き進んでいます。県内の感染状況の指標である直近一週間合計の新規感染者数は2,858人（同7/28 1,378人）、直近1週間のPCR検査陽性率は12.2%（同7/28 7.4%）と極めて高いレベルで推移し、地域での感染が蔓延していると考えられます。詳細は添付資料をご確認ください。

3. 沖縄県疫学・統計解析委員会から資料と【現状】と【推定】と【解説】をいただきました。データは確定日ベースですので、定期的にお送りしていますエピカーブ（公表日ベース）の数値とは異なること、ご注意ください。取扱注意をお願いいたします。

===(引用開始)===

（略）

===(引用終了)===

本島全域で流行が蔓延し、これまでにない規模で感染が引き続き拡大し、医療体制がひっ迫して

います。特に那覇市を含む本島中南部で感染が拡大、流行のEpicenter（流行の中心）になっていると考えられます。

沖縄本島（周辺離島を含む）における週あたりの実効再生産数(R)は2.43と、かつてないスピードで感染が拡大していますが、県内のデルタ株スクリーニング検査の結果によると、まだ半数は非デルタ株の感染であり、今後デルタ株による感染が県内でさらに進むことを考えると、県民一人一人の行動変容が大きく起きなければ、流行がますます大きくなると考えられます。県の推定によると、直近1週間の新規感染者数は2,800人強でしたが、来週の新規陽性者数は4,500-6,000人に上るとされています。参考までに先週厚生労働省のアドバイザリーボードで示された京都大学 西浦博先生の資料によると、当県で今週先週比（実効再生産数に近似）が1.7（赤線）で推移すると、今月末には県内だけで1日の新規感染者数が最大で3,000人に達することになります。

すでに医療体制がひっ迫している中で、このまま流行が抑制されなければ春の第4波時に大阪などで発生し、現在東京都で進行しつつある新型コロナウイルス感染症だけでなく通常の救急を含む医療を市民が受けられなくなる俗にいう医療崩壊という事態が当県でも発生する懸念があります。

各部から応援頂いた方々を含め現地対策本部職員一丸となって対応に当たっていますが、それでも急増する感染者の増加へ十分対応することが難しく、医療機関で新型コロナウイルス感染症と診断、保健所へ届け出られた市民への対応業務が日々積みあがり、外出自粛のお願いや家庭内での感染を予防するための情報提供、濃厚接触者への対応が当県でも徐々に遅れつつある状況です。

感染者急増に伴い保健所体制がひっ迫し、7/26から地域流行に対する対策の軸となる積極的疫学調査を一部縮小しています。具体的には、重症化リスクの高い方が利用する医療機関や高齢者施設・福祉施設とクラスター発生事業所以外の職場調査を一時休止しております。職場で確定例が出た場合の対応にかかる資料を以下URLのとおり保健所HPに掲載しております。各部署へお問い合わせがあった際に、ご紹介頂けると幸いです。

<https://www.city.naha.okinawa.jp/nahahokenjyo/kansensyou/jigyousyohenoirai.html>

報道でも大きく取り上げられているように、県内での感染拡大を受けて県、市町村、医療界、経済界の代表により、「沖縄県緊急共同メッセージ」が出され、すべての県民に対して①2週間の外出自粛、②帰省を含めた他道府県、離島との往来自粛、③ワクチン接種を積極的に接種することのお願い、が示されています。緊急事態宣言もそうですが、このメッセージもあくまで流行抑制の手段であり、結果につなげるためには県民一人一人、各事業所の協力が欠かせないことは言うまでもありません。

夏休みシーズンとなり、帰省などの理由で県外や離島からの家族や知人を迎えたり、ご自身が県外や離島へ渡航する機会があるかもしれませんが、できる限り控えて頂きますようお願いいたします。やむを得ず県外や離島からの家族や知人をお迎えする場合には、渡航3日前を目安に出発前のPCR検査又は抗原検査を受けるようご家族や知人の方に呼び掛けをし、また、ご自身が渡航することとなった場合には、同同様に出発前のPCR検査又は抗原検査を受けて頂きますようお願いいたします。

ご注意頂きたいのが、PCR検査は、検査結果が陰性であったとしても、その能力の限界からすべての感染者を探知できる訳ではないことです。渡航前の検査が陰性でも、先ほど述べた対策を徹底した上で、会食などマスクを外さざる得ないような接触は極力控えて頂くようお願いいたします。同様に、ワクチンも感染を100%予防するものではありません。当市でも、ワクチン接種を受けて安心したことで、感染対策にゆるみが出てしまい、感染した方が確認されています。既にワクチンを接種されていても、県内で広い年齢層でワクチン接種を希望する方々に接種が行き渡り、県内全体の流行が収束するまでは、基本的な感染対策を引き続き実施して頂きますようお願いいたします。

具体的には、人と接する際にはお互いにマスクを着用し、ヒトとヒトとの間隔をお互いが手を伸ばして届く程度まで間隔を確保、複数の窓や扉を常時10-20cm程度開放するなどして密閉空間を避けてください。そして、普段から体調管理に気をつけ、体調不良時には無理をせずに、出勤したり会合に参加したりせず、早めにかかりつけ医や県コールセンター（24時間対応・098-866-2129）にご相談ください。

本市保健所が実施する積極的疫学調査にて、連日同居家族以外の家族や知人等と会食を通して、感染した、もしくは感染させてしまった、という事例が確認されています。県からの要請にもあ

る通り、これから2週間は、たとえ感染対策を行い、屋外であっても、同居家族以外の方と集まることは控え、外出しないようお願いします。

ワクチン接種推進室から対象の市民の方々へ順次接種券が送付されています。ワクチンはゼロリスクではありませんが、発症を防ぎ、特に重症化を防ぐという点では大きなメリットがあることが様々な研究から示されています。地域でワクチン接種がさらに進むことで重症者が減り、医療機関の負担を減らすことが期待されます。前向きにワクチン接種をご検討頂ければと思います。

那覇市保健所 「新型コロナウイルスワクチン接種について」のサイト
https://www.city.naha.okinawa.jp/safety/corona_kanren/coronavaccine/koronawakuchin.html

第398報：医療崩壊の兆し・YouTube 動画配信

送信日時： 2021年8月11日水曜日 18:29

件名： ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第398報-所内第410報）

添付ファイル： 0811警戒レベルの判断指標の状況.pdf; 0810_流行状況(日報).pdf; COVID-19エビカーブ20210810県専門家会議用.pdf

（冒頭定型文のため省略）

8月11日（水）18時現在 ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 本日県が公表した新規陽性者は638名となっております（行政検査 72名、保険診療検査 521名、検査事業 45名）。県の発表によると、うち居住地が那覇市保健所管内の事例は122例でした。

2. 県からの提供して頂いた資料（「警戒レベルの判断指標の状況」）によると、医療体制の指標である療養者数は4,840人（参考までに一週間前である8/4 3,497人）、病床占有率は80.1%（同8/4 74.6%）、重症者用病床占有率は60.7%（同8/4 33.3%）と医療体制のひっ迫が引き続き進んでいます。県内の感染状況の指標である直近一週間合計の新規感染者数は3,637人（同8/4 2,858人）、直近1週間のPCR検査陽性率14.1は%（同8/4 12.2%）と過去最悪の値となり、地域での感染が蔓延していると考えられます。詳細は添付資料をご確認ください。

3. 沖縄県と那覇市の週報と月報、疫学集今週先週比、曜日毎(7日間)今週先週比を添付します(COVID-19エビカーブ)。曜日毎(7日間)今週先週比は実効再生産数の代替指標とされています。この数字が1未満にならない限り、新規感染者は増え続けます。ここ3週は、1.98、2.61、1.51と推移し、勢いは弱まっているものの未だ流行は収束局面には入っていません。月報をみると、8月は10日時点で既に4月を超えて過去最多となっております。

4. 県の衛研より、県全体の疫学情報のまとめ状況（流行状況（日報））が届いたのでお送りします（取り扱い注意をお願いします）。

日報にある発症日別の流行曲線を見ると、保健所によるデータ入力の一部追いついていないにも関わらず（確認中が757名）引き続き感染が拡大、すでに第4波のピークの2倍近い山となっておりますが、依然第5波のピークが確認できません。県全体の直近1週間における人口10万人当たり新規感染者数をみると、247.2とやや改善していますが、連休中、医療機関が休みとなり実施された検査数が低いことを反映しているためと考えられます。

保健所圏別、直近1週間の人口10万人当たり新規感染者数をみると、県内全域で感染が蔓延していますが、那覇市は292.7と中部保健所について高い値で推移しています。那覇市保健所管内における直近1週間における年齢別陽性者数をみると、引き続き20代が突出して多く、活動性の高い20-40代で6割強を占めています。

感染拡大のスピードは弱まっているものの依然県内の感染は拡大していると考えられ、県内全域で流行が蔓延し、医療体制がひっ迫しています。本来であれば入院が望ましい方も、受け入れ可能な病床がないため、自宅や施設、入院待機ステーションで療養を余儀なくされる方が県内でも多数出ています。保健所体制がひっ迫し、地域における感染対策の軸である積極的疫学調査が十

分行えておらず、本島中南部を中心に従来の株より感染伝播力が強いデルタ株の置き換わりがほぼ完了したつつあると考えられること等から、県内の流行が沈静化するまでには少なくとも数週間要すると考えられ、医療体制維持について厳しい局面が続くと考えられます。

県内での感染拡大を受けて8/1には県、市町村、医療界、経済界の代表により、「沖縄県緊急共同メッセージ」が出され、すべての県民に対して①2週間の外出自粛、②帰省を含めた他道府県、離島との往来自粛、③ワクチン接種を積極的に接種することのお願い、が示されています。緊急事態宣言もそうですが、このメッセージもあくまで流行抑制の手段であり、結果につなげるためには県民一人一人、各事業所の協力が欠かせないことは言うまでもありません。

夏休みシーズンとなり、帰省などの理由で県外や離島からの家族や知人を迎えたり、ご自身が県外や離島へ渡航する機会があるかもしれませんが、できる限り控えて頂きますようお願いいたします。やむを得ず県外や離島からの家族や知人をお迎えする場合には、渡航3日前を目安に出発前のPCR検査又は抗原検査を受けるようご家族や知人の方に呼び掛けをし、また、ご自身が渡航することとなった場合には、同様に出发前のPCR検査又は抗原検査を受けて頂きますようお願いいたします。

ご注意頂きたいのが、PCR検査は、検査結果が陰性であったとしても、その能力の限界からすべての感染者を探知できる訳ではないことです。渡航前の検査が陰性でも、先ほど述べた対策を徹底した上で、会食などマスクを外さざる得ないような接触は極力控えて頂くようお願いいたします。同様に、ワクチンも感染を100%予防するものではありません。当市でも、ワクチン接種を受けて安心したことで、感染対策にゆるみが出てしまい、感染した方が確認されています。既にワクチンを接種されていても、県内で広い年齢層でワクチン接種を希望する方々に接種が行き渡り、県内全体の流行が収束するまでは、基本的な感染対策を引き続き実施して頂きますようお願いいたします。

具体的には、人と接する際にはお互いにマスクを着用し、ヒトとヒトとの間隔をお互いが手を伸ばして届く程度まで間隔を確保、複数の窓や扉を常時10-20cm程度開放するなどして密閉空間を避けてください。マスクの種類は、飛沫防止予防効果の高い不織布マスクなどの活用が望ましいです。そして、普段から体調管理に気をつけ、体調不良時には無理をせずに、出勤したり会合に参加したりせず、早めにかかりつけ医や県コールセンター（24時間対応・098-866-2129）にご相談ください。

本市保健所が実施する積極的疫学調査にて、連日同居家族以外の家族や知人等と会食を通して、感染した、もしくは感染させてしまった、という事例が確認されています。県からの要請にもある通り、たとえ感染対策を行い、屋外であっても、同居家族以外の方と集まることは控え、外出しないようお願いします。

ワクチン接種推進室から対象の市民の方々へ順次接種券が送付されています。ワクチンはゼロリスクではありませんが、発症を防ぎ、特に重症化を防ぐという点では大きなメリットがあることが様々な研究から示されています。地域でワクチン接種がさらに進むことで重症者が減り、医療機関の負担を減らすことが期待されます。前向きにワクチン接種をご検討頂ければと思います。

那覇市保健所 「新型コロナウイルスワクチン接種について」のサイト

https://www.city.naha.okinawa.jp/safety/corona_kanren/coronavaccine/koronawakuchin.html

第 405 報：医療崩壊の入り口

送信日時： 2021年8月24日火曜日 16:23

件名： ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第405報=所内第417報）

添付ファイル： 0824警戒レベルの判断指標の状況.pdf; 33w_流行状況(保健所管内別直近5週).pdf; 0823_流行状況(日報).pdf; 0823沖縄covid-19_update-145.pdf; ★患者療養情報まとめ.pdf; 33w_流行状況(週報).pdf

那覇市新型コロナウイルス感染症対策本部支援部会委員の皆様
（冒頭定型文のため省略）

8月24日（火）16時現在 ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 本日県が公表した新規陽性者は750名となっております（行政検査 49名、保険診療検査 631名、検査事業 70名）。県の発表によると、うち居住地が那覇市保健所管内の事例は161例でした。

2. 県からの提供して頂いた資料（“警戒レベルの判断指標の状況”）によると、医療体制の指標である療養者数は6,484人（参考までに一週間前である8/17 5,746人）、病床占有率は83.3%（同 82.1%）、重症者用病床占有率は76.2%（同 51.5%）と県内の医療体制が引き続きひっ迫しています。県内の感染状況の指標である直近一週間合計の新規感染者数は4,566人（同 4,527人）、直近1週間のPCR検査陽性率は15.9%（同 18.1%）と引き続き極めて高い値で推移していますが、検査陽性率は徐々に改善してきました。詳細は添付資料をご確認ください。

3. 県の衛研より、県全体の疫学情報のまとめ状況（update、流行状況（日報・週報）、保健所管内別直近5週、患者療養情報まとめ、L452R変異検査実施状況）が届いたのでお送りします（取り扱い注意でお願いします）。

日報にある発症日別の流行曲線を見ると、保健所によるデータ入力追いついておらず（確認中が1,115名）ピークの評価が困難です。保健所圏別、直近1週間の人口10万人当たり新規感染者数をみると、県内全域で200を超え感染が猛烈な勢いで蔓延しています。県全体の直近1週間における人口10万人当たり新規感染者数は308.5、那覇市保健所管内では350.4ととうとう中部保健所管内を超え、本島内で最も流行している地域となっています。

週報にある確定週別の年代構成の推移を見ると、これまで感染拡大期には20代、30代の割合が増大、収束期には縮小するパターンをとっていますが、2週続けて20代、30代の割合が縮小しています。

保健所管内別直近5週の発生状況を見ると、県全体で一般的に活動性が高いと考えられている20 - 30代の感染者数がほぼ横ばいになっている一方で10歳未満、10代の感染者数が増加しています。

新型コロナウイルス感染症陽性者療養状況の推移を見ると、今回の第5波では中等症以上の入院患者が第4波のピークをすでに大きく超えて推移しています。この感染症は発症してから重症化するまで、7 - 14日程度の日数を要することから、今後さらに中等症以上の患者が増えることが見込まれ、“少なくとも”9月上旬までは医療体制がひっ迫した状況が続くこととなります。

===

県内全域で流行が蔓延し、医療体制がひっ迫、俗にいう医療崩壊の危機が迫っています。

各部から応援頂いた方々を含め現地対策本部職員一丸となって対応に当たっていますが、それでも急増する感染者の増加へ十分対応することが難しく、医療機関で新型コロナウイルス感染症と診断、保健所へ届け出られた市民への対応業務が日々積みあがり、外出自粛のお願いや家庭内での感染を予防するための情報提供、行政検査を含む濃厚接触者への対応など、地域における感染対策の軸となる積極的疫学調査が迅速に行えていない状況です。

県内での感染拡大を受けて8/1に県、市町村、医療界、経済界の代表により出された、「沖縄県緊急共同メッセージ」が8月末まで延長されました。緊急事態宣言もそうですが、このメッセージもあくまで流行抑制の手段であり、結果につなげるためには県民一人一人、各事業所の協力が欠かせないことは言うまでもありません。

夏休み中に帰省などの理由で県外や離島からの家族や知人を迎えたり、ご自身が県外や離島へ渡航する機会があるかもしれませんが、できる限り控えて頂きますようお願いいたします。やむを得ず県外や離島からの家族や知人をお迎えする場合には、渡航3日前を目安に出発前のPCR検査又は抗原検査を受けるようご家族や知人の方に呼び掛けをし、また、ご自身が渡航することとなった場合には、同様に出发前のPCR検査又は抗原検査を受けて頂きますようお願いいたします。

ご注意頂きたいのが、PCR検査は、検査結果が陰性であったとしても、その能力の限界からすべての感染者を探知できる訳ではないことです。渡航前の検査が陰性でも、先ほど述べた対策を徹底した上で、会食などマスクを外さざる得ないような接触は極力控えて頂くようお願いいたします。

同様に、ワクチンも感染を100%予防するものではありません。当市でも、ワクチン接種を受けて安心したことで、感染対策にゆるみが出てしまい、感染した方が確認されています。既にワクチンを接種されていても、県内で広い年齢層でワクチン接種を希望する方々に接種が行き渡り、県内全体の流行が収束するまでは、基本的な感染対策を引き続き実施して頂きますようお願いいたします。

具体的には、人と接する際にはお互いにマスクを着用し、ヒトとヒトとの間隔をお互いが手を伸ばして届く程度まで間隔を確保、複数の窓や扉を常時10-20cm程度開放するなどして密閉空間を避けてください。マスクの種類は、飛沫防止予防効果の高い不織布マスクなどの活用が望ましいです。そして、普段から体調管理に気をつけ、体調不良時には無理をせずに、出勤したり会合に参加したりせず、早めにかかりつけ医や県コールセンター（24時間対応・098-866-2129）にご相談ください。

本市保健所が実施する積極的疫学調査にて、連日同居家族以外の家族や知人等と会食を通して、感染した、もしくは感染させてしまった、という事例が確認されています。県からの要請にもある通り、たとえ感染対策を行い、屋外であっても、同居家族以外の方と集まることは控え、外出しないようお願いいたします。

所長から市民向けに作成されたわかりやすいメッセージ動画が完成しました（手話付き）。

<https://www.youtube.com/watch?v=6vp-z8uWczM&feature=youtu.be>

是非口コミ、SNSなどを介して、ご親族やご友人にご紹介ください。

第406報：第5波ピーク

送信日時： 2021年8月25日水曜日 16:43

件名： ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第406報-所内第418報）

添付ファイル： 0824_流行状況(日報).pdf; 0825警戒レベルの判断指標の状況.pdf

（冒頭定型文のため省略）

8月25日（水）16時現在 ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 本日県が公表した新規陽性者は809名となっております（行政検査 80名、保険診療検査 666名、検査事業 63名）。県の発表によると、うち那覇市保健所管内の事例は208例でした。

2. 県からの提供して頂いた資料（「警戒レベルの判断指標の状況」）によると、医療体制の指標である療養者数は6,744人（参考までに一週間前である8/18 6,020人）、病床占有率は82.6%（同 82.2%）、重症者用病床占有率は76.1%（同 50.0%）と県内の医療体制が引き続きひっ迫しています。県内の感染状況の指標である直近一週間合計の新規感染者数は4,614人（同 4,650人）、直近1週間のPCR検査陽性率は15.6%（同 17.3%）と低下傾向が続きピークを超えたようですが、引き続き極めて高い値で推移しています。詳細は添付資料をご確認ください。

3. 県の衛研より、県全体の疫学情報のまとめ状況（流行状況（日報））が届いたのでお送りします（取り扱い注意でお願いします）。日報にある発症日別の流行曲線を見ると、保健所によるデータ入力が追いついておらず（確認中が1,293名）ピークの評価が困難です。

保健所圏別、直近1週間の人口10万人当たり新規感染者数をみると、県内全域で200を超えて猛烈な勢いで感染が蔓延しています。県全体の直近1週間における人口10万人当たり新規感染者数は313.0、那覇市保健所管内では353.2と本島におけるEpicenter（流行の中心）になっていると考えられます。

====

県内全域で流行が蔓延し、医療体制がひっ迫、県立病院だけでなく、那覇市立病院や浦添総合病院といった基幹病院が急増するコロナ患者への対応を強化するため外来診療など通常医療の提供制限が始まっています。報道によると、県内の救急搬送にも支障が出始めており、新型コロナウイルス感染症だけでなく通常の救急を含む医療を市民が受けられなくなる俗にいう医療崩壊が静

かに始まりつつあると考えられます。この感染症は発症してから重症化するまで、7 - 14日程度の日数を要することから、今後9月にかけてさらに中等症以上の患者が増えることが見込まれ、すでに4カ月以上にわたり続いている緊急事態宣言がさらに延長され、様々な面で市民生活、経済活動に影響を及ぼす懸念があります。

各部から応援頂いた方々を含め現地対策本部職員一丸となって対応に当たっていますが、限られた人員で急増する感染者へ十分対応することが難しく、医療機関で新型コロナウイルス感染症と診断、保健所へ届け出られた市民への対応業務が日々積みあがり、外出自粛のお願いや家庭内での感染を予防するための情報提供、行政検査を含む濃厚接触者への対応など、地域における感染対策の軸となる積極的疫学調査が迅速に行えていない状況です。

県内の流行を収束させるためにはみなさまを含む市民一人一人、各事業所の協力が欠かせません。

夏休み中に帰省などの理由で県外や離島からの家族や知人を迎えたり、ご自身が県外や離島へ渡航する機会があるかもしれませんが、厳に控えて頂きますようお願いいたします。どうしてもやむを得ず県外や離島からの家族や知人をお迎えする場合には、渡航3日前を目安に出発前のPCR検査又は抗原検査を受けるようご家族や知人の方に呼び掛けをし、また、ご自身が渡航することとなった場合には、同様に出発前のPCR検査又は抗原検査を受けて頂きますようお願いいたします。

ご注意頂きたいのが、PCR検査は、検査結果が陰性であったとしても、その能力の限界からすべての感染者を探知できる訳ではないことです。渡航前の検査が陰性でも、先ほど述べた対策を徹底した上で、会食などマスクを外さざる得ないような接触は極力控えて頂くようお願いいたします。同様に、ワクチンも感染を100%予防するものではありません。当市でも、ワクチン接種を受けて安心したことで、感染対策にゆるみが出てしまい、感染した方が確認されています。既にワクチンを接種されていても、県内で広い年齢層でワクチン接種を希望する方々に接種が行き渡り、県内全体の流行が収束するまでは、基本的な感染対策を引き続き実施して頂きますようお願いいたします。

具体的には、人と接する際にはお互いにマスクを着用し、ヒトとヒトとの間隔をお互いが手を伸ばして届く程度まで間隔を確保、複数の窓や扉を常時10-20cm程度開放するなどして密閉空間を避けてください。マスクの種類は、飛沫防止予防効果が相対的に低いウレタンマスクではなく、不織布マスクなどの活用が望ましいです。そして、普段から体調管理に気をつけ、体調不良時には無理して出勤したり会合に参加したりせず、早めにかかりつけ医や県コールセンター（24時間対応・098-866-2129）にご相談ください。

本市保健所が実施する積極的疫学調査にて、連日同居家族以外の家族や知人等と会食を通して、感染した、もしくは感染させてしまった、という事例が確認されています。県からの要請にもある通り、たとえ感染対策を行い、屋外であっても、同居家族以外の方と集まることは控え、外出しないようお願いいたします。

所長から市民向けに作成されたわかりやすいメッセージ動画が完成しました（手話付き）。

<https://www.youtube.com/watch?v=6vp-z8uWczM&feature=youtu.be>

すでに1万4千件を超えて視聴されているそうで、今後下記スケジュールでOCNのケーブルテレビでスポット放映していただけるそうです。

【テレビにらい：地デジ11ch】

（9分30秒版）

・8/25～8/27 12:50-13:00

（「OCNインフォメーション」／4分30秒版）

・8/24- 18:55-、21:55-

・8/25- 11:20-、21:55-

・8/26- 10:20-、11:55-、21:55-

・8/27- 11:20-、23:25-

・8/28- 21:55-

・8/29- 11:20-、15:55-、21:55-

是非口コミ、SNSなどを介して、ご親族やご友人にご紹介ください。

第 406 報：第 5 波ピーク過ぎ

送信日時： 2021年9月7日火曜日 16:57

件名： ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第413報-所内第425報）

添付ファイル： 35w_流行状況(保健所管内別直近5週).pdf; 0906_流行状況(日報).pdf; ★患者療養情報まとめ.pdf; 35w_流行状況(週報).pdf; 0907警戒レベルの判断指標の状況.pdf

（冒頭定型文のため省略）

9月7日（火）16時現在 ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 本日県が公表した新規陽性者は383名となっております（行政検査 61名、保険診療検査 281名、検査事業 41名）。県の発表によると、うち那覇市保健所管内の事例は64例でした。

2. 県からの提供して頂いた資料（“警戒レベルの判断指標の状況”）によると、医療体制の指標である療養者数は5,616人（参考までに一週間前である8/31 6,294人）、病床占有率は81.8%（同 83.0%）、重症者用病床占有率は78.4%（同 78.0%）と自宅療養を含め療養者数は引き続き減少しているものの、県内の医療体制はひっ迫しています。県内の感染状況の指標である直近一週間合計の新規感染者数は3,082人（同 4,177人）、直近1週間のPCR検査陽性率は13.7%（同 14.4%）と低下傾向が続きピークを超えたようですが、依然極めて高い値で推移しています。詳細は添付資料をご確認ください。

3. 県の衛研より、県全体の疫学情報のまとめ状況（update、流行状況（日報・週報）、保健所管内別直近5週、患者療養情報まとめ）が届いたのでお送りします（取り扱い注意でお願いします）。

日報にある発症日別の流行曲線を見ると、保健所によるデータ入力に追いついておらず（確認中が1,814名）ピークの評価が引き続き困難です。県全体および那覇市における直近1週間の人口10万人当たり新規感染者数を見ると、改善はしているものの引き続き200を超え感染が猛烈な勢いで蔓延しています。直近1週間の年齢層別の発生状況を見ると、始めて20歳未満の割合が感染者全体の3割を超えましたが、感染者の絶対数は全体の流行収束傾向を受けて、10歳未満、10代いずれも減少しています。

保健所管内別直近5週の発生状況を見ると、地域におけるまん延度が比較的高く、先週今週比が増加もしくは改善の割合が低い北部および中部保健所で10歳未満、10代の感染者数が減少していない一方で、先週今週比を比較的抑制できた那覇市や南部保健所管内ではこの年齢層の感染者数自体を減少させています。

4. 沖縄県疫学・統計解析委員会から資料をいただいたのでお送りします（取扱注意でお願いいたします）。データは確定日ベースですので、定期的にお送りしていますエピカーブ（公表日ベース）の数値とは異なること、ご注意ください。

流行状況の指標である本島における実効再生産数は0.69と大きく改善、那覇市の実効再生産数も0.53まで改善しています。入院患者数は高いレベルで推移しているものの、先週までは在宅での療養を余儀なくされていた酸素が必要な中等症患者がおおむね入院が可能なレベルまで医療体制も持ち直しています。

＝＝＝

多くの市民、事業所、そして医療機関のご協力により、いまだ多くの急性期病院で外来診療や外科手術といった通常の医療に制限がかかっているものの、医療崩壊という悲惨な状況をようやく脱しつつあると考えられます。しかし、医療体制は依然ひっ迫していることから、9月後半に控える連休前にできる限り感染者数を抑え込むことが当面の目標となります。

県内の流行を引き続き収束させるためにはみなさまを含む市民一人一人、各事業所の協力が欠かせません。

夏季休暇が明け学校が再開される中で、未成年層間での感染伝播に加え、家族内で未成年から成人へ感染が広がらないよう対策を進めることが重要です。例えば、国や学会から示された指針やガイドラインを参考に、保育園や学校、学童などの各事業所での対策を進めると共に、接種を希望する教職員、保育士、12歳以上の学生へのワクチン接種を迅速に進めることが望まれます。

県外や離島からの家族や知人を迎えたり、ご自身が県外や離島へ渡航する機会があるかもしれませんが、厳に控えて頂きますようお願いいたします。やむを得ず県外や離島からの家族や知人をお迎えする場合には、渡航3日前を目安に出発前のPCR検査又は抗原検査を受けるようご家族や知人の方に呼び掛けをし、また、ご自身が渡航することとなった場合には、同様に出发前のPCR検査又は抗原検査を受けて頂きますようお願いいたします。

ご注意頂きたいのが、PCR検査は、検査結果が陰性であったとしても、その能力の限界からすべての感染者を探知できる訳ではないことです。渡航前の検査が陰性でも、先ほど述べた対策を徹底した上で、会食などマスクを外さざる得ないような接触は極力控えて頂くようお願いいたします。同様に、ワクチンも感染を100%予防するものではありません。当市でも、ワクチン接種を受けて安心したことで、感染対策にゆるみが出てしまい、感染した方が確認されています。既にワクチンを接種されていても、県内で広い年齢層でワクチン接種を希望する方々に接種が行き渡り、県内全体の流行が収束するまでは、基本的な感染対策を引き続き実施して頂きますようお願いいたします。

具体的には、人と接する際にはお互いにマスクを着用し、ヒトとヒトとの間隔をお互いが手を伸ばして届く程度まで間隔を確保、複数の窓や扉を常時10-20cm程度開放するなどして密閉空間を避けてください。マスクの種類は、飛沫防止予防効果が相対的に低いウレタンマスクではなく、不織布マスクなどの活用が望ましいです。そして、普段から体調管理に気をつけ、体調不良時には無理して出勤したり会合に参加したりせず、早めにかかりつけ医や県コールセンター（24時間対応・098-866-2129）にご相談ください。

本市保健所が実施する積極的疫学調査にて、連日同居家族以外の家族や知人等と会食を通して、感染した、もしくは感染させてしまった、という事例が確認されています。県からの要請にもある通り、たとえ感染対策を行い、屋外であっても、同居家族以外の方と集まることは控え、外出しないようお願いいたします。

第420報：第5波収束期

送信日時：2021年9月21日火曜日 16:51

件名：★★★★第4段階：感染まん延期★★★★ 新型コロナウイルス感染症（市内第420報=所内第432報）

添付ファイル：0921警戒レベルの判断指標の状況.pdf; 発生動向報告_図表_210921.pdf; 発生動向報告_本文_210921.pdf

（冒頭定型文のため省略）

9月21日（火）16時現在 ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★ 健康危機レベル4

1. 本日県が公表した新規陽性者は55名となっております（行政検査 20名、保険診療検査 26名、検査事業 9名）。県の発表によると、うち那覇市保健所管内の事例は14例でした。

2. 県からの提供して頂いた資料（”警戒レベルの判断指標の状況”）によると、県内の医療体制にかかる指標である療養者数は第4段階レベルではあるものの2,349人と先週に比べ約半数（9/14：5,008人）にまで改善し、病床占有率は67.5%（同 74.3%）、重症者用病床占有率は47.8%（同 53.8%）の2つの指標に関しては第2段階のレベルまで改善しています。ただし、県内の感染状況の指標である直近一週間合計の新規感染者数は1,087人（同 2,017人）、直近1週間のPCR検査陽性率は7.3%（同 10.4%）と、いずれも改善しているものの依然極めて高い値で推移しています。詳細は添付資料をご確認ください。

3. 沖縄県疫学・統計解析委員会から資料をいただいたのでお送りします（取扱注意でお願いいたします）。データは確定日ベースですので、定期的にお送りしていますエピカーブ（公表日ベース）の数値とは異なること、ご注意ください。

流行状況の指標である本島における実効再生産数は0.52（先週は0.57）と引き続き大きく改善し、那覇市の実効再生産数も0.55（先週は0.67）と大きく改善しています。

保健所による疫学調査で渡航歴を認めた先週の感染者数は14名と先々週の10名から増加に転じています。シルバーウィークである今週から来週にかけて人口10万人当たりの新規感染者数が30を超えている1都3県や大阪、愛知からの流入人口が増加することが見込まれ、持ち込み例の増加および持ち込み例から県民への感染伝播が懸念されます。

入院患者数は高いレベルで推移しているものの、酸素が必要な中等症患者は速やかに入院ができる体制となっています。

====
(略)

第 426 報：緊急事態の解除

送信日時： 2021年10月1日金曜日 19:17

件名： ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第426報-所内第438報）

添付ファイル： 1001警戒レベルの判断指標の状況 (1).pdf; 0930_流行状況(日報).pdf

(冒頭定型文のため省略)

10月1日（金）19時現在 ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 昨日をもって、長らく当県に出されていた緊急事態宣言が解除されました。しかし、療養者数・新規感染者数ともに県の第4段階基準をかなり上回っていることから（国のステージⅣの基準も超えています）、県全体では警戒レベルが第4段階で維持され、10/1-10/31の期間は「経済活動再開に向けた感染拡大抑止期間」と位置付けられ、県独自の経過措置が取られる方針となっております。

2. 本日県が公表した新規陽性者は41名となっております（行政検査 13名、保険診療検査 20名、検査事業 8名）。県の発表によると、うち那覇市保健所管内の事例は8例でした。

3. 県からの提供して頂いた資料（「警戒レベルの判断指標の状況」）によると、県内の医療体制にかかる指標である療養者数は第4段階レベルではあるものの1,105人と先週（9/24：1,707人）に比べ引き続き大きく改善し、病床占有率は36.3%（同 58.0%）、重症者用病床占有率は17.4%（同 33.3%）といずれも引き続き第2段階のレベルで推移しています。県内の感染状況の指標である直近一週間合計の新規感染者数も457人（同 782人）と引き続き大きく減少し、高いとまりしていた直近1週間のPCR検査陽性率も3.9%（同 6.1%）と第3段階ではあるものの減少傾向がみられます。詳細は添付資料をご確認ください。

4. 県の衛研より、県全体の疫学情報のまとめ状況（流行状況・日報）が届いたのでお送りします（取り扱い注意をお願いします）。

県全体における直近1週間の人口10万人当たり新規感染者数をみると、37.3と依然全国で最悪の値で推移し、宮古、八重山保健所管内といった離島地域を除く本島内で流行が継続しています。保健所別の値をみると、那覇市は41.5と引き続き改善しているものの南部保健所管内について県内でワースト2位の値となっており、県内のEpicenter（流行の中心）になっていると考えられます。

5. 県の衛研より、県全体の疫学情報のまとめ状況（流行状況・日報）が届いたのでお送りします（取り扱い注意をお願いします）。

県全体における直近1週間の人口10万人当たり新規感染者数をみると、32.1と引き続き改善しているものの依然全国で最悪の値で推移し、宮古や八重山といった離島を除く本島内で感染が依然蔓延しています。保健所別の値をみると、那覇市は34.0と南部保健所管内について県内でワースト2位の値となっており、Epicenter（流行の中心）になっていると考えられます。

直近5週における居住地（保健所管内）別報告数の推移をみると、先週（疫学第38週）に比べ今週（疫学第39週）で八重山地区で増加に転じました。南部保健所（0.26）、那覇市（0.24）では今週先週比が引き続き大きく改善しているものの、北部（0.36）、中部（0.4）、宮古（0.64）保健所管内では減少のスピードが鈍化しています。

＝＝＝
（略）

第437報：第5波小康期

送信日時： 2021年10月21日木曜日 18:25
件名： ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第437報-所内第449報）
添付ファイル： COVID-19エピカーブ.pdf; 発生動向報告_図表_211019.pdf; 発生動向報告_本文_211019.pdf; 1021警戒レベルの判断指標の状況.pdf; 1021_流行状況(日報).pdf

（冒頭定型文のため省略）

10月21日（木）18時現在 ★★★★★第4段階：感染まん延期★★★★★ 健康危機レベル4

1. 本日県が公表した新規陽性者は18名となっております（行政検査 4名、保険診療検査 12名、検査事業 2名）。県の発表によると、うち那覇市保健所管内の事例は4例でした。

2. 県からの提供して頂いた資料（「警戒レベルの判断指標の状況」）によると、県内の医療体制にかかる指標である療養者数は186人と引き続き第3段階の水準で推移しています（参考までに先週10/14：294人）。同じく医療体制にかかる指標である病床占有率は15%（=37/247、同14.1%、43/305）はほぼ横ばい、重症者用病床占有率は0%（同 5.3%）のまま推移しています。県内の感染状況の指標である直近一週間合計の新規感染者数は146人（同 159人）と第3段階の水準で推移し、直近1週間のPCR検査陽性率は1.6%（同 1.5%）と引き続き第2段階と低い水準で推移しています。詳細は添付資料をご確認ください。

3. 沖縄県と那覇市の週報と月報、疫学今週先週比、簡易実効再生産数、累計患者発生状況のデータを添付します（COVID-19エピカーブ）。今週から掲載している簡易実効再生産数は国立感染症研究所から比較的簡便に算出可能な手法として提示されたもので、疫学今週先週比と同様この数字が1未満になるということは、新規感染者が減少に転じていることを示唆します。疫学第41週（10/11-17）では、7週ぶりに今週先週比、簡易実効再生産数ともに1以上の値となりました。累計の患者発生状況をみると、これまでに県全体で5万人を超える感染者が届け出られ、うち13,212人が那覇市在住者となっております。

4. 県の衛研より、県全体の疫学情報のまとめ状況（流行状況（日報））が届いたのでお送りします（取り扱い注意をお願いします）。日報にある当県における直近1週間の人口10万人当たり新規感染者数をみると、報道にも取り上げられている通り全国的に流行が収束していることを反映し都道府県別の値では全国ワースト2位の値ですが、10.2と引き続き大きく改善しています。

日報にある発症日別の流行曲線を見ると、10/8以降増加に転じた可能性があります。当県における直近1週間の人口10万人当たり新規感染者数をみると9.8とほぼ横ばいで推移していますが、この値は都道府県別では最も悪い値となっています。保健所管内別の値をみると、一時増加に転じていた那覇市はわずかですが減少に転じ、宮古、八重山保健所管内では引き続き増加しています。那覇市における直近一週間の保健所管内別年齢別陽性者数をみると、スポーツ施設を起点に拡大した家族内や学童などのクラスターにより10歳未満を中心に幅広い年代層で患者が発生しています。詳細は添付資料をご確認ください。

5. 沖縄県疫学・統計解析委員会から資料（発生動向報告）をいただいたのでお送りします（取扱注意をお願いします）。データは確定日ベースですので、定期的にお送りしていますエピカーブ（公表日ベース）の数値とは異なること、ご注意ください。流行状況の指標である本島における実効再生産数は0.89と先週に比べ悪化しているもの引き続き1を下回っています。一方那覇市の実効再生産数は1.52と1を上回っていました。入院患者数は38人とさらに低下し、重症患者数もゼロになっています。詳細は添付資料をご確認ください。

==

現在市内のスポーツ施設を起点に複数のクラスターが発生、関連する2次、3次感染例を含めると50例を超える確定例が届け出され、県全体の感染者数を押し上げています。対応するチームのスタッフを中心に積極的疫学調査が実施され、濃厚接触者への対応が適宜実施されています。

当県では依然一般的に活動性が高いとされる20-50代のワクチン接種率がまだ低く、県内で大きな流行を発生させるには依然十分な感受性者（＝免疫を有していないもしくは低下している方）がいると考えられます。国の専門家からは今冬に第6波が到来する可能性が指摘されており、流行が沈静化している今のうちに県内でワクチン接種の取り組みを強力に、また着実に進めることが重要です。

ワクチン接種をためらう方の中には、家族や友人など身近な方で接種された方から、接種しようと思うに至った経緯や接種後の痛みや発熱の程度などについて具体的な話を聞いて、接種に踏み切る方もいらっしゃいます。すでに接種を終えられた方で、もし身近なところに未接種のご家族やご友人などがいらっしゃいましたら、是非ご自身の経験を共有することを検討して頂ければと思います。

また、社会活動の再開を進めつつ、流行の拡大を防ぐためにはみなさまを含む市民一人一人、各事業所の感染対策にかかる協力が欠かせません。

ワクチン接種を2回済ませた方も多くいらっしゃるかと思いますが、ワクチンは感染を100%予防するものではありません。当所の積極的疫学調査から、ワクチン接種を受けて安心したことで、感染対策にゆりみが出てしまい、感染した方が確認されています。既にワクチンを接種されていても、県内で広い年齢層でワクチン接種を希望する方々に接種が行き渡り、県内全体の流行が収束するまでは、基本的な感染対策を引き続き実施して頂きますようお願いします。

（以下、略）

第438報：警戒レベル3に引き下げ

送信日時： 2021年10月22日金曜日 19:12

件名： ★★★第3段階：感染流行期★★★★ 新型コロナウイルス感染症（市内第438報=所内第450報）

添付ファイル： 1022警戒レベルの判断指標の状況.pdf; 1022_流行状況(日報).pdf

（冒頭定型文のため省略）

10月22日（金）19時現在 ★★★第3段階：感染流行期★★★★ 健康危機レベル3

1. 防災危機管理課から周知があったとおり、昨日県の対策本部会議が開催され、新型コロナウイルス感染症に対する県の警戒レベルが4月10日以降続いていて第4段階（感染まん延期）から第3段階（感染流行期）に引き下げられることが決定しました。しかし、感染者数の減少が下げ止まっていることから、県が独自に実施し今月末に期限を迎える時短営業要請などの要請の前倒し緩和は行われないこととなっております。

2. 本日県が公表した新規陽性者は14名となっております（行政検査 1名、保険診療検査 12名、検査事業 1名）。県の発表によると、うち那覇市保健所管内の事例は3例でした。

3. 県からの提供して頂いた資料（「警戒レベルの判断指標の状況」）によると、県内の医療体制にかかる指標である療養者数は250人と引き続き第3段階の水準で推移しています（参考までに先週10/15：302人）。同じく医療体制にかかる指標である病床占有率は14.2%（＝35/247、同 13.1%、40/305）はほぼ横ばい、重症者用病床占有率は0%（同 0%）のまま推移しています。県内の感染状況の指標である直近一週間合計の新規感染者数は129人（同 161人）と第3段階の水準で推移し、直近1週間のPCR検査陽性率は1.6%（同 1.5%）と引き続き第2段階と低い水準で推移しています。詳細は添付資料をご確認ください。

4. 県の衛研より、県全体の疫学情報のまとめ状況（流行状況（日報））が届いたのでお送りします（取り扱い注意でお願いします）。

日報にある発症日別の流行曲線を見ると、10/8以降県内の流行が増加に転じた可能性があります。当県における直近1週間の人口10万人当たり新規感染者数をみると8.7とやや減少傾向で推移していますが、この値は都道府県別では最も悪い値です。保健所管内別の値をみると、一時増加に転じていた那覇市保健所管内の値は、クラスターのコントロールがつつあることもあり減少に転じています。一方で、八重山保健所管内では施設内や会食に関連するクラスターの影響で直近1週間の人口10万人当たり新規感染者数が64.5にまで急増しています。詳細は添付資料をご確認ください。

(以下、略)

第442報：日報から週報へ

送信日時：2021年11月2日火曜日 15:26

件名：★★★第3段階：感染流行期★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第442報=所内第454報）

添付ファイル：1102警戒レベルの判断指標の状況.pdf; COVID-19エピカーブ20211031県専門家会議用.pdf; 発生動向報告_図表_211102.pdf; 発生動向報告_本文_211102.pdf; 1101_流行状況(日報).pdf; 43w_流行状況(週報).pdf

(冒頭定型文のため省略)

11月2日(火) 15時現在 ★★★第3段階：感染流行期★★★ 健康危機レベル3

1. 県からの提供して頂いた資料(“警戒レベルの判断指標の状況”)によると、県内の医療体制にかかる指標である療養者数は138人と引き続き第3段階の水準で推移しています(参考までに先週10/26:189人)。同じく医療体制にかかる指標である病床占有率は5%(=11/221, 同 13.8%, 32/232)まで減少、重症者用病床占有率は0%(同 0%)のまま推移しています。県内の感染状況の指標である直近一週間合計の新規感染者数は人(同 58人)と第3段階の水準で推移し、直近1週間のPCR検査陽性率は0.6%(同 1.3%)と引き続き第1段階と低い水準で推移しています。詳細は添付資料をご確認ください。

2. 沖縄県と那覇市の週報と月報、疫学今週先週比、簡易実効再生産数、累計患者発生状況のデータを添付します。

先週となる疫学第43週(10/25-31)における県全体の新規感染者数は63例(前週は119例)、那覇市保健所管内の新規感染者数は12例(前週は32例)でした。同じく先週の県全体の今週先週比、簡易実効再生産数はそれぞれ0.53, 0.69と2週続けて1未満となりました(那覇市はそれぞれ0.38, 0.55)。累計の患者発生状況を見ると、これまでに県全体で5万人を超える感染者が届け出られ、うち13,255人が那覇市在住者となっております。詳細は添付資料をご確認ください。

3. 沖縄県疫学・統計解析委員会から資料(発生動向報告)をいただいたのでお送りします(取扱注意でお願いいたします)。データは確定日ベースですので、上述したエピカーブ(公表日ベース)の数値とは異なること、ご注意ください。

流行状況の指標である本島における実効再生産数は0.54、那覇市は0.34といずれも低い値で推移しています。入院患者数は24人と先週の33人よりさらに低下し、重症患者数もゼロを維持しています。詳細は添付資料をご確認ください。

4. 県の衛研より、県全体の疫学情報のまとめ状況(流行状況(日報・週報)、保健所管内別直近5週、患者療養情報まとめ)が届いたのでお送りします(取り扱い注意でお願いいたします)。

日報にある発症日別の流行曲線を見ると、10/8以降県内の流行がいったん増加に転じていましたが、その後減少に転じ、再増加は認められません。当県における直近1週間の人口10万人当たり新規感染者数をみると4.0と低いレベルで推移し、都道府県別の値でワースト1位を脱しました(ワースト1位は島根県)。詳細は添付資料をご確認ください。詳細は添付資料をご確認ください。
==

現在那覇市内の流行は沈静化していることもあり、当面の間新型コロナ流行に関する情報提供は、

週に1度を目途に実施することとさせていただきます。
(以下、略)

第 445 報：警戒レベル2へ引き下げ

送信日時: 2021年11月19日金曜日 13:54

件名: ★★第2段階：流行警戒期★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第445報=所内第457報）

添付ファイル: 発生動向報告_本文_211116.pdf; 発生動向報告_図表_211116.pdf; 20211119_NHK_ドイツ 1日のコロナ感染者6万人超 段階的に規制強める方針発表.pdf; 20211118_NHK_米CDC 新型コロナ 再感染拡大懸念 “追加ワクチン接種を”.pdf; 20211116_中央日報_「すでに医療崩壊」韓国、すべて埋まった集中治療室…呼吸器つけて救急室で順番待ち.pdf; 20211109_厚生労働省アドバイザリーボード_資料3-1_p51-60.pdf

(冒頭定型文のため省略)

11月19日（金）12時現在 ★★第2段階：流行警戒期★★★★ 健康危機レベル2

1. 県コロナ本部から現地対策本部への情報提供はありませんが、県HPによると11月18日付で新型コロナウイルス感染症に対する県の警戒レベルが第3段階から第2段階（流行警戒期）に変更されたようです。それに伴い、那覇市の健康危機レベルの3から2へ引き下げられることになりました。

2. 沖縄県疫学・統計解析委員会から資料（発生動向報告）をいただいたのでお送りします（取扱注意でお願いいたします）。データは確定日ベースですので、先日お送りした当所で作成した公表日ベースの数値とは異なることに、ご注意ください。

流行状況の指標である本島における実効再生産数は0.28、那覇市の値も0.25と低い値で維持しています。入院患者数は7人と先週の11人よりさらに低下し、重症患者数もゼロを維持しています。詳細は添付資料をご確認ください。

3. 11/9に開催された市健康危機管理連絡会議でお伝えした通り、新型コロナウイルスの活動性が活発化すると考えられる冬期に北半球に入ったこともあり、ドイツやロシアを含むヨーロッパ地域を中心に患者数が増加し、社会経済活動の制限が再開されています。また、報道でも取り上げられているように、北米でも流行が拡大に転じ、日本同様に新型コロナウイルス感染症対策における優等生とされてきたお隣の韓国でも流行が再燃しています。国内でも感染者が増加に転じている地域もあり、当県でも流行が増加に転じないか、地域における感染対策の軸となる積極的疫学調査を徹底して継続していく必要があります。

(以下、略)

第 447 報：那覇市の健康危機レベルについて

送信日時: 2021年11月29日月曜日 9:37

件名: ★第1段階：散发発生期★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第447報=所内第461報）

添付ファイル: @（最新）那覇市健康危機管理基本指針、別表.docx

(冒頭定型文のため省略)

那覇市の健康危機レベルについて問い合わせがありました。
改めてご説明いたします。

那覇市の健康危機管理は、
那覇市健康危機管理基本指針・別表（添付）や
那覇市新型インフルエンザ等対策行動計画（末尾URL）
等に沿って対応しております。

那覇市の健康危機レベルは基本指針に従って那覇市保健所長が判断しております。

このレベルは主にリスク対応に当たる所内～庁内体制を整備するための目安となっています。市民向けの注意喚起指標ではありません。

市民向けの注意喚起指標であるフェーズについて、当初は行動計画にあるフェーズで対応しておりました。しかし、県の警戒レベルが示されてからはそれに合わせた表示としています。ちなみに市行動計画のフェーズでは、現在「県内小康期・国内小康期」に相当します。

健康危機レベルの上げ下げの判断基準については第一次報告書のp40-43を参照ください。

「2020年（令和2年）那覇市新型コロナウイルス感染症対応第一次経過報告書」

https://www.city.naha.okinawa.jp/nahahokenjyo/kansensyou/has-sei/O20121_ncov.files/20200804.pdf

この報告書での判断基準は第1波の頃のもので、当時はワクチンなし、治療法模索中、医療体制混乱中、検査体制不十分の時期でしたので、健康危機レベルの引き下げ判断基準は厳しいものとなっています。

今回の健康危機レベル4から3、3から2への引き下げに際しては、ワクチンあり、治療法進展、医療・検査体制ほぼ確立等を勘案して判断基準を緩めています。

例えば、昨年は「県内未発生期・国内発生期」に相当した場合に3から2に引き下げましたが、今回は「県内小康期・国内小康期」相当で3から2に引き上げております。県の警戒レベルの引き下げも参考にしました。

健康危機レベル1は平時のレベルです。

2から1への引き下げは、報告書でも触れていますように

「県内未発生期・国内未発生期」相当となった場合に判断したいと思っています。

参考：那覇市新型インフルエンザ等対策行動計画等

<https://www.city.naha.okinawa.jp/nahahokenjyo/kansensyou/sonota/nahsingatain-furuenza.html>

第449報：0株

送信日時：2021年12月7日火曜日 17:59

件名：★第1段階：散発発生期★ 新型コロナウイルス感染症（市内第449報=所内第465報）

添付ファイル：1207警戒レベルの判断指標の状況.pdf; COVID-19エビカーブ20211205.pdf; 1207_流行状況(日報).pdf; 48w_流行状況(週報).pdf; 48w_流行状況(保健所管内別直近5週).pdf; ★患者療養情報まとめ.pdf

（冒頭定型文のため省略）

12月7日（火）17時現在 ★第1段階：散発発生期★★ 健康危機レベル2

1. 県からの提供して頂いた資料（警戒レベルの判断指標の状況）によると、県内の医療体制にかかる指標である療養者数は27人と第2段階（流行警戒期）の水準まで悪化、病床占有率は7.5%（=10/133）、重症者用病床占有率は0%（同 0%）といずれも第1段階のレベルで推移しています。県内の感染状況の指標である直近一週間合計の新規感染者数は24人とこちらも第2段階の水準へ悪化、直近1週間のPCR検査陽性率は0.6%とこちらは第1段階の水準を維持していますが、先週（0.2%）よりわずかですが増加しています。感染経路不明な症例の割合は29.2%と第1段階のレベルまで改善しています。詳細は添付資料をご確認ください。

2. 沖縄県と那覇市の週報と月報、疫学今週先週比、簡易実効再生産数、累計患者発生状況のデータを添付します（COVID-19エビカーブ20211205）。

先週となる疫学第48週（11/29-12/5）における県全体の新規感染者数は21例（前週は12例）、那覇市保健所管内の新規感染者数は0例（先週は1例）でした。先週の県全体の今週先週比、簡易

実効再生産数（世代時間を5日間として算出した場合）はそれぞれ1.75, 1.75と2週続けて1を超える値となりました（那覇市は分母がゼロだったためゼロ）。分母が小さいため、評価に注意が必要ですが、後程述べるように他の指標（確定例の年齢層、居住地、推定感染源不明の割合など）を勘案すると、県内の感染が拡大局面に入った懸念があり、今後の推移に注意が必要です。累計の患者発生状況をみると、これまでに県全体で50,331の感染者が届け出られ、うち13,265人が那覇市在住者となっております。詳細は添付資料をご確認ください。

3. 県の衛研より、県全体の疫学情報のまとめ状況（流行状況（日報・週報）、保健所管内別直近5週、患者療養情報まとめ、全ゲノム解析週報）が届いたのでお送りします（取り扱い注意でお願いします）。

日報にある発症日別の流行曲線をみると、県全体で低いレベルで患者発生が推移しています。直近1週間の人口10万人当たり新規感染者数は1.6と低いレベルながらも増加傾向が継続し、特に北部・中部保健所管内ではそれぞれ3.9, 3.3と、流行が拡大している目安とされる5に迫っています。

保健所管内別直近5週のデータをみると、那覇市を除く本島の各保健所管内で患者数が増加に転じています。県から別途送付される各確定例にかかる疫学情報によると、一般的に活動性が高いとされる20-50代で確定例数が増加し、また推定感染源不明もこの層で増えているため、本島で流行が拡大局面に入った懸念があります。詳細は添付資料をご確認ください。

患者療養情報まとめをみると、先週から入院患者が増加に転じ、中等症1（呼吸不全のない肺炎）の患者数も増加しています。また、死亡者の居住地の修正があり、那覇市の死亡者数は前回の76人から78人に修正されています。県全体の死亡者数は398人で変更ありません。

今回から変異株遺伝子解析情報の還元が再開されました（全ゲノム解析週報）。同資料によると、那覇市の検査数がゼロとなっておりますが、那覇市内で受理された確定例にかかるゲノム解析は民間検査機関へ委託する方針となったため、今後定期的にとりまとめて検体を送付し、検査を実施、衛研および県コロナ本部へ結果を共有し、同資料へ結果が反映される予定です。

4. 沖縄県疫学・統計解析委員会から資料（発生動向報告）をいただいたのでお送りします（取扱注意でお願いいたします）。データは確定日ベースですので、当所で作成した公表日ベース（COVID-19エピカーブ20211205）の数値とは異なることに、ご注意ください。

流行状況の指標である本島における実効再生産数は1.97と1を超えましたが、那覇市の値は0.83と低い値で維持しています。入院患者数は10人（先週6名）と増加しているものの引き続き低い水準で推移し、重症患者数もゼロを維持しています。

2ページ目の今後の見通しと対策には、「今月末までに第6波を迎えてしまうと、年末年始の交流により、離島も含めて急速に増加・拡大する恐れがあります。できるだけ流行を抑えながら、年末年始の休みを迎えることが必要です。引き続き、マスク着用や手指衛生など基本的な感染対策の徹底をお願いします。また、発熱などの症状を認めるときは、仕事や学校を休み、外出を自粛するようにしてください。」とあります。引き続き各部署での感染対策の実施をお願いします。詳細は添付資料をご確認ください。

＝＝＝
（中略）

オミクロン株に関連して、3回目接種の話題がメディアで取り上げられていますが、免疫は新型コロナウイルスに限らず、実際にり患やワクチンを接種することで獲得しても時間とともに減衰するものです。しかし、完全に消失するわけではなく免疫記憶として蓄積されるため、オミクロン株に限らず免疫逃避を起こすような変異ウイルスが出現したとしても、重症化予防効果はある程度残ると考えられています。報道でも取り上げられているように、当県のワクチン接種率は全国の都道府県の中で最も低く、特に一般的に活動性が高いとされる20-50代のワクチン接種率が低いことが当市を含め大きな課題となっております。オミクロン株が今後どのような経緯をたどるか予想は難しいですが、流行が収束している今のうちに、3回目接種の準備を進めるとともに、未接種者への取り組みを着実に進めることが重要です。

（以下、略）

第451報：o株初検出

送信日時: 2021年12月20日月曜日 9:26

件名: ★第1段階: 散発発生期★ 新型コロナウイルス感染症 (庁内第451報=所内第467報)
添付ファイル: b11529_4.pdf; ADB20211216オミクロン倍加時間.pdf; COVID-19エ
ピカーブ20211219.pdf

(冒頭定型文のため省略)

12月20日(月)9時現在 ★第1段階: 散発発生期★ 健康危機レベル2

1. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 12/20(月)

検査数: 0例

陽性: 0例

陰性: 0例

2. 12月19日(日)に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は0件でした。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は2名となっています。

昨日の県の公式発表3名は主に18日分の新規陽性者で、
上記2名は県コロナ本部が昨日19日17時ころまでに集計した数字です。

本日の公式発表は先週月曜日の1名を上回る見込みです。

3. 沖縄県と那覇市の週報と月報、疫学週今週先週比、曜日毎(7日間)今週先週比、
2種類の簡易実効再生産数を添付します。

那覇市の新規感染者は4日連続で0となっています。

曜日毎(7日間)今週先週比は実効再生産数の代替指標とされています。

沖縄県は4週連続で1以上となっており、漸増している状況です。

2種類の簡易実効再生産数も1以上となっています。

那覇市は疫学週で2週連続0人となっていました。

第50週で2人確認されています。

那覇市の実効再生産数は感染研方式で2.00となります。

東洋経済方式では計算不能で算出していません。

4. 報道にあるように、これまでにオミクロン株が3例確認されています。

本夕、もう1例追加で公表予定です。(取扱注意!)

現時点で、那覇市内には濃厚接触者はいません。

但し、念のための検査対象者は多数います。

本夕の県の発表まで取扱注意!でお願いします。

5. オミクロン株に関する感染研の第4報と、

12/16アドバイザー委員会での西浦先生の資料抜粋を添付します。

西浦先生の解析では、オミクロン株の倍加速度は驚異的なようです。

SARS-CoV-2の変異株B.1.1.529系統(オミクロン株)について(第4報)

2021年12月15日19:00時点 12月17日 一部修正

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/2019-ncov/2551-cepr/10833-cepr-b11529-4.html>

6. 感染研が続々と報告を出しています。

ご興味ある方はご参照ください。

新型コロナワクチンについて(2021年12月16日現在)

https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/corona/64/covid19_vaccine_2021216.pdf

ブレイクスルー感染者を含む医療機関、福祉施設等でのクラスター調査から得られた知見(簡略版) 2021年12月8日時点(掲載日 2021/12/16)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/2019-ncov/10834-covid19-22.html>

新型コロナワクチン接種後に新型コロナウイルス感染症と診断された症例に関する積極的疫学

調査（第二報）（速報掲載日 2021/12/17）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/2019-ncov/2488-idsc/iasr-news/10831-503p01.html>

第 453 報：o 株集団検査

送信日時: 2021年12月21日火曜日 10:12

件名: ★沖縄県警戒レベル1★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第453報=所内第469報）

添付ファイル: （お知らせ）令和3年度調理師試験を那覇会場で受験された皆様へ／沖縄県.pdf; 1220_流行状況(日報).pdf

（冒頭定型文のため省略）

12月21日（火）10時現在 ★沖縄県警戒レベル1★ ★★那覇市健康危機レベル2★★

1. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 12/21(火)

検査数：0例

陽性：0例

陰性：0例

2. 12月20日（月）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は1件でした。
この方は那覇市外の方です。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は9名となっています。

昨日の県の公式発表2名は主に19日分の新規陽性者で、
上記9名は県コロナ本部が昨日20日17時ころまでに集計した数字です。
本日の公式発表は先週火曜日の4名を上回る見込みです。

3. 沖縄covid19 update-mini を添付します。

4. 報道にあるように、スクリーニングPCR検査でオミクロン疑いが2例出ています。
うち1例は〇〇〇〇以外の基地従業員のようです。（取扱注意！）
全ゲノム解析中です。確定次第、公表される予定です。

5. 報道にあるように、オミクロンの4例目は15日に調理試験を受験されています。
但し、県は公式にはオミクロンであるとは発表していないようですので、
取扱注意をお願いします。

会場は武道館アリーナで約600人が受験されています。

感染研から派遣された専門官とも相談し、
筆記試験で会話等での積極的なウイルス排出～吸入行為がほぼ無いこと、

基本的感染対策がしっかり実施されていたこと、
試験前後含めて約2時間の単回・単一の曝露であること、

（ハンセンでは複数回・複数人からの曝露が想定されています）

を考慮し、陽性者の周りの席の方13人を接触者（濃厚接触者ではありません）として検査、
それ以外の方は念のための検査をお願いすることとなりました。

念のための検査の方には、

県の2か所の無料検査センター（沖縄市と豊見城市）を紹介することとなっています。

那覇市の方が約100人いらっしゃいます。

お知り合いの方でもし問い合わせがありましたら、

県のお知らせ（添付）にあるように、

まずは県のコールセンターをご紹介ください。

無症状の方には次の豊見城市の検査センターをご紹介ください。

『沖縄県南部接触者PCR検査センター』

12/21(火)から開設します。
<https://weburl.jp/PFxOT3P>

- 場所： 豊見城城址跡地・西側駐車場
(沖縄空手会館近く)
 - 受付時間： 13時～19時半
 - 検査可能人数： 200名/日
 - 対象者： 陽性者と接触のあった方
受付時に接触した陽性者の氏名・関係を記入いただきます。
 - 予約： 当日午前7時から予約開始
 - 検査費用： 無料
 - 持ち物： 本人確認できる身分証
 - 結果通知： 原則翌日18時以降
- ※ドライブスルー方式での検査になります。

参考までに、県の案内内容を添付します。
オミクロンの記載は見当たりません。

(お知らせ) 令和3年度調理師試験を那覇会場で受験された皆様へ
更新日：2021年12月20日

https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/seikatsueisei/syokuhin_nyuniku/tyourisico-rona.html

第458報：那覇市健康危機レベル3に引き上げ

送信日時： 2021年12月24日金曜日 10:01

件名： ★沖縄県警戒レベル1★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第458報=所内第475報）

添付ファイル： ADB20211222西浦先生ワクチン効果予測.pdf; ADB20211222西浦先生デンマーク倍加時間.pdf; 1223_流行状況(日報).pdf

(冒頭定型文のため省略)

12月24日(金) 10時現在 ★沖縄県警戒レベル1★ ★★★那覇市健康危機レベル3★★★

1. 本日12月24日より那覇市の健康危機レベルは3となっています。
2. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 12/24(金)

検査数：1例
陽性：0例
陰性：1例

3. 12月23日(木)に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は2件でした。
うち1件是那覇市外の方です。
もう1件は疑似症で新規感染者にはカウントされません。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は44名となっています。

昨日の県の公式発表25名は主に22日分の新規陽性者で、
上記44名は県コロナ本部が昨日23日17時ころまでに集計した数字です。
(このうち13人前後は昨日の公式発表に含まれていると思われます。)
本日の公式発表は先週金曜日の6名を上回る見込みです。

4. 沖縄covid19 update-mini を添付します。
北部保健所管内で急増しています。
デルタ株によるクラスターが発生しているようです。
5. 報道にあるように、昨日新たに4人のオミクロン株感染者が確認されました。

県内の累計で10人となります。
オミクロン株感染者の濃厚接触者で陽性になった方がまだ複数いらっしゃいます。
濃厚接触者としてリンクの追えてるオミクロン株感染者は今後も増える見込みです。
リンクの追えていない、いわゆる市中感染者は、現時点では確認されていません。
しかし、市中感染が発生するのは時間の問題と考えています。

6. 県の専門家会議は26日16時より、場所は県庁です。
議題は「オミクロン株拡大への県の取るべき対応について」となっています。
7. 12/22アドバイザリーボードの資料が公開されています。
12歳未満の感染者割合が50週では増えていないことが分かる資料（鈴木先生）
ワクチン効果予測や中和抗体の減弱に関する資料（西浦先生）
などがありますが、容量が大きいためワクチン効果予測と、
前回に引き続きオミクロン株の倍加時間に関する西浦先生の継続解析を添付します。
ワクチン効果予測はデルタ株に対するものですが、
発症予防効果は時間と共にかなり減弱しています。
オミクロン株の倍加時間は引き続き、驚異的なままでのようです。
重症化に関する資料は見当たりません。
機内感染のリスク評価等の資料も見当たりません。
特に機内感染リスクがほぼ0という評価が出れば、
現状の機内接触者への対応はかなり緩和されるはずなので、
早くリスク評価していただきたいのですが...

新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボードの資料等（第46回～）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00294.html

第461報：o株流行入り直前

送信日時： 2021年12月28日火曜日 10:00
件名： ★沖縄県警戒レベル1★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第461報=所内第478報）
添付ファイル： 1227_流行状況(日報).pdf

（冒頭定型文のため省略）

12月28日（月）10時現在 ★沖縄県警戒レベル1★ ★★★那覇市健康危機レベル3★★

1. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 12/28(火)

検査数：2例
陽性：0例
陰性：2例

2. 12月27日（月）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は7件でした。
この6件は那覇市外の方でした。
加えて、今朝、1件（那覇市在住）届出あります。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は14名となっています。
昨日の県の公式発表5名は主に26日分の新規陽性者で、
上記14名は県コロナ本部が昨日27日17時ころまでに集計した数字です。
本日の公式発表は先週火曜日の11名を上回ると考えられます。

3. 衛研からの流行状況（日報）（衛研のメール件名：沖縄covid19 update-mini 180）
を添付します。
検査陽性率が上昇傾向にあります。
流行初期にみられる現象で、要注意です。
4. 本健康危機管理メールは、年末年始も不定期継続予定ですが、

仕事納めのご挨拶を申し上げます。
本年も直接、間接的に保健所をご支援いただき、本当にありがとうございました。
本年初頭の現地対策本部の朝礼で、
ワクチンがあるので年末には解散できるかもしれない、とコメントしました。
しかし、ものの見事に外してしまいました。申し訳ありません。
来年も引き続き、どうぞ宜しくお願い致します。
先日、心温まるツイッターを見かけました。
全国の保健所にしあわせが届いたと思います。
皆さまも含めて、保健所を直接、間接的にご支援いただいた職員にも、どうぞ届きますように。
少し遅いクリスマスプレゼントです。

〇〇〇〇さんのツイート 2021年12月23日

サンタさんへ
ことしはプレゼントいりません。かわりに、ほけんじょの人にしあわせがとどくようにしてください。なんでかという、あの人たちがたくさんいのちをすくってくれたとおもいます。

第464報：〇株への置換わりスピードアップ・第6波初期

送信日時：2022年1月1日土曜日 10:05

件名：★沖縄県警戒レベル1★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第464報=所内第481報）

添付ファイル：01 コロナ患者受入医療機関20211231.pdf; 1231_流行状況(日報)1.pdf; 1231_流行状況(日報)2.pdf

（冒頭定型文のため省略）

明けましておめでとうございます。
本年もどうぞ宜しくお願い致します。

1月1日（土）10時現在 ★沖縄県警戒レベル1★ ★★★那覇市健康危機レベル3★★★
★

1. 以下の状況を考慮して1月4日または5日に那覇市の健康危機レベルを4に引き上げる予定です。
引き上げに伴い、全庁体制での支援をお願いしたいと思います。
具体的には1月8日または11日からの応援職員派遣を要請予定です。
正式には1月4日の健康危機管理メールで通知いたします。

2. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 1/1(土)

検査数：12例

陽性：3例（新規2例、陰性確認1例）

陰性：9例

3. 12月31日（金）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は9件でした。
うち1件は疑似症、4件は那覇市外の方です。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は46名となっています。

昨日の県の公式発表44名は主に30日分の新規陽性者で、
上記46名は県コロナ本部が昨日31日17時ころまでに集計した数字です。
本日の公式発表は先週土曜日の29名を上回ると思われます。

4. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
引き続き中部が感染拡大期ですが、南部も増えてきました。
5. L452R変異株PCR検査結果12/31(金)
検査数：44例（北部6、中部26、南部3、宮古2、希望者7）

L452R陽性：7例（北部6、希望者1）
L452R陰性：34例（中部25、南部3、宮古2、希望者4）
判定不能：3例（中部1、希望者2）

6. 全ゲノム結果12/31(金)
検査数：24例（中部6、南部1、宮古1、那覇市3、希望者7、県総接触者5、OIST1）
解析結果
オミクロン株(BA.1)：21例（中部5、南部1、宮古1、那覇市2、希望者6、県総接触者5、OIST1）
判定不能：3例（中部1、那覇市1、希望者1）
7. 昨日31日17時以降の中南部の新規陽性者については全例オミクロン株として取り扱うことになりました。
昨日の県からのメールです。

本日17時以降にPCR等の検査で新型コロナウイルス陽性と判明した中部保健所、南部保健所、那覇市保健所管内の者（離島を除く）について、全例、オミクロン株陽性者として取扱います。

8. 医療フェーズが引き上げられました。
引上げの日：令和3年12月31日（金）から
引上げ後のフェーズ：北部5、中部・南部・那覇4、宮古・八重山3A

第466報：那覇市健康危機レベル4に引き上げ

送信日時：2022年1月4日火曜日 10:27
件名：★沖縄県警戒レベル1★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第466報=所内第483報）
添付ファイル：0103_流行状況(日報)2.pdf; 0103_流行状況(日報)1.pdf; 220103警戒レベルの判断指標の状況.pdf

（冒頭定型文のため省略）

1月4日（火）10時現在 ★沖縄県警戒レベル1★ ★★★那覇市健康危機レベル4★★★

1. 先ほど、那覇市保健所現地対策本部の班長会議（部長出席）を開催し、以下2件を決定しました。
- 1) 那覇市の健康危機レベルを4に引き上げ。
 - 2) 全庁体制として応援職員派遣を要請する。
3連休前の1月7日までに参集いただくようお願いしたい。
- 1)については、現時点で沖縄県の警戒レベルは1のままですが、指標の一つである新規陽性者数は1月3日にレベル3Aとなり、今後も速やかな引き上げが想定されること。
病床利用率と重症者用病床使用率の2つの指標はレベル1のままですが、保健所業務は新規陽性者数に依存してひっ迫すること。
主に上記2つの理由で引き上げました。
- 2)については、下記3の44件に加えて昨夜から今朝までに32件の発生届があり、今後、1日50人以上となることが見込まれることから、保健所体制強化基準の第3段階の体制整備が急務であると判断しました。
また3連休前の1月7日までに体制整備することが望ましいと判断しました。

2. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 1/4(火)
検査数：13例
陽性：1例（新規0例、陰性確認1例）

陰性：12例

3. 1月3日（月）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は44件でした。
うち6件是那覇市外の方です。
その後、現時点までに32件の発生届があります。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は183名となっています。
昨日の県の公式発表130名は主に2日分の新規陽性者で、
上記183名は県コロナ本部が昨日3日17時ころまでに集計した数字です。
本日の公式発表は先週火曜日の29名を大きく上回る見込みです。

4. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査の陽性率が2日連続で5%を超えるようになりました。
5. L452R変異株PCR検査結果1/3(月)
検査数：26例
L452R陽性：なし
L452R陰性：24例
判定不能：2例
6. 全ゲノム結果1/3(月)
検査数：48例
オミクロン株(BA.1)：47例
判定不能：1例

第467報：警戒レベル2に引き上げ

送信日時： 2022年1月5日水曜日 9:39

件名： ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第467報=所内第484報）

添付ファイル： 発生動向報告_図表（確定版）_220104 .pdf; 発生動向報告_本文（確定版）_221004.pdf; 0104_流行状況(日報).pdf

（冒頭定型文のため省略）

1月5日（水）9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4
★★★★

1. 昨日、沖縄県の警戒レベルが1から2に引き上げました。
「感染流行期」となります。
2. 沖縄県疫学・統計解析委員会から資料をいただきました。
*データは確定日ベースですので、
定期的にお送りしていますエピカーブ（公表日ベース）の数値とは異なること、
ご留意ください。
3. 今週の新規陽性者数はを518-1,042人と見込んでいます。
しかし、明日中に1,000人を軽く超えそうな勢いです。
4. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 1/5(水)

検査数：23例
陽性：2例（新規2例、陰性確認0例）
陰性：21例

*接触者PCR検査センターの検査結果（1/3受検分）
中部：41例陽性（うち那覇市在住者2例）/301例
南部：24例陽性（うち那覇市在住者11例）/187例

5. 1月4日（火）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は112件でした。
うち21件は那覇市外の方です。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は399名となっています。
昨日の県の公式発表225名は主に3日分の新規陽性者で、
上記399名は県コロナ本部が昨日4日17時ころまでに集計した数字です。
*その後、399名から525名に増えたというLINE報告がありました。
本日の公式発表は先週水曜日の27名を大きく上回る見込みです。
*500名を超えるかもしれません。

6. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査と保険診療の陽性率が7%を超えるようになりました。
*1の接触者PCR検査センターでの陽性率は10%を超えています。
7. L452R変異株PCR検査結果1/4(火)
検査数：96例
L452R陽性：1例
L452R陰性：85例
判定不能：10例
8. 全ゲノム結果1/4(火) 報告ありません。
9. 本夕に専門家会議が開催されます。
10. カウントダウンイベント等、年末年始のイベント～会食で
20代を中心に爆発的な感染となっていると考えています。
年始の会食は自粛または「4, 3, 2, 1」の徹底を宜しくお願い致します。
（4人以内、3密回避、2時間以内、1次会限り）
成人式は式典そのものは感染リスク低減可能ですが、
式前後の歓談、式後の会食が大きなリスクです。
大変心苦しいですが、式前後の大声での歓談自粛や、
式後の会食自粛～「4, 3, 2, 1」徹底への呼びかけを宜しくお願い致します。
ワクチン接種・検査パッケージの活用はリスク低減になりますが、
基本的感染対策がおろそかになる傾向があります。
基本的感染対策の徹底を宜しくお願い致します。
以下の好例が参考になると思います。

基本的感染対策の好例1

飛行機内は3密ではありますが、
高性能HEPAフィルターによる常時換気（2～3分で入れ替わる）とマスク着用の徹底により、
オミクロン株であっても機内感染はほとんど確認されていません。
短時間の国内線のみならず10時間以上の国際線機内でも機内感染はほぼ0です。

基本的感染対策の好例2

教室内は3密になりやすいですが、
窓開放等による常時換気とマスク着用、黙食の徹底、
感染者発生時の接触者出校自粛～学級等閉鎖～早期検査等の徹底により、
ワクチン未接種であっても教室内での感染拡大はほとんど確認されていません。
（但し、オミクロン株では分かりません。）

第469報：第6波・過去最速の急拡大・検査追い付かず

送信日時： 2022年1月7日金曜日 9:36

件名： ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症（市内第469報=所内第486報）

添付ファイル： 0105_流行状況(日報).pdf; ADB20220106西浦先生倍加時間抜粋.pdf;
ADB20220106鈴木先生倍加時間抜粋.pdf

（冒頭定型文のため省略）

1月7日（金）9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4
★★★★★

1. 一昨日から応援職員が入り始め、本日からフルに近い体制で臨めます。
ご協力に感謝申し上げます。
しかしながら昨日の調査積み残しが400近くと第5波のピーク時と同等の数字となっています。今後、数日で積み残しが1000を超える見込みです。
第5波までは発生届受理後48時間以内にほぼ全例、調査開始できました。
しかし、今回は48時間を超える状況となりつつあります。
今後、調査の大幅な縮小を判断せざるを得ないと思います。
県と調整しながら判断する予定です。
2. 那覇市内含めて県内では検査がパンクしています。
下記5にあるように、ある検査所は連携医療機関を県外にお願いせざるを得なくなっています。
また、報道にあるように市内含めて県内の医療機関で欠勤による影響が出始めています。
3. 昨日の厚労省とのWEB会議では、県内の状況の共有が主体でした。
厚労省としても危機感共有しており（最後のほうで局長も挨拶されていました）、
保健所の強化で追いつかない場合のシナリオも用意はしているようでした。
恐らく、積極的疫学調査の大幅な縮小等もシナリオに入っていると思います。

4. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 1/7(金)

検査数：78例
陽性：21例（新規20例、陰性確認1例）
陰性：57例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（1/5受検分）

中部：10例陽性（うち那覇市在住者1例）/242例
南部：29例陽性（うち那覇市在住者9例）/287例

5. 1月6日（木）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は367件でした。
うち59件は那覇市外の方や疑似症です。
また検査所の連携医療機関が県外のため県内の新規陽性者としてカウントされない例が22件あります。
この検査所は通常は県内医療機関と連携していますが、
年末から一部を県外医療機関にお願いせざるを得ない状況のようです。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は1220名となっています。
昨日の県の公式発表981名は主に5日分の新規陽性者で、
上記1220名は県コロナ本部が昨日6日17時ころまでに集計した数字です。
本日の公式発表は先週金曜日の44名を大きく上回る見込みです。

6. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査と保険診療の陽性率が10%を超えるようになりました。

7. L452R変異株PCR検査結果1/5(水)

検査数：40例
L452R陽性：4例
L452R陰性：32例
判定不能：4例

8. L452R変異株PCR検査結果1/6(木)

検査数：42例
L452R陽性：3例
L452R陰性：29例
判定不能：10例

9. 全ゲノム結果1/5(水) 報告ありません。

10. 昨日6日のアドバイザリーボードで沖縄県の倍加時間や流行予測が示されています。
沖縄県の倍加時間は鈴木先生資料では直近7日間で1.3日、直近14日間で1.9日、
西浦先生資料では直近7日間で1.35日、直近14日間で1.86日となっています。
流行予測では、1/8に1200~1800? (上限が切れていて見えません) となっています。

第471報：まん延防止等重点措置・調査追い付かず・濃厚接触者対応の重点化

送信日時: 2022年1月9日 日曜日 9:22

件名: ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症(庁内第471報=所内第488報)

(冒頭定型文のため省略)

1月9日(日) 9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4
★★★★★

- 濃厚接触者については、本日受理分より、中部保健所と同様の対応とします。
濃厚接触者には感染者から連絡していただき、
県のホームページにある*フローに従って対応していただきます。
*フロー：沖縄県の新型コロナ特設サイトのトップページにある「コロナかな?と思ったら」
但し、高齢者や妊婦等の濃厚接触者については保健所から連絡します。
昨日までの調査積み残しが1000件を超えたため、調査が最長で1週間は遅れる見込みです。
濃厚接触者に外出自粛等の感染予防行動を迅速にとっていただくことを最優先するための措置です。
- 那覇市の行政検査の速報です。
【那覇市】行政検査 1/9(日)
検査数：159例
陽性：26例
陰性：133例

*接触者PCR検査センターの検査結果(1/6受検分)
中部：27例陽性(うち那覇市在住者0例)/214例
南部：29例陽性(うち那覇市在住者16例)/248例
- 1月8日(土)に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は593件でした。
うち148件是那覇市外の方や疑似症です。
検査所の連携医療機関が県外のため県内の新規陽性者としてカウントされない例は0件でした。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は1839名となっています。
昨日の県の公式発表1759名は主に7日分の新規陽性者で、
上記1839名は県コロナ本部が昨日8日17時ころまでに集計した数字です。
本日の公式発表は先週日曜日の51名を大きく上回る見込みです。
- 衛研からの流行状況(日報)を添付します。
行政検査と保険診療の陽性率は引き続き13%台です。
- L452R変異株PCR検査結果1/8(土)
検査数：40例
L452R陽性：17例
L452R陰性：15例
判定不能：8例
*県外からの旅行者や帰省者を中心に検査しています。

6. 全ゲノム結果1/8(土) 報告ありません。

第472報：ファーストタッチの死守

送信日時：2022年1月10日月曜日 10:17

件名：★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症(庁内第472報=所内第489報)
添付ファイル：新【資料3】220109警戒レベルの判断指標の状況.pdf; 0109_流行状況(日報)1.pdf; 0109_流行状況(日報)2.pdf; COVID-19エビカーブ20220109.pdf

(冒頭定型文のため省略)

1月10日(月)10時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★

1. 昨日からの濃厚接触者対応について補足します。

- 1) 新規感染者や感染リスクのある方々(濃厚接触者)に、速やかに感染経路遮断行動(外出自粛等)をお願いすることが感染対策の基本。
- 2) 現状では新規感染者へのファーストタッチが24時間以上かかることが想定される。
- 3) 新規感染者への24時間以内のファーストタッチを死守したい(すべき)。
- 4) 現状では濃厚接触者への保健所からの連絡が48時間以上かかることが想定される。
- 5) 上記3)を死守するとともに、濃厚接触者への48時間以内の外出自粛等依頼も守りたい。
- 6) 新規陽性者の職場の濃厚接触者については、既に重点化しており、新規陽性者から職場に連絡して、職場の担当者に濃厚接触者対応をお願いしている。
- 7) 今回、職場以外の家族や友人に対しての濃厚接触者対応を新規感染者をお願いすることにより、これまでよりはレベルは少し落ちるが上記1)を維持できる。
換言すると、今回の方針にしないと上記3)5)が破綻し、上記1)が維持できなくなる。

追：今回と同じ対応を、第5波の時に県内の他保健所では実施していたと聞いております。那覇市保健所では皆様のご協力で実施せずに乗り切れました。また、6)の重点化は第4波と第5波でも那覇市保健所含めて全国各地で実施しており、今回の第6波では那覇市保健所は1月4日から実施しています。

2. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 1/10(月)

検査数：239例
陽性：30例
陰性：209例

*接触者PCR検査センターの検査結果(1/8受検分)

中部：例陽性(うち那覇市在住者例)/例 報告ありません。
南部：27例陽性(うち那覇市在住者4例)/343例

3. 1月9日(日)に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は337件でした。

うち104件是那覇市外の方です。

また検査所の連携医療機関が県外のため県内の新規陽性者としてカウントされない例は0件でした。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は996名となっています。

昨日の県の公式発表1533名は主に8日分の新規陽性者で、

上記996名は県コロナ本部が昨日9日17時ころまでに集計した数字です。

本日の公式発表は先週月曜日の130名を大きく上回る見込みです。

4. 衛研からの流行状況(日報)を添付します。

行政検査と保険診療の陽性率が14%になりました。

5. L452R変異株PCR検査結果1/9(日) 報告ありません。

6. 全ゲノム結果1/9(日) 報告ありません。
7. 沖縄県と那覇市の週報と月報、疫学週前週比、曜日毎前週比、2種類の簡易実効再生産数を添付します。
 沖縄県の第1週の新規感染者は6,665人と、第52週の258人から25.8倍増しています。
 那覇市の第1週の新規感染者は1,433人と、第52週の25人から57.3倍増しています。
 前週比は実効再生産数の代替指標とされています。
 沖縄県の疫学週前週比は第1週は25.8と、とんでもない数字となっています。
 2種類の簡易実効再生産数も10以上と驚異的な数字となっています。
 那覇市の実効再生産数はグラフでは振り切れている箇所もありますが、直近では、感染研方式で16.66、東洋経済方式で18.03と、こちらも驚異的な数字です。
 ここまでの数字になると、今後の流行指標として意味があるものなのか判断できません。
8. 警戒レベル判断指標には参考指標として予測ツールがあります。(添付)
 これは、実効再生産数等を加味して3週間後の必要病床数を予測するものです。
 9日時点で3週間後に477,330ベッド必要と現実離れた数字となっています。

第471報：乳児の緊急検体採取（ドライブスルー方式）

送信日時: 2022年1月11日火曜日 10:25

件名: ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症(庁内第474報=所内第491報)

添付ファイル: 0110_流行状況(日報).pdf

(冒頭定型文のため省略)

1月11日(火)10時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★

1. 調査の積み残しはピークの8日1,052件から10日761件まで減少しました。
 最長4日待ちとなっています。
 今後の新規感染者数にもよりますが、なんとか今週中に解消できればと考えています。
2. 乳児の検体採取医療機関が限界のため、急遽、那覇市保健所敷地内で検体採取しました。
 9日に91件、10日に122件となります。
 乳児用の検体採取キット(サライバクリア)在庫不足で保育園PCRはストップしているようです。再開は20日以降のようです。
 那覇市保健所では通常の鼻咽頭ぬぐいキットで対応しました。
 20日までに、あと3回、検体採取～検査実施予定です。
3. 3連休中、閉院している医療機関が多いことから検査が進んでいないと思われます。
 ここ数日の感染者減少は見かけ上で、今後、再び増加に転じるとと思われます。
 欠勤者がさらに増えることも見込まれます。
4. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 1/11(火)

検査数: 234例 (手違いで40件分の結果がまだ届いていません)

陽性: 32例

陰性: 202例

- * 接触者PCR検査センターの検査結果(1/8受検分)
 中部: 35例陽性(うち那覇市在住者1例)/348例
- * 接触者PCR検査センターの検査結果(1/9受検分)
 中部: 28例陽性(うち那覇市在住者0例)/364例
 南部: 16例陽性(うち那覇市在住者5例)/315例

5. 1月10日(日)に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は394件でした。

うち100件は那覇市外の方です。
また検査所の連携医療機関が県外のため県内の新規陽性者としてカウントされない例は15件でした。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は921名となっています。
昨日の県の公式発表779名は主に9日分の新規陽性者で、
上記921名は県コロナ本部が昨日10日17時ころまでに集計した数字です。
本日の公式発表は先週火曜日の225名を大きく上回る見込みです。

6. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査と保険診療の陽性率は引き続き14%台です。

7. L452R変異株PCR検査結果1/10(月)
検査数：56例
L452R陽性：24例
L452R陰性：23例
判定不能：9例
*県外からの旅行者や帰省者を中心に検査しています。

8. 全ゲノム結果1/10(月) 報告ありません。

第476報：第6波ピーク・現地対策本部機能のひっ迫

送信日時： 2022年1月13日木曜日 10:11

件名： ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第476報=所内第493報）

添付ファイル： 0112_流行状況(日報).pdf

（冒頭定型文のため省略）

1月12日（水）9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★

1. 調査の積み残しは12日403件まで減少しました。
新規感染者の増加により、処理速度が遅くなっています。
新規感染者へのファーストタッチ（就業制限等）を24時間以内に実施することが困難になりつつあります。
今朝の那覇市保健所現地対策本部班長会議では、
本庁に分室を設置し、本庁職員にもファーストタッチ（就業制限等）を担っていただけないか、検討するよう指示いたしました。
部長、副部長から要請がありましたらご検討を宜しくお願い致します。
2. 10日付の庁内第472報に「COVID-19エピカーブ20220109」という資料が添付されています。
その1ページ下段に曜日毎7日間前週比のグラフがあります。
その中に各波のピーク時の日時が記載されています。
第3波と第4波は前週比のピークから約2週間後に新規感染者数のピークがきています。
第5波では前週比のピーク7月31日から新規感染者数のピーク8月25日と3週間以上かかりました。
第5波では8月4日に新規新規感染者数500人を超え、9月5日に500人を下回りました。
当時はワクチンが効果を発揮し始める時期でしたので、この程度で済んだ可能性があります。
オミクロン株に対してはワクチンによる重症化予防効果は期待できますが、感染予防効果はほぼ期待できません。
かなり厳しい流行となります。

社会機能維持のための方針転換が必要と考えます。
15日に県の専門家会議が開催される予定です。
その前に国のアドバイザリーボードも開催されるようです。
以下の内容が検討されると思います。

- ・就業制限期間の短縮（10日から5～7日へ）
- ・濃厚接触者への行動自粛要請期間の短縮（14日から7～10日へ）
- ・検査対象の制限（濃厚接触者のみ、または症状のある濃厚接触者のみ）

3. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 1/13(木)

検査数：118例

陽性：30例

陰性：88例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（1/11受検分）

中部：34例陽性（うち那覇市在住者0例）/362例

南部：35例陽性（うち那覇市在住者10例）/417例

4. 1月12日（水）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は397件でした。
うち111件は那覇市外の方です。
また検査所の連携医療機関が県外のため県内の新規陽性者としてカウントされない例は5件でした。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は1939名となっています。

昨日の県の公式発表1644名は主に11日分の新規陽性者で、

上記1939名は県コロナ本部が昨日12日17時ころまでに集計した数字です。

本日の公式発表は先週木曜日の981名を大きく上回る見込みです。

3. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査と保険診療の陽性率は13%台と、少し落ちました。

5. L452R変異株PCR検査結果1/12(水)

検査数：42例

L452R陽性：0例

L452R陰性：23例

判定不能：19例

* 県外からの旅行客や帰省者を中心に検査しています。

6. 全ゲノム結果1/12(水)

検査数：48例

オミクロン株(BA.1)：45例

判定不能：3例

第478報：第6波ピーク過ぎ

送信日時： 2022年1月17日月曜日 9:34

件名： ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第478報=所内第495報）

添付ファイル： 0116_流行状況(日報).pdf; クラスター班現場報告抜粋20220115.pdf;

COVID-19エピカーブ20220116.pdf; SARS-CoV-2の変異株B.1.1.529系統（オミクロン株）の潜伏期間の推定：暫定報告.pdf

（冒頭定型文のため省略）

1月17日（月）9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★

1. 調査の積み残しは15日までにほぼ解消しました。
11件ほど残っていますが、連絡が取れない、訪問しても会えない等の事案です。

2. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 1/17(月)

検査数：86例
陽性：7例
陰性：79例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（1/15受検分）
中部：43例陽性（うち那覇市在住者0例）/324例
南部：55例陽性（うち那覇市在住者18例）/413例

3. 1月16日（日）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は327件でした。
うち64件は那覇市外の方です。
また検査所の連携医療機関が県外のため県内の新規陽性者としてカウントされない例は41件でした。
これは那覇市保健所分のみでの数字で、県全体では100件前後になるかもしれません。
本日の県の公式発表の数字よりも、実際には100件前後多いとお考え下さい。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は867名となっています。
昨日の県の公式発表1226名は主に15日分の新規陽性者で、
上記867名は県コロナ本部が昨日16日17時ころまでに集計した数字です。
本日の公式発表は先週月曜日の779名を上回るか微妙です。

4. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査と保険診療の陽性率が再び14%台になっています。
5. 沖縄県と那覇市の週報と月報、疫学週前週比、曜日毎前週比、
2種類の簡易実効再生産数を添付します。
沖縄県の第2週の新規感染者は9,966人と、第1週の6,665人から1.45倍増しています。
那覇市の第2週の新規感染者は2,200人と、第1週の1,433人から1.54倍増しています。
前週比は実効再生産数の代替指標とされています。
沖縄県の疫学週前週比第2週1.45は第1週の25.8と比較すると落ち着いてきました。
2種類の簡易実効再生産数も1台まで落ち着いてきています。
これまでの簡易実効再生産数はグラフ注釈欄にあるように世代時間5日間で算出していました。
オミクロン株は世代時間が3日間ほどではないかという知見が集積されつつあります。
今回から世代時間3日間、報告間隔5日間で算出したグラフも追加しています。
こちらの方が実態に近いと思われます。
6. 潜伏期に関する資料2件を添付します。
感染研の資料は積極的疫学調査とHER-SYSに基づいています。
オミクロン株は、積極的疫学調査で曝露から6.7日以内に99%が発症。
HER-SYSでは7日で94.53%、10日で99.18%となっています。
クラスター班の沖縄県での現場報告では61例すべて5日以内に発症。
（クラスター班の報告書は15日の沖縄県専門家会議の資料抜粋です）
これらのデータに基づき、濃厚接触者の待機期間が14日間から10日間に短縮されたよう
です。

第 480 報：調査積み残しの解消

送信日時： 2022年1月20日木曜日 10:40

件名： ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症（市内第480報=所内第497報）

添付ファイル： 0119_流行状況(日報)1.pdf; 0119_流行状況(日報)2.pdf; 202202w_患者
療養情報まとめ.pdf; 202202w_流行状況(週報).pdf; 202202w_流行状況(保健所管内別直近
5週).pdf; 202202w_L452R変異株検査状況.pdf; 新型コロナ累計20220119.png

（冒頭定型文のため省略）

1月20日（木）10時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル
4★★★★

1. 直近の積み残しは10件台～数件で推移しています。

9日時点の積み残しは14日までにすべて解消しています。
中部保健所は約2000件、南部保健所は約1000件の積み残し数で、連日、推移している
ようです。
そのため、報道にあるように「保健所から連絡が来ない」という問い合わせが医療機関に
殺到しているようです。
那覇市では、皆さまのおかげでなんとかこなせています。

2. 衛研から第2週の週報が届きました。
発症日は調査中のものが多いため、感染者数は公表された数字よりも少なくなっています。
感染者のうち入院患者が占める割合は過去の流行に比較して引き続き極めて低くなってい
ます。
入院患者の実数はじわり増えており、それに伴い中等症も増加しています。
人工呼吸器が必要な重症者も出ていますが、グラフではまだ見えません。
死亡者数は398人から変わりありません。
一方で感染者急増により死亡率は昨年第50週の0.79%から0.59%まで下がっています。

*死亡後に新型コロナ陽性となった方が1例あります。
オミクロン株かどうか検査中のようです。
那覇市在住の高齢者で、公表について県と調整中です。取扱注意！

3. 第2週のL452R陰性率は66.7%と第1週の84.8%から低下しています。
第2週から、デルタ株が主流の県外からの旅行客や帰省者への検査にシフトしているせい
だと考えています。
県外もオミクロン株にほぼ置き換わりましたので、今後、再び上昇するものと思われま
す。

4. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 1/20(木)
検査数：277例
陽性：13例
陰性：264例

*接触者PCR検査センターの検査結果（1/18受検分）
中部：35例陽性（うち那覇市在住者0例）/291例
南部：31例陽性（うち那覇市在住者10例）/306例

5. 1月19日（水）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は435件でした。
うち74件は那覇市外の方です。
また検査所の連携医療機関が県外のため県内の新規陽性者としてカウントされない例は
51件でした。
この問題は19日付朝日新聞、20日の県内2紙で報道されています。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は1566名となっています。
昨日の県の公式発表1433名は主に18日分の新規陽性者で、
上記1566名は県コロナ本部が昨日19日17時ころまでに集計した数字です。
本日の公式発表は先週木曜日の1817名を下回る見込みです。

6. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査と保険診療の陽性率が15%台半ばまで上昇しています。
7. 累計の感染者数が北海道を抜いて全国9位となっています。
抜いたのは1月14日だと思います。
添付資料は1月19日のNHKデータ画像です。

第481報：県警戒レベル3Aに引き上げ

送信日時：2022年1月21日金曜日 9:46

件名：★★★沖縄県警戒レベル3A★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第481報=所内第
498報）

添付ファイル: 20220119_5-11corona.pdf; 0120_流行状況(日報)2.pdf; 0120_流行状況(日報)1.pdf

(冒頭定型文のため省略)

1月21日(金)9時現在 ★★★沖縄県警戒レベル3A★★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★

1. 昨日20日に沖縄県の警戒レベルが3Aに引き上げられました。「まんまん延期」となります。
2. 沖縄県の専門家会議はメール稟議で実施されています。まん延防止等重点措置の延長や、今後の強化策について意見を求められています。県は緊急事態宣言は考えていないようです。
3. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 1/21(金)

検査数:164例
陽性:27例
陰性:137例

*接触者PCR検査センターの検査結果(1/19受検分)

中部:49例陽性(うち那覇市在住者0例)/334例
南部:33例陽性(うち那覇市在住者4例)/330例

4. 1月20日(木)に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は386件でした。うち102件是那覇市外の方です。また検査所の連携医療機関が県外のため県内の新規陽性者としてカウントされない例は28件でした。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は1341名となっています。

昨日の県の公式発表1309名は主に19日分の新規陽性者で、上記1341名は県コロナ本部が昨日20日17時ころまでに集計した数字です。本日の公式発表は先週金曜日の1596名を下回る見込みです。

4. 衛研からの流行状況(日報)を添付します。行政検査と保険診療の陽性率が17%台まで上昇中です。
5. 日本小児科学会からワクチンに対する考え方が出ています。

第484報:第6波収束期

送信日時: 2022年1月27日木曜日 11:12

件名: ★★★沖縄県警戒レベル3A★★★ 新型コロナウイルス感染症(庁内第484報=所内第501報)

添付ファイル: 0126_流行状況(日報).pdf; 20220126藤田先生資料抜粋.pdf; 202203w_患者療養情報まとめ.pdf; 202203w_流行状況(週報).pdf; 202203w_流行状況(保健所管内別直近5週).pdf

(冒頭定型文のため省略)

1月27日(木)10時現在 ★★★沖縄県警戒レベル3A★★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★

1. 昨日の専門家会議では「まん延防止等重点措置延長に伴う県対処方針案」や「同重点措置の解除基準」について検討され、特に異論はありませんでした。

2. 藤田先生からは待機時間の短縮について提案がありました。（添付抜粋資料）
国のほうでも検討中のようです。
3. 県の対処方針案は、防災危機管理課から事前共有されているものと思います。
学校は原則、通常登校となります。
那覇市保健所でも一時休止していた乳幼児健診や生活衛生課業務等を2月1日から再開します。
4. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 1/27(木)

検査数：214例
陽性：15例
陰性：199例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（1/25受検分）
中部：69例陽性（うち那覇市在住者0例）/611例
南部：85例陽性（うち那覇市在住者31例）/531例

5. 1月26日（水）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は356件でした。
うち130件は那覇市外の方です。
また検査所の連携医療機関が県外のため県内の新規陽性者としてカウントされない例は2件でした。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は950名となっています。
昨日の県の公式発表1256名は主に25日分の新規陽性者で、
上記950名は県コロナ本部が昨日26日17時ころまでに集計した数字です。
本日の公式発表は先週木曜日の1309名を下回る見込みです。

6. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
26日分の行政検査と保険診療の陽性率は15.6%となっています。
25日分では16.2%でした。
7. 衛研から第3週の週報が届きました。
発症日は調査中のものが多いため、感染者数は公表された数字よりも少なくなっています。
年代別で10歳未満が増えているのが気になります。

感染者のうち入院患者が占める割合は過去の流行に比較して極めて低くなっています。
入院患者の実数はじわり増えていますが、頭打ち傾向にあるようです。
死亡者数は1人増えて399人となっています。
施設内で看取りで亡くなられた方が数名いらっしゃいますが、
死亡者にはまだカウントされていません。
死亡率は第1週の0.68%から0.53%まで下がっています。

8. 第3週のL452R陰性率は84.5%となっています。（資料の添付は割愛します）
県外からの旅行者や帰省者への検査にシフトしていますので、
L452R陰性率はいったん減少しましたが、その後、再び上昇しています。
県外でもほぼオミクロン株に置き換わっているようです。
一方で県内ではL452R陽性率が12.1%(37/305)ですので、
デルタ株もしぶとく残っています。
9. インフルエンザは引き続き落ち着いています。（資料の添付は割愛します）

第 485 報：濃厚接触者待機時間の短縮

送信日時: 2022年1月31日月曜日 10:26

件名: ★★★沖縄県警戒レベル3A★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第485報=所内第502報）

添付ファイル: COVID-19 エピカーブ 20220130.pdf; 濃厚接触者待機期間 20220128.jpg; 0130_流行状況(日報).pdf

(冒頭定型文のため省略)

1月31日(月) 10時現在 ★★★沖縄県警戒レベル3A★★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★

1. 報道されているように、1/28より濃厚接触者の待機期間が短縮されました。高山先生がまとめられた分かりやすい図を添付します。無症状病原体保有者も検査日から7日間発症なければ8日目に解除となります。既に療養に入っていた方も対象ですので、1/29(土)以降は療養中の対象者の抽出と連絡に追われています。
2. 東京都は本日より50歳未満でリスクの低い自宅療養者については、行政による健康観察は実施せず、ご自身に委ねるようです。

東京都 自宅療養50歳未満の軽症患者など“自分で健康観察を”
NHK 2022年1月27日 17時06分
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20220127/k10013452561000.html>

東京都「軽症者らは本人で」 自宅療養者の健康観察
日経 2022年1月27日 16:25 (2022年1月27日 22:22更新)
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCC2712DOX20C22A1000000/>

3. 現在、沖縄県の自宅療養者については、ご自身で療養中の健康状況を入力(My HER-SYS) いただいております。2日間、入力の確認されない場合、保健所から連絡して健康状況を確認しています。その際に連絡がとれない方には、直接訪問して安否も含めて健康確認しています。訪問は28日:6件、29日:5件、30日:2件で、ほとんどが20代の方々です。入力漏れの理由は、入力がめんどくさい、携帯料金未納等となっています。この訪問業務が負担となっていることから、今朝の那覇市保健所現地対策本部班長会議で、50歳未満でワクチン接種済、基礎疾患等のリスクのない方については、訪問しないことを決定しました。それ以外の方については、これまで通り対応いたします。決定にあたっては、2の東京都や、大阪府の対応も参考にしました。
4. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 1/31(月)
検査数:128例
陽性:10例
陰性:118例

*接触者PCR検査センターの検査結果(1/29受検分)
中部:61例陽性(うち那覇市在住者0例)/565例
南部:60例陽性(うち那覇市在住者15例)/329例

5. 1月30日(日)に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は265件でした。うち112件は那覇市外の方や疑似症です。また検査所の連携医療機関が県外のため県内の新規陽性者としてカウントされない例は11件でした。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は675名となっています。昨日の県の公式発表838名は主に29日分の新規陽性者で、上記675名は県コロナ本部が昨日30日17時ころまでに集計した数字です。本日の公式発表は先週月曜日の611名を上回るかもしれません。

6. 衛研からの流行状況(日報)を添付します。行政検査と保険診療の陽性率は15.4%となっています。

10歳未満が増えています。割合で18.9%です。

7. 沖縄県と那覇市の週報と月報、疫学週前週比、曜日毎前週比、4種類の簡易実効再生産数を添付します。
沖縄県の第4週の新規感染者は7,032人と、第3週の8,220人から減少しています。
那覇市の第4週の新規感染者は1,509人と、第3週の1,700人から減少しています。
前週比は実効再生産数の代替指標とされています。
沖縄県の疫学週前週比第4週は0.86と、第3週の0.85からほぼ変わりありません。
4種類の簡易実効再生産数も全て1未満を維持していますが、1に近い数値で維持しており、減少スピードが鈍化していることを示唆しています。

第488報：致死率の低下

送信日時： 2022年2月4日金曜日 10:53

件名： ★★★沖縄県警戒レベル3A★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第488報=所内第505報）

添付ファイル： 0203_流行状況(日報).pdf; ADB20220120藤井先生大阪重症死亡抜粋.pdf; 県振り返り第4～5波死亡率抜粋.pdf; 000720345.pdf

（冒頭定型文のため省略）

2月4日（火）10時現在 ★★★沖縄県警戒レベル3A★★★ ★★★那覇市健康危機レベル4★★★★

1. 一昨日2日に感染研の先生方とお話できました。
前回庁内第487報の2にある部分解除の具体案について、特に情報はないとのことでした。
しかし、2日のアドバイザリーボードで、尾身先生からインフルエンザとの比較をするよう指示が出たようで、そのデータを元に話が進むのかもしれませんが。
2. インフルエンザとの比較でキーポイントのひとつは致死率です。
大阪府の第6波初期の致死率は0.03%で、第4波の2.8%、第5波の0.4%と比較すると1/10以下となっています。（添付）
沖縄県の致死率は、第4波が0.86%、第5波は0.55%となっています。（添付）
第6波の始まりをオミクロン株感染者が初めて診断された12/14とすると、 $7/34,623=0.02\%$ となります。

インフルエンザの致死率は、
庁内第484報に添付しました藤田先生の資料では0.1%以下となっています。
昨年1月の感染研の資料では0.1%（0.02～0.03%）となっています。

3. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 2/4(金)

検査数：99例

陽性：16例

陰性：83例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（2/2受検分）

中部：46例陽性（うち那覇市在住者0例）/413例

南部：55例陽性（うち那覇市在住者18例）/222例

4. 2月3日（水）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は268件でした。
うち106件は那覇市外の方です。
また検査所の連携医療機関が県外のため県内の新規陽性者としてカウントされない例は0件でした。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は701名となっています。

昨日の県の公式発表652名は主に2日分の新規陽性者で、
上記701名は県コロナ本部が昨日3日17時ころまでに集計した数字です。
本日の公式発表は先週金曜日の1073名を下回る見込みです。

5. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査と保険診療の陽性率は13.9%となっています。
10歳未満は15.3%です。

第 492 報：重点措置解除の検討

送信日時： 2022年2月14日月曜日 9:09

件名： ★★★沖縄県警戒レベル3A★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第492報=所内第509報）

添付ファイル： O213_流行状況(日報)1.pdf; O213_流行状況(日報)2.pdf; COVID-19エピソード20220213.pdf

（冒頭定型文のため省略）

2月14日（月）9時現在 ★★★沖縄県警戒レベル3A★★★ ★★★那覇市健康危機レベル4★★★

1. 昨日の専門家会議では重点措置解除に賛同が8人（仲宗根含む）、反対が1人でした。
このまま順調に減少する可能性は少ないが、これ以上延長しても措置の効果はあまり見込めないだろう。
飲食店にも一服してもらい、急増の気配があれば直ちに再措置のほうが良いのではないかとミクロン株の特性、特に重症化や致死率の低下が確認されつつあること。
昨年この時期と比較して、ワクチン接種加速による効果と
高齢者施設支援体制（治療含む）の強化が見込まれることも好材料と判断しています。

但し、最終的には政府が決定します。
今日から数日の感染動向を政府がどう判断するか、
また、他の延長対象自治体とのバランスをどう判断するか、だと思えます。

2. OOは、本夕の那覇市医師会理事会に呼ばれています。
高齢者施設支援体制の強化やワクチン接種推進について情報交換したいと思います。
3. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 2/14(月)

検査数：117例

陽性：16例

陰性：101例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（2/12受検分）
中部：45例陽性（うち那覇市在住者0例）/339例
南部：23例陽性（うち那覇市在住者11例）/221例

4. 2月13日（日）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は153件でした。
うち80件は那覇市外の方です。
また検査所の連携医療機関が県外のため県内の新規陽性者としてカウントされない例は0件でした。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は349名となっています。
昨日の県の公式発表549名は主に12日分の新規陽性者で、
上記349名は県コロナ本部が昨日13日17時ころまでに集計した数字です。
本日の公式発表は先週月曜日の316名を上回ると思われます。

5. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査と保険診療の陽性率は12.8%とほぼ変わりありません。

10歳未満は18.4%となっています。

6. 沖縄県と那覇市の週報と月報、疫学週前週比、曜日毎前週比、4種類の簡易実効再生産数を添付します。
沖縄県の第6週の新規感染者は3,917人と、第5週の4,493人から減少しています。
那覇市の第6週の新規感染者は822人と、第5週の1,015人から減少しています。
沖縄県の疫学週前週比第6週は0.87と、第5週の0.64から上昇しました。
4種類の簡易実効再生産数は全て0.9台と、前週から上昇し1に近づいています。

第497報：第6波、高いレベルで下げ止まり

送信日時： 2022年2月24日木曜日 12:04

件名： ★★★沖縄県警戒レベル3A★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第497報=所内第514報）

添付ファイル： hp220222.pdf; 新型コロナ致死率と一般死亡率20220224.pdf; O223_流行状況(日報)1.pdf; O223_流行状況(日報)2.pdf

（冒頭定型文のため省略）

2月24日（火）12時現在 ★★★沖縄県警戒レベル3A★★★ ★★★那覇市健康危機レベル4★★★★

1. データ添付しませんが、那覇市の簡易実効再生産数も1を超えてきています。
6では10名以上と書いていますが、30人を超える保育園クラスターが発生しており（取扱注意！）、その影響もあります。
2. 2/21付庁内第495報でお示ししました沖縄県の2019年の年代別死亡率について、新型コロナ感染者の年代別致死率と比較してみました。
公表を前提していませんので取扱注意！をお願いします。
第4波と第5波ではいずれの年代も2019年の死亡率を上回っており、インフルエンザよりも致死率が高いことが伺えます。
一方で第6波では2019年の死亡率をかなり下回っており、インフルエンザよりも致死率が下がっていることが伺えるデータだと思えます。
ワクチンと積極的な治療のおかげだと思えます。
沖縄県の専門家会議でもデータを検討いただく予定です。
3. 沖縄県疫学・統計解析委員会の週報資料を添付します。
*データは確定日ベースですので、定期的にお送りしていますエピカーブ（公表日ベース）の数値とは異なること、ご注意ください。

* * 資料は次のサイトからもダウンロードできます。

沖縄県新型コロナウイルス感染症対策疫学・統計解析委員会の資料

https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/chijiko/kohokoryu/kansenshou_kanren-joho.html#ekigakutoukeikaiseki

4. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 2/24(木)

検査数：78例

陽性：12例

陰性：66例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（2/21受検分）
中部：70例陽性（うち那覇市在住者1例）/527例
南部：31例陽性（うち那覇市在住者11例）/284例

5. 2月23日（水）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は227件でした。
うち104件是那覇市外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は519名となっています。
昨日の県の公式発表737名は主に22日分の新規陽性者で、
上記519名は県コロナ本部が昨日23日17時ころまでに集計した数字です。
この数字だけだと本日の公式発表は先週木曜日の702名を下回ると思われます。

6. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査と保険診療の陽性率は13.8%です。
10歳未満は21.6%となっています。
*那覇市のこども園で10名を超えるクラスターが発生しています。（取扱注意！）

第 498 報：県警戒レベル2に引き下げ

送信日時: 2022年2月28日月曜日 9:45

件名: ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症(庁内第498報=所内第515報)
添付ファイル: 0227_流行状況(日報).pdf; COVID-19 エピカーブ 20220227.pdf;
ADB20220224砂川先生_merged.pdf; ADB20220224阿南先生濃厚接触者.pdf

（冒頭定型文のため省略）

2月28日（月）9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル
4★★★★

1. 2月24日付で県の警戒レベルが3Aから2に引き下げられました。
2. 24日のアドバイザリーボードで、
今後の積極的疫学調査等の在り方について検討が始まっています。
高山先生も加わっている資料と感染研・砂川先生の資料抜粋を添付します。

国、県、那覇市の新型インフルエンザ等対策行動計画でも、
流行拡大～まん延期には「必要性の低下した対策の縮小・中止を図る。」とあります。
なお、5類感染症の麻疹・風疹等は全数把握することとなっており、
2類から5類になったとしても全数把握を直ちに中止するかどうかは不明です。
全数把握は継続し、調査を縮小する方向に行くのかなと予想しています。

（1）感染拡大を止めることは困難であり、対策の主眼を、早期の積極的な感染拡大防止策から被害軽減に切り替える。

（8）状況の進展に応じて、必要性の低下した対策の縮小・中止を図る。

① 本市は、県内感染期に移行した段階で、新型インフルエンザ等患者の全数把握については中止し、重症者及び死亡者のみ全数把握を継続する。

3. 沖縄県と那覇市の週報と月報、疫学週前週比、曜日毎前週比、
4種類の簡易実効再生産数を添付します。
沖縄県の第8週の新規感染者は4,288人と、第7週の4,232人から微増しています。
那覇市の第8週の新規感染者は850人と、第7週の798人から増加に転じています。
沖縄県の疫学週前週比第8週は1.01と、第7週の1.08から引き続き1を超えています。
4種類の簡易実効再生産数も引き続き全て1.0台となっています。
那覇市も1を超えてきています。
4. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 2/28(月)

検査数：13例

陽性：5例

陰性：8例

- * 接触者PCR検査センターの検査結果（2/26受検分）
 - 中部：例陽性（うち那覇市在住者例）/例（報告届いていません）
 - 南部：48例陽性（うち那覇市在住者8例）/414例

- 2月27日（日）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は107件でした。うち8件は那覇市外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は609名となっています。昨日の県の公式発表586名は主に26日分の新規陽性者で、上記609名は県コロナ本部が昨日27日17時ころまでに集計した数字です。この数字だけだと本日の公式発表は先週月曜日の315名を上回ると思われます。

6. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。行政検査と保険診療の陽性率は14.6%です。10歳未満は21.2%となっています。

第499報：第6波、高いレベルで小康期

送信日時：2022年3月3日木曜日 9:55

件名：★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第499報=所内第516報）
添付ファイル：発生動向報告_本文（確定版）_220301.pdf; 発生動向報告_図表（確定版）_220301 .pdf; 0302_流行状況(日報).pdf; ADB20220302押谷先生Flu致死率抜粋.pdf

（冒頭定型文のため省略）

3月3日（月）9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4
★★★★

1. 昨日2日のアドバイザリーボードで、オミクロン株と季節性インフルエンザの致命率についての資料が公開されました。オミクロン株は暫定値（今後、上昇する可能性があるため）で0.13%。季節性インフルエンザは、症例致命率で0.006~0.013%、あるいは0.010%-0.052%。NDBに基づく0.09%。オミクロン株の致命率は季節性インフルエンザの致命率より高い、と結論しています。

資料では触れていませんが、那覇市新型インフルエンザ等対策行動計画で参考にしているアジア風邪（インフルエンザ）の致命率0.53%よりは低いこととなります。なお、スペイン風邪（インフルエンザ）は2.0%です。

このオミクロン株の致命率を国民がどうとらえるか、微妙な数字ですね。

2. 沖縄県疫学・統計解析委員会の週報資料を添付します。
 - * データは確定日ベースですので、定期的にお送りしていますエピカーブ（公表日ベース）の数値とは異なること、ご留意ください。

**資料は次のサイトからもダウンロードできます。

沖縄県新型コロナウイルス感染症対策疫学・統計解析委員会の資料

https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/chijiko/kohokoryu/kansenshou_kanren-joho.html#ekigakutoukeikaiseki

3. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 3/3(木)
検査数：13例

陽性：3例
陰性：10例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（3/1受検分）
中部：63例陽性（うち那覇市在住者0例）/593例
南部：61例陽性（うち那覇市在住者18例）/352例

4. 3月2日（水）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は207件でした。
うち13件は那覇市外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は932名となっています。
昨日の県の公式発表966名は主に1日分の新規陽性者で、
上記932名は県コロナ本部が昨日2日17時ころまでに集計した数字です。
この数字だけだと本日の公式発表は先週木曜日の369名を上回ると思われます。

5. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査と保険診療の陽性率は15.3%です。
10歳未満は20.8%となっています。

第 501 報：o株亜系統 BA.2 初検出

送信日時： 2022年3月8日火曜日 9:01

件名： ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第501報=所内第518報）
添付ファイル： 202209w_患者療養情報まとめ.pdf; 202209w_流行状況（週報）.pdf;
202209w_流行状況（保健所管内別直近5週）.pdf; 0307_流行状況（日報）.pdf;
202209w_L452R変異株検査状況.pdf

（冒頭定型文のため省略）

3月8日（火）9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4
★★★★★

1. 衛研から第9週の週報が届きました。
発症日は調査中のものが多いため、感染者数は公表された数字よりも少なくなっています。
今回から年別確定週陽性者数のグラフが追加されています。
（昨日お送りしました那覇市作成のものは報告日ベースです。）

発症日のグラフでは2月28日～3月1日付近に山が形成されつつあります。
確定週のグラフでは3週連続で増加しています。
年齢別の割合で10歳未満が第8週：19.8%、
第9週：19.5%と高いレベルで推移しています。
新規感染者数は増加に転じましたが、
入院含む療養者数、呼吸管理中等症に関しては横ばいのようなようです。
これから増加するものと思われまます。
保健所別で那覇市も増加に転じたことが分かります。
重点措置が先行解除された宮古は解除前の水準まで増加したあと、
減少に転じ、その後も落ち着いています。
死亡者数は2週間で7人増えて429人となっています。
感染者も増えていきますので、死亡率は第5週の0.47%から0.41%まで漸減しています。

2. 第9週のL452R陰性率は表示されていませんが、引き続き100%となっています。
報道されているように、BA.2が2例（1.5%）、初めて確認されました。
3. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 3/8(火)

検査数：20例
陽性：3例
陰性：17例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（3/6受検分）
中部：76例陽性（うち那覇市在住者0例）/588例
南部：47例陽性（うち那覇市在住者18例）/408例

4. 3月7日（月）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は109件でした。
うち5件は那覇市外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は524名となっています。
昨日の県の公式発表278名は主に6日分の新規陽性者で、
上記524名は県コロナ本部が昨日7日17時ころまでに集計した数字です。
この数字だけだと本日の公式発表は先週火曜日の1029名を下回る見込みです。

5. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査と保険診療の陽性率は15.2%です。
10歳未満は17.3%となっています。
* 土日は学校・保育PCR検査がないため、日月の結果は18歳以下の割合が少なくなります。

第504報：世界の10大リスク

送信日時： 2022年3月11日金曜日 9:12

件名： ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第504報=所内第521報）
添付ファイル： 新型コロナ中国台湾香港20220309.pptx; 2022世界10大リスク：日経
20220104.pdf; 0310_流行状況(日報).pdf; ADB20220309西浦先生_香港韓国抜粋.pdf

（冒頭定型文のため省略）

3月11日（金）9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル
4★★★★

1. 昨日、韓国と香港の流行に少し触れましたが、
3/9の政府アドバイザリーボードの資料抜粋を添付します。
香港でも高齢者の死亡が多いのですが、
シノバック（中国製ワクチン）接種率が高齢者では高くなっており、
同ワクチンはmRNAワクチンより有効性が劣ることから、
それが死亡が多い理由と推測されているようです。
韓国ではAZ（アストラゼネカ）のワクチンが23%のようです。
ワクチンの影響もあるかもしれませんが、
スライドにある中断された政策の影響の方が大きいように考えます。
2. 今年の世界の10大リスクの資料を添付します。
中国のゼロコロナ政策の失敗がトップとなっています。
パラリンピックが終わるまでは全力で抑えにかかると思いますが、
それ以降もゼロコロナ政策を継続するしないに関わらず、大きなリスクになると思います。
最近の流行状況をみると抑えが効きにくくなっている兆しがあるように見えます。
ウクライナ・ロシア危機に中国の経済停滞リスクが加わるとどうなるのか、
とても心配です。
3. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 3/11(金)
検査数：170例
陽性：6例
陰性：164例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（3/9受検分）
中部：58例陽性（うち那覇市在住者0例）/399例
南部：35例陽性（うち那覇市在住者8例）/380例

4. 3月10日（木）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は149件でした。うち2件は那覇市外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は742名となっています。
昨日の県の公式発表649名は主に9日分の新規陽性者で、
上記742名は県コロナ本部が昨日10日17時ころまでに集計した数字です。
この数字だけだと本日の公式発表は先週金曜日の849名を下回る見込みです。

5. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査と保険診療の陽性率は12.6%です。
10歳未満は12.6%となっています。
修学旅行、卒業パーティーや送別会の影響でしょうか、
10～19歳は引き続き20%台（21.6%）となっています。

第507報：欧米の規制（2類相当）解除

送信日時： 2022年3月22日火曜日 8:50

件名： ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第507報=所内第524報）
添付ファイル： 濃厚接触者：県案20220318.pdf; 0321_検査件数(日報).pdf; 0321_流行状況(日報).pdf; COVID-19エピカーブ20220321.pdf

（冒頭定型文のため省略）

3月22日（火）8時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★

1. 沖縄県と那覇市の週報と月報、疫学週前週比、曜日毎前週比、4種類の簡易実効再生産数を添付します。
沖縄県の第11週の新規感染者は4,474人と、第10週の4,531人から微減しています。
那覇市の第11週の新規感染者は1,079人と、第10週の917人から増加しています。
沖縄県の疫学週前週比第11週(3/14-20)は0.99と、第10週の0.80から上昇しています。
*3/21時点では1.00となっています。
4種類の簡易実効再生産数は1以上（1.00～1.06）となっています。
那覇市も1以上（1.08～1.11）となっています。
2. 全世界と主要国の流行状況、死亡者数の推移、そしてジョンソン首相声明を追加しています。
全世界の流行をみると、とてもこの1年で終息するとは思えません。
今後さらに数年、場合によっては10年規模の流行を覚悟する必要があります。
流行は長引きますがオミクロン株では死亡者数、死亡率がかなり低下しています。
そのことから欧米は規制解除に舵を切っています。
ジョンソン首相声明が分かりやすいと思います。
日本もその方向に向かっていきます。

濃厚接触者の取り扱い（添付案）について、
18日の県保健所長会と20日の県専門家会議で概ね国の通知通りに承認されました。
経済界への説明を経て、24日の県対策本部会議で了承された後、運用開始となります。

3. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 3/22(火)

検査数：20例
陽性：2例
陰性：18例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（3/20受検分）
中部：71例陽性（うち那覇市在住者2例）/563例
南部：例陽性（うち那覇市在住者例）/例（本日午前10時に報告予定とのこと）

4. 3月21日（月）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は103件でした。
うち12件は那覇市外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は328名となっています。
昨日の県の公式発表300名は主に20日分の新規陽性者で、
上記328名は県コロナ本部が昨日21日17時ころまでに集計した数字です。
この数字だけだと本日の公式発表は先週火曜日の570名を下回る見込みです。

5. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査と保険診療の陽性率は11.3%です。
10歳未満は10.0%となっています。
10～19歳は引き続き20%台（20.0%）となっています。

第511報：o株亜系統BA.2への置き換わり進行

送信日時：2022年3月29日火曜日 10:56

件名：★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第511報=所内第528報）

添付ファイル：0328_流行状況(日報).pdf; ADB20220323西浦先生抜粋BA2東京.pdf

（冒頭定型文のため省略）

3月29日（火）10時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★

1. [事務連絡] 新年度で異動になる方は、後任の方のお名前とメールアドレスを仲宗根までご連絡ください。

2. 報道にあるように沖縄県でもオミクロン-BA.2株への置き換わりが進んでいます。
3/28検査分だけに絞ると25%（12/48）となっています。
3/23政府アドバイザリーボードの西浦先生の分析では、
東京は4/1時点で82%、5/1時点で99%、BA.1からBA.2に置き換わるとされています。
BA.2株の世代時間はBA.1株のそれより15%短く、
実効再生産数はBA.1株のそれより、26%高いとして計算されています。

3. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 3/29(火)

検査数：27例

陽性：8例

陰性：19例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（3/27受検分）
中部：77例陽性（うち那覇市在住者2例）/503例
南部：例陽性（うち那覇市在住者例）/例（イベントのため会場使えず、検査なしと思われる）

4. 3月28日（月）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は148件でした。
うち8件は那覇市外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は722名となっています。
昨日の県の公式発表362名は主に27日分の新規陽性者で、
上記722名は県コロナ本部が昨日28日17時ころまでに集計した数字です。
この数字だけだと本日の公式発表は先週火曜日の326名を上回る見込みです。

5. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査と保険診療の陽性率は14.0%です。
10歳未満は11.3%となっています。
10～19歳は16.6%となっています。
20～29歳は24.9%と再び20%を超えました。

第516報：第6波再流行・那覇市の累積感染者数3万人超え

送信日時：2022年4月7日木曜日 10:06

件名：★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症(庁内第516報=所内第533報)
添付ファイル：0406_流行状況(日報).pdf; ADB20220406 鈴木先生沖縄.pdf;
ADB20220406 高山先生抜粋.pdf; ADB20220406 西浦先生オミクロンXE.pdf;
ADB20220406西浦先生オミクロンBA2.pdf

(冒頭定型文のため省略)

4月7日(木) 10時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル
4★★★★

1. 昨日、那覇市在住者の感染者が30,285人と3万人を超えました。
2. 昨日は325件の発生届受理がありました。
ファーストタッチの積み残しは104件となっています。
1月にもた方以降の全庁的応援をお願いしました。
今回もお願いする予定ですので、
その際は、お声掛けを宜しくお願い致します。
3. 昨日6日アドバイザリーボードの沖縄県の流行予測では、かなり楽観的な予測となっています。
那覇市では、来週にかけて過去最多の400人超えも想定して準備したほうが良いと考えています。
上記2にあります応援の準備を宜しくお願い致します。
4. 同アドバイザリーボードでは各種派生株についても検討されています。
東京のオミクロン株は4月15日に94%となることが予想されています。
沖縄県の4月4日報告分では42%(20/48)となっています。
タイでも流行拡大していますが、BA.2、BA.2.2よりもXE系が拡大しているようです。
5. 同アドバイザリーボードの高山先生の資料の抜粋も添付します。
3回目のワクチン接種率が高い市町村の方が陽性者が少なくなる傾向となっています。
引き続き、ワクチン接種推進が流行抑制の鍵となっています。
6. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 4/7(木)

検査数：221例
陽性：6例
陰性：215例

* 接触者PCR検査センターの検査結果(4/5受検分)
中部：78例陽性(うち那覇市在住者0例)/585例
南部：66例陽性(うち那覇市在住者22例)/447例

7. 4月6日(水)に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は325件でした。
うち5件は那覇市外の方等(疑似症や県外発生届症例含む)です。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は1403名となっています。
昨日の県の公式発表1410名は主に5日分の新規陽性者で、
上記1403名は県コロナ本部が昨日6日17時ころまでに集計した数字です。
この数字だけだと本日の公式発表は先週木曜日の1132名を上回る見込みです。

8. 衛研からの流行状況(日報)を添付します。
行政検査と保険診療の陽性率は16.0%です。
10歳未満は14.5%となっています。

10～19歳は16.7%となっています。
20～29歳は16.2%となっています。
若者から中高年層に流行が広がりつつあります。

第525報：o株亜系統BA.2への置き換わりほぼ完了

送信日時：2022年4月26日火曜日 9:10

件名：★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症(庁内第525報=所内第542報)

添付ファイル：0425_流行状況(日報).pdf

(冒頭定型文のため省略)

4月26日(火)9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★

1. 昨日は190件の発生届受理がありました。
ファーストタッチの積み残しは2件となっています。
5にあるように、今日の感染者数は前週火曜日の数を下回る見込みです。
下回れば2日連続で下回ることになります。
今週は減少に向かうかもしれませんが、
那覇市は1日200～250件と厳しい数字が続くと予想しています。

担当から連絡がありましたら、
引き続き、全庁的な応援についてお声掛けを宜しくお願い致します。
2. 全ゲノム解析の4月22日分解析結果では、
約94%(45/48)がBA.2系統となっています。
前回初めて確認されたBA.2.3(16件)、BA.2.3.1(5件)が引き続き確認されているようです。
今回、BA.2.10(1件)が初めて確認されています。
BA.2.10はBA.2.3.1と同じ4月1日にパンゴ指定された新しい派生株です。
3. 水際対策を緩めてウィズコロナに舵を切った台湾が急激な感染拡大に見舞われています。
今後、どのような対策をするのか注視したいと思います。

台湾、コロナ感染初の5000人超 「ピークは4万5000人」

日経：2022年4月24日 18:00

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOGM22A6GOS2A420C2000000/>

4. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 4/26(火)

検査数：65例

陽性：9例

陰性：56例

* 接触者PCR検査センターの検査結果(4/24受検分)

中部：98例陽性(うち那覇市在住者3例)/746例

南部：例陽性(うち那覇市在住者例)/例(報告なし。おそらく検査なしと思われます。)

5. 4月25日(火)に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は190件でした。
うち12件は那覇市外の方等(疑似症や県外発生届症例含む)です。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は948名となっています。

昨日の県の公式発表489名は主に24日分の新規陽性者で、

上記948名は県コロナ本部が昨日25日17時ころまでに集計した数字です。

この数字だけだと本日の公式発表は先週火曜日の1547名を下回る見込みです。

6. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査と保険診療の陽性率は16.6%です。

第528報：WHO、o株亜系統BA.5への懸念表明

送信日時：2022年5月2日月曜日 9:31

件名：★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第528報=所内第545報）

添付ファイル：0501_流行状況（日報）.pdf; COVID-19 エピカーブ 20220501.pdf;
covid19-79.pdf

（冒頭定型文のため省略）

5月2日（月）9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4
★★★★

1. 昨日は254件の発生届受理がありました。
ファーストタッチの積み残しは1件となっています。
4/28～30の積み残しは152、22、16となっています。
全庁と外部からの応援で乗り切ることができています。

連休明けの今日の午後から明日にかけてに発生届が集中することが予想されます。

担当から連絡がありましたら、
引き続き、全庁的な応援についてお声掛けを宜しくお願い致します。

2. 沖縄県と那覇市の週報と月報、疫学週前週比、曜日毎前週比、
4種類の簡易実効再生産数を添付します。

沖縄県の第17週の新規感染者は9,215人と、第16週の9,670人から減少しています。
那覇市の第17週の新規感染者は1,868人と、第16週の2,091人から減少しています。

沖縄県の疫学週前週比第17週は0.95と、第15週の1.02から低下しています。
4種類の簡易実効再生産数は0.9台（0.96～0.97）となっています。

那覇市は0.92と0.94となっています。
前週比やRtからは、感染拡大のスピードが5週連続で減速し、
ピークを越えて感染縮小期に入ったかもしれません。

3. 感染研から血清疫学調査（N抗体検査含む）についての報告が出ています。（添付資料）
庁内第520報に添付しました「ADB20220413資料5-1抗体保有率」の正式な報告書と
なります。

N抗体陽性または診断歴ありの罹患率（2022年2月時点）が、
東京都：6.4%（122/1,912）、全国：4.3%（348/8,149）となっています。

〇〇のほうで、2月1日時点の累積感染者数（報告数）と4月1日時点の人口から、
報告数に基づく罹患率を算出しました。

（2月1日時点の人口が見つからないので4月1日時点人口で代用しています）
東京都：4.2%（592,055/13,995,469）、全国：2.3%（2834,620/125,190,000）と
なっています。

報告数でみた罹患率に比べて、血清疫学調査に基づく罹患率は、
東京都：約1.5倍、全国：約1.9倍となります。

4. ニューヨークでオミクロン株BA.12.1、南アフリカで同BA.4、BA.5が優勢となり、
感染拡大傾向にあるようです。
WHOも4/27のアップデートでこれらの派生株について初めて言及し、
懸念を表明しています。
感染研からも報告（BA.12.1、BA.4、BA.5がまとまっています）がありました。
容量制限で添付できません。

感染・伝播性の増加や抗原性の変化が懸念される 新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の変異株について（第16報）

IASR: 2022年04月28日

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/2019-ncov/2551-cepr/11119-covid19-16.html>

New Omicron Variant BA.12.1 Dominant In New York; Up 47% Nationwide ? Deadline

<https://deadline.com/2022/04/new-omicron-variant-ba-12-1-dominant-new-york-1235010160/>

新型コロナ: BA.2より感染力強いオミクロン派生型、米国や南アで拡大: 日本経済新聞

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC243Z50U2A420C2000000/>

5. 新型コロナ罹患後症状のマネジメント：第1版が出ています。
職場等への復帰に関する産業医学的アプローチの記載について、
具体的な事例等が盛り込まれています。
罹患後症状で苦しんでいる職員の復帰にあたってご参考ください。
容量が大きいため添付できません。
次のサイトからダウンロードしてください。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き 別冊 罹患後症状のマネジメント（第1版）

<https://www.mhlw.go.jp/content/000935259.pdf>

6. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 5/2(月)

検査数：133例

陽性：10例

陰性：123例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（4/30受検分）

中部：19例陽性（うち那覇市在住者0例）/136例

南部：例陽性（うち那覇市在住者例）/例（報告なし。おそらく検査なしと思われます。）

7. 5月1日（日）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は254件でした。
うち18件は那覇市外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は1036名となっています。

昨日の県の公式発表1554名は主に30日分の新規陽性者で、

上記1036名は県コロナ本部が昨日1日17時ころまでに集計した数字です。

この数字だけだと本日の公式発表は先週月曜日の489名を上回る見込みです。

8. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査と保険診療の陽性率は16.8%です。

第530報：第6波収束見えず遷延

送信日時： 2022年5月9日月曜日 8:47

件名： ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第530報=所内第547報）

（冒頭定型文のため省略）

5月9日（月）9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4
★★★★★

1. 昨日は362件の発生届受理がありました。
ファーストタッチの積み残しは261件となっています。
5/6～7の積み残しは78、320となっています。

全庁と外部から応援をいただいておりますが、積み残しが多い状況です。本日はできる限り保健所全職員で積み残しを減らしたいと思います。

大型連休の影響で今週は厳しい数字が続くことが予想されます。

担当から連絡がありましたら、引き続き、全庁的な応援についてお声掛けを宜しくお願い致します。

2. 沖縄県と那覇市の週報と月報、疫学週前週比、曜日毎前週比、4種類の簡易実効再生産数を添付します。

沖縄県の第18週の新規感染者は10,892人と、第17週の9,215人から増加しています。那覇市の第18週の新規感染者は2,232人と、第17週の1,868人から増加しています。

沖縄県の疫学週前週比第18週は1.18と、第17週の0.95から上昇しています。4種類の簡易実効再生産数は1.11~1.20となっています。那覇市は1.12、1.14となっています。前回、ピークを越えて感染縮小期に入ったかもしれませんが、大型連休の影響と思われる感染拡大に反転しています。

3. 全ゲノム解析の5月6日分解析結果では、約96% (92/96) がBA.2系統となっています。BA.2系統の内訳は、次のようになっています。BA.2 (57件)、BA.2.3 (27件)、BA.2.3.1 (3件)、BA.2.10 (2件)、BA.2.10.1 (3件)
4. 有料会員記事ですが、コロナウイルスの歴史について分かりやすい記事がありました。転載はできませんので一部のみ抜粋引用いたします。

「米エモリー大などのチームは昨年、現在の4種類の風邪コロナのような状態になるには、10年程度かかるとの研究を発表。現在のように子どもの症状が軽い状況が続くならば、10年程度をかけてほとんどの人が子どものうちに感染する状況になり、その後は再び感染しても重症化しにくく、普通の風邪に近づく」と推定した。」

(科学とみらい) 新型コロナの行く先：下 普通の風邪になる日は来るのか
朝日新聞 2022年5月6日 5時00分
https://digital.asahi.com/articles/DA3S15286469.html?iref=pc_photo_gallery_bottom

5. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 5/9(月)
検査数：69例
陽性：3例
陰性：66例

* 接触者PCR検査センターの検査結果 (5/7受検分)
中部：79例陽性 (うち那覇市在住者1例) /328例
南部：46例陽性 (うち那覇市在住者11例) /249例

【那覇市】行政検査 5/7(土) 訂正！
検査数：11例
陽性：3例
陰性：8例

6. 5月8日(日)に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は362件でした。うち15件は那覇市外の方等(疑似症や県外発生届症例含む)です。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は1439名となっています。昨日の県の公式発表2060名は主に7日分の新規陽性者で、上記1439名は県コロナ本部が昨日8日17時ころまでに集計した数字です。

この数字だけだと本日の公式発表は先週月曜日の770名を回る見込みです。

7. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査と保険診療の陽性率は21.5%です。

第533報：ファーストタッチのSMS移行を検討

送信日時： 2022年5月16日月曜日 8:23

件名： ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第533報=所内第550報）

添付ファイル： COVID-19エピカーブ20220515.pdf; 20220515_流行状況(日報).pdf

（冒頭定型文のため省略）

5月16日（月）8時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★

1. 昨日は323件の発生届受理がありました。
ファーストタッチの積み残しは532件となっています。
なお、5/13～14の積み残しは534件と573件となっています。

この土日も全庁と外部からの応援をいただき、なんとかしのいでいますが、今週も厳しい数字が続く見込みです。

担当から連絡がありましたら、引き続き、全庁的な応援についてお声掛けを宜しくお願い致します。

2. 5月11日から、南部保健所では就業制限と同解除の連絡をSMSで行っているようです。那覇市保健所でも準備中です。導入されれば積み残しはかなり減る見込みです。
3. 沖縄県と那覇市の週報と月報、疫学週前週比、曜日毎前週比、4種類の簡易実効再生産数を添付します。

沖縄県の第19週の新規感染者は15,096人と、第18週の10,892人から増加しています。那覇市の第19週の新規感染者は3,002人と、第18週の2,232人から増加しています。

沖縄県の疫学週前週比第19週は1.39と、第18週の1.18から上昇しています。4種類の簡易実効再生産数は1.06～1.29となっています。那覇市は1.24、1.27となっています。

前週比やRtは1以上で感染拡大中ですが、前週比は5/13、Rtは5/11または5/13をピークに減少に転じており、感染拡大のスピードはやや鈍っています。とは言え、1を下回らないと感染者数は減少しません。

4. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 5/16(月)

検査数：61例

陽性：7例

陰性：54例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（5/13受検分）

中部：68例陽性（うち那覇市在住者3例）/316例

南部：38例陽性（うち那覇市在住者5例）/255例

5. 5月15日（日）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は323件でした。うち17件は那覇市外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。但し、HER-SYS上は270件となっています。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は1327名となっています。
昨日の県の公式発表2022名は主に14日分の新規陽性者で、
上記1327名は県コロナ本部が昨日15日17時ころまでに集計した数字です。
この数字だけだと本日の公式発表は先週月曜日の1071名を上回る見込みです。

6. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査と保険診療の陽性率は21.6%です。

第534報：ファーストタッチ積み残し600件超え

送信日時： 2022年5月18日水曜日 9:08

件名： ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第534報=所内第551報）

添付ファイル： 発生動向報告_本文（確定版）_220517.pdf; 発生動向報告_図表（確定版）_220517 .pdf; 20220517_流行状況(日報).pdf

（冒頭定型文のため省略）

5月18日（水）9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★

1. 昨日は496件の発生届受理がありました。
ファーストタッチの積み残しは646件となっています。
なお、5/15～16の積み残しは532件と493件となっています。

今週も厳しい数字が続く見込みですので、
これまで、なんとかしのいでいきましたが、積み残しは膨れ上がる見込みです。
ファーストタッチも含めて陽性者への連絡の省力化を加速させる必要があります。
段階的にファーストタッチと制限解除の連絡を電子化いたします。

現状についてのご理解とご協力をお願いするプレスリリースも出したいと思っています。

県は警戒レベル引き上げに慎重ですが、
実質的には警戒レベル3で、本来であればBCPを強化するフェーズと思われます。

危機的状況をご理解いただき、
引き続き、全庁的な応援についてお声掛けを宜しくお願い致します。

2. 16日に県の専門家会議が開催されました。
前記通り、県は警戒レベル引き上げやまん延防止等重点措置に慎重な姿勢です。
東京都の時短営業命令に違法判断が示されたこと、
重点措置の費用対効果に疑問があることなどが主な理由だと拝察しております。

委員からは医療現場が限界であることが訴えられました。
コロナ医療ではなく、一般医療、特に発熱外来対応がきついです。
これまでで一番きついの声も複数ありました。

〇〇は、子供たちの学びの場も危機に瀕しているのではないかと、
学級閉鎖、学年閉鎖、休校等のデータを教えて欲しい、
とコメントしましたが、データは用意されていませんでした。

本年1～3月の学校での感染状況資料（庁内第532報に添付）の概略を口頭で説明し、
医療だけでなく、学びの場も第6波を超える状況が見込まれ、
危機に瀕することが想定されるとコメントしました。

医療と学びのふたつの危機を回避する対策が必要、
ひとつは重点措置に匹敵する強い対策、
もうひとつはワクチン接種推進の加速化。
後者のためにワクチン接種休暇3日間を従業員に付与するよう、

経済界に要請しては如何か、という提案をしました。
ワクチン接種には即効性はないと思われるかもしれませんが、
この3日間は発熱、倦怠感等で感染リスク活動が減ることが期待できます。
新規感染機会の減少に若干でもつながればと考えています。

3. 沖縄県疫学・統計解析委員会の週報資料を添付します。
*データは確定日ベースですので、
定期的にお送りしていますエピカーブ（公表日ベース）の数値とは異なること、
ご注意ください。

**資料は次のサイトからもダウンロードできます。

沖縄県新型コロナウイルス感染症対策疫学・統計解析委員会の資料

https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/chijiko/kohokoryu/kansenshou_kanren-joho.html#ekigakutoukeikaiseki

4. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 5/18(水) *一部報告未達

検査数：34例

陽性：8例

陰性：26例

*接触者PCR検査センターの検査結果（5/16受検分）
中部：124例陽性（うち那覇市在住者1例）/548例
南部：89例陽性（うち那覇市在住者22例）/415例

5. 5月17日（火）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は496件でした。
うち15件は那覇市外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。
HER-SYS上は484件となっています。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は2651名となっています。
昨日の県の公式発表2173名は主に16日分の新規陽性者で、
上記2651名は県コロナ本部が昨日17日17時ころまでに集計した数字です。
この数字だけだと本日の公式発表は先週水曜日の2702名を下回る見込みです。
但し、昨夕以降の発生届出状況を考慮すると、上回るかもしれません。

6. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査と保険診療の陽性率は20.2%です。

第 535 報：県の累積感染者数 20 慢人突破

送信日時: 2022年5月23日月曜日 8:58

件名: **★★沖縄県警戒レベル2★★** 新型コロナウイルス感染症(庁内第535報=所内第552報)
添付ファイル: COVID-19エピカーブ20220522.pdf; ADB20220519資料2-5ワクチン接種率抜粋2.pdf; 20220522_流行状況(日報).pdf

(冒頭定型文のため省略)

5月23日（月）9時現在 **★★沖縄県警戒レベル2★★** **★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★**

1. 昨日は228件の発生届受理がありました。
ファーストタッチの積み残しは308件となっています。
なお、5/20～21の積み残しは845件と720件となっています。

土日は特に本庁から多くの応援をいただき、積み残しを驚異的に減らしていただきました。
改めて感謝申し上げます。

もう少し危機的状況が続きます。
引き続き、全庁的な応援についてお声掛けを宜しくお願い致します。

2. 沖縄県と那覇市の週報と月報、疫学週前週比、曜日毎前週比、4種類の簡易実効再生産数を添付します。

報道されているように21日で沖縄県の累積感染者数が20万人を超えました。

沖縄県の第20週の新規感染者は14,350人と、第19週の15,096人から減少しています。
那覇市の第20週の新規感染者は2,726人と、第19週の3,002人から減少しています。

沖縄県の疫学週前週比第20週は0.95と、第19週の1.39から低下しています。
4種類の簡易実効再生産数は0.96~0.97となっています。
那覇市は0.91、0.93となっています。

減少期に入ったものと思われます。

3. 5月19日の政府アドバイザリーボード資料には新規陽性者数とワクチン接種率のグラフがあります。(抜粋添付)

全国と東京ではワクチン接種率40%を超えた頃に新年度の歓送迎会シーズンを迎えています。その後、50%を超えてゴールデンウィークを迎えています。
それぞれのシーズンの流行は第6波のピークよりもかなり低く抑えられています。
感染による免疫保持者の割合が沖縄に最も近い東京の動きは沖縄県の参考になると思われます。

東京はワクチン接種対象者がほとんどいない10歳未満の新規陽性者数もかなり抑えているようです。

沖縄県はかなり遅れましたが40%を超えて来ましたので、
全国や東京と同じように抑えが効いてくるフェーズに入ったかもしれません。

昨年のデルタ株による第5波も、
ワクチン2回接種率が40~45%を超えてから減少期に入ったと思われます。

2のデータも併せて、今後は沖縄県でも新規陽性者数の減少を期待出来ると考えています。

4. 庁内第531報で感染研の超過死亡データをご紹介します。
その分かりやすい記事がありましたのでご紹介します。
添付での記事全文紹介はできませんので、一部引用です。

2021年の国内死者、想定を超える 新型コロナによる医療逼迫影響か
朝日新聞 2022年5月22日 9時00分
https://digital.asahi.com/articles/ASQ5P5KC6Q5NUTFLO19.html?iref=comtop_7_01

(引用省略)

5. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 5/23(月) *一部報告未達

検査数：17例
陽性：3例
陰性：14例

*接触者PCR検査センターの検査結果(5/21受検分)
中部：67例陽性(うち那覇市在住者0例)/313例
南部：42例陽性(うち那覇市在住者10例)/255例

6. 5月22日(日)に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は228件でした。
うち6件は那覇市外の方等(疑似症や県外発生届症例含む)です。
HER-SYS上は156件となっています。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は1020名となっています。
昨日の県の公式発表1750名は主に21日分の新規陽性者で、
上記1020名は県コロナ本部が昨日22日17時ころまでに集計した数字です。
この数字だけだと本日の公式発表は先週月曜日の1090名を下回る見込みです。

7. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査と保険診療の陽性率は18.0%です。

第 536 報：就業制限解除通知の SMS 移行

送信日時: 2022年5月30日月曜日 9:01

件名: ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症(庁内第536報=所内第553報)

添付ファイル: ADB20220525 鈴木先生 Flu 抜粋 .pdf; influenza-20220518p1.pdf;
COVID-19エピカーブ20220529.pdf; 20220529_流行状況(日報).pdf

(冒頭定型文のため省略)

5月30日（月）9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル
4★★★★

1. 昨日は121件の発生届受理がありました。
ファーストタッチの積み残しは1件となっています。
なお、5/23～28の積み残しは、
それぞれ、344、250、565、607、567、191件となっています。

全庁的な応援に加えて、就業制限解除の通知を電話からSMSへ変更開始したこと、
新規感染者数が減少してきていること等から積み残しは解消しつつあります。
25日（水）と29日（日）はほぼ定時で業務終了しております。
皆さまのおかげで、今年度最大の危機は乗り切ることができたと考えています。
改めて感謝申し上げます。
2. 沖縄県では那覇市以外の保健所では「原則・就業制限をかけない」方針となっています。
那覇市保健所では、かけないことによる感染拡大リスク、
療養期間が自己申告に基づくことによる混乱リスク、
市民の理解不足による混乱リスク等を考慮し、
これまで通り「原則・就業制限をかける」方針としておりました。
しかし、市民の理解も進んでいるようであり、
また、今後はかけることによる人権侵害リスクが大きくなることが想定されることから、
県と同様の方針にすることを検討します。
本日午後那覇市保健所現地対策本部会議（班長会議）で検討～決定したいと思います。
決まりましたら改めてご報告いたします。
3. 沖縄県と那覇市の週報と月報、疫学週前週比、曜日毎前週比、
4種類の簡易実効再生産数を添付します。

沖縄県の第21週の新規感染者は10,484人と、第20週の14,350人から減少しています。
那覇市の第21週の新規感染者は1,767人と、第20週の2,726人から減少しています。

沖縄県の疫学週前週比第21週は0.73と、第20週の0.95から低下しています。
県の前週比0.73は今年2月9日の0.72以来の低さ、
那覇市の0.65は今年2月8日の0.65以来の低さです。

4種類の簡易実効再生産数は0.77～0.84となっています。
那覇市は0.70、0.73となっています。

感染収束期と思われる。

4. 5月25日の政府アドバイザリーボードではオーストラリアのインフルエンザ流行状況が共有されています。

新型コロナ流行の2020-2021年はインフルエンザの流行は見られませんでした、
2022年は新型コロナ前のレベルで流行が始まっているようです。
WPRO（WHOの西太平洋部門）の報告によると、
新型コロナ流行下でも流行していたB型からA型に置き換わりつつあるようです。
A型は冬季の本格的な流行の主役ですので、
今後、オーストラリアでは新型コロナ前のレベルのインフルエンザ流行が危惧されます。
南半球での流行は北半球の冬の流行につながる事が想定されます。
しかし、沖縄県は夏にもインフルエンザの流行が見られること、
この夏には社会活動が新型コロナ前のレベルに近づくと思われることなどから、
インフルエンザの流行も想定しておいた方が良く考えています。

5. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 5/30(月)

検査数：83例

陽性：6例

陰性：77例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（5/28受検分）

中部：60例陽性（うち那覇市在住者0例）/304例

南部：38例陽性（うち那覇市在住者10例）/233例

6. 5月29日（日）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は121件でした。
うち5件は那覇市外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。
HER-SYS上は119件となっています。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は635名となっています。

昨日の県の公式発表1173名は主に28日分の新規陽性者で、

上記635名は県コロナ本部が昨日29日17時ころまでに集計した数字です。

この数字だけだと本日の公式発表は先週月曜日の662名を下回る見込みです。

7. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査と保険診療の陽性率は16.1%です。

8. 全ゲノム解析の5月25日分の解析結果では、
約95%（91/96）がBA.2系統となっています。
BA.2系統の内訳は、次のようになっています。
BA.2（55件）、BA.2.3（24件）、BA.2.3.1（3件）、BA.2.10（6件）、
BA.2.10.1（3件）

第542報：「原則、就業制限をかけない」方針

送信日時： 2022年6月10日金曜日 9:40

件名： ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウィルス感染症（庁内第542報=所内第559報）

添付ファイル： 20220609_流行状況(日報).pdf; ADB20220608資料3-8提言.pdf

（冒頭定型文のため省略）

6月10日（金）9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル
4★★★★

1. 昨日は325件の発生届受理がありました。
ファーストタッチの積み残しは95件となっています。
なお、6/8の積み残しは214件でした。
昨日は5/27以来となる所内応援募集により積み残しを減らすことができました。
今後、所内応援だけでは対応できない状況も想定されます。
その際は、全庁的な応援を宜しくお願い致します。
2. 庁内第537報でお知らせしました就業制限の件です。

「原則・就業制限をかけない」運用開始のめどを6月6日としておりましたが、準備の都合上、6月13日からといたします。混乱しないように、既にHP上で予告案内中です。

内容について簡単に補足説明いたします。

- ・新規感染者が対象です。
- ・「原則・就業制限をかけない」というのは、法律に基づく指示または措置としての制限をかけないという意味です。新規感染者には、まずSMSで一報すると共に、これまで通り電話でのファーストタッチを実施し、就業制限や外出自粛等の感染まん延防止対策についての協力をお願いします。協力いただける方には法律に基づく措置等は致しませんが、協力いただけない方には、これまで同様に法律に基づく就業制限をかけます。法律に基づく指示または措置から、お願いベースになるとご理解ください。
- ・背景には、市民・県民の新型コロナ対策のこれまでの実績や理解から、お願いベースでも、これまでと同等のご協力を得られると見込まれることが挙げられます。

- *先行している南部と中部でも大きな問題なくご協力を得られているようです。
- ・就業制限をかけない方には解除通知も含めて通知文書の作成～送付が不要となります。
- ・同文書は、勤務先への療養証明や、保険請求に利用されていますが、代替文書として政府の電子システムMy HER-SYSが用意されています。My HER-SYSで対応できない方には、申請制の療養証明書発行で対応いたします。

3. 8日の政府アドバイザリーボードで対策の緩和について提言がありました。（添付）高山先生も作成に貢献されています。PPEの緩和も含まれています。原案にはかなり踏み込んだものもあったようです。踏み込んだ内容について朝日新聞が記事にしていました。併せてご参照ください。

「隔離は不要」の緩和策、専門家の原案から消えた 厚労省から難色
朝日新聞：2022年6月8日 21時00分
<https://digital.asahi.com/articles/ASQ685WB1Q68UTFLO1F.html>

（以下抜粋）

原案では、現在は原則として外出禁止となっている濃厚接触者について、「ワクチンを3回接種していれば、隔離は不要」とする項目があった。

また、感染者についても「発症から5日経って症状がなければ、マスクをして短時間の外出は可」としていた。

（中略）

専門家組織が提言した医療や介護現場での感染対策

- ・接触、飛沫（ひまつ）、エアロゾル感染対策と空間の分離が基本
- ・手すりやドアノブなどの頻繁な消毒、エレベーターのボタンカバー装着など、過剰な環境消毒は中止
- ・医療用マスクを原則とし、性能が高い「N95マスク」は挿管などの感染リスクが高い場合のみ使う
- ・接触のリスクが少ない問診、診察、検温などでのガウンは不要
- ・高齢者施設では、マスクを着用し、短時間、少人数で一定の距離をとれば面会可
- ・医療機関では、出産立ち会い、みとりなど重要な場合は面会可

蛇足ながら、先日、〇〇が告別式に参加した際、会場の係員に「焼香時はマスクを外して良いか」と聞いたところ、お控えください、との回答でした。ご遺体の取り扱いや葬儀の対応等も緩和したほうが良いと思っています。こちらについても、早く提言が出ることを願っています。

4. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 6/10(金)
検査数：179例

陽性：10例
陰性：169例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（6/8受検分）
中部：86例陽性（うち那覇市在住者3例）/485例
南部：78例陽性（うち那覇市在住者24例）/443例

5. 6月9日（木）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は325件でした。
うち9件は那覇市外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。
HER-SYS上は291件となっています。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は1479名となっています。
昨日の県の公式発表1353名は主に8日分の新規陽性者で、
上記1479名は県コロナ本部が昨日9日17時ころまでに集計した数字です。
この数字だけだと本日の公式発表は先週金曜日の1326名を上回る見込みです。

6. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査と保険診療の陽性率は16.6%です。
7. 全ゲノム解析の6月8日分の解析結果では、約90%（86/96）がBA.2系統となっています。
BA.2系統の内訳は、次のようになっています。
BA.2（15件）、BA.2.3（19件）、BA.2.3.1（6件）、BA.2.10.1（1件）、BA.2.10.2（2件）、BA.2.24（7件）、BA.2.29（36件）

- BA.2.24とBA.2.29は、
これまでBA.2に分類されていたものがさらに再分類されたもの。
- BA.2.24とBA.2.29は4月19日に日本からの報告によりパンゴ指定されている。
- ほぼ日本だけで見つかっている。
- 東京では1月に見つかり、その後も一定の割合で見つかっている。
- 沖縄では3月上旬に見つかっていた。

急に出現して急に増えているように見えていますが、
再分類のせいでそう見えているだけで、
現時点では大きな脅威となる株ではないと考えています。

第550報：第7波の兆し

送信日時： 2022年6月27日月曜日 8:25

件名： **★★沖縄県警戒レベル2★★** 新型コロナウイルス感染症（庁内第550報=所内第567報）
添付ファイル： 20220626_流行状況(日報).pdf; COVID-19エピカーブ20220626.pdf

（冒頭定型文のため省略）

6月27日（月）8時現在 **★★沖縄県警戒レベル2★★** **★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★**

1. 昨日26日は195件の発生届受理がありました。
ファーストタッチの積み残しは10件となっています。
なお、23日～25日の積み残しは89件、87件、67件でした。
2. 全国では下げ止まり、または増加に転じた自治体もあるようです。
沖縄県も増加に転じた可能性があります。
一因として、欧米で拡大傾向にあるオミクロン派生株の影響があるかもしれません。
まだ未確定ですが、末尾7にあるように沖縄県では派生株への置き換えが進行しているようです。
これらの派生株に対して、既存のワクチンの重症化予防効果は認められるものの、
感染予防効果は減弱、短期的とされています。
しかしながら、3回目のワクチン接種が加速すれば、
大きな流行には至らないことが期待できると考えています。

3. 沖縄県と那覇市の週報と月報、疫学週前週比、曜日毎前週比、4種類の簡易実効再生産数を添付します。

沖縄県の第25週の新規感染者は8,907人と、第24週の8,150人から増加しています。那覇市の第25週の新規感染者は1,768人と、第24週の1,473人から増加しています。

沖縄県の疫学週前週比第25週は1.09と、第24週の0.93から上昇しています。那覇市の疫学週前週比第25週は1.20と、第24週の0.82から上昇しています。

4種類の簡易実効再生産数は1.05～1.09となっています。那覇市は1.14、1.18となっています。

4. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 6/26(月)

検査数：58例

陽性：4例

陰性：54例

*接触者PCR検査センターの検査結果(6/24受検分)
中部：75例陽性(うち那覇市在住者3例)/360例
南部：50例陽性(うち那覇市在住者11例)/295例

5. 6月25日(日)に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は195件でした。うち4件は那覇市外の方等(疑似症や県外発生届症例含む)です。HER-SYS上は140件となっています。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は734名となっています。昨日の県の公式発表1268名は主に24日分の新規陽性者で、上記734名は県コロナ本部が昨日25日17時ころまでに集計した数字です。この数字だけだと本日の公式発表は先週日曜日の422名を上回る見込みです。

6. 衛研からの流行状況(日報)を添付します。行政検査と保険診療の陽性率は16.3%です。

*陽性率が再上昇中です。

7. 本夕に発表される予定ですが、(取扱注意!)全ゲノム解析前のスクリーニングPCR検査で、BA.5またはBA.4疑い15件に加えて、新たにBA.2.12.1疑いが1件確認されているようです。まだ確定はされていません。

第556報：第7波初期・那覇市でo株亜系統BA.4初検出

送信日時: 2022年7月6日水曜日 9:44

件名: ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症(市内第556報=所内第573報)

添付ファイル: 発生動向報告_図表(確定版)_220705.pdf; 発生動向報告_本文(確定版)_220705.pdf; 20220705_流行状況(日報).pdf; COVID-19 epicurve PT & SA 20220706.pdf; ADB20220630西浦先生抜粋BA5各国入院数比較.pdf

(冒頭定型文のため省略)

7月6日(水)9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★

1. 昨日5日は422件の発生届受理がありました。

ファーストタッチの積み残しは425件となっています。
HER-SYS上は362件ですので、
本日の公式発表ではこの近い数字になるものと思われます。
4日の積み残しは321件でした。

厳しい状況が続きます。引き続き応援等でのご支援を宜しくお願い致します。

2. まだ県全体の全ゲノム解析の報告はいただけていませんが、
那覇市内でBA.4が確認されたと速報をいただいております。（取扱注意！）
本夕に公式発表される見込みです。
3. 全国的にも感染者急増フェーズに入ったと思われます。
原因のひとつにワクチンの感染予防効果の減衰が挙げられています。

3回目のワクチン接種率が65%を超えている島根県でも7月5日に過去最多を更新したこと、
約60%の東京都も前週比1.6を超えて感染拡大していること、
全国平均でも前週比1.46倍で感染拡大していること、などから、
獲得してきた免疫の減衰により、
ウイルスの感染力の方が優位になっている状況と考えます。

同接種率が45%を超えた段階に留まる沖縄県では、
ウイルスの方がさらに優勢と思われます。
30日の政府アドバイザリーボード資料での
沖縄県の流行予測を超える勢いで増えることを想定したほうが良いと考えています。

仲宗根は、BA4または5が先行流行していた南アフリカとポルトガルの新規感染者数や入院者数が（添付：COVID-19 epicurve PT & SA 20220706、ADB20220630西浦先生抜粋BA5各国入院数比較）その前の流行による数を下回っていたことから、これまでは楽観視していましたが、雲行きが怪しくなってきたと思っています。

3. 沖縄県疫学・統計解析委員会の週報資料を添付します。

* データは確定日ベースですので、
定期的にお送りしていますエピカーブ（公表日ベース）の数値とは異なること、
ご留意ください。

** 資料は次のサイトからもダウンロードできます。

沖縄県新型コロナウイルス感染症対策疫学・統計解析委員会の資料

https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/chijiko/kohokoryu/kansenshou_kanren-joho.html#ekigakutoukeikaiseki

4. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 7/6(水)

検査数：121例

陽性：8例

陰性：113例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（7/4受検分）
中部：77例陽性（うち那覇市在住者1例）/337例
南部：86例陽性（うち那覇市在住者22例）/324例

5. 7月5日（火）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は422件でした。
うち11件は那覇市外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。
HER-SYS上は362件となっています。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は2610名となっています。
昨日の県の公式発表2266名は主に4日分の新規陽性者で、
上記2610名は県コロナ本部が昨日5日17時ころまでに集計した数字です。

この数字だけだと本日の公式発表は先週水曜日の1709名を上回る見込みです。

6. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査と保険診療の陽性率は16.1%です。

第559報：o株亜系統 BA.5 急拡大・那覇市保健所でクラスター発生・ファーストタッチのSMS開始

送信日時： 2022年7月13日水曜日 10:38

件名： ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第559報=所内第576報）

添付ファイル： 20220712_流行状況(日報).pdf

（冒頭定型文のため省略）

7月13日（水）10時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★

1. 昨日12日は628件の発生届受理がありました。
HER-SYS上は659件ですので、
本日の公式発表ではこれに近い数字になると思われます。

ファーストタッチの積み残しは1103件となっています。
11日の積み残しは914件でした。

厳しい状況が続きます。引き続き応援等でのご支援を宜しくお願い致します。
2. 保健所で20人以上のクラスターが発生しています。
現時点では、単一感染源ではなく、複数感染源からの複合的なクラスターと考えています。
プレスリリースあるいは記者会見での発表を検討中です。
発表までは取り扱い注意をお願いします。
3. 市内の感染急拡大と保健所クラスター発生を受けて、
本日9時からの部課長会で、那覇市保健所緊急事態を宣言するとともに、
健診業務等を延期～停止することといたしました。
期間は7月15日～29日の2週間とし、状況に応じて短縮あるいは延長する予定です。
これにより新型コロナ業務ひっ迫に対応いたしますが、
積み残しを減らすためには、引き続き全庁的な応援が不可欠ですので、
引き続き、ご理解とご協力を宜しくお願い致します。
4. 本日からファーストタッチの電話から原則SMS化への転換を開始しています。
当初予定してましたSMSでの一斉通知ではなく、個別通知で開始しています。
5. 沖縄県疫学・統計解析委員会の週報資料は発表されているようですが、
まだ届いていません。県のHPにもまだ見当たりません。
6. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 7/13(水)

検査数：60例

陽性：4例

陰性：56例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（7/11受検分）

中部：171例陽性（うち那覇市在住者3例）/525例

南部：122例陽性（うち那覇市在住者28例）/444例

7. 7月12日（火）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は628件でした。
うち0件は那覇市外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。

HER-SYS上は659件となっています。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は3717名となっています。
昨日の県の公式発表3436名は主に11日分の新規陽性者で、
上記3717名は県コロナ本部が昨日12日17時ころまでに集計した数字です。
この数字だけだと本日の公式発表は先週水曜日の2241名を上回る見込みです。

8. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査の陽性率は19.3%です。
これまでの行政検査＋保険診療検査の陽性率から、
行政検査単独の陽性率となっています。
9. 衛研の全ゲノム解析の結果です。
変異株スクリーニング検査の結果はまだ届いていません。
全ゲノム解析された検体の採取日は6/27～7/6となっています。
今回、BF.1という派生株が新たに2件確認されていますが、
その詳細については情報収集中です。

■全ゲノム解析(7/12)

解析数：48

オミクロン株(BA.1系統)：0

オミクロン株(BA.2.12.1)：4

オミクロン株(BA.2.12.1以外のBA.2系統)：2

オミクロン株(BA.4系統)：1

オミクロン株(BF.1を含むBA.5系統)：41

第564報：第7波、爆発的な感染拡大

送信日時：2022年7月22日金曜日 9:27

件名：★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症（市内第564報=所内第581報）

添付ファイル：ADB20220721 鈴木先生 抜粋o株割合.pdf; 朝日20220721.png;
20220721_流行状況(日報).pdf; 【沖縄衛研】変異株（派生型）推移_20220721.pptx

（冒頭定型文のため省略）

7月22日（金）9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★

1. 昨日21日は1064件の発生届受理がありました。
HER-SYS上は868件ですので、
本日の公式発表ではこれに近い数字になると思われます。

20日のファーストタッチの積み残しは215件となっています。
入力の積み残しは376件です。

県の対策強化が奏功すれば来週がピークになると思いますが、
奏功しなければ高止まりあるいは感染拡大継続となります。
いずれにせよ、少なくとも来週いっぱいには厳しい状況が続くことが想定されます。
引き続き、ご支援を宜しくお願い致します。
2. 本日19時より那覇市医師会理事会で意見交換会が開催されます。
市内4病院長と南部医療センター院長も出席予定です。
〇〇も呼ばれています。
議題「爆発的な感染拡大に伴う那覇市のコロナ受入れ病院等の窮状について」
情報共有と対策が検討される見込みです。
3. 朝日新聞に〇〇の専門家会議での発言が取り上げられていました。
なお、専門家会議は、希望メディアにリアルタイムZOOM公開されています。
発言部分のみ抜粋添付します。転送、転載はお控えください。

(時時刻刻) 医療現場、人足りない 職員感染相次ぎ出勤できず…逼迫拍車 新型コロナ
朝日新聞 2022年7月21日 5時00分
https://digital.asahi.com/articles/DA3S15363348.html?iref=pc_ss_date_article

4. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 7/22(金)

検査数：92例
陽性：25例
陰性：67例

* 接触者PCR検査センターの検査結果 (7/20受検分)

中部：227例陽性 (うち那覇市在住者2例) /629例
南部：138例陽性 (うち那覇市在住者33例) /515例

5. 7月21日(木)に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は1064件でした。
うち54件は那覇市外の方等(疑似症や県外発生届症例含む)です。
HER-SYS上は868件となっています。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は5148名となっています。
昨日の県の公式発表5250名は主に20日分の新規陽性者で、
上記5148名は県コロナ本部が昨日21日17時ころまでに集計した数字です。
この数字だけだと本日の公式発表は先週金曜日の3426名を上回る見込みです。

6. 衛研からの流行状況(日報)を添付します。
行政検査の陽性率は22.1%です。
これまでの行政検査+保険診療検査の陽性率から、
行政検査単独の陽性率となっています。

7. 衛研の全ゲノム解析と変異株スクリーニング検査の結果です。
スクリーニング検体の採取日は7/11~17となっています。
スクリーニングでは、BA.4およびBA.5系統が約67%(211/313)検出されています。
昨日21日の政府アドバイザリーボード資料(添付)によると、
全国ではほぼ置き換わっており、むしろ沖縄県の置き換わりは遅い方かもしれません。

■全ゲノム解析(7/21)

解析数： 48
オミクロン株(BA.1系統)： 0
オミクロン株(BA.2.12.1)： 2
オミクロン株(BA.2.12.1以外のBA.2系統)： 0
オミクロン株(BA.4系統)： 1
オミクロン株(BF.1を含むBA.5系統)： 44
判定不能： 1

■L452R/L452Q変異株スクリーニング検査結果(7/21)

検査数：313例
陽性(L452R変異あり)：211例
陽性(L452Q変異あり)：10例
陰性(L452変異なし)：73例
判定不能：19例

※ BA.4およびBA.5系統は陽性(L452R変異あり)に、BA.2.12.1系統は陽性(L452Q変異あり)に分類されます。
※ 変異株(派生型)推移のグラフも併せて添付しています。

第567報：本庁に現地対策本部分室を設置

送信日時：2022年7月29日金曜日 9:16

件名: ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症(庁内第567報=所内第584報)
添付ファイル: 20220728_流行状況(日報).pdf; 【沖縄衛研】変異株(派生型)推移
_20220728.pptx; ADB20220727 鈴木先生抜粋沖縄予測.pdf; 世界のオミクロン推移
20220720.pdf

(冒頭定型文のため省略)

7月29日(金) 9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル
4★★★★

1. 昨日28日は1056件の発生届受理がありました。
HER-SYS上は907件ですので、
本日の公式発表ではこれに近い数字になると思われます。

27日と28日のファーストタッチの積み残しは、それぞれ293、407件となっています。
入力の積み残しは、638、935件です。

厳しい日々が続く見込みです。
引き続きのご支援を宜しくお願い致します。

2. 週明けの8月1日より本庁に現地対策本部分室を設置し、
入力作業が実施できるよう準備中です。
運用開始されましたら、ご支援を宜しくお願い致します。
3. 27日の政府アドバイザーボード資料(添付)によると、
沖縄県の流行予測の推定中央値は4000人台が多いようですが、
20%信用区間の最大値は7500人を超えています。
4. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 7/29(金)

検査数: 209例
陽性: 21例
陰性: 188例

* 接触者PCR検査センターの検査結果(7/27受検分)
中部: 213例陽性(うち那覇市在住者14例)/618例
南部: 165例陽性(うち那覇市在住者30例)/515例

5. 7月28日(木)に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は1056件でした。
うち45件は那覇市外の方等(疑似症や県外発生届症例含む)です。
HER-SYS上は907件となっています。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は5423名となっています。
昨日の県の公式発表5442名は主に27日分の新規陽性者で、
上記5423名は県コロナ本部が昨日28日17時ころまでに集計した数字です。
この数字だけだと本日の公式発表は先週金曜日の4654名を上回る見込みです。

6. 衛研からの流行状況(日報)を添付します。
行政検査の陽性率は26.8%です。
7. 衛研の変異株スクリーニング検査の結果です。
スクリーニング検体の採取日は7/17~24となっています。
BA.4およびBA.5系統が82.5%(264/320)検出され、ほぼ置き換わっているようです。
27日にお送りしました26日付の全ゲノム解析ではBA.5系統のBE.1が1例確認されてい
るようです。
BA.5もさらに細分化されており、
BE.1は、BA.5→BA.5.3→BA.5.3.1→BE.1で再附番とされるもののようです。
(添付資料参照)

■L452R/L452Q変異株スクリーニング検査結果(7/28)

検査数：320例
陽性（L452R変異あり）：264例
陽性（L452Q変異あり）：4例
陰性（L452変異なし）：46例
判定不能：6例

※ BA.4およびBA.5系統は陽性（L452R変異あり）に、BA.2.12.1系統は陽性（L452Q変異あり）に分類されます。
※ 変異株（派生型）推移のグラフも併せて添付しています。

第569報：第7波ピーク

送信日時：2022年8月3日水曜日 9:13
件名：★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第569報=所内第586報）
添付ファイル：20220802_流行状況(日報).pdf; 発生動向報告_図表（提出版）_220802.pdf; 発生動向報告_本文（提出版）_220802.pdf

（冒頭定型文のため省略）

8月3日（水）9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4
★★★★

1. 昨日2日は1315件の発生届受理がありました。
HER-SYS上は1227件ですので、
本日の公式発表ではこれに近い数字になると思われます。

1日と2日のファーストタッチの積み残しは、それぞれ789、679件となっています。
入力の積み残しは、690、935件です。

厳しい日々が続く見込みです。
引き続きのご支援を宜しくお願い致します。
2. おかげさまで、本庁の現地対策本部分室での入力作業は、順調に導入できています。
引き続き、ご協力を宜しくお願い致します。
3. 8にもありますが、死亡者が急増しています。
流行入りから4週ほど遅れて死亡者は増えてきます。
大変残念ですが、これだけの大流行ですので、その分、死亡者も増えます。
しばらくは死亡者の報告が続く見込みです。
4. 沖縄県疫学・統計解析委員会の週報資料を添付します。

* データは確定日ベースですので、
定期的にお送りしていますエピカーブ（公表日ベース）の数値とは異なること、
ご留意ください。

** 資料は次のサイトからもダウンロードできます。

沖縄県新型コロナウイルス感染症対策疫学・統計解析委員会の資料

https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/chijiko/kohokoryu/kansenshou_kanren-joho.html#ekigakutoukeikaiseki

5. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 8/3(水)
検査数：18例
陽性：6例
陰性：12例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（8/1受検分）
中部：215例陽性（うち那覇市在住者4例）/582例
南部：175例陽性（うち那覇市在住者36例）/469例

6. 8月2日（火）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は1315件でした。
うち126件は那覇市外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。
HER-SYS上は1227件となっています。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は6084名となっています。
昨日の県の公式発表5594名は主に1日分の新規陽性者で、
上記6084名は県コロナ本部が昨日2日17時ころまでに集計した数字です。
この数字だけだと本日の公式発表は先週水曜日の4816名を上回る見込みです。

7. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査の陽性率は26.2%です。
8. 死亡者が急増しています。主に施設入所者です。
現在、公表準備中が那覇市だけで12件あります。
この12件以外にも那覇市だけでさらに10件以上の死亡報告が届いているようです。

第570報：第7波ピーク超え

送信日時： 2022年8月5日金曜日 9:38

件名： ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第570報=所内第587報）
添付ファイル： 世界のオミクロン推移20220803.pdf; 20220804_流行状況(日報).pdf;
【沖縄衛研】変異株（派生型）推移_20220804.pptx

（冒頭定型文のため省略）

8月5日（金）9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4
★★★★★

1. 昨日4日は979件の発生届受理がありました。
HER-SYS上は1180件ですので、
本日の公式発表ではこれに近い数字になると思われます。

3日と4日のファーストタッチの積み残しは、それぞれ981、584件となっています。
入力の積み残しは、762、947件です。

厳しい日々が続く見込みです。
引き続きのご支援を宜しくお願い致します。
2. 分室設置により、ファーストタッチと入力の積み残しが減少傾向になることを期待して
いましたが、想定よりも減少傾向が弱いことから、さらなる業務軽減が必要と判断しました。
昨日の現地対策本部会議（班長会議）とその後の担当者会議で、次のことを決定しました。
 - 1) 電話によるファーストタッチをさらに重点化する。
これまでは60歳以上または重症化リスクのある方に重点化していましたが、
75歳以上または重症化リスクのある方にさらに重点化します。
開始は8月9日を予定しています。
本日、その旨のプレスリリースを出す予定です。
 - 2) 8月9日から中止予定のSMSによる療養解除通知についても予定通り実施
3. 全数把握の中止等について、
全国知事会や政府アドバイザーボードの専門家有志から提言が出ています。
朝日新聞等は1面トップで取り上げていますが、政府はまだ慎重な姿勢のようです。

全国知事会 2022年8月2日
感染者の全数把握に代わる仕組みを求める緊急申し入れ
<https://www.nga.gr.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/3/20200802kinkyu-moushiire.pdf>

専門家有志 2022年8月2日
「感染拡大抑制の取り組み」と「柔軟かつ効率的な保健医療体制への移行」についての提言
2022年8月3日政府アドバイザリーボード資料
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000972889.pdf>

感染全数把握、中止を提言 尾身氏ら、政府に早急な検討求める 新型コロナ
朝日新聞 2022年8月3日1面
<https://digital.asahi.com/articles/DA3S15376648.html>

4. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 8/5(金)

検査数：73例
陽性：9例
陰性：64例

*接触者PCR検査センターの検査結果(8/3受検分)
中部：184例陽性(うち那覇市在住者7例)/562例
南部：152例陽性(うち那覇市在住者35例)/456例

5. 8月4日(木)に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は979件でした。
うち57件は那覇市外の方等(疑似症や県外発生届症例含む)です。
HER-SYS上は1180件となっています。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は4413名となっています。
昨日の県の公式発表5050名は主に3日分の新規陽性者で、
上記4413名は県コロナ本部が昨日4日17時ころまでに集計した数字です。
この数字だけだと本日の公式発表は先週金曜日の5253名を下回る見込みです。

6. 衛研からの流行状況(日報)を添付します。
行政検査の陽性率は26.8%です。

7. 衛研の全ゲノム解析と変異株スクリーニング検査の結果です。
スクリーニング検体の採取日は7/25~31(1件のみ8/2)となっています。
BA.4およびBA.5系統が87.5%(280/320)検出されています。
全ゲノムの内訳では、BA.5.2とBA.5.2.1で77%(37/48)を占めています。
BA.2.12.1=1、BA.5.1=5、BA.5.2=14、BA.5.2.1=23、BA.5.3.1=1、判定不能=3
東京都健康安全研究センターのHPによると(添付資料)、
世界的にはBA.5.1、BA.5.2、BA.5.2.1が主流で、
最近は同じくBA.5系統のBEの勢いがあるようにみえます。
日本はBA.5.2が主流とされているようです。

■全ゲノム解析(8/3)

解析数： 48
オミクロン株(BA.1系統)： 0
オミクロン株(BA.2.12.1)： 2
オミクロン株(BA.2.12.1以外のBA.2系統)： 0
オミクロン株(BA.4系統)： 0
オミクロン株(BA.5系統)： 43
判定不能： 3

■L452R/L452Q変異株スクリーニング検査結果(8/4 実施)

検査数： 320例
陽性(L452R変異あり)： 280例
陽性(L452Q変異あり)： 3例
陰性(L452変異なし)： 28例

判定不能： 9例

※ BA.4およびBA.5系統は陽性（L452R変異あり）に、BA.2.12.1系統は陽性（L452Q変異あり）に分類されます。

※ 変異株（派生型）推移のグラフも併せて添付しています。

第572報：療養解除通知（SMS）の中止

送信日時： 2022年8月10日水曜日 9:10

件名： ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第572報=所内第589報）

添付ファイル： COVID-19エピカーブ20220809.pdf; 20220809_流行状況(日報).pdf

（冒頭定型文のため省略）

8月10日（水）9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★

1. 昨日9日は994件の発生届受理がありました。

HER-SYS上は1013件ですので、
本日の公式発表ではこれに近い数字になると思われます。

8日～9日のファーストタッチの積み残しは、それぞれ903、789件となっています。
入力の積み残しは、1515、874件です。

厳しい日々が続く見込みです。
引き続きのご支援を宜しくお願い致します。

2. 庁内第570報で報告しましたように、
昨日9日より電話によるファーストタッチ対象の絞り込みと、
SMSによる療養解除通知の中止が開始されました。
これにより電話でのファーストタッチ対象は100件ほど減少しています。
ファーストタッチと入力の積み残しは徐々に解消する見込みです。

3. 発生届について（医療機関向けの記事です）
沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部から次の連絡がありました。
医師会経由で各医療機関にも同様の通知が届くと思います。

「発生届の簡略化は沖縄県ではまだ取り入れておりません。
発生届の入力は従前どおりでお願いします。
8月4日に国から自治体宛、簡素化に関する事務連絡が発出されておりますが、
これを採用するかどうか沖縄県ではまだ検討中です。
フリガナがなくなると入院調整の際本人確認に支障が出ますし、
住所がないとパルスオキシメーターの発送が出来なくなります。
色々整理しなければいけないため、検討中であることをご承知おきください。」

4. 沖縄県の前週比と4つの簡易実効再生産数が全て1を下回りました。
那覇市は全てはまだ下回っていません。

5. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 8/10(水)

検査数：150例

陽性：17例

陰性：133例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（8/8受検分）

中部：153例陽性（うち那覇市在住者0例）/518例

南部：149例陽性（うち那覇市在住者35例）/468例

6. 8月9日（火）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は994件でした。うち41件は那覇市外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。HER-SYS上は1013件となっています。参考までに、前週同曜日のHER-SYSでは1227件でした。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は4862名となっています。昨日の県の公式発表4289名は主に8日分の新規陽性者で、上記4862名は県コロナ本部が昨日9日17時ころまでに集計した数字です。この数字だけだと本日の公式発表は先週水曜日の6180名を下回る見込みです。

7. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。行政検査の陽性率は28.4%です。
8. 衛研の全ゲノム解析の結果です。今回の全ゲノム解析では、L452R/QスクリーニングにてL452R変異陽性 30検体、陰性（変異なし） 18検体について解析を実施したそうです。

■全ゲノム解析（8/9）

解析数： 48

オミクロン株(BA.1系統)： 0

オミクロン株(BA.2.12.1)： 0

オミクロン株(BA.2.75)： 0

オミクロン株(BA.2.12.1、BA.2.75以外のBA.2系統)： 16

オミクロン株(BA.4系統)： 0

オミクロン株(BF.1を含むBA.5系統)： 30

判定不能： 2

第575報：自動入力システム導入により入力の積み残し解消

送信日時： 2022年8月17日水曜日 8:44

件名： ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第575報=所内第592報）

添付ファイル： 発生動向報告_図表（提出版）_220816.pdf; 世界のオミクロン推移20220810.jpg; 発生動向報告_本文（提出版）_220816.pdf; 20220816_流行状況(日報).pdf

（冒頭定型文のため省略）

8月17日（水）9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★

1. 昨日16日は943件の発生届受理がありました。HER-SYS上は1007件ですので、本日の公式発表ではこれに近い数字になると思われます。

15日～16日のファーストタッチの積み残しは、それぞれ55、119件となっています。入力の積み残しは、525、0件です。
2. 自動入力システム導入により入力についてはゼロコロナ達成です。システム構築にご尽力いただいた方々に感謝申し上げます。引き続き、検証作業等でのご協力を宜しくお願い致します。

本庁分室での入力入力は昨日分で終了となりました。今後は、電話初期対応業務の分担をお願いする予定です。電話回線が整い次第、開始予定ですので、その際は、改めてご支援を宜しくお願い致します。
3. 沖縄県疫学・統計解析委員会の週報資料を添付します。

* データは確定日ベースですので、
定期的にお送りしていますエピカーブ（公表日ベース）の数値とは異なること、
ご注意ください。

** 資料は次のサイトからもダウンロードできます。

沖縄県新型コロナウイルス感染症対策疫学・統計解析委員会の資料

https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/chijiko/kohokoryu/kansenshou_kanren-joho.html#ekigakutoukeikaiseki

4. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 8/17(水)

検査数：1例

陽性：1例

陰性：0例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（8/15受検分）

中部：193例陽性（うち那覇市在住者2例）/532例

南部：219例陽性（うち那覇市在住者40例）/459例

5. 8月16日（火）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は943件でした。
うち39件は那覇市外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。
HER-SYS上は1007件となっています。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は4969名となっています。

昨日の県の公式発表4315名は主に15日分の新規陽性者で、

上記4969名は県コロナ本部が昨日16日17時ころまでに集計した数字です。

この数字だけだと本日の公式発表は先週水曜日の5063名を下回る見込みです。

6. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査の陽性率は25.2%です。

7. 10日に更新された東京都健康安全研究センターのHPによると（添付資料）、
世界的には引き続きBA.5.1、BA.5.2、BA.5.2.1が主流で、
前回勢いがあるように見えたBA.5系統のBEは、それほどでもなさそうです。
懸念されているBA.2.75はまだ目立ちません。

第556報：第7波収束期

送信日時： 2022年8月22日月曜日 9:00

件名： ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第577報=所内第594報）

添付ファイル： COVID-19 エピカーブ 20220821.pdf; COVID-19 エピカーブ 年報
20220821.pdf; 20220821_流行状況(日報).pdf

（冒頭定型文のため省略）

8月22日（月）9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル
4★★★★

1. 昨日21日は575件の発生届受理がありました。
HER-SYS上は385件。

19日～21日のファーストタッチの積み残しは、それぞれ55、41、20件となっています。

2. 17日の庁内第575報でもお知らせしました本庁分室での初期電話対応については、
本日より開始いたします。期間は今月いっぱいとなっております。
今後の再流行も見据えて、ご協力を宜しくお願い致します。

3. 7でご紹介している西浦先生の記事によると、ウィズコロナでは、2022年のような流行が数年は続くと思われています。その状況で保健所業務がどうなるのか、まだ見通せませんが、今年並みの業務量になることも見据えて体制等を考えていきたいと思えます。

4. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 8/22(月)

検査数：7例
陽性：4例
陰性：3例

*接触者PCR検査センターの検査結果(8/20受検分)
中部：47例陽性(うち那覇市在住者0例)/201例
南部：85例陽性(うち那覇市在住者21例)/401例

5. 8月21日(日)に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は575件でした。うち33件は那覇市外の方等(疑似症や県外発生届症例含む)です。HER-SYS上は385件となっています。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は2110名となっています。昨日の県の公式発表3244名は主に20日分の新規陽性者で、上記2110名は県コロナ本部が昨日21日17時ころまでに集計した数字です。この数字だけだと本日の公式発表は先週月曜日の2082名を上回る見込みです。

6. 衛研からの流行状況(日報)を添付します。行政検査の陽性率は28.2%です。

7. 沖縄県と那覇市の週報と月報、疫学週前週比、曜日毎前週比、4種類の簡易実効再生産数、那覇市と沖縄県の新規感染者数比の推移を添付します。今回は年報も作成してみました。

沖縄県の第33週の新規感染者は26,686人と、第32週の26,448人から増加しています。那覇市の第33週の新規感染者は5,548人と、第32週の5,634人から減少しています。

沖縄県の疫学週前週比第33週は1.01と、第32週の0.75から上昇しています。那覇市の疫学週前週比第33週は0.98と、第32週の0.77から上昇しています。

4種類の簡易実効再生産数は1.01~1.03となっています。那覇市は1.02、0.99となっています。

那覇市と沖縄県の新規感染者数比(7日間移動平均)は、人口比前後で推移しています。

年報では、日本、東京都、沖縄県、那覇市ともに指数関数的な増加が見られます。ウィズコロナでは、2022年のような流行が数年は続くと思われています。政府アドバイザーボード委員の西浦先生のインタビュー記事が参考になるかと思えます。

西浦先生のインタビュー記事
(以下、略)

送信日時: 2022年8月29日月曜日 9:29

件名: ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症(庁内第580報=所内第597報)

添付ファイル: COVID-19エピカーブ20220828.pdf; 20220828_流行状況(日報).pdf

(冒頭定型文のため省略)

8月29日(月)9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★

1. 昨日28日は372件の発生届受理がありました。
HER-SYS上は376件。

26日～28日のファーストタッチの積み残しは、それぞれ31、24、23件となっています。

2. 新規感染者数も減少傾向にあり、
ファーストタッチの積み残しも今後増えない見込みです。
本庁分室でのファーストタッチ業務分担は31日までの期日を待たずに、
本日分より終了したいと思います。
ご支援ありがとうございました。
大きなリバウンドがありましたら、改めてご支援をお願いしたいと思います。

3. 4以下の記事は検査医療機関MLに配信している内容です。
8にあるように、27日の専門家会議では、
「全数把握の限定」について慎重な意見がほとんどでした。
今回の通知には、導入にあたって県は保健所設置市の意見も聞くこと、
という趣旨の文言があります。
専門家会議には、〇〇是那覇市の代表ではなく、
いち専門家として参加していると認識しています。
必要に応じて、今後、県から正式に照会があるかもしれません。

4. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 8/29(月)

検査数：51例
陽性：27例
陰性：24例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（8/27受検分）
中部：81例陽性（うち那覇市在住者4例）/307例
南部：66例陽性（うち那覇市在住者14例）/277例

5. 8月28日（日）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は372件でした。
うち11件是那覇市外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。
HER-SYS上は376件となっています。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は1662名となっています。
昨日の県の公式発表2252名は主に27日分の新規陽性者で、
上記1662名は県コロナ本部が昨日28日17時ころまでに集計した数字です。
この数字だけだと本日の公式発表は先週月曜日の1700名を下回る見込みです。

6. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査の陽性率は23.8%です。

7. 沖縄県と那覇市の週報と月報、疫学週前週比、曜日毎前週比、
4種類の簡易実効再生産数、那覇市と沖縄県の新規感染者数比の推移を添付します。

沖縄県の第34週の新規感染者は20,699人と、第33週の26,686人から減少しています。
那覇市の第34週の新規感染者は4,293人と、第33週の5,548人から減少しています。

沖縄県の疫学週前週比第34週は0.78と、第33週の1.01から低下しています。
那覇市の疫学週前週比第34週は0.77と、第33週の0.98から低下しています。

4種類の簡易実効再生産数は0.80～0.88となっています。
那覇市は0.80、0.83となっています。

那覇市と沖縄県の新規感染者数比（7日間移動平均）は、
人口比をわずかに下回るレベルで推移しています。

8. 27日の専門家会議では、「全数把握の限定」について慎重な意見がほとんどでした。

26日の厚労省の自治体向けZOOM説明会でも疑問続出で、
チャットではざっと眺めただけで183件の質問・異論が出されていました。

「全数把握の限定」については、県の対策本部会議で最終判断される見込みです。

なお、県の専門家会議では、〇〇は次のコメントも致しました。
「8月上旬のピーク時には、午後10時から翌日7時くらいにかけて
那覇市保健所分だけで数百件のHER-SYS入力があった。
医療機関が真夜中に必死に入力していたものとしのべれます。」

以前、政府アドバイザーボード資料でお示ししましたが、
沖縄県のHER-SYS入力は、迅速性と入力率ともに全国トップクラスです。
皆さまのご尽力に改めて感謝申し上げます。

第581報：県外4県での全数把握限定化（限定把握）の開始

送信日時： 2022年9月2日金曜日 8:54

件名： ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第581報=所内第598報）
添付ファイル： 20220901_流行状況(日報).pdf; 【沖縄衛研】変異株（派生型）推移
_20220901.pptx

（冒頭定型文のため省略）

9月2日（金）9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4
★★★★

1. 昨日1日は362件の発生届受理がありました。
HER-SYS上は379件。

29日～1日のファーストタッチの積み残しは、59、66、25、6件となっています。
積み残しの数も低値で安定していますので、今後の報告は割愛します。

2. 報道されているように、本日から宮城、茨城、鳥取、佐賀の4県で全数把握の限定化が開始されます。

仙台市から各自治体に通知がありましたが、
仙台市外に居住されている方が仙台市内の医療機関で新型コロナ陽性と診断されても、
全数把握の対象外の場合、発生届がないため、居住されている自治体管轄保健所への通報
が不可能となるということです。

例えば、那覇市民が旅行先の仙台市で検査を受けて、帰沖後に結果が判明しても、
仙台市でも那覇市でも把握されないこととなります。
帰沖前に判明してもその方は沖縄に帰ってくることも想定されます。

数は少ないながらも、このような例が出てくると不公平感が生じます。
相談があっても、発生届が確認できない以上、那覇市保健所としては法的には何もできません。
しかし、診断書に相当する書類の提示があれば、できる限り発生届に準じた対応をしたい
と考えています。

3. みなし入院への保険金も見直しされるようです。
心配された方からの問い合わせや、療養証明書の迅速発行要望等が届いていますが、
今のところ、殺到はしていません。
4. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 9/2(金)
検査数：55例
陽性：15例

陰性：40例

*接触者PCR検査センターの検査結果（8/31受検分）*台風のため検査なし
中部：例陽性（うち那覇市在住者例）/例
南部：例陽性（うち那覇市在住者例）/例

5. 9月1日（木）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は362件でした。
うち9件は那覇市外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。
HER-SYS上は379件となっています。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は1646名となっています。
昨日の県の公式発表2040名は主に31日分の新規陽性者で、
上記1646名は県コロナ本部が昨日1日17時ころまでに集計した数字です。
この数字だけだと本日の公式発表は先週金曜日の3015名を下回る見込みです。

6. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査の陽性率は24.4%です。
7. 衛研の変異株スクリーニング検査の結果です。
スクリーニング検体の採取日は8/21～27となっています。
BA.4およびBA.5系統が約95.5%（275/288）検出されています。
BA.2.75は検出されていません。

■L452R/L452Q変異株スクリーニング検査結果（9/1 実施）

検査数：288例
陽性（L452R変異あり）：275例
陽性（L452Q変異あり）：0例
陰性（L452変異なし）：3例
判定不能：10例

※ BA.4およびBA.5系統は陽性（L452R変異あり）に、BA.2.12.1系統は陽性（L452Q変異あり）に分類されます。

※ 変異株（派生型）推移のグラフも併せて添付しています。

■G339D変異株スクリーニング検査結果（9/1 実施）

検査対象は上記のL452R/L452Qスクリーニングで陰性となった12検体です。
検査数：3例
陽性（G339D変異あり）：3例
陰性（G339変異なし）：0例
判定不能：0例

※ BA.2.75以外のBA.2系統は陽性（G339D変異あり）に、BA.2.75は判定不能（G339D以外の変異あり）に分類されます。

第584報：致死率情報

送信日時：2022年9月9日金曜日 9:16

件名：★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症（市内第584報=所内第601報）
添付ファイル： ADB20220907参考資料2致死率.pdf; ADB20220907資料3-8大阪抜粋致死率.pdf; 【沖縄衛研】変異株（派生型）推移_20220908.pptx; 20220908_流行状況(日報).pdf; 20220908NIID新型コロナ変異株第20報.pdf; 20220908（9.8改正）療養期間等の見直しについて.pdf

（冒頭定型文のため省略）

9月9日（金）9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4
★★★★

1. 昨日8日は206件の発生届受理がありました。

HER-SYS上は256件です。

2. 9月7日より療養期間等が変わっております。
添付の通知（Q&A含む）をご参照ください。
最初の通知は7日の夜遅くに届きましたので、実質的には8日から運用開始となっています。
既に那覇市保健所のHPでは説明等を更新しています。
本日14時より国の自治体向けWEB説明会があります。

3. 7日の政府アドバイザーボード資料抜粋を添付します。

ADB20220907参考資料2致死率によると、
60代、70代、80代、90代以上のすべての年代で致死率が下がってきています。

大阪の第7波（8/21時点）の致死率は全年齢で0.08%と、
インフルエンザ並みになっているようです。

添付しませんが、広島県でも8月の全年齢での致死率は0.084%のようです。

4. 報道にあるように検疫で新たな変異株が確認されています。（添付）
しかし情報不足で病原性などのリスク評価はできていません。
脅威となる変異株なのか、今後の観察が必要です。

5. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 9/9(金)

検査数：1例
陽性：1例
陰性：0例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（9/7受検分）

中部：28例陽性（うち那覇市在住者0例）/185例
南部：52例陽性（うち那覇市在住者13例）/205例

6. 9月8日（木）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は206件でした。
うち16件は那覇市外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。
HER-SYS上は256件となっています。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は1076名となっています。
昨日の県の公式発表1027名は主に7日分の新規陽性者で、
上記1076名は県コロナ本部が昨日8日17時ころまでに集計した数字です。
この数字だけだと本日の公式発表は先週金曜日の1987名を下回る見込みです。

7. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査の陽性率は20.0%です。

8. 衛研の全ゲノム解析の結果です。
BA.5系統に属するBF.5が6例確認されています。

■全ゲノム解析（9/8）

解析数： 48
オミクロン株(BA.1系統)： 0
オミクロン株(BA.2.12.1)： 0
オミクロン株(BA.2.75)： 0
オミクロン株(BA.2.12.1、BA.2.75以外のBA.2系統)： 0
オミクロン株(BA.4系統)： 0
オミクロン株(BF, BEを含むBA.5系統)： 45
判定不能： 3

9. 衛研の変異株スクリーニング検査の結果です。
スクリーニング検体の採取日は8/28～9/4となっています。
BA.4およびBA.5系統が約94%（64/68）検出されています。

BA.2.75疑いが1例あるようです。ゲノム解析で最終判定されます。

■L452R/L452Q変異株スクリーニング検査結果（9/8 実施）

検査数： 68例
陽性（L452R変異あり）： 64例
陽性（L452Q変異あり）： 0例
陰性（L452変異なし）： 2例
判定不能： 2例

※ BA.4およびBA.5系統は陽性（L452R変異あり）に、BA.2.12.1系統は陽性（L452Q変異あり）に分類されます。

※ 変異株（派生型）推移のグラフも併せて添付しています。

■G339D変異株スクリーニング検査結果（9/8 実施）

検査対象は上記のL452R/L452Qスクリーニングで陰性となった2検体です。

検査数： 2例
陽性（G339D変異あり）： 1例
陰性（G339変異なし）： 0例
判定不能： 1例

※ BA.2.75以外のBA.2系統は陽性（G339D変異あり）に、BA.2.75は判定不能（G339D以外の変異あり）に分類されます。

第586報：超過死亡情報

送信日時： 2022年9月14日水曜日 9:02

件名： ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第586報=所内第603報）
添付ファイル： 我が国における超過死亡数および過少死亡数（2022年6月までのすべての死因を含むデータ分析）感染研20220912.pdf; 超過死亡・週別～2022年6月.pptx; 超過死亡・累積～2022年6月.pptx; 20220913_流行状況(日報).pdf; 発生動向報告_図表（提出版）_220913.pdf; 発生動向報告_図表（提出版）_220913抜粋致死率.pdf

（冒頭定型文のため省略）

9月14日（水）9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★

1. 昨日13日は186件の発生届受理がありました。
HER-SYS上は187件です。

* 4にもありますが、沖縄県の昨日と今日の新規陽性数はやや過小評価の可能性が 있습니다。台風の影響で、特に八重山で検査ができていないようです。那覇市の数値への影響はないと思われます。

2. 本日14日より、電話での初期対応対象を75歳以上から65歳以上にいたします。感染者急増に伴い緊急避難的に対象者を限定しましたが、感染者減少により業務ひっ迫が緩和されましたので、ひっ迫前の対応に戻します。なお、ひっ迫前は60歳以上でしたが、26日から全国一律に65歳以上が届出対象となりますので、それに合わせたいと思います。

3. 沖縄県疫学・統計解析委員会の週報資料を添付します。

* 資料の図9に沖縄県の致死率が示されています。
9日付庁内第584報に添付しました他自治体の致死率と比較できるかと思ひます。
沖縄県の高齢者の致死率は他自治体よりも低めなのですが、
死亡の定義が統一されていないと思ひますので、参考程度に留めてください。

** データは確定日ベースですので、
定期的にお送りしていますエピカーブ（公表日ベース）の数値とは異なること、

ご留意ください。

***資料は次のサイトからもダウンロードできます。

沖縄県新型コロナウイルス感染症対策疫学・統計解析委員会の資料

https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/chijiko/kohokoryu/kansenshou_kanren-joho.html#ekigakutoukeikaiseki

3. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 9/14(水)

検査数：16例
陽性：0例
陰性：16例

*接触者PCR検査センターの検査結果（9/12受検分）

中部：32例陽性（うち那覇市在住者2例）/238例
南部：34例陽性（うち那覇市在住者7例）/213例

4. 9月13日（火）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は186件でした。
うち12件は那覇市外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。
HER-SYS上は187件となっています。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は861名となっています。
昨日の県の公式発表831名は主に12日分の新規陽性者で、
上記861名は県コロナ本部が昨日13日17時ころまでに集計した数字です。
この数字だけだと本日の公式発表は先週水曜日の1691名を下回る見込みです。

*昨日と今日の新規陽性数はやや過小評価の可能性があります。
台風の影響で、特に八重山で検査ができていないようです。

5. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査の陽性率は18.4%です。

6. 感染研から本年6月までの超過死亡数等が公開されています。（添付3つ）
「2022年1月から6月までの期間の全ての死因を含む全国の超過死亡数は、
過去（2017～2021年）の同期間と比べて、最も大きい規模でした。」
2022年1～3月の第6波の影響が大きいようです。
パラパラ眺めたところ、大阪が特に目立つように感じます。
一方で、沖縄県の第6波の影響は日本全体や東京、大阪に比べると小さめのようです。

我が国における超過死亡数および過少死亡数（2022年6月までのすべての死因を含むデータ分析）

国立感染症研究所 掲載日：2022年9月12日

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc/493-guidelines/11475-excess-mortality-all-220912.html>

日本の超過および過少死亡数ダッシュボード

週毎・死亡数

<https://exdeaths-japan.org/graph/weekly>

累積・死亡数

<https://exdeaths-japan.org/graph/numberof>

第590報：全国での全数把握限定化（限定把握）の開始

送信日時： 2022年9月26日月曜日 9:59

件名: ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症(庁内第590報=所内第607報)
添付ファイル: 20220925_流行状況(日報).pdf; 【沖縄衛研】変異株(派生型)推移
_20220922.pptx; COVID-19 エピカーブ 20220925.pdf; 世界のオミクロン推移
20220925.pdf

(冒頭定型文のため省略)

9月26日(月) 9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル
4★★★★

1. 昨日25日は86件の発生届受理がありました。
HER-SYS上は64件です。
感染者数の下げ止まり感が出てきていますが、
今週末ではなんとか減少傾向が続くかなと思っています。
2. 本日26日から全数把握の限定化が始まります。
県の体制、那覇市の体制は準備されていますが、
予想外の事態により混乱もあるかもしれません。
個別にしっかり対処していきたいと思います。
3. 明日27日に県の専門家会議が開催されます。
医療非常事態宣言の解除を含めた今後の対処方針が検討される見込みです。
4. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 9/26(月)

検査数: 29例
陽性: 4例
陰性: 25例

* 接触者PCR検査センターの検査結果(9/24受付分)
中部: 32例陽性(うち那覇市在住者0例)/183例
南部: 29例陽性(うち那覇市在住者11例)/133例

5. 9月25日(日)に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は86件でした。
うち2件は那覇市外の方等(疑似症や県外発生届症例含む)です。
HER-SYS上は64件となっています。

県コロナ本部集計の昨日の新規陽性者は391人となっています。
昨日の県の公式発表533人は主に24日分の新規陽性者で、
上記391人は県コロナ本部が昨日25日17時ころまでに集計した数字です。
この数字だけだと本日の公式発表は先週月曜日の294人を上回る見込みです。

6. 衛研からの流行状況(日報)を添付します。
行政検査の陽性率は17.7%です。
7. 沖縄県と那覇市の週報と月報、疫学週前週比、曜日毎前週比、
4種類の簡易実効再生産数、那覇市と沖縄県の新規感染者数比の推移を添付します。

沖縄県の第38週の新規感染者は3,572人と、第37週の4,743人から減少しています。
那覇市の第38週の新規感染者は795人と、第37週の965人から減少しています。

沖縄県の疫学週前週比第38週は0.75と、第37週の0.61から上昇しています。
那覇市の疫学週前週比第38週は0.82と、第37週の0.61から上昇しています。

4種類の簡易実効再生産数は0.82~0.91となっています。
那覇市は0.87、0.94となっています。

那覇市と沖縄県の新規感染者数比(7日間移動平均)は、
人口比を少し上回るレベルで推移しています。

8. 衛研の変異株スクリーニング検査の結果です。
スクリーニング検体の採取日は9/5～18となっています。
BA.4およびBA.5系統が約91%（72/79）検出されています。
BA.2.75疑いは検出されていません。

■L452R/L452Q変異株スクリーニング検査結果（9/22 実施）

検査数： 79例
陽性（L452R変異あり）： 72例
陽性（L452Q変異あり）： 0例
陰性（L452変異なし）： 0例
判定不能： 7例

※ BA.4およびBA.5系統は陽性（L452R変異あり）に、BA.2.12.1系統は陽性（L452Q変異あり）に分類されます。

※ 変異株（派生型）推移のグラフも併せて添付しています。

■G339D変異株スクリーニング検査結果

今回、L452R/L452Qスクリーニングで陰性となった検体がなかったため実施していません。

9. BA.2.75についての資料(世界のオミクロン推移20220925)を添付します。
世界的にはまだまだ目立ちません(p1&2)。
増加傾向にありましたが、頭打ち、あるいは減少に転じている(p3)かもしれません。
西浦先生は、米国では11月下旬から12月初旬にBA.2.75が主流となる見込み(p4)
と報告されていますが、BA.2と比べた実効再生産数が1.34倍のまま、という前提です。

第591報：（限定把握）大きな混乱無し・兼務発令の部分解除

送信日時： 2022年9月30日金曜日 9:19

件名： ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第591報=所内第608報）
添付ファイル： 20220929_流行状況(日報).pdf; 【沖縄衛研】変異株（派生型）推移
_20220929.pptx; 発生動向報告_本文(提出版)_220927.pdf; 発生動向報告_図表(提出版)
_220927.pdf; 委員リスト.jpeg; 新型コロナウイルスに対する抗体保有者の血清中和抗体の性
状に関する解析NIID20220927.pdf

（冒頭定型文のため省略）

9月30日（金）9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★那覇市健康危機レベル
4★★★★

1. 昨日29日は37件の発生届受理がありました。
HER-SYS上は26件です。
いずれも発生届の限定対象者で、
一部、医師の判断で対象外の方も届けられているようです。
2. 昨日、支援部会が開催され、現地対策本部員のうち兼務発令の方の今後の処遇が検討され
ました。
その結果、一部の方は10月1日付と11月1日付で元の職場勤務となります。
現地対策本部での活躍ありがとうございました。
元の職場のご理解とご協力にも感謝申し上げます。
年明けに第8波が想定されます。
その際は、改めてご協力を宜しくお願い致します。
3. 26日から全数把握の限定化が始まっています。
大きな混乱はありません。
4. 27日分からの那覇市在住者の感染状況は、発生届の限定対象者の数値に基づくものとなり
ます。
（対象外の方は年代と数だけの登録で、居住地は把握できません。）

5. 遅くなりましたが、沖縄県疫学・統計解析委員会の週報資料を添付します。
今回は委員リストも添付します。

*週報は今回で終了となるそうです。
委員会は継続するそうですので、流行が再燃すれば再開すると思われます。

**データは確定日ベースですので、
定期的にお送りしていますエピカーブ（公表日ベース）の数値とは異なること、
ご注意ください。

***資料は次のサイトからもダウンロードできます。

沖縄県新型コロナウイルス感染症対策疫学・統計解析委員会の資料

https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/chijiko/kohokoryu/kansenshou_kanren-joho.html#ekigakutoukeikaiseki

6. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 9/30(金)

検査数：0例
陽性：例
陰性：例

*接触者PCR検査センターの検査結果（9/28受付分）
中部：23例陽性（発生届対象外含む。うち那覇市在住者0例）/107例
南部：17例陽性（発生届対象外含む。うち那覇市在住者2例）/74例

7. 9月29日（木）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は37件でした。
うち5件是那覇市外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。
HER-SYS上は26件となっています。

県コロナ本部集計の新規感染者数に関する速報はなくなったようです。

8. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査の陽性率は18.9%です。

9. 衛研の全ゲノム解析の結果です。
BA.5系統に属するBF.5が11例確認されています。
BA.2.75は確認されていません。

■全ゲノム解析（9/26）

解析数： 48
オミクロン株(BA.1系統)： 0
オミクロン株(BA.2.12.1)： 0
オミクロン株(BA.2.75)： 0
オミクロン株(BA.2.12.1、BA.2.75以外のBA.2系統)： 0
オミクロン株(BA.4系統)： 0
オミクロン株(BF, BEを含むBA.5系統)： 47
判定不能： 1

※ L452R/QスクリーニングにてL452R変異陽性
48検体について解析を実施した結果です。

10. 衛研の変異株スクリーニング検査の結果です。
スクリーニング検体の採取日は9/18～25となっています。
BA.4およびBA.5系統が約97%（96/99）検出されています。
BA.2.75疑いが1例検出されています。ゲノム解析後に確定される見込みです。

■L452R/L452Q変異株スクリーニング検査結果（9/29 実施）

検査数： 99例
陽性（L452R変異あり）： 96例
陽性（L452Q変異あり）： 0例
陰性（L452変異なし）： 1例
判定不能： 2例

※ BA.4およびBA.5系統は陽性（L452R変異あり）に、BA.2.12.1系統は陽性（L452Q変異あり）に分類されます。

※ 変異株（派生型）推移のグラフも併せて添付しています。

■G339D変異株スクリーニング検査結果（9/29 実施）

検査対象は上記のL452R/L452Qスクリーニングで陰性となった1検体です。

検査数： 1例
陽性（G339D変異あり）： 0例
陰性（G339変異なし）： 0例
判定不能： 1例

※ BA.2.75以外のBA.2系統は陽性（G339D変異あり）に、BA.2.75は判定不能（G339D以外の変異あり）に分類されます。

11. 感染研から中和抗体に関する報告がありました。（添付）

従来株対応ワクチンは、BA.2.75に対しても、
BA.1やBA.2に対する中和抗体と同等の中和抗体を誘導するようです。
一方でBA.5に対してはやや落ちるようですので、
従来株対応ワクチンによる免疫が獲得された集団では、
BA.2.75よりもBA.5のほうが流行しやすいのかもしれませんが。
換言すると、BA.2.75にはBA.5を駆逐するほどの力はないかもしれません。

第594報：感染症法、地域保健法等の改正案、閣議決定

送信日時： 2022年10月14日金曜日 9:02

件名： ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第594報=所内第611報）

添付ファイル： 20221013_流行状況(日報).pdf; 【沖縄衛研】変異株（派生型）推移_20221013.pptx; ADB20221012資料3-3西浦先生抜粋.pdf

（冒頭定型文のため省略）

10月14日（金）9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★

1. 次回より原則月曜日配信の週報とさせていただきます。
2. 昨日13日は3件の発生届受理がありました。
HER-SYS上は7件です。
3. 感染症法と地域保健法の改正案が閣議決定されました。
次期国会で成立見込みです。

感染症法改正案のポイントは2つ。

- 1) 平時からの計画的な保健・医療提供体制の整備
- 2) 地域における関係者間の連携強化と行政権限の見直し

6月17日の庁内第546報で報告しました、次の内容も含まれています。

「都道府県、保健所設置市・特別区は、検査の実施能力の確保に関して数値目標を設定し、検査実施機関との間で協定を締結することで、計画的に検査能力を確保することとする。」
那覇市保健所は、これまで通り特殊な病原体検査について県衛研に委託するか、

独自で検査できるよう体制を整備強化するか、あるいは市内の検査機関に委託するか等を検討したいと考えています。これまでも検討されてきましたが、改めて検討したいと思います。

地域保健法改正案のポイントは1つ。
3) 保健所の体制・機能の強化

本年2月1日付で改正された地域保健法でも「保健所の体制・機能の強化」が盛り込まれましたが、「健康危機」を明文化してさらに強化されるようです。

以上を踏まえて、那覇市保健所の今後の在り方等を検討していきたいと思いますが、「予防計画」や「健康危機」について全庁的な議論も必要ですので、その際は、どうぞ宜しくお願い致します。

4. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 10/14(金)

検査数：0例
陽性：0例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（10/12受付分）
中部：7例陽性（発生届対象外含む。うち那覇市在住者0例）/59例
南部：18例陽性（発生届対象外含む。うち那覇市在住者11例）/126例

5. 10月13日（木）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は3件でした。うち1件は那覇市外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。HER-SYS上は7件となっています。

* 全国的に感染者は反転増加傾向にあるようですが、旅割獲得のためのPCR検査受検増が影響している可能性もあると考えています。

6. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。行政検査の陽性率は13.3%です。

7. 衛研の変異株スクリーニング検査の結果です。スクリーニング検体の採取日は10/3～8となっています。BA.4およびBA.5系統が約92%（24/26）検出されています。BA.2.75疑は検出されていません。

■L452R/L452Q変異株スクリーニング検査結果（10/13 実施）

検査数： 26例
陽性（L452R変異あり）： 24例
陽性（L452Q変異あり）： 0例
陰性（L452変異なし）： 0例
判定不能： 2例

※ BA.4およびBA.5系統は陽性（L452R変異あり）に、BA.2.12.1系統は陽性（L452Q変異あり）に分類されます。

※ 変異株（派生型）推移のグラフも併せて添付しています。

■G339D変異株スクリーニング検査結果について
今回、L452R/L452Qスクリーニングで陰性となった検体がなかったため実施していません。

8. 12日の政府アドバイザーボード資料抜粋を添付します。西浦先生が海外のデータを解説しています。

私は、この解説を次のように理解しています。
「オミクロンを含めて新型コロナウイルスの感染効率は頭打ちになっている可能性が高く、（換言するとROはこれ以上上がらない）
今後は免疫回避能が強い株が生き残っていくのではないかと、すなわち季節性コロナになっていく兆しか？」

但し、信頼度は低～中程度だそうです。

第 596 報：第 8 波に備えて

送信日時： 2022年10月24日 月曜日 10:03

件名： ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症(庁内第596報=所内第613報)
添付ファイル： 20221023_検査状況(日報).pdf; 20221023_流行状況(日報).pdf;
COVID-19 エピカーブ 20221023.pdf; ADB20221020 資料 沖縄 抜粋 1.pdf;
ADB20221020資料3-10：西浦先生等抜粋.pdf

(冒頭定型文のため省略)

10月24日(月) 10時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★

1. 昨日23日は3件の発生届受理がありました。
HER-SYS上は4件です。
2. 本日24日より那覇市保健所現地対策本部では第8波に備えて施設支援班を強化しました。
可能な限り施設訪問により支援を実施したいと思います。
3. 20日の政府アドバイザリーボード資料：押谷、鈴木、西浦、脇田先生らによる第8波のリスク評価についてまとめ部分だけ添付します。
多角的で重層的な考え方が示されています。
ご参照ください。
4. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 10/24(月)

検査数：0例
陽性：0例

* 接触者PCR検査センターの検査結果(10/21受付分。土日は定休となりました)
中部：7例陽性(発生届対象外含む。うち那覇市在住者0例)/71例
南部：4例陽性(発生届対象外含む。うち那覇市在住者0例)/33例

5. 10月23日(日)に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は3件でした。
うち0件是那覇市外の方等(疑似症や県外発生届症例含む)です。
HER-SYS上は4件となっています。
6. 衛研からの流行状況(日報)を添付します。
行政検査の陽性率は12.7%です。
7. 沖縄県と那覇市の週報と月報、疫学週前週比、曜日毎前週比、
4種類の簡易実効再生産数、那覇市と沖縄県の新規感染者数比の推移を添付します。

沖縄県の第42週の新規感染者は1,816人と、第41週の2,046人から減少しています。
那覇市は第40週からデータ無しとしています。

沖縄県の疫学週前週比第42週は0.89と、第41週の0.81から上昇しています。
那覇市の疫学週前週比第42週は1.43と、第41週の0.68から上昇しています。

* * 那覇市の簡易実効再生産数と那覇市と沖縄県の新規感染者数比は、
9月27日分より沖縄県と那覇市ともに発生届限定登録者数に基づいて算出しています。

4種類の簡易実効再生産数は0.82~0.99となっています。
那覇市の簡易実効再生産数は1.25、1.29となっています。

那覇市と沖縄県の新規感染者数比(7日間移動平均)は、

人口比を下回るレベルで推移しています。
数が少なくなると日毎の比は増減が大きくなりがちです。

- 20日の政府アドバイザリーボード資料抜粋を添付します。
最初のスライド「国内のこれまでの流行状況と現在の流行状況との関連」が西浦先生、
2番目のスライド「図8 各都道府県人口に占める小児割合と感染率（2022年）」は
高山先生の資料です。

最初のスライドからは北海道や東北を中心に東日本で感染者が増えてきている傾向がみて
とれます。
沖縄県の感染者数の直近のトレンドが全国下位に留まっているのは、
ワクチンと感染による今年の免疫獲得が全国上位にあるからという可能性を示唆している
かもしれません。

2番目の資料からは、これだけではなんとも言えませんが、
（全年齢における感染率）/（全人口に占める小児割合）が1を超えているのは、
沖縄県と大阪くらいかなと思われます。
すなわち、人口比を勘案しても沖縄県の小児は感染率が高いということになります。

- 容量が大きいので添付しませんが、同日の中島先生（琉大卒）の資料では、
第7波で救急出動の天井効果が全国的に確認されています。
すなわち第7波では全国的に救急出動が限界に達したといえると思います。
第8波でも同様の危機が起きるのではと心配しているようです。
- その他に、大曲先生が死亡者の死因を解析し、
オミクロン前までは新型コロナによる肺炎が死因の主流であったのに対し、
オミクロンでは肺炎ではなく、基礎疾患の悪化が死因の主流になっている、
などの報告がありました。

第597報：沖縄県の集団免疫論考

送信日時： 2022年10月31日月曜日 8:53

件名： ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第597報=所内第614報）
添付ファイル： ADB20221026資料3-3-1西浦先生抜粋.pdf; 【沖縄衛研】変異株（派生型）
推移_20221027.pptx; COVID-19エピカーブ20221030.pdf; 20221030_検査状況(日
報).pdf; 20221030_流行状況(日報).pdf

（冒頭定型文のため省略）

10月31日（月）10時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レ
ベル4★★★★

- 昨日30日は5件の発生届受理がありました。
HER-SYS上は1件です。
- 県内で大きなイベントが目白押しです。
報道画面等を見る限り、屋外とは言え、密集下でのマスク着用率が低いようです。
次の3で、沖縄県は全国1の集団免疫状況下にあることに触れていますが、
この状況ではその微妙なバランスが崩れ、今後、新規感染者数の増加が見込まれます。
- 26日の政府アドバイザリーボード資料抜粋を添付します。

沖縄県は予防接種による免疫保持者割合は全国最下位ですが、
感染による免疫保持者はダントツで全国1位と推計しています。
両方を合わせた免疫保持者割合は、感染による免疫に引っ張られて、
ダントツで全国1位となっています。
66%くらいでしょうか。

マスク等の基本的感染対策には集団免疫の上乗せ効果があると考えています。

乱暴な推定ですが、上乘せ効果は15%あるとして、
現在、沖縄県では80%を超える集団免疫状態にあると思います。
流行を完全に抑えるには90~95%の集団免疫が必要と考えられています。

流行を完全に抑えられないけど、
沖縄県では増えも減りもしないバランス状況にあるのかなとぼんやり考えています。
ワクチン接種を加速すれば、この状況を維持できる可能性があるとも考えています。

だ 24日の庁内第596報に添付しました西浦先生の抜粋資料の、次の解釈を補強するデータ
と思います。
「沖縄県の感染者数の直近のトレンドが全国下位に留まっているのは、
ワクチンと感染による今年の免疫獲得が全国上位にあるからという可能性を示唆している
かもしれません。」

4. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 10/31(月)

検査数：0例
陽性：0例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（10/27受付分。土日は定休となりました）
中部：9例陽性（発生届対象外含む。うち那覇市在住者0例）/44例
南部：11例陽性（発生届対象外含む。うち那覇市在住者2例）/45例

5. 10月30日（日）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は5件でした。
うち2件は那覇市外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。
HER-SYS上は1件（県外での届出ですので沖縄県の新規陽性者には登録されません）
となっています。

6. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査の陽性率は14.0%です。

7. 沖縄県と那覇市の週報と月報、疫学週前週比、曜日毎前週比、
4種類の簡易実効再生産数、那覇市と沖縄県の新規感染者数比の推移を添付します。

沖縄県の第43週の新規感染者は1,702人と、第42週の1,816人から減少しています。
那覇市は第40週からデータ無しとしています。

沖縄県の疫学週前週比第43週は0.94と、第42週の0.89から上昇しています。
那覇市の疫学週前週比第43週は0.87と、第42週の1.43から低下しています。

* * 那覇市の簡易実効再生産数と那覇市と沖縄県の新規感染者数比は、
9月27日分より沖縄県と那覇市ともに発生届限定登録者数に基づいて算出しています。

4種類の簡易実効再生産数は0.95~1.02となっています。
那覇市の簡易実効再生産数は0.87、0.84となっています。

那覇市と沖縄県の新規感染者数比（7日間移動平均）は、
人口比を下回るレベルで推移しています。
数が少なくなると日毎の比は増減が大きくなりがちです。

8. 衛研の全ゲノム解析の結果です。
10/25分の検体採取日は10/10~16です。
BA.5系統に属するBF.5が14例、BF.27が1例確認されています。
BA.2.75は検出されていません。

■全ゲノム解析（10/25）

解析数： 48

オミクロン株(BA.1系統)： 0

オミクロン株(BA.2.12.1)： 0

オミクロン株(BA.2.75) : 0
オミクロン株(BA.2.12.1、BA.2.75以外のBA.2系統) : 0
オミクロン株(BA.4系統) : 0
オミクロン株(BF、BEを含むBA.5系統) : 47
判定不能 : 1

※ L452R/QスクリーニングにてL452R変異陽性
48検体について解析を実施した結果です。

9. 衛研の変異株スクリーニング検査の結果です。
スクリーニング検体の採取日は10/18~23となっています。
BA.4およびBA.5系統が100% (26/26) 検出されています。
BA.2.75疑は検出されていません。

■L452R/L452Q変異株スクリーニング検査結果 (10/27 実施)

検査数 : 26例
陽性 (L452R変異あり) : 26例
陽性 (L452Q変異あり) : 0例
陰性 (L452変異なし) : 0例
判定不能 : 0例

※ BA.4およびBA.5系統は陽性 (L452R変異あり) に、BA.2.12.1系統は陽性
(L452Q変異あり) に分類されます。
※ 変異株 (派生型) 推移のグラフも併せて添付しています。

■G339D変異株スクリーニング検査結果について

今回、L452R/L452Qスクリーニングで陰性となった検体がなかったため実施していません。

第600報：クルーズ船再開予定情報

送信日時: 2022年11月14日月曜日 9:53

件名: ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症(庁内第600報=所内第617報)
添付ファイル: 20221113_流行状況(日報).pdf; 20221113_検査状況(日報).pdf; 1113_
流行状況(日報_保健所別_無料検査等除く).pdf; COVID-19エピカーブ20221113.pdf; 世界の
オミクロン推移20221113.pdf

(冒頭定型文のため省略)

11月14日(月)9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル
4★★★★

1. 前報(11/11付)で、BQ.1系統は沖縄県でまだ検出されていないと書きましたが、
誤りでした。
添付: 世界のオミクロン株の推移20221113の2枚目のスライドにあるように、
過去に検出されていました。衛研ではなく感染研での解析だそうです。
過去に検出されたBQ.1系統の登録日は9月20日と同28日なので、
それ以前に感染者がいた、そして、その後、BQ.1系統は検出されていないと、
とりあえず理解したいと思います。

沖縄県衛研の8/23解析分のBE.1と、9/13解析分のBE.1.1には、
BQ系統に特異的とされる変異が付加されていないことから、
BQ系統に再附番されず、BE系統のままだそうです。
2. 県の11/2の対策本部会議資料によると、
年明け1/1~2に国内クルーズ船が那覇港に寄港する予定があるようです。
報道によると、海外クルーズ船が来春に再開されるようです。
日本ではあまり報道されていませんが、クルーズ船では今もクラスターが発生しています。
年明けから注意が必要ですので、関係機関と連携強化したいと思います。

「撤退しません」ダイヤモンド・プリンセス号 日本発着、来春再開へ
朝日新聞 2022年10月29日 16時00分
https://digital.asahi.com/articles/ASQBW3H1RQBTULFA025.html?iref=pc_ss_date_article

Number of Infected Guests and Crew Members with COVID-19 on Coral Princess
Currently Over 290 By Jim Walker on October 31, 2022
<https://www.cruiselawnews.com/2022/10/articles/disease/coral-princess-covid-australia/>

Cruise ship with 800 Covid cases docks in Sydney BBC
2022.11.12 <https://www.bbc.com/news/world-australia-63605824>

3. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 11/14(月)
検査数：0例
陽性：0例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（11/11受付分。土日は定休）
浦添：17例陽性（発生届対象外含む。うち那覇市在住者1例）/70例
**11月7日に、センターは浦添に集約されました。

4. 11月13日（日）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は7件でした。
うち0件是那覇市外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。
HER-SYS上は9件となっています。

5. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査の陽性率は7.5%です。
保健所別の情報についてはファイル冒頭のデータソース説明にご留意ください。
流行の先行指標とされている検査陽性率が急激に減少し10%未満となっています。
原因は良く分かりません。

6. 沖縄県と那覇市の週報と月報、疫学週前週比、曜日毎前週比、
4種類の簡易実効再生産数、那覇市と沖縄県の新規感染者数比の推移を添付します。
*先週末に公表された欠番は、累計数以外まだ反映していません。

沖縄県の第45週の新規感染者は2,062人と、第44週の1,891人から増加しています。
那覇市は第40週からデータ無しとしています。

沖縄県の疫学週前週比第45週は1.09と、第44週の1.11から僅かに低下しています。
那覇市の疫学週前週比第45週は1.95と、第44週の0.92から大きく上昇しています。

**那覇市の簡易実効再生産数と那覇市と沖縄県の新規感染者数比は、
9月27日分より沖縄県と那覇市ともに発生届限定登録者数に基づいて算出しています。

4種類の簡易実効再生産数は1.02~1.06となっています。
那覇市の簡易実効再生産数は1.42、1.61となっています。

那覇市と沖縄県の新規感染者数比（7日間移動平均）は、
人口比を大きく上回るレベルで推移しています。
数が少なくなると日毎の比は増減が大きくなりがちです。

第 603 報：県の警戒レベル1へ引き下げ

送信日時: 2022年12月1日木曜日 11:24

件名: ★沖縄県警戒レベル1★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第603報=所内第620報）

添付ファイル: ADB20221130藤井先生大阪府抜粋.pdf; ADB20221130資料3-2-2鈴木先生.pdf; 札幌市下水サーベイランス20221130.pdf; 薬局サーベイランス

(冒頭定型文のため省略)

12月1日(木) 9時現在 ★沖縄県警戒レベル1★ ★★★那覇市健康危機レベル4★
★★★

1. 昨日30日の県対策本部会議で新たな警戒レベル指標が確認されるとともに、沖縄県の警戒レベルが1と判断されました。
新たな警戒レベル指標は前報庁内第602報の添付資料をご参照ください。
2. 前報で添付できませんでした「沖縄県の第6～7波の振り返り」については、30日の県対策本部会議の資料3としてWEB公開されています。
ご参照ください。
3. 那覇市の健康危機レベルは、那覇市の対応体制の指標で、現時点では全庁体制としてレベル4のままです。
新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけの見直し議論が再開されたようです。
現行の2類相当から5類相当に変更になり、流行も落ち着けば、那覇市の健康危機レベルを3(全所体制)に引き下げること検討いたします。
4. 昨日30日の政府アドバイザーボードでは、上記見直しが議論されたようですが、公開されている資料からは、その内容を読み取れません。
報道によると大阪府の重症率・死亡率の推移(添付)を参考に議論されたようです。
死亡率では、70歳以上で当初22.0%から直近1.05%、全体では4.9%から0.11%まで低下しています。
5. 同資料に新型コロナウイルスの抗N抗体保有率に関するものがありました。(添付)
抗N抗体はワクチンでは誘導されず、感染により誘導されます。
抗N抗体保有率は感染者数割合とみなされています。
沖縄県は46.6%で、2位の大阪府の40.7%を引き離して断トツ1位です。
全国平均: 26.5%
対象: 令和4年11月6日～13日に、日本赤十字社の献血ルーム等を訪れた献血者8,260名

対象集団は、健康な方で健康行動を取りやすい傾向があると思われます。
全集団であれば沖縄県は50%を超えるのではないのでしょうか。
年代別で16～19歳群は平均より10%以上高いことから、
沖縄県の同群の全集団は60%を超えていると推定できます。
それ以下の年代ではさらに高いかもしれません。
6. 札幌市の新型コロナ下水サーベイランスのデータを添付します。
下水中の新型コロナウイルス量は流行の先行指標として有効のようです。
下水中の新型コロナウイルス量が急減していますので、
札幌市の流行はピークアウトしている可能性があります。
7. 薬局サーベイランス: 抗インフルエンザ薬の処方量によるインフルエンザ流行動態データ
(添付)
(略)

第607報: 第8波初期・感染症法、地域保健法等の一部改正の公布

送信日時: 2022年12月12日月曜日 9:49

件名: ★沖縄県警戒レベル1★ 新型コロナウイルス感染症(庁内第607報=内第624報)

添付ファイル: COVID-19エピカーブ20221211.pdf; 1211_流行状況(日報_保健所別_無料検査等除く).pdf; 20221211_流行状況(日報).pdf; 20221211_検査状況(日報).pdf; (都道府県(感染症対策関係)宛)【公布通知】感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の改正について.pdf

(冒頭定型文のため省略)

12月12日(月)9時現在 ★沖縄県警戒レベル1★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4★
★★★★

1. 12月9日に感染症法、地域保健法、予報接種法、検疫法、医療法等の一部改正が公布されました。
感染症法の改正項目が25項目と最多となっています。(添付)
那覇市保健所としては15と17が大きな課題です。

なお、類型の見直しについては附則第2条第2項に、
速やかに検討するよう文言があります。

- 1 疑似症サーベイランスの強化(公布日施行)
- 2 厚生労働大臣による健康監視業務の代行(公布日から10日後施行)
- 3 都道府県と市町村の間の情報共有(公布日施行)
- 4 健康観察等に係る一般市町村の長の協力及び情報提供(公布日から10日後施行)
- 5 厚生労働大臣による総合調整(公布日施行)
- 6 都道府県知事による総合調整、指示(公布日施行)
- 7 指定感染症に係る規定の整備(公布日施行)
- 8 都道府県連携協議会(令和5年4月1日施行)
- 9 電磁的な方法による届出等の努力義務等(令和5年4月1日施行)
- 10 新型インフルエンザ等感染症に係る検体の提出要請等(令和5年4月1日施行)
- 11 新型インフルエンザ等感染症等の患者の退院等の届出(令和5年4月1日施行)
- 12 医薬品の確保に係る国の責務(令和6年4月1日施行)
- 13 第一種協定指定医療機関及び第二種協定指定医療機関の新設(令和6年4月1日施行)
- 14 基本指針(令和6年4月1日施行)
- 15 予防計画(令和6年4月1日施行)
- 16 公的医療機関等の医療の提供の義務及び医療措置協定等(令和6年4月1日施行)
- 17 病原体等の検査を行っている機関等における検査等措置協定(令和6年4月1日施行)
- 18 流行初期医療確保措置等(令和6年4月1日施行)
- 19 健康観察の委託(令和6年4月1日施行)
- 20 新型インフルエンザ等感染症外出自粛対象者及び新感染症外出自粛対象者の医療に要する費用負担(令和6年4月1日施行)
- 21 他の都道府県知事等による応援等(令和6年4月1日施行)
- 22 感染症対策物資等の生産等に関する要請等(令和6年4月1日施行)
- 23 感染症及び病原体等に関する調査及び研究並びに医薬品の研究開発の推進等(令和6年4月1日施行)
- 24 匿名感染症関連情報の利用又は提供等(令和6年4月1日施行)
- 25 都道府県及び国の補助等(令和6年4月1日施行)

2. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 12/12(月)

検査数：3例

陽性：0例

* 接触者PCR検査センターの検査結果(12/9受付分。土日は定休)
浦添：21例陽性(発生届対象外含む。うち那覇市在住者5例)/127例

3. 12月11日(日)に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は22件でした。
うち2件は那覇市外の方等(疑似症や県外発生届症例含む)です。
HER-SYS上は18件となっています。
4. 衛研からの流行状況(日報)を添付します。
行政検査の陽性率は27.0%です。
保健所別の情報についてはファイル冒頭のデータソース説明にご留意ください。
5. 沖縄県と那覇市の週報と月報、疫学週前週比、曜日毎前週比、
4種類の簡易実効再生産数、那覇市と沖縄県の新規感染者数比の推移を添付します。

沖縄県の第49週の新規感染者は4,256人と、第48週の3,642人から増加しています。那覇市は第40週からデータ無しとしています。

沖縄県の疫学週前週比第49週は1.17と、第48週の1.29から低下しています。那覇市の疫学週前週比第49週は1.13と、第48週の1.51から低下しています。

＊＊那覇市の簡易実効再生産数と那覇市と沖縄県の新規感染者数比は、9月27日分より沖縄県と那覇市ともに発生届限定登録者数に基づいて算出しています。

4種類の簡易実効再生産数は1.06～1.12となっています。那覇市の簡易実効再生産数は1.28、1.09となっています。

那覇市と沖縄県の新規感染者数比（7日間移動平均）は、人口比を上回るレベルです。数が少なくなると日毎の比は増減が大きくなりがちです。

第 607 報：第 8 波感染拡大・国際クルーズ船での感染者発生

送信日時： 2022年12月19日月曜日 9:34

件名： ★沖縄県警戒レベル1★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第610報=所内第627報）

添付ファイル： COVID-19エビカーブ20221218.pdf; 1218_流行状況(日報_保健所別_無料検査等除く).pdf; 20221218_流行状況(日報).pdf; 20221218_検査状況(日報).pdf

（冒頭定型文のため省略）

12月19日（月）9時現在 ★沖縄県警戒レベル1★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4★
★★★★

1. 全国ニュースとなっていますが、国際クルーズ船で新型コロナ感染者が確認されています。感染者是那覇港で下船する予定でしたので、感染者へのファーストタッチ是那覇市保健所で対応いたしました。療養先調整や移送については県コロナ本部が対応しています。いずれも混乱することなく対応できています。

ガイドラインが整備され、クルーズ中はもちろんクルーズ前の感染対策もしっかり実施されています。また陽性者確認時の事後対応もしっかり機能していたと評価しています。これらの対策・対応が機能していなければ、この時点でかなりの感染者数になっていたと思います。クルーズはまだ継続しており、船内感染が収束したわけではありません。今後も連携しながらしっかり対応いたします。

3年ぶり横浜港出港の国際クルーズ船 乗客2人が新型コロナ感染

NHK 2022年12月17日 19時11分

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20221217/k10013926271000.html>

2. 中国リスクが顕在化しているようです。新規感染者や死亡者の正確な数字の公表がなくなり、報道でしか伺えませんが、既にかかなりの数の新規感染者や死亡者が出ているようです。医療崩壊、経済リスク拡大、新たな変異株リスク増大が心配です。

ゼロコロナ転換の中国、感染急拡大 息を潜める北京

日経 2022年12月18日 2:00

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOGM1703Q0X11C22A2000000/>

コロナ対策緩和の中国 死者”ゼロ”発表続くも死亡伝える報道

NHK 2022年12月18日 4時34分

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20221218/k10013926641000.html>

中国、コロナ死者急増か 火葬場に列、公式発表「ゼロ」—国産ワクチン依存で重症化リスク
時事通信 2022年12月17日13時31分
<https://www.jiji.com/jc/article?k=2022121700145&g=int>

死者1日2万—中国を待ち受けるコロナ変異株感染爆発、驚愕の試算
現代ビジネス 2022.12.16 6:03
<https://gendai.media/articles/-/103357>

3. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 12/19(月)

検査数：35例

陽性：1例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（12/16受付分。土日は定休）
浦添：35例陽性（発生届対象外含む。うち那覇市在住者4例）/171例

4. 12月18日（日）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は25件でした。
うち3件は那覇市外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。
HER-SYS上は15件となっています。

5. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査の陽性率は9.4%です。
保健所別の情報についてはファイル冒頭のデータソース説明にご留意ください。

6. 沖縄県と那覇市の週報と月報、疫学週前週比、曜日毎前週比、
4種類の簡易実効再生産数、那覇市と沖縄県の新規感染者数比の推移を添付します。

沖縄県の第50週の新規感染者は4,664人と、第49週の4,256人から増加しています。
那覇市は第40週からデータ無しとしています。

沖縄県の疫学週前週比第50週は1.10と、第49週の1.17から低下しています。
那覇市の疫学週前週比第50週は1.06と、第49週の1.13から低下しています。

* * 那覇市の簡易実効再生産数と那覇市と沖縄県の新規感染者数比は、
9月27日分より沖縄県と那覇市ともに発生届限定登録者数に基づいて算出しています。

4種類の簡易実効再生産数は1.00～1.07となっています。
那覇市の簡易実効再生産数は0.94、1.05となっています。

那覇市と沖縄県の新規感染者数比（7日間移動平均）は、
人口比を上回るレベルです。
数が少なくなると日毎の比は増減が大きくなりがちです。

第611報：県の警戒レベル2へ引き上げ

送信日時： 2022年12月23日金曜日 10:49

件名： ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第611報=所内第628報）

添付ファイル： ADB20221221資料3-2変異株抜粋.pdf; 薬局サーベイランス
2022W48-50.pdf; 東京都モニタリング20221222_05.pdf; 【沖縄衛研】ゲノム解析推移
_20221220.pdf; 20221222_流行状況(日報).pdf; 20221222_検査状況(日報).pdf;
1222_流行状況(日報_保健所別_無料検査等除く).pdf

（冒頭定型文のため省略）

12月23日（金）10時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レ
ベル4★★★★

1. 昨日22日付で沖縄県の警戒レベルが1から2に引き上げられました。

ワクチン接種と基本的感染対策の徹底を改めて宜しくお願い致します。
年末年始の帰省者、
特に成人式参加者とそのご家族へのワクチンアップデート勧奨について、
お声掛けを宜しくお願い致します。
末尾の11にもあるようにインフルエンザ流行も懸念されます。
インフルエンザワクチンの接種勧奨についても併せてお声掛けをお願い致します。

2. 年末年始の現地対策本部体制ですが、
那覇市の新規発生届数が、～50人/日であれば現有人員で、
50～100人/日は保健所内の応援人員で対応予定です。

100人超/日となりましたら、兼務職員を含めた全庁的応援をお願いしたいと思っています。
その時期は1月4日以降で調整させていただければ幸いです。
27日の対策本部会議で正式をお願いする予定です。

3. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 12/23(金)
検査数：45例
陽性：0例

*接触者PCR検査センターの検査結果（12/21受付分。土日は定休）
浦添：48例陽性（発生届対象外含む。うち那覇市在住者11例）/184例

4. 12月22日（木）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は52件でした。
うち1件は那覇市外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。
HER-SYS上は48件となっています。

5. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査の陽性率は10.5%です。
保健所別の情報についてはファイル冒頭のデータソース説明にご留意ください。

6. 衛研の全ゲノム解析の結果です。
検体採取日は12/5～11です。
BQ.1系統が6例、BN.1が5例となっています。
今回、BF.7が10例と目立ちますし、
割合でも10%を超えて3週連続で最多となっています。
今回からグラフがついてきています。とても分かりやすいです。

■全ゲノム解析（12/20）
解析数：48

監視下のオミクロンの亜系統

- ①BA.5系統(N450D変異もしくはR346/K444/V445/N460のいずれかに変異)：19
BF.7 BQ.1 BA.5.1.25 BQ.1.1 BF.5
- ②BA.2.75系統：9
BN.1 BR.2 BM.4.1.1
- ③BA.4.6系統：0
- ④XBB系統：0
- ⑤BA.2.3.20系統：0

従来のオミクロンの亜系統（①に該当しないBA.5系統など）：19

判定不能：1

7. 衛研の変異株スクリーニング検査の結果です。
検体の採取日は12/12-18となっています。
BA.4およびBA.5系統が約72%（161/223）検出されています。
BA.2系統が9例検出されています。
判定不能が増えているようです。
全ゲノム解析をしないと分からないのだと思います。

今回から推移グラフはありません。
上記5の全ゲノム解析のグラフに移行したようです。

今回よりスクリーニング検査を下記のように変更しています。

- ①L452R/L452Q ⇒ L452R
- ②G339D ⇒ 実施しない

■L452R変異株スクリーニング検査結果（12/22 実施）

検査数： 223例
陽性（L452R変異あり）： 161例
陰性（L452変異なし）： 9例
判定不能： 53例

※ BA.4およびBA.5系統は陽性（L452R変異あり）に分類されます。

※ BA.2系統は陰性（L452変異なし）に分類されます。

8. 21日政府アドバイザリーボードの変異株資料を添付します。
11/11付の庁内第599報でご報告しましたように、
当時、BQ.1系統は、12月第1週(2022年第48週)までに79%が置換わる計算でした。
しかし、置換わり速度は鈍く、
今回の想定では、12月第4週(2022年第51週)までに32%が置換わるとなっています。
9. 22日東京都モニタリング会議の変異株資料を添付します。
ここでもBQ.1系統の置換わり速度は遅いようです。
11月に勢いのあったBN.1もスピードダウン。
今回はBA.2.75の着実な増加と、BF.7の勢いが目立ちます。
ちなみに中国ではBF.7が主流のようです。（一次情報未確認、メディア情報のみ）
東京と中国の動きを考慮すると、沖縄県のBF.7も要注意と考えています。
10. 容量が大きいため添付しませんが、
21日政府アドバイザリーボード資料3-5中島先生資料：救急搬送困難事案数のトレンド
2022.12.18現在 によると、前回12/11時点で全国の非コロナ救急搬送困難事案数は
第7波のピーク(約3,950件/週)とほぼ同じ(約3,900件/週)でしたが、
今回12/18時点では超えて(約4,350件/週)います。
コロナ疑い救急搬送困難事案数は第7波のピーク(約2,700件/週)に迫り(約1,750件/週)
つつあります。
前回過去最多の北海道、秋田、岩手、山形、茨城、福島、群馬、福井、長野に加えて、
栃木、熊本が過去最多になりました。
沖縄県は前回とほぼ同じです。
11. 薬局サーベイランス情報を添付します。
(略)

第613報：インフルエンザ同時流行の兆し

送信日時: 2022年12月28日水曜日 10:10

件名: ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症(庁内第613報=所内第630報)
添付ファイル: インフルエンザ薬局サーベイランス20221228.pdf; 【沖縄衛研】ゲノム解析
推移_20221227.pdf; 1227_流行状況(日報_保健所別_無料検査等除く).pdf; 20221227_流
行状況(日報).pdf; 20221227_検査状況(日報).pdf

(冒頭定型文のため省略)

12月28日(水) 10時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レ
ベル4★★★★

1. 今年最後の報告です。
新年は1月4日から再開予定です。
本年もお世話になりました。

新年もどうぞ宜しくお願い致します。

2. 昨日の市対策本部会議では今後も全庁体制で新型コロナに取り組むことが再確認されました。

現地对策本部の今後の支援については、
新年1月5日開催予定の支援部会で具体的な検討を宜しくお願いします。

3. 県が公表するまでは取り扱い注意でお願いします。
那覇市のインフルエンザが、流行入りの目安である定点あたり1.00を超えました。
市内定点医療機関からの第51週インフルエンザの報告数は40件、
定点あたり3.34となっています。
県全体では2.91、保健所別では中部：5.78、南部：1.29が1.00を超えています。

薬局サーベイランスでも沖縄県の第51週は人口1万人あたり5人を超えています。(添付)
直近の日報でも増加中です。

沖縄県以外では、北海道、岩手、東京、富山が5人を超えています。

インフルエンザワクチンの接種勧奨を宜しくお願いします。

4. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 12/28(水)

検査数：136例

陽性：13例

*接触者PCR検査センターの検査結果(12/26受付分。土日は定休)
浦添：54例陽性(発生届対象外含む。うち那覇市在住者16例)/178例

5. 12月27日(火)に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は42件でした。
うち2件は那覇市外の方等(疑似症や県外発生届症例含む)です。
HER-SYS上は42件となっています。

6. 衛研からの流行状況(日報)を添付します。
行政検査の陽性率は14.7%です。
保健所別の情報についてはファイル冒頭のデータソース説明にご留意ください。

7. 衛研の全ゲノム解析の結果です。
検体採取日は12/12~18です。
BQ.1系統が10例、BN.1が4例となっています。
BF系統はBF.7が3例、BF.11が1例、BF.5が13例となっています。
前回目立ったBF.7は今回は少ないようです。
今回はBQ.1.1が目立ちますが、まだまだ群雄割拠状態と思われます。

■全ゲノム解析(12/20)

解析数：48

監視下のオミクロンの亜系統

①BA.5系統(N450D変異もしくはR346/K444/V445/N460のいずれかに変異)：19

BF.7 BQ.1 BA.5.1.25 BQ.1.1 BF.5

②BA.2.75系統：9

BN.1 BR.2 BM.4.1.1

③BA.4.6系統：0

④XBB系統：0

⑤BA.2.3.20系統：0

従来のおミクロンの亜系統(①に該当しないBA.5系統など)：19

判定不能：1

第614報：米国でXBB.1.5感染急拡大

送信日時： 2023年1月4日水曜日 8:08

件名： ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症(庁内第614報=所内第631報)

添付ファイル： 東京都モニタリング20221228_07.pdf; 米国オミクロン変異株推移20221231.pdf; COVID-19エピカーブ20230103.pdf; 0103_流行状況(日報_保健所別_無料検査等除く).pdf; 20230103_流行状況(日報).pdf; 20230103_検査状況(日報).pdf

(冒頭定型文のため省略)

新年明けましておめでとうございます。
今年もどうぞ宜しくお願い致します。

1月4日(水) 8時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4
★★★★

1. 米国で変異株XBB.1.5が急拡大しています。(添付：CDCの一次資料)
12月初めに1.3%でしたが、12月終わりには40.5%まで4週間で急拡大しています。
置き換わりスピードがBA.2やBA.5に近いかもしれません。
(添付：東京都モニタリング会議資料)
東京都資料の4番目のグラフは全ゲノム解析ではなくスクリーニングPCR検査によるもので、BA.2疑い、BA.5疑いとなっていますが、
いずれも初確認から4週目に30~40%を占めるスピードです。
XBB.1.5の重症化や死亡率について、現時点で上昇しているというデータはないようです。
単に置き換わるスピードだけが速いだけならいいのですが...
今後、注意深く監視したいと思います。

CDC COVID Data Tracker
Variant_Proportions_Weekly
<https://covid.cdc.gov/covid-data-tracker/#variant-proportions>

CDC reports a new strain of omicron taking over in the U.S.
About 40% of confirmed U.S. Covid cases are caused by the XBB.1.5 strain, up from 20% a week ago.
NBC News Dec. 31, 2022, 10:07 PM JST
<https://www.nbcnews.com/health/health-news/xbb15-subvariant-cdc-reports-new-omicron-strain-taking-rcna63512>

Omicron XBB.1.5 Rapidly Becomes New Dominant Covid-19 Subvariant, Here Are The Concerns
Forbes Dec 31, 2022, 04:36pm EST
<https://www.forbes.com/sites/brucelee/2022/12/31/omicron-xbb15-rapidly-becomes-new-dominant-covid-19-subvariant-here-are-the-concerns/?sh=5b1acc94407c>

2. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 1/4(水)
検査数：36例
陽性：1例

* 接触者PCR検査センターの検査結果(1/2受付分。土日は定休)
浦添：29例陽性(発生届対象外含む。うち那覇市在住者4例)/81例

3. 1月3日(火)に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は21件でした。
うち1件は那覇市外の方等(疑似症や県外発生届症例含む)です。
HER-SYS上は33件となっています。
4. 衛研からの流行状況(日報)を添付します。
行政検査の陽性率は16.2%です。

保健所別の情報についてはファイル冒頭のデータソース説明にご留意ください。

5. 沖縄県と那覇市の週報と月報、曜日毎前週比、曜日毎前々週比、4種類の簡易実効再生産数、那覇市と沖縄県の新規感染者数比の推移を添付します。

沖縄県の第52週の新規感染者は7,369人と、第51週の5,839人から増加しています。那覇市は2022年第40週からデータ無しとしています。

沖縄県の疫学週前週比第52週は1.26で、第51週の1.25からほぼ横ばいです。沖縄県の1月3日の前週比は1.13まで低下しています。那覇市の疫学週前週比第52週は0.93と、第51週の1.28から低下しています。那覇市の1月3日の前週比は0.93と1未満です。

* 前回から疫学週単位での前週比のグラフは割愛しています。
曜日単位での前週比に直近3週の数値を記載することで代えさせていただきます。

沖縄県の曜日毎前々週比は1.56です。
那覇市の曜日毎前々週比は1.08です。

* * 那覇市の簡易実効再生産数と那覇市と沖縄県の新規感染者数比は、
9月27日分より沖縄県と那覇市ともに発生届限定登録者数に基づいて算出しています。

4種類の簡易実効再生産数は0.97~1.09となっています。
那覇市の簡易実効再生産数は0.95、0.95となっています。

* * * 参考までに、発生届限定登録者数の推移：日報を追加しています。

那覇市と沖縄県の新規感染者数比（7日間移動平均）は、
人口比を下回るレベルになっています。

第616報：第8波ピークへ・遺体取扱の平常化

送信日時： 2023年1月10日火曜日 9:19

件名： **★★沖縄県警戒レベル2★★** 新型コロナウイルス感染症（庁内第616報=所内第633報）
添付ファイル： 米国オミクロン変異株推移202230107.pdf; COVID-19エピカーブ20230109.pdf; 薬局サーベイランス沖縄県日報20230107.pdf; 20230109_流行状況(日報).pdf; 20230109_検査状況(日報).pdf; 0109_流行状況(日報_保健所別_無料検査等除く).pdf

（冒頭定型文のため省略）

1月10日（火）9時現在 **★★沖縄県警戒レベル2★★** **★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★**

1. 新型コロナのご遺体の取り扱いがほぼ通常に戻りました。
もっと早くてもよかったと思いますが、前向きな良いニュースだと思います。

1月6日より適用されています。

容量が大きいため添付できません。
厚労省のサイトからDLください。

厚労省 通知20230106

「新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方及びその疑いがある方の処置、搬送、葬儀、火葬等に関するガイドライン」の改正について（周知）等

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00416.html

コロナ死者の葬儀「コロナ以外と同様」に 厚労省がガイドライン改定

朝日新聞 2023年1月6日 15時15分

https://www.asahi.com/articles/ASR164SF3R16UTFL008.html?iref=comtop_7_04

新型コロナ感染者の葬儀で新指針 最後の別れができるように

NHK 2023年1月6日 15時49分

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230106/k10013942851000.html>

2. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 1/10(火)

検査数：0例

陽性：0例

【那覇市】行政検査 1/9(月)

検査数：86例

陽性：0例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（1/6受付分。土日は定休）

浦添：68例陽性（発生届対象外含む。うち那覇市在住者13例）/241例

3. 1月9日（月）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は27件でした。

うち0件是那覇市外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。

HER-SYS上は29件となっています。

4. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。

行政検査の陽性率は17.2%です。

保健所別の情報についてはファイル冒頭のデータソース説明にご留意ください。

5. 沖縄県と那覇市の週報と月報、曜日毎前週比、曜日毎前々週比、

4種類の簡易実効再生産数、那覇市と沖縄県の新規感染者数比の推移を添付します。

沖縄県の第1週の新規感染者は10,402人と、第52週の7,369人から増加しています。

那覇市は2022年第40週からデータ無しとしています。

沖縄県の疫学週前週比第1週は1.41で、第52週の1.26から上昇しています。

沖縄県の1月9日の前週比は1.40です。

那覇市の疫学週前週比第1週は1.29と、第52週の0.93から上昇しています。

那覇市の1月9日の前週比は1.21です。

* 疫学週単位での前週比のグラフは割愛しています。

曜日単位での前週比に直近3週の数値を記載することで代えさせていただきます。

沖縄県の曜日毎前々週比は1.79まで上昇しています。

那覇市の曜日毎前々週比は1.20です。

* * 那覇市の簡易実効再生産数と那覇市と沖縄県の新規感染者数比は、

9月27日分より沖縄県と那覇市ともに発生届限定登録者数に基づいて算出しています。

4種類の簡易実効再生産数は1.23~1.58となっています。

那覇市の簡易実効再生産数は1.39、1.14となっています。

* * * 参考までに、発生届限定登録者数の推移：日報を追加しています。

那覇市と沖縄県の新規感染者数比（7日間移動平均）は、

人口比を下回るレベルになっています。

6. 米国のXBB.1.5ですが、最新情報では割合が大幅に修正されています。

割合は、27.6%に下方修正されていますが、

増加率は他のオミクロン亜型よりも高く、置換わりの勢いは依然あるようです。

7. 沖縄県の薬局サーベイランス日報を添付します。
推定のインフルエンザ患者数は1日千人を超えてきました。

第618報：第8波ピーク過ぎ

送信日時： 2023年1月16日月曜日 9:42

件名： ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症(庁内第618報=所内第635報)
添付ファイル： COVID-19 エピカーブ 20230115.pdf; 米国 オミクロン 変異株 推移 202230114.pdf; O115_流行状況(日報_保健所別_無料検査等除く).pdf; 20230115_流行状況(日報).pdf; 20230115_検査状況(日報).pdf

(冒頭定型文のため省略)

1月16日(月) 10時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★

1. 本日の現地対策本部会議(班長会議)で次のことが決定されました。
 - 今後の那覇市の新規届出感染者数は50人/日を下回る見込みのため、16~22日調整済の所内応援職員はオンコール体制とする。
 - 現時点では、全庁兼務職員等への応援要請は行わない。

背景

- 那覇市の7日間届出感染者数は、1月11日と12日の370人(平均52.9人/日)をピークに、15日の334人(平均47.7人/日)まで減少。今後、一時的に50人を超える日があったとしても、7日間平均では50人/日を下回る可能性が高い。
- 沖縄県の新規感染者数と検査陽性率も低下傾向にある。

2. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 1/16(月)

検査数：19例
陽性：1例

* 接触者PCR検査センターの検査結果(1/13受付分。土日は定休)
浦添：53例陽性(発生届対象外含む。うち那覇市在住者8例)/219例

3. 1月15日(日)に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は24件でした。うち1件は那覇市管轄外の方等(疑似症や県外発生届症例含む)です。HER-SYS上は19件となっています。
4. 衛研からの流行状況(日報)を添付します。
行政検査の陽性率は13.4%です。
保健所別の情報についてはファイル冒頭のデータソース説明にご留意ください。
5. 沖縄県と那覇市の週報と月報、曜日毎前週比、曜日毎前々週比、4種類の簡易実効再生産数、那覇市と沖縄県の新規感染者数比の推移を添付します。

沖縄県の第2週の新規感染者は8,531人と、第1週の10,402人から減少しています。那覇市は2022年第40週からデータ無しとしています。

沖縄県の疫学週前週比第2週は0.82で、第1週の1.41から低下しています。曜日毎前週比のピークは1月11日の1.71でした。そこから急降下しています。那覇市の疫学週前週比第2週は1.01と、第1週の1.29から低下しています。

* 疫学週単位での前週比のグラフは割愛しています。
曜日単位での前週比に直近3疫学週の数値を記載していますのでご参照ください。

沖縄県の曜日毎前々週比は1.16です。
那覇市の曜日毎前々週比は1.30です。

* * 那覇市の簡易実効再生産数と那覇市と沖縄県の新規感染者数比は、
9月27日分より沖縄県と那覇市ともに発生届限定登録者数に基づいて算出しています。

4種類の簡易実効再生産数は0.79~0.89となっています。
那覇市の簡易実効再生産数は0.97、1.01となっています。

* * * 参考までに、発生届限定登録者数の推移：日報を追加しています。

那覇市と沖縄県の新規感染者数比（7日間移動平均）は、
人口比を下回るレベルになっています。

6. 米国のXBB.1.5情報が更新されました。（添付）
割合は、前回の27.6%から43.0%に上昇しています。
倍加時間は10日前後でしょうか。
今後、日本でも主流になりそうですが、
1%を超えてから64%前後になるまで60日かかる計算になります。

第 621 報：第8波収束期・5 類移行（5 月 8 日予定）決定

差出人： 仲宗根 正 <68225TADA@city.naha.lg.jp>
件名： ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症（市内第621報=所内第638報）
添付ファイル： 【沖縄衛研】監視下のオミクロン新旧対照_20230125.pdf; 【沖縄衛研】ゲノム解析推移_20230125.pdf; 20230126_検査状況(日報).pdf; 20230126_流行状況(日報).pdf; 東京都モニタリング20230126_08.pdf; 救急搬送困難事案数20230125.pptx; ADB20230125資料3-3西浦先生抜粋.pdf; ADB20230125資料3-10.pdf

（冒頭定型文のため省略）

1月27日（金）9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★

1. 新型コロナの5類への移行が5月8日になるようです。
本夕の政府対策本部会議で決定されるそうです。
報道によると5類定点報告感染症になる見込みです。
報道にはありませんが、
インフルエンザ、麻疹・風疹、デング熱、エイズ等の22感染症と同じように、
「特定感染症予防指針を作成する感染症」となるかもしれません。

保健所業務の見直し内容がまだ不明ですが、ある程度想定して準備したいと思います。
引き続き、ご協力を宜しくお願い致します。

2. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 1/27(金)

検査数：0例
陽性：0例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（1/25受付分。土日は定休）
浦添：16例陽性（発生届対象外含む。うち那覇市在住者1例）/57例

3. 1月26日（木）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は29件でした。
うち2件は那覇市管轄外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。
HER-SYS上は33件となっています。
4. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
保健所別日報は割愛します。

行政検査の陽性率は12.6%です。
保健所別の情報についてはファイル冒頭のデータソース説明にご留意ください。

5. 衛研の全ゲノム解析の結果です。
検体採取日は1/6～14です。
1/13に「監視下のオミクロン」の対象が変更（添付資料）になったため、
今回解析分より新「監視下」で分類された報告となっています。
変更に伴い、解析推移グラフも新規で作成されています。
XBB.2が1例報告されています。
引き続きBQ.1系統を筆頭とする群雄割拠状態のようです。

■全ゲノム解析（1/25）

解析数：48

監視下のオミクロンの亜系統

- ①BF.7系統：4
BF.7系
- ②BQ.1系統：10
BQ.1.1系
- ③BA.2.75系統：13
BN.1系 CH(=BM.4.1.1)系
- ④XBB系統：1
XBB.2

従来のオミクロンの亜系統（①②に該当しないBA.5系統など）：17

判定不能：3

6. 衛研の変異株スクリーニング検査の結果です。
検体の採取日は1/12～22となっています。
BA.4およびBA.5系統が約62%(126/204)となっています。
BA.2.75～XBB系統が29例検出されています。

■L452R変異株スクリーニング検査結果（1/26 実施）

検 査 数	： 204例
陽性（L452R変異あり）	： 126 例
陰性（L452 変異なし）	： 29例
判 定 不 能	： 49例

※ 現在、「陽性（L452R変異あり）」に分類される株のうち、NGS解析で検出される主な系統は・BA.5系統（BQ.1、BQ.1.1、BF.5、BF.7など）です。

※ 現在、「陰性（L452変異なし）」に分類される株のうち、NGS解析で検出される主な系統は・BA.2.75系統（BN.1、BR.2、BM.4.1.1など）・XBB系統（XBB.1、XBB.1.5など）です。

7. 26日の東京都モニタリング会議資料（変異株）を添付します。
東京都では12月から累計31例のXBB.1.5が検出されています。
前回から9例増えています。割合では1%未満のままです。
25日の政府アドバイザリーボード資料西浦先生抜粋によると、
米国の置換わりスピードから計算されるXBB.1.5の相対的再生産数は、
前回のBA.5の1.47倍からほぼ変わらず1.48倍となっています。（添付）
米国では3月初めには90%を超える予測となっています。
8. 米国CDCがオミクロン対応2価ワクチンのXBB.1.5に対する効果を報告しています。
一応、効果はあるようですが、
調査が自己申告に基づくものであること、2価ワクチンの接種率がまだ低いこと、
米国で多い既感染効果を検証していないこと、マスク着用率を考慮していないこと、
などの制約もあることも報告末尾に添えられています。

一次情報

Early Estimates of Bivalent mRNA Booster Dose Vaccine Effectiveness in Preventing Symptomatic SARS-CoV-2 Infection Attributable to Omicron BA.5 and XBB/XBB.1.5 Related Sublineages Among Immunocompetent Adults Increasing Community Access to Testing Program, United States, December 2022 January 2023 MMWR Early Release / January 25, 2023 / 72
https://www.cdc.gov/mmwr/volumes/72/wr/mm7205e1.htm?s_cid=mm7205e1_w#T3_down

報道情報

オミクロン株対応の追加接種、変異株XBB.1.5に効果 米CDC
朝日新聞 2023年1月26日 10時17分
https://www.asahi.com/articles/ASR1V35S9R1VUHBI00G.html?iref=comtop_BreakingNews_list

オミクロン株 XBB系統の変異ウイルスに追加接種有効 米CDC分析
NHK 2023年1月26日 11時07分
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230126/k10013961181000.html>

9. 25日の政府アドバイザリーボード資料抜粋：救急を添付します。
多くの都道府県で救急搬送困難事案数のピークを超えているようです。
前回、沖縄県は第6波のピーク時にも達しておらず、と書きましたが、その後、第6波のピークを超えたようです。
第7波のピークには達していません。
10. 容量が大きすぎて添付できませんが、
25日の政府アドバイザリーボードでは、
前回に引き続き、全国的に新規感染者が減少することを見込んでいるようです。
11. 25日の政府アドバイザリーボードでは、
今後の感染対策の考え方について第1報が出ていました。
(添付：ADB20230125資料3-10)
2点ほど以下に抜粋します。

目的：感染対策の目的は、「自分を感染から守る」、そして「周りにいる方、ひいては社会を感染から守る」である。そのため、他者に対する配慮にもとづき、主体的な実践が推奨されている（例：「咳エチケット」）。

考え方：感染対策は、行うことが強要されることがなく、また逆に感染対策をやめることも強要されることがないように、個人の選択を尊重するような配慮がされるべきである。

12. 先週の沖縄県に引き続き、那覇市でもインフルエンザ警報を発令しました。
(市内インフォメーション掲示)
(以下、略)

第624報：地域保健法「基本指針」改正案の了承

送信日時： 2023年2月6日月曜日 9:49

件名： ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症(市内第624報=所内第641報)
添付ファイル： 20230205_流行状況(日報).pdf; 20230205_検査状況(日報).pdf; 0205_流行状況(日報_保健所別_無料検査等除く).pdf; 米国オミクロン変異株推移202230204.pdf; 東京都モニタリング20230202_05.pdf

(冒頭定型文のため省略)

2月6日(月)9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4
★★★★

1. 5日までの那覇市の7日間新規感染者数は119人まで減少しています。
沖縄県も引き続き減少傾向にありますが、来週くらいで下げ止まりかもしれません。
県の警戒レベル判断指標のひとつである病床使用率は、
2月2日以降、警戒レベル1の30%以下となっていますが、
まだ警戒レベル2から引き下げる判断はしていません。
今回の県対策本部会議で判断するものと思われます。
2. 地域保健法改正に伴う「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」改正案が了承されました。本年3月公布、4月1日運用予定。

昨年10月14日付の庁内第594報で、
『「予防計画」や「健康危機」について全庁的な議論も必要』と報告しましたが、
「予防計画」は保健所設置自治体本庁が、「健康危機対処計画」は保健所が策定する
となっています。
「予防計画」は県や関係機関と調整しながら、各「健康危機対処計画」とも整合性をとり
ながら、令和6年4月1日までに策定することになります。

人員については令和3～4年度に全国で保健師900名増、
令和5年度にさらに保健師450名増、保健師以外の職員150名増。（総務省調整済）
また、保健所設置自治体は本庁に統括保健師を配置するとともに、
保健所にも統括保健師等を配置する、となっています。

3. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 2/6(月) (1/31～2/5は検査0となっています)

検査数：0例
陽性：0例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（2/3受付分。土日は定休）
浦添：21例陽性（発生届対象外含む。うち那覇市在住者3例）/59例

4. 2月5日（日）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は12件でした。
うち1件は那覇市管轄外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。
HER-SYS上は14件となっています。
5. 衛研からの流行状況（日報）を添付します。
行政検査の陽性率は14.8%です。
保健所別の情報についてはファイル冒頭のデータソース説明にご留意ください。
6. 沖縄県と那覇市の週報と月報、曜日毎前週比、曜日毎前々週比、
4種類の簡易実効再生産数、那覇市と沖縄県の新規感染者数比の推移を添付します。

沖縄県の第5週の新規感染者は2,146人と、第4週の2,997人から4週連続で減少して
います。
那覇市は2022年第40週からデータ無しとしています。

沖縄県の疫学週前週比第5週は0.72で、第4週の0.72から変わりありません。
那覇市の疫学週前週比第5週は0.81と、第4週の0.84から減少しています。

* 疫学週単位での前週比のグラフは割愛しています。
曜日単位での前週比に直近3疫学週の数値を記載していますのでご参照ください。

沖縄県の曜日毎前々週比は0.51です。
那覇市の曜日毎前々週比は0.68です。

* * 那覇市の簡易実効再生産数と那覇市と沖縄県の新規感染者数比は、
9月27日分より沖縄県と那覇市ともに発生届限定登録者数に基づいて算出しています。

4種類の簡易実効再生産数は0.79～0.98となっています。
那覇市の簡易実効再生産数は0.98、0.86となっています。

***参考までに、発生届限定登録者数の推移：日報を追加しています。

那覇市と沖縄県の新規感染者数比（7日間移動平均）は、人口比を上回るレベルになっています。

7. 衛研の変異株スクリーニング検査の結果です。
検体の採取日は1/23～31となっています。
BA.4およびBA.5系統が約46%(44/96)となっています。
BA.2.75～XBB系統が13例検出されています。

■L452R変異株スクリーニング検査結果（2/2 実施）

検 査 数 : 96例
陽性（L452R変異あり） : 44 例
陰性（L452 変異なし） : 13 例
判 定 不 能 : 39 例

※ 現在、「陽性（L452R変異あり）」に分類される株のうち、NGS解析で検出される主な系統は・BA.5系統（BQ.1、BQ.1.1、BF.5、BF.7 など）です。

※ 現在、「陰性（L452変異なし）」に分類される株のうち、NGS解析で検出される主な系統は・BA.2.75系統（BN.1、BR.2、BM.4.1.1 など）、・XBB系統（XBB.1、XBB.1.5 など）です。

8. 2日の東京都モニタリング会議資料（変異株）を添付します。
東京都では12月から累計42例のXBB.1.5が検出されています。
前回から11例増えています。割合では1%未満のままです。
9. 米国のXBB.1.5情報が更新されました。（添付）
前週の割合は66.4%まで上昇しています。

第 626 報：沖縄県の集団免疫 70%前後で推移か

送信日時: 2023年2月13日月曜日 10:01

件名: ★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症(庁内第626報=所内第643報)
添付ファイル: ADB20230208資料2-4抗体保有率.pdf; COVID-19エピカーブ20230212.pdf; 米国オミクロン変異株推移202230211.pdf; 20230212_流行状況(日報).pdf; 20230212_検査状況(日報).pdf; 0212_流行状況(日報_保健所別_無料検査等除く).pdf

(冒頭定型文のため省略)

2月13日(月)10時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★

1. 昨日2月12日までの那覇市の7日間新規感染者数は83人まで減少しています。
曜日ごとの前週比も0.70まで低下していますので、まだ減少しそうです。
前報庁内第625報で「来週あたり1前後となり下げ止まりになるかもしれません。」と書きましたが、良い方向に外れそうです。
2. 10日、ワクチンに関する自治体向け政府説明会がありました。公費負担継続等、報道されている内容の説明のみでした。
集団接種が必要か、見解は示されませんでした。全年代が対象となるため、一定期間は必要じゃないかと所内では考えています。
3. 感染者の減少に合わせて、現地対策本部の土日の体制を見直す予定です。
4. 8日の政府アドバイザリーボードでは第5回住民調査による抗体保有率が提示されています。
(添付)

2022年11月26日～12月27日に提供された血液のN抗体保有率は25.4%でした。
(残念ながら沖縄県は対象となっていません)
同年11月6～13日の献血調査での26.5%よりも低めに出ています。
その理由については最後のスライドで考察されています。

なお、ワクチンと自然感染による集団免疫レベルについては、
徳田先生や諸見里先生らが経時的に数理的に推定しています。
沖縄県は第7波以降70%前後で推移しているようです。

国内におけるCOVID-19の第8波ピーク後の集団免疫レベルの推計
東京財団政策研究所 February 9, 2023
<https://www.tkfd.or.jp/research/detail.php?id=4184>

5. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 2/13(月)
検査数：0例
陽性：0例

【那覇市】行政検査 2/11(土)+12(日)
検査数：38例
陽性：1例

* 接触者PCR検査センターの検査結果(2/10受付分。土日は定休)
浦添：11例陽性(発生届対象外含む。うち那覇市在住者4例)/25例

6. 2月12日(日)に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は2件でした。
うち0件は那覇市管轄外の方等(疑似症や県外発生届症例含む)です。
HER-SYS上は1件となっています。

7. 衛研からの流行状況(日報)を添付します。
行政検査の陽性率は12.5%です。
保健所別の情報についてはファイル冒頭のデータソース説明にご留意ください。

8. 沖縄県と那覇市の週報と月報、曜日毎前週比、曜日毎前々週比、
4種類の簡易実効再生産数、那覇市と沖縄県の新規感染者数比の推移を添付します。

沖縄県の第6週の新規感染者は1,428人と、第5週の2,146人から5週連続で減少して
います。
那覇市は2022年第40週からデータ無しとしています。

沖縄県の疫学週前週比第6週は0.67で、第5週の0.72から低下しています。
那覇市の疫学週前週比第6週は0.70と、第5週の0.81から低下しています。

* 疫学週単位での前週比のグラフは割愛しています。
曜日単位での前週比に直近3疫学週の数値を記載していますのでご参照ください。

沖縄県の曜日毎前々週比は0.48です。
那覇市の曜日毎前々週比は0.56です。

* * 那覇市の簡易実効再生産数と那覇市と沖縄県の新規感染者数比は、
9月27日分より沖縄県と那覇市ともに発生届限定登録者数に基づいて算出しています。

4種類の簡易実効再生産数は0.70～0.78となっています。
那覇市の簡易実効再生産数は0.64、0.77となっています。

* * * 参考までに、発生届限定登録者数の推移：日報を追加しています。

那覇市と沖縄県の新規感染者数比(7日間移動平均)は、
人口比をとほぼ同じレベルになっています。

9. 米国のXBB.1.5情報が更新されました。(添付)
前週の割合は74.7%まで上昇しています。

第631報：XBB.1.5初検出

送信日時：2023年3月3日金曜日 9:32

件名：★★沖縄県警戒レベル2★★ 新型コロナウイルス感染症(庁内第631報=所内第648報)
添付ファイル：東京都モニタリング20230302_07.pdf; 【沖縄衛研】ゲノム解析推移_20230228.pdf; 0302_流行状況(日報_保健所別_無料検査等除く).pdf; 20230302_流行状況(日報).pdf; 20230302_検査状況(日報).pdf

(冒頭定型文のため省略)

3月3日(金) 9時現在 ★★沖縄県警戒レベル2★★ ★★★★那覇市健康危機レベル4
★★★★

1. 昨日2日までの那覇市の7日間新規感染者数は21人(限定発生届数)で、2月16日以降、50人を下回っています。
2. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 3/3(金) (3/1~2:検査0)
検査数：0例
陽性：0例

*接触者PCR検査センターの検査結果(3/1受付分。土日は定休)
浦添：4例陽性(発生届対象外含む。うち那覇市在住者1例)/13例

3. 3月2日(木)に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は0件でした。うち0件は那覇市管轄外の方等(疑似症や県外発生届症例含む)です。HER-SYS上は2件となっています。
4. 衛研からの流行状況(日報)等を添付します。行政検査の陽性率は21.8%です。
5. 衛研の全ゲノム解析の結果です。検体採取日は2/13~19です。

XBB.1.5が県内で初めて検出されています。
2/14の採取検体1例(空港PCR)、2/17の採取検体2例です。

■全ゲノム解析(2/28)
解析数：24

監視下のオミクロンの亜系統

- ①BF.7系統：5
BF.7系
- ②BQ.1系統：1
BQ.1.1系
- ③BA.2.75系統：12
BN.1系 CH(=BM.4.1.1)系
- ④XBB系統：3
XBB.1.5

従来のおミクロンの亜系統(①②に該当しないBA.5系統など)：3

判定不能：0

6. 2日の東京都モニタリング資料（変異株）を添付します。
 東京都では12月から計106例のXBB.1.5が検出されています。
 前回の91例から15例増えています。
 2月の月別での割合は引き続き1%台ですが、
 直近の週別では2%台に、
 直近のスクリーニング検査では4%台まで上昇しています。

第 633 報：県の警戒レベル1へ引き下げ

送信日時: 2023年3月10日金曜日 9:00

件名: ★沖縄県警戒レベル1★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第633報=所内第651報）

添付ファイル: 【沖縄衛研】ゲノム解析推移_20230307.pdf; 20230309_検査状況(日報).pdf; 20230309_流行状況(日報).pdf; 東京都モニタリング20230309「変異株」.pdf; ADB20230308資料3-9.pdf; ADB20230308資料3-10.pdf

（冒頭定型文のため省略）

3月10日（金）9時現在 ★沖縄県警戒レベル1★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4★
 ★★★★★

- 3月7日に県の警戒レベルが1に引き下げられました。
 那覇市の健康危機レベルは4のままで、全庁体制の継続をお願いいたします。
 5月8日以降は3に引き下げ、全所体制に移行したいと思っております。
- 昨日9日までの那覇市の7日間新規感染者数は28人（限定発生届数）で、
 2月16日以降、50人を下回っていますが、下げ止まりと思われれます。
- 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 3/10(金) (3/8~9:検査0)

検査数: 0例

陽性: 0例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（3/8受付分。土日は定休）
 浦添: 0例陽性（発生届対象外含む。うち那覇市在住者0例）/3例

- 3月9日（木）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は1件でした。
 うち0件は那覇市管轄外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。
 HER-SYS上は3件となっていますが、重複があるようですので実際は2件と思われれます。
- 衛研からの流行状況（日報）等を添付します。
 行政検査の陽性率は17.1%です。
 保健所別の資料は割愛いたします。
- 衛研の全ゲノム解析の結果です。
 検体採取日は2/13~24（一部1月と昨年8月の検体あり）です。
 今回はXBB系統の確認はありません。

■全ゲノム解析（3/7）

解析数: 24

監視下のオミクロンの亜系統

- ①BF.7系統: 7
 BF.7系
- ②BQ.1系統: 5
 BQ.1.1系
- ③BA.2.75系統: 5
 BN.1系 CH(=BM.4.1.1)系

④XBB系統：0
XBB.1.5

従来のおミクロンの亜系統（①②に該当しないBA.5系統など）：3

判定不能：4

7. 9日の東京都モニタリング資料（変異株）を添付します。
東京都では12月から計135例のXBB.1.5が検出されています。
前回の106例から29例増えています。
2月の月別での割合は2%台、直近の週別では5%台になっています。
前回4%台だったスクリーニング検査結果が今回の週別と月別の結果に反映されているようです。
スクリーニング検査結果は、今回ありません。
XBB.1.5への置換わりが進行していますが、
東京都の新規感染者数は、まだ減少傾向にあるようです。
8. 8日の政府アドバイザリーボード資料を2つ添付します。
（容量が大きいため、この後に別送します）
次の2つの見解が提示されています。
「“新たな健康習慣”についての見解」（いわゆる5つの基本）
「医療機関と高齢者施設における新型コロナウイルス対策についての見解」

第 635 報：沖縄県の抗 N 抗体保有率 58%

送信日時： 2023年3月17日金曜日 9:14

件名： ★沖縄県警戒レベル1★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第635報=所内第653報）
添付ファイル： 【沖縄衛研】ゲノム解析推移_20230314.pdf; 20230316_流行状況(日報).pdf; 20230316_検査状況(日報).pdf; 東京都モニタリング20230316_09.pdf; 厚生科学審議会感染症部会20230313資料5抗N抗体保有率.pdf; 厚生科学審議会感染症部会20230313資料1予防計画数値目標等.pdf

（冒頭定型文のため省略）

3月17日（金）9時現在 ★沖縄県警戒レベル1★ ★★★那覇市健康危機レベル4★★★

1. 昨日16日までの那覇市の7日間新規感染者数は41人（限定発生届数）で、2月16日以降、50人を下回っています。
2. 13日の厚生科学審議会感染症部会で基本方針と予防計画見直が議論されています。（添付）保健所設置市が数値目標を定める事項がスライド6にあります。
以下に抜粋します。

検査体制：検査能力、地方衛生研究所における検査機器の確保
物資の確保：個人防護具を十分に備蓄している協定締結医療機関等数
人材の養成及び資質の向上：医療機関並びに保健所職員や保健所以外の職員に対する研修
実施回数保健所の体制整備：最大業務量を見込んだ人員確保数

検査体制については、那覇市で自前で整備するのか、
平時から委託するのか、有事のみ委託するのか、検討しなければなりません。
（有事のみの場合でも、平時から有事に備えた精度管理等が必要です。）

物資の確保については、県が協定締結した市内医療機関への物資の確保～備蓄を那覇市が行うことになるかと思えます。

3. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 3/17(金)
検査数：0例
陽性：0例

【那覇市】行政検査 3/16(木)
検査数：36例
陽性：3例

* 接触者PCR検査センターの検査結果（3/15受付分。土日は定休）
浦添：1例陽性（発生届対象外含む。うち那覇市在住者0例）/7例

4. 3月16日（木）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は4件でした。
うち0件は那覇市管轄外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。
HER-SYS上3は件となっています。
5. 衛研からの流行状況（日報）等を添付します。
行政検査の陽性率は15.2%です。
保健所別データは割愛いたします。
6. 衛研の全ゲノム解析の結果です。
検体採取日は2/27～3/4です。
BQ.1系統が約8割となりました。
XBB.1.5が1件確認はされています。

■全ゲノム解析（3/14）
解析数：24

監視下のオミクロンの亜系統

- ①BF.7系統：2
BF.7系
- ②BQ.1系統：4
BQ.1.1系
- ③BA.2.75系統：15
BN.1系 CH(=BM.4.1.1)系
- ④XBB系統：1
XBB.1.5

従来のオミクロンの亜系統（①②に該当しないBA.5系統など）：1

判定不能：1

7. 16日の東京都モニタリング資料（変異株）を添付します。
東京都では12月から計161例のXBB.1.5が検出されています。
前回の135例から26例増えています。
2月の月別での割合は3%台、直近の週別では7%台になっています。
8. 抗N抗体保有率に関する情報を入手しました。（添付）
報道にある通り、沖縄県の速報値は58%となっています。
補正前なので最終報告では少し変わると思います。

第 638 報：県の警戒レベル2へ引き上げ

送信日時： 2023年3月27日月曜日 8:53

件名： ★沖縄県警戒レベル1★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第638報=所内第656報）

添付ファイル： 0326_流行状況(日報_保健所別_無料検査等除く).pdf; 20230326_流行状況(日報).pdf; 20230326_検査状況(日報).pdf; COVID-19エビカーブ20230326.pdf

【事務連絡】 退職～異動の方は後任の方のメールアドレスを仲宗根までご連絡ください

い。

(冒頭定型文のため省略)

3月27日(月) 8時現在 ★沖縄県警戒レベル1★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4★
★★★★

1. 昨日26日までの那覇市の7日間新規感染者数は9人(限定発生届数)で、2月16日以降、50人を下回っています。疫学週で一けたになるのは2021年第50週(12/20-26)の6人以来です。
2. 25日(土)に県の専門家会議が開催されました。5類移行後の対応について、国の方針を具体的に検討し、踏襲することが了承されました。
3. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 3/27(月) (3/24~26:検査0)

検査数:0例
陽性:0例

*接触者PCR検査センターの検査結果(3/24受付分。センターでの最終受付となります。)
浦添:7例陽性(発生届対象外含む。うち那覇市在住者例)/11例

4. 3月26日(日)に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は1件でした。うち0件は那覇市管轄外の方等(疑似症や県外発生届症例含む)です。HER-SYS上は1件となっています。
5. 衛研からの流行状況(日報)等を添付します。行政検査の陽性率は21.9%です。
6. 沖縄県と那覇市の週報と月報、曜日毎前週比、曜日毎前々週比、4種類の簡易実効再生産数、那覇市と沖縄県の新規感染者数比の推移を添付します。

沖縄県の第12週の新規感染者は545人と、第11週の489人から増加しています。那覇市は2022年第40週からデータ無しとしています。

沖縄県の疫学週前週比第12週は1.11で、第11週の0.85から上昇しています。那覇市の疫学週前週比第12週は0.20と、第11週の1.52から大きく低下しています。

*疫学週単位での前週比のグラフは割愛しています。
曜日単位での前週比に直近3疫学週の数値を記載していますのでご参照ください。

沖縄県の曜日毎前々週比は0.95です。
那覇市の曜日毎前々週比は0.31です。

* * 那覇市の簡易実効再生産数と那覇市と沖縄県の新規感染者数比は、9月27日分より沖縄県と那覇市ともに発生届限定登録者数に基づいて算出しています。

4種類の簡易実効再生産数は1.07~1.16となっています。
那覇市の簡易実効再生産数は0.35、0.32となっています。

* * * 参考までに、発生届限定登録者数の推移:日報を追加しています。

那覇市と沖縄県の新規感染者数比(7日間移動平均)は、人口比より低いレベルになっています。
nが少なくなっていますので参考値としてお考え下さい。

7. 23日の政府アドバイザリーボードで、XBB.1.5の置換わりについて、鈴木先生は全国第12週(検体採取週)で約10%、

西浦先生は東京都第13週（検体採取週）で約61%と計算しています。（添付なし）

WHOは「XBB.1.5は現時点で脅威になっていない」と2月24日に報告しています、
https://www.who.int/docs/default-source/corona-viruse/22022024xbb.1.5ra.pdf?sfvrsn=7a92619e_3

一方で英国ではXBB.1.5よりも9%前後成長力が強いとされるXBB.1.9.1が懸念されています。
https://assets.publishing.service.gov.uk/government/uploads/system/uploads/attachment_data/file/1141754/variant-technical-briefing-51-10-march-2023.pdf

西浦先生は「1年間を通じてオミクロン様イベントが1回以上起こる確率は25%程度である。」とコメントしており、今後も変異株の監視が重要で必要な状況です。
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001076924.pdf> （p160）

第 639 報：現地対策本部、日曜休業開始

送信日時： 2023年3月31日金曜日 8:44

件名： ★沖縄県警戒レベル1★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第639報=所内第657報）

添付ファイル： 【沖縄衛研】監視下のオミクロン新旧対照_20230327.pdf; 【沖縄衛研】ゲノム解析推移_20230328.pdf; 20230330_流行状況(日報).pdf; 20230330_検査状況(日報).pdf; 0330_流行状況(日報_保健所別_無料検査等除く).pdf

【事務連絡】 （割愛）

（冒頭定型文のため省略）

3月31日（月）8時現在 ★沖縄県警戒レベル1★ ★★★★★那覇市健康危機レベル4★
★★★★

1. 昨日30日までの那覇市の7日間新規感染者数は13人（限定発生届数）で、2月16日以降、50人を下回っています。
2. 次年度4月1日より、現地対策本部は日曜休業となります。
全国の保健所では既に日曜休業（一部は土日休業）となっているところもあります。
新型コロナについては、他の感染症同様にオンコールで対応いたします。
5月8日以降は土日祝日休業となる予定です。
3. 5月8日以降の県の各種対策方針が示されました。
別ルートで皆さまにも届いているかと存じます。
3月29日の県主催病院長会議でも方針が示され了承されたと聞いております。
保健所は、医療機関、高齢者・福祉施設への個別対応と公費の残務処理、
そして健康危機管理体制の強化が主な業務となります。
4. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 3/31(金) (3/27~30:検査0)

検査数：0例

陽性：0例

*接触者PCR検査センターの検査結果：なし。同センターでの検査は3/24受付分で終了。

5. 3月30日（木）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は3件でした。
うち1件は那覇市管轄外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。
HER-SYS上は2件となっています。
6. 衛研からの流行状況（日報）等を添付します。
行政検査の陽性率は14.7%です。
7. 衛研の全ゲノム解析の結果です。

検体採取日は3/13～17です。
XBB.2が1件確認されています。

3/15に「監視下のオミクロン」の対象が変更になっていますので、
添付グラフでは、新「監視下」で分類し直した3月4週解析分のみとなっています。
新旧対照表もご参照ください。

■全ゲノム解析（3/28）

解析数：16

監視下のオミクロンの亜系統

- ①BQ.1系統：1
 BQ.1.1系
- ②CH.1.1系統：0
 CH.1.1系
- ③その他BA.2.75系統：10
 BN.1系 BA.2.75系
- ④XBB系統：1
 XBB.2
- ⑤XBF系統：0
 XBF

従来のオミクロンの亜系統（①②に該当しないBA.5系統など）：4
判定不能：0

- 8. 30日の東京都モニタリング資料（変異株）を添付します。
東京都では12月から計267例のXBB.1.5が検出されています。
前回の205例から62例増えています。
3月の月別での割合は21%台、直近の週別では25%台になっています。

第 640 報：那覇市の健康危機レベル4から3への引き下げ予定

送信日時： 2023年4月3日月曜日 10:12

件名： ★★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第640報=所内第658報）

添付ファイル： @（最新 28年改正）2016那覇市健康危機管理対策体制概要図.pptx; @（最新）那覇市健康危機管理基本指針、別表.docx; （最新20230216）那覇市保健所健康危機管理対策要綱.docx; （最新20211101）改正那覇市健康危機管理対策連絡会議要綱.pdf; 那覇市健康危機管理対策本部設置要綱（令和2年2月改正）.pdf; 那覇市危機事象別組織体制フロー図20200701.pdf; 20230402_流行状況(日報).pdf; 20230402_検査状況(日報).pdf; 0402_流行状況(日報_保健所別_無料検査等除く).pdf; COVID-19エピカーブ20230402.pdf

【事務連絡】（割愛）

（冒頭定型文のため省略）

*2023年度からのタイトルには、
沖縄県の警戒レベル情報の代わりに那覇市の健康危機レベルを表示いたします。

新年度オリエンテーション：次の添付資料を参照ください。

- @（最新）那覇市健康危機管理基本指針、別表
- @（最新 28年改正）2016那覇市健康危機管理対策体制概要図
- （最新20230216）那覇市保健所健康危機管理対策要綱
- （最新20211101）改正那覇市健康危機管理対策連絡会議要綱
- 那覇市健康危機管理対策本部設置要綱（令和2年2月改正）
- 那覇市危機事象別組織体制フロー図20200701

4月3日（月）10時現在 ★★★那覇市健康危機レベル4★★★★

1. 予定通り、5月7日に新型コロナが5類に移行した場合、5月8日に那覇市の健康危機レベルを4（全庁体制）から3（全所体制）に引き下げます。それまでは全庁体制の維持をよろしくお願いいたします。健康危機レベルについては上記最初の資料の別表をご参照ください。
2. 4月から那覇市保健所現地対策本部は日曜休業としております。発生届にはオンコールで対応いたしますが、昨日2日の日曜日は15時までに発生届がありませんでした。また、問い合わせ等の電話は、守衛の方で翌月曜日対応と説明して、特にトラブルはなかったようです。
3. 昨日23日までの那覇市の7日間新規感染者数は22人（限定発生届数）で、2月16日以降、50人を下回っています。
4. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 4/3(月) (3/31~4/2:検査0)

検査数：0例
陽性：0例

5. 4月2日（日）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は0件でした。うち0件は那覇市管轄外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。HER-SYS上は1件となっています。
6. 衛研からの流行状況（日報）等を添付します。行政検査の陽性率は18.0%です。
7. 沖縄県と那覇市の週報と月報、曜日毎前週比、曜日毎前々週比、4種類の簡易実効再生産数、那覇市と沖縄県の新規感染者数比の推移を添付します。

沖縄県の第13週の新規感染者は450人と、第12週の545人から減少しています。那覇市は2022年第40週からデータ無しとしています。

沖縄県の疫学週前週比第13週は0.83で、第12週の1.11から低下しています。那覇市の疫学週前週比第13週は2.44と、第12週の0.20から大きく上昇しています。

* 疫学週単位での前週比のグラフは割愛しています。
曜日単位での前週比に直近3疫学週の数値を記載していますのでご参照ください。

沖縄県の曜日毎前々週比は0.92です。
那覇市の曜日毎前々週比は0.50です。

* * 那覇市の簡易実効再生産数と那覇市と沖縄県の新規感染者数比は、9月27日分より沖縄県と那覇市ともに発生届限定登録者数に基づいて算出しています。

4種類の簡易実効再生産数は0.87~0.91となっています。
那覇市の簡易実効再生産数は2.22、1.89となっています。

* * * 参考までに、発生届限定登録者数の推移：日報を追加しています。

那覇市と沖縄県の新規感染者数比（7日間移動平均）は、人口比より高いレベルになっています。
nが少なくなっていますので参考値としてお考え下さい。

第 643 報：第9波の兆し・XBB.1.5 漸増

送信日時： 2023年4月14日金曜日 9:08

件名: ★★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第643報=所内第661報）
添付ファイル: 20230413_流行状況(日報).pdf; 20230413_検査状況(日報).pdf; 0413_流行状況(日報_保健所別_無料検査等除く).pdf; 【沖縄衛研】ゲノム解析推移_20230411.pdf; 新型コロナ札幌市下水20230409.pdf; 東京都モニタリング20230413_05.pdf

(冒頭定型文のため省略)

4月14日(金) 9時現在 ★★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★★

1. 昨日13日までの那覇市の7日間新規感染者数は33人(限定発生届数)で、2月16日以降、50人を下回っています。
2. 大型連休(5連休)中の現地対策本部は次のように調整中です。
県内の保健所もほぼ同様の見込みです。

5/3(水・祝日) 休業
5/4(木・祝日) 対応
5/5(金・祝日) 休業
5/6(土・祝日) 対応
5/7(日) 休業

5類移行予定の5月8日(月)以降は、
那覇市健康危機レベル4(全庁体制)からレベル3(全所体制)とし、
現地対策本部は土日祝日休業となる予定です。

3. 山梨県都留市で大規模クラスター?のようです。
まだこういうリスクがあるのですね。

市職員4分の1がコロナ感染で欠勤 山梨県都留市、来庁自粛呼び掛け
朝日新聞 2023年4月11日 13時30分

https://digital.asahi.com/articles/ASR4C439DR4COXIE00W.html?iref=comtop_7_06

4. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 4/14(金) (4/10~13:検査0)
検査数:0例
陽性:0例

5. 4月13日(木)に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は7件でした。
うち0件は那覇市管轄外の方等(疑似症や県外発生届症例含む)です。
HER-SYS上は7件となっています。
6. 衛研からの流行状況(日報)等を添付します。
行政検査の陽性率は0.0%です。
7. 米軍基地内陽性者数が増加傾向にあります。
4月5日までは一桁でしたが、6日以降、土日除いて10前後が続いています。

4/5:7
4/6:16
4/7:10
4/10:10
4/11:12
4/12:9
4/13:7

8. 衛研の全ゲノム解析の結果です。
検体採取日は2/9~4/1です。
XBB.1.5が6件(全て4/1採取検体)、XBB.1.9.1が3件(3/16&20採取検体)確認されています。

■全ゲノム解析（4/11）

解析数：32

監視下のオミクロンの亜系統

- ①BQ.1系統：0
BQ.1.1系
- ②CH.1.1系統：0
CH.1.1系
- ③その他BA.2.75系統：11
BN.1系 BA.2.75系
- ④XBB系統：9
XBB.1.9.1 XBB.1.5
- ⑤XBF系統：0
XBF

従来のおミクロンの亜系統（①②に該当しないBA.5系統など）：12

判定不能：0

9. 13日の東京都モニタリング資料（変異株）を添付します。
東京都では12月から計415例のXBB.1.5が検出されています。
前回の327例から88例増えています。
3月の月別での割合は22.7%、直近の週別（3/21-27採取検体）では33.2%になっています。

XBB.1.9.1も増えつつあるようで、次の記載があります。
『英国保健安全保障庁によると、英国での感染者に占める「XBB.1.9.1系統」の割合が増加しており、「XBB.1.5系統」と比較して、感染者増加の優位性が見られている。』

10. 札幌市の新型コロナ下水モニタリングでは、急上昇が続いています。（添付）
このまま急上昇するのかもしれない。

第645報：第9波初期

送信日時： 2023年4月21日金曜日 10:03

件名： ★★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第645報=所内第663報）

添付ファイル： 東京都モニタリング20230420_05.pdf; ADB20230419資料3-3減衰振動抜粋.pdf; 米国オミクロン変異株推移202230415.pdf; ADB20230419資料3-7-2.pdf; ADB20230419資料3-7-1.pdf; WHO_SR20230420_XBB1.16抜粋.pdf; 20230420_検査状況(日報).pdf; 20230420_流行状況(日報).pdf; 【沖縄衛研】ゲノム解析推移_20230418.pdf

（冒頭定型文のため省略）

4月21日（金）10時現在 ★★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★★

1. 昨日20日までの那覇市の7日間新規感染者数は31人（限定発生届数）で、2月16日以降、50人を下回っています。

なお、県の7日間新規感染者数が19日に1,042人、20日は1,079人と1,000人を超えました。
1,000人を超えるのは2月15日以来となります。

2. 全国の今後の動向見込みは12を参照ください。

仲宗根は、沖縄県の第8波が全国最小規模だったことにより、集団としての免疫の減衰は全国最大規模になっていると考えられるため、

沖縄県の第9波は全国最小規模になることはないのではないかと考えています。

3. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 4/21(金) (4/17~20:検査0)

検査数:0例

陽性:0例

4. 4月20日(木)に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は9件でした。うち2件は那覇市管轄外の方等(疑似症や県外発生届症例含む)です。HER-SYS上は6件となっています。

5. 衛研からの流行状況(日報)等を添付します。行政検査の陽性率は4.5%です。保健所別資料は割愛いたします。

6. 米軍基地内陽性者数は、12日以降、20日の11例以外、一桁に戻っています。

7. 衛研の全ゲノム解析の結果です。検体採取日は3/23~4/6です。XBB.1.5が1件、XBB.1.9.1が2件、XBB.2が1件確認されています。XBB.1.16は、今のところ確認されていないようです。

■全ゲノム解析(4/18)

解析数:16

監視下のオミクロンの亜系統

①BQ.1系統:0

BQ.1.1系

②CH.1.1系統:1

CH.1.1系

③その他BA.2.75系統:4

BN.1系 BA.2.75系

④XBB系統:4

XBB.1.9.1 XBB.1.5

⑤XBF系統:0

XBF

従来のオミクロンの亜系統(①②に該当しないBA.5系統など):1

判定不能:4

8. 20日の東京都モニタリング資料(変異株)を添付します。東京都では12月から計508例のXBB.1.5が検出されています。前回の415例から93例増えています。4月の割合は46.8%、直近の週別(3/28-4/3採取検体)では38.9%まで上昇しています。XBB.1.9.1は4月12.9%、直近週18.0%です。両者以外のXBBも割合が増えています、XBB.1.16が含まれていると思われます。

9. WHO(Weekly epidemiological update on COVID-19 - 20 April 2023)で、XBB.1.16に触れています。(抜粋添付)世界的に第13週(3/27-4/2)は4.15%まで増えていますが、現時点で重症化率が上昇しているというデータはないようです。

10. 国の変異株最新情報は明日更新される見込みです。先週の情報(4/9~15分)では、XBB.1.16が7.2%まで増えています。(添付)

11. 札幌市の新型コロナ下水モニタリングでは、急上昇が止まり、急な減少となっています。(添付)第7波と第8波の初期に見られた感染急拡大はないのかもしれませんが。

12. 19日の政府アドバイザリーボード資料3-7-1には以下の記載があります。(添付)

「今後、第 9 波の流行が起きる可能性が高い。」
「国内でもいずれは英国と同様に流行規模は縮小していくことが予想されるが、まだ国内では自然感染の罹患率が低いことを考慮すると第 9 波の流行は、第 8 波より大きな規模の流行になる可能性も残されている。」
「減衰振動に推移するのは第 9 波に起こるよりもそれ以降に起こる可能性の方が高いと考えられる。」

今後の対策への提言がまとめに書かれています。

減衰振動については、同資料3-3抜粋と3-7-2を参照ください。（添付）

第 647 報：5 類移行（5 月 8 日）決定

送信日時： 2023年4月28日金曜日 9:51

件名： ★★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第647報-所内第665報）

添付ファイル： 【沖縄衛研】ゲノム解析推移_20230425.pdf; 0427_流行状況(日報_保健所別_無料検査等除く).pdf; 20230427_流行状況(日報).pdf; 20230427_検査状況(日報).pdf; 5/8以降の沖縄県新型コロナ対策方針.pdf; 新型コロナ札幌市下水 20230423.pdf; 21042023XBB.1.16RA-v2.pdf

（冒頭定型文のため省略）

4月28日（金）9時現在 ★★★★★那覇市健康危機レベル4★★★★★

1. 5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行することが正式決定されました。沖縄県の同日以降の方針については添付資料をご参照ください。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更に伴う各種対策の方針（5月8日以降）について

https://www.pref.okinawa.jp/site/covid19_potal/documents/204-3.pdf

2. これに伴い5月1日の保健所現地対策本部会議（班長会議）で、5月8日に那覇市健康危機レベルを4から3に引き下げ、現地対策本部はレベル3対応の保健所対策本部に移行することを決定する予定です。那覇市健康危機管理基本指針 第3-5-(1)（4/3付庁内第640報の添付資料参照ください）

なお、その後、特段の状況にならない限り、6月1日をもってレベル2に引き下げ、保健所対策本部は解散予定です。

3. 昨日27日までの那覇市の7日間新規感染者数は42人（限定発生届数）で、2月16日以降、50人を下回っています。
4. 4/13付庁内第643報で報告しました山梨県都留市役所でのクラスターに引き続き、長野県木曾町役場でクラスターです。

◎町役場でコロナ拡大、職員の2割余りが自宅療養・待機…歓迎会で広まった可能性も/長野（読売新聞）

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20230421-OYT1T50217/?cat-name=haishin_shakai

5. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 4/28(金) (4/24~27:検査0)

検査数:0例

陽性:0例

6. 4月27日（木）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は14件でした。うち2件は那覇市管轄外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。HER-SYS上は9件となっています。
7. 衛研からの流行状況（日報）等を添付します。行政検査の陽性率は1.3%です。
8. 衛研の全ゲノム解析の結果です。検体採取日は4/11～19です。XBB.1.5が6件、XBB.1.9.1が2件確認されています。XBB.1.16は、まだ確認されていないようです。

■全ゲノム解析（4/25）

解析数：13

監視下のオミクロンの亜系統

- ①BQ.1系統：0
BQ.1.1系
- ②CH.1.1系統：0
CH.1.1系
- ③その他BA.2.75系統：1
BN.1系 BA.2.75系
- ④XBB系統：8
XBB.1.9.1 XBB.1.5
- ⑤XBF系統：0
XBF

従来のオミクロンの亜系統（①②に該当しないBA.5系統など）：2
判定不能：2

9. 27日の東京都モニタリング資料（変異株）はまだ公開されていないようです。
10. WHOから、XBB.1.16のリスク評価が出ています。（添付）現時点で重症化率が上昇しているというデータはないようです。
11. 札幌市の新型コロナ下水モニタリングでは、再上昇となっています。（添付）第7波と第8波の初期に見られた感染急拡大はないのかもしれませんが、ある程度の波にはなりそうです。

第 649 報：5 類移行、那覇市の健康危機レベル3へ引き下げ

送信日時： 2023年5月8日 曜日 10:31

件名： ★★★那覇市健康危機レベル3★★★ 新型コロナウイルス感染症（庁内第649報=所内第667報）

添付ファイル： COVID-19エピカーブ20230507.pdf; 新型コロナ札幌市下水20230430.pdf; 米国オミクロン変異株推移202230505.pdf; 20230507_流行状況(日報).pdf; 20230507_検査状況(日報).pdf; 0507_流行状況(日報_保健所別_無料検査等除く).pdf; 【沖縄衛研】ゲノム解析推移_20230502.pdf

（冒頭定型文のため省略）

5月8日（月）10時現在 ★★★那覇市健康危機レベル3★★★

1. 本日5月8日から那覇市の健康危機レベルは3となりました。レベル3対応の保健所対策本部に移行しております。本健康危機メールは週1ペースで継続いたします。
2. 本日9時からの保健所対策本部会議（班長会議）で、大型連休後の感染状況を見極めるまで、

那覇市保健所では次の対応とすることが決定されました。

- ・対面業務では職員のマスク着用とパーティション利用を推奨。
- ・窓を開けての換気も継続を推奨。
- ・期間は健康危機レベル3の期間（5月末までの予定）

3. 5月5日に、WHOは新型コロナが、国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（public health emergency of international concern :PHEIC）に相当しないと表明しました。2020年1月30日の宣言以来、3年3か月余りで解除されたこととなります。

Statement on the fifteenth meeting of the International Health Regulations (2005) Emergency Committee regarding the coronavirus disease (COVID-19) pandemic WHO 5 May 2023

[https://www.who.int/news/item/05-05-2023-statement-on-the-fifteenth-meeting-of-the-international-health-regulations-\(2005\)-emergency-committee-regarding-the-coronavirus-disease-\(covid-19\)-pandemic](https://www.who.int/news/item/05-05-2023-statement-on-the-fifteenth-meeting-of-the-international-health-regulations-(2005)-emergency-committee-regarding-the-coronavirus-disease-(covid-19)-pandemic)

4. 昨日7日までの那覇市の7日間新規感染者数は47人（限定発生届数）で、再び50人を下回ってきました。

5. 那覇市の行政検査の速報です。

【那覇市】行政検査 5/8(月) (5/1~7:検査0)

検査数:0例

陽性:0例

6. 5月6日（土）に那覇市保健所が受理した新型コロナ発生届は13件でした。（5/7は休業）うち2件是那覇市管轄外の方等（疑似症や県外発生届症例含む）です。5月7日（日）のHER-SYS上は2件となっています。

7. 衛研からの流行状況（日報）等を添付します。行政検査の陽性率は1.0%です。

8. 沖縄県と那覇市の週報と月報、曜日毎前週比、曜日毎前々週比、4種類の簡易実効再生産数、那覇市と沖縄県の新規感染者数比の推移を添付します。

沖縄県の第18週の新規感染者は1,516人と、第17週の1,420人から増加しています。那覇市は2022年第40週からデータ無しとしています。

沖縄県の疫学週前週比第18週は1.07で、第17週の1.24から低下しています。那覇市の疫学週前週比第18週は0.76と、第17週の2.21から急低下しています。

* 疫学週単位での前週比のグラフは割愛しています。
曜日単位での前週比に直近3疫学週の数値を記載していますのでご参照ください。

沖縄県の曜日毎前々週比は1.33です。
那覇市の曜日毎前々週比は1.68です。

** 那覇市の簡易実効再生産数と那覇市と沖縄県の新規感染者数比は、
9月27日分より沖縄県と那覇市ともに発生届限定登録者数に基づいて算出しています。

4種類の簡易実効再生産数は1.00~1.05となっています。
那覇市の簡易実効再生産数は0.67と0.82となっています。

*** 参考までに、発生届限定登録者数の推移：日報を追加しています。

那覇市と沖縄県の新規感染者数比（7日間移動平均）は、
人口比より低いレベルになっています。
nが少なくなっていますので参考値としてお考え下さい。

9. 衛研の全ゲノム解析の結果です。
検体採取日は4/7～24です。
XBB.1.5が10件、XBB.1.9.1が7件確認されています。
XBB.1.16と、インドでXBB.1.16から置換わりつつあるXBB.2.3は、
まだ確認されていないようです。

■全ゲノム解析（5/2）

解析数：40

監視下のオミクロンの亜系統

- ①BQ.1系統：0
BQ.1.1系
- ②CH.1.1系統：0
CH.1.1系
- ③その他BA.2.75系統：5
BN.1系 BA.2.75系
- ④XBB系統：17
XBB.1.9.1 XBB.1.5
- ⑤XBF系統：0
XBF

従来のおミクロンの亜系統（①②に該当しないBA.5系統など）：4

判定不能：14

10. 先週の東京都モニタリング会議はお休みのようで、変異株の情報はありません。
11. 米国の変異株最新情報です。
先週(4/30～5/6分)は、XBB.1.16が12.5%まで増えています。（添付）。
インドでXBB.1.16から置換わりつつあるというXBB.2.3が2.7%と増えつつあるよう
です。
12. 札幌市の新型コロナ下水モニタリングでは、再上昇となっています。（添付）
第7波と第8波の初期に見られた感染急拡大はないのかもしれませんが、
ある程度の波にはなりそうです。
感染の実態を反映しているとすれば、
札幌市の昨年5月前後の流行に相当する波となっていることとなります。